

**広島市生活状況に関する調査
報 告 書**

**令和8年3月
広島市**

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 報告書の見方	1
4 ひきこもり・支援対象者の出現率および推計結果	2
(1) 本市におけるひきこもり状態にある人の推計値	2
(2) 本市における支援対象者の推計値	2
5 調査結果の概要	3
(1) 外出等の状況	3
(2) 人との交流の状況	3
(3) 経済的な状況	4
(4) 就労の状況	4
(5) 相談等の状況	5
(6) 支援へのニーズ	6
第2章 回答者全体の調査結果(本人票)	7
1 属性	7
2 自身や家族のことについて	10
(1) 暮らしの経済的状況	10
(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが	11
(3) こころの状態	14
3 就労・就学等の状況について	17
(1) 最終学歴	17
(2) 就労・就学等の状況	18
(3) 就業経験	22
(4) 就職・進学希望の有無	23
(5) 就職活動の状況	24
(6) 就職・進学を希望していない理由	25
4 活動状況について	28
(1) 現在の外出頻度	28
(2) 外出できなくなってからの期間	30
(3) ほとんど家にいる状態になった年齢	31
(4) ほとんど家にいる状態になった理由	32
(5) 現在の外出頻度の満足感	35
(6) 現在の外出頻度に満足していない理由	36
5 困った時にする行動について	38
(1) 知っている相談機関	38
(2) 悩み事の相談意向	44

(3) 悩み事の相談先.....	46
(4) 困りごとを相談したいと思う場所や機関.....	51
(5) 困りごとを相談したくない理由.....	60
(6) 困りごとの有無.....	63
(7) 相談機関に相談した経験.....	65
(8) 相談したことのある相談機関.....	67
6 余暇活動について.....	70
(1) 普段情報を得ている媒体.....	70
(2) 最も多く情報を得ている媒体.....	75
(3) 普段自宅にいる時の過ごし方.....	78
(4) 楽しいと思う活動.....	82
7 これまでの経験について.....	87
(1) これまでの困難な経験の有無.....	87
(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験.....	89
(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ.....	91
(4) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ.....	94
8 周囲とのかかわり方について.....	97
(1) 他の人たちとの結びつき.....	97
(2) 孤独感(間接質問).....	98
(3) 孤独感(直接質問).....	101
(4) 人や社会とのかかわり方の満足度.....	102
(5) 同居者との交流頻度.....	105
(6) 同居者との交流内容.....	106
(7) 最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況.....	107
(8) 同居していない人とのコミュニケーションの頻度.....	108
9 必要だと思う市の支援.....	111
第3章 ひきこもり・支援対象者の定義(本人票).....	116
1 ひきこもり.....	116
2 支援対象者.....	118
第4章 ひきこもり・支援対象者の調査結果(本人票).....	120
1 属性.....	120
2 自身や家族のことについて.....	123
(1) 暮らしの経済的状況.....	123
(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが.....	124
(3) こころの状態.....	125
3 就労・就学等の状況について.....	127
(1) 最終学歴.....	127
(2) 就労・就学等の状況.....	128
(3) 就業経験.....	129

(4) 就職・進学希望の有無	130
(5) 就職活動の状況	130
(6) 就職・進学を希望していない理由	131
4 活動状況について	132
(1) 現在の外出頻度	132
(2) 外出できなくなってからの期間	133
(3) ほとんど家にいる状態になった年齢	134
(4) ほとんど家にいる状態になった理由	135
(5) 現在の外出頻度の満足感	138
(6) 現在の外出頻度に満足していない理由	139
5 困った時にする行動について	140
(1) 知っている相談機関	140
(2) 悩み事の相談意向	141
(3) 悩み事の相談先	142
(4) 困りごとを相談したいと思う場所や機関	143
(5) 困りごとを相談したくない理由	144
(6) 困りごとの有無	145
(7) 相談機関に相談した経験	145
(8) 相談したことのある相談機関	146
6 余暇活動について	147
(1) 普段情報を得ている媒体	147
(2) 最も多く情報を得ている媒体	148
(3) 普段自宅にいる時の過ごし方	149
(4) 楽しいと思う活動	150
7 これまでの経験について	151
(1) これまでの困難な経験の有無	151
(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験	152
(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ	153
(4) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ	154
8 周囲とのかかわり方について	155
(1) 他の人たちとの結びつき	155
(2) 孤独感(間接質問)	156
(3) 孤独感(直接質問)	159
(4) 人や社会とのかかわり方の満足度	160
(5) 同居者との交流頻度	162
(6) 同居者との交流内容	162
(7) 最近 6 か月間の同居者以外の人との会話の状況	163
(8) 同居していない人とのコミュニケーションの頻度	164
9 必要だと思う市の支援	167

第5章 ひきこもり該当者の状況(本人票)	169
1 生活状況について	169
(1) 外出の状況	169
(2) 普段自宅にいる時の過ごし方	175
2 相談について	178
(1) 困っていることや孤独感	178
(2) 相談の状況	181
(3) 相談についての意向	201
3 就労・就学について	216
4 必要だと思う市の支援	225
第6章 ひきこもり・支援対象者の定義(同居者票)	230
1 ひきこもり(家族)	230
2 支援対象者(家族)	231
第7章 ひきこもり・支援対象者の調査結果(同居者票)	233
1 属性	233
2 あて名の方やご家族のことについて	235
(1) 暮らしの経済的状況	235
(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが	236
3 就労・就学等の状況について	237
(1) 最終学歴	237
(2) 就労・就学等の状況	238
(3) 就業経験	239
4 活動状況について	240
(1) 普段自宅にいる時の過ごし方	240
(2) 現在の外出頻度	241
(3) 外出できなくなっからの期間	242
(4) ほとんど家にいる状態になった年齢	243
(5) 最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況	243
(6) 同居していない人との交流方法	244
(7) ほとんど家にいる状態になった理由	245
5 相談した経験について	246
(1) 相談機関に相談した経験	246
(2) 相談したことのある相談機関	247
(3) 現在の状態に対する、同居者としての不安の有無	248
(4) 現在の状態に対する、同居者としての不安の内容	249
(5) 同居者が相談機関に相談した経験	250
(6) 同居者が相談したことのある相談機関	251
(7) 同居者が相談しなかった理由	252
(8) 同居者が知っている相談機関	253

6	これまでの経験について.....	254
	(1) これまでの困難な経験の有無.....	254
	(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験.....	255
	(3) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ.....	256
7	あて名の方の周囲とのかかわり方について.....	257
	(1) 同居者との交流頻度.....	257
	(2) 同居者との交流内容.....	257
	(3) 家族団らんのイメージ・理想.....	258
8	必要だと思う市の支援.....	259
参考	ひきこもり・支援対象者の選定手順.....	261
	1 ひきこもり.....	261
	2 支援対象者.....	265
付属資料	271
	1 本人調査票.....	271
	2 同居者調査票.....	285

第1章 調査の概要

1 調査目的

ひきこもり状態にある人やその家族等に対する今後の支援の在り方を検討する基礎資料とするため。

2 調査方法

調査地域	広島市全域
抽出方法	市内に居住する15歳～64歳の中から無作為抽出(同居者票はその家族)
調査方法	郵送配布・回収(インターネットによる回答を併用)
調査対象	①本人票:6,000人 ②同居者票:4,000人
調査時期	令和7年8月7日～令和7年8月31日
有効回収数	①本人票:1,859人(回収率 31.0%) ②同居者票:996人(回収率 24.9%)

3 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

4 ひきこもり・支援対象者の出現率および推計結果

(1) 本市におけるひきこもり状態にある人の推計値

調査対象者	該当者数	有効回答数に占める割合	市の人口 R7.7.31時点	市内推計数	計
15歳～39歳 有効回答 606人	8人	1.32%	307,153人	4,054人	約13,600人
40歳～64歳 有効回答 1,244人	29人	2.33%	407,722人	9,500人	

※標本誤差 15歳～39歳：±0.9% 40歳～64歳：±0.8%

(2) 本市における支援対象者の推計値

調査対象者	該当者数	有効回答数に占める割合	市の人口 R7.7.31時点	市内推計数	計
15歳～39歳 有効回答 606人	64人	10.56%	307,153人	32,435人	約71,800人
40歳～64歳 有効回答 1,244人	120人	9.65%	407,722人	39,345人	

※標本誤差 15歳～39歳：±2.4% 40歳～64歳：±1.6%

※なお、本調査における支援対象者は、厚生労働省が令和7年1月に取りまとめた「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～」におけるひきこもり支援対象者の考え方に基づき、社会的に孤立し、孤独を感じている状態や、様々な生きづらさを抱えている状態に関する要件を本市が独自に設定し、抽出したものである。

5 調査結果の概要

(1) 外出等の状況

〔概要〕

回答者全体では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が3.4%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が3.4%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が0.6%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が0.3%となっており、すべてを合わせると7.7%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が37.8%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が37.8%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が16.2%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が8.1%となっている。

現在の外出頻度への満足感について、回答者全体では、「満足している」と回答した割合が45.5%、「不満はない」と回答した割合が37.0%、「満足していない」と回答した割合が15.4%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、「満足している」と回答した割合が18.9%、「不満はない」と回答した割合が27.0%、「満足していない」と回答した割合が48.6%となっている。

外出できなくなってからの期間について、ひきこもりに該当する者では、「3年未満」の割合が32.4%、「3年～5年未満」の割合が18.9%、「5年～10年未満」の割合が21.6%、10年以上の割合が27.0%となっている。

ひきこもり状態になった年齢について、40歳未満の割合が48.6%、40歳以上の割合が48.6%となっている。

ひきこもり状態になった理由について、「病気」と回答した割合が40.5%と最も高く、「退職したこと」(24.3%)、「人間関係がうまくいかなかったこと」(18.9%)が続いている。

〔課題〕

本調査の結果、外出の状況や外出できなくなってからの期間等により、ひきこもりに該当する人は全体の1.99%となった。その要因は様々であり、年齢や家族構成等、様々な状況があることから、個々の状況に応じた、適切な生活支援、相談支援、社会参加の支援を行う体制を整備するとともに、市民の理解を深めるための啓発が重要である。

(2) 人との交流の状況

〔概要〕

同居者との交流頻度について、回答者全体では「まったくない」と回答した割合が0.4%、ひきこもりに該当する者では3.7%となっている。

同居していない人とのコミュニケーションとして、回答者全体では、直接会って話すことが「まったくない」と回答した割合が2.3%、ひきこもりに該当する者では21.6%となっている。

他の人たちとの結びつきが強いと感じることが『ない』(「決してない」+「ほとんどない」と回答した割合は、回答者全体で31.0%、ひきこもりに該当する者では75.6%となっている。

孤独感(直接質問)を感じるものが、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、回答者全体では5.8%、ひきこもりに該当する者では40.5%となっている。

回答者全体では、人や社会とのかかわり方で『不満である』（「不満である」＋「やや不満である」）と回答した割合は、家族とのかかわり方で6.8%、家族以外の人とのかかわり方で6.5%、社会とのかかわり方で10.2%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、家族とのかかわり方で13.5%、家族以外の人とのかかわり方で21.6%、社会とのかかわり方で35.1%となっている。

〔課題〕

人とのつながりは、心身の健康を保ち、社会の中で安心して生活するために重要であるが、調査結果では、人との交流が少なく、また、かかわり方に満足していない人がいる結果となっている。居場所づくりや地域活動、ボランティア、就労体験など、参加支援の取組の充実を図ることが重要であるが、その際、本人の意向やペースを尊重するとともに、受け入れ側の理解や支援体制を整備し、安心して参加できる環境が重要である。

(3) 経済的な状況

〔概要〕

生計を支えている家族は、回答者全体では「本人」の割合が60.2%、「配偶者」の割合が37.7%、「父」の割合が17.0%等となっており、主に生計を支えている家族の収入源は「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が88.0%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、「本人」の割合が40.5%、「父」の割合が27.0%、「母」の割合が24.3%等となっており、主に生計を支えている家族の収入源は「就労、事業による収入（農業収入を含む）」と「年金」が29.7%となっている。

暮らしの経済的状況について、回答者全体では、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）と回答した割合が16.8%、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）と回答した割合が31.9%、「普通」と回答した割合が50.4%となっている。『苦しい』と回答した人の割合は、契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）の層で高くなっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、『苦しい』と回答した人の割合が56.7%となっている。

〔課題〕

困難な状況にあり、経済的にも苦しい状況にある人について、本人の意向を確認しながら、必要であれば福祉制度を紹介したり、就労を希望している場合は、就労に関する相談支援に適切につなぐ体制の強化等が重要である。

(4) 就労の状況

〔概要〕

回答者全体では、「就職希望」と回答した割合が24.9%となっている。就労していない者の就職・進学を希望していない理由について、「長時間働くことが難しいため」と回答した割合が21.1%と最も高く、「からだやこころの不調のため」（20.6%）、「身体的な病気・障害のため」、「人間関係に不安があるため」（17.2%）が続いている。

一方で、ひきこもりに該当する者では「就職希望」と回答した割合が23.5%となっている。就職・進学を希望していない理由について、「からだやこころの不調のため」と回答した割合が48.5%と最も高く、「精神的な病気・障害のため」、「人間関係に不安があるため」、「長時間働くことが難し

いため」がいずれも 36.4%で続いている。

〔課題〕

就労は経済的自立や生活基盤を確保するとともに、社会の一員として役割を果たし、社会参加を実現するための重要な活動である。

就労を希望する人について、就労に関する相談窓口等を確実に周知するとともに、就労につなぐ支援体制の充実を図ることが重要である。

また、ひきこもりに該当する者の中に就労を希望する人が一定数いることから、就労以前の生活・関係・安心の回復を重視し、就労を社会参加の一形態として捉え、希望に応じて支援を推進することが重要である。

(5) 相談等の状況

〔概要〕

こころの状態について、回答者全体のネガティブな状態では「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」と回答した割合が 26.4%と最も高かった。

一方で、ひきこもりに該当する者では、「集団の中に溶け込めない」、「生きるのが苦しいと感じることがある」と回答した割合がともに 51.4%と最も高く、「家族に申しわけないと思うことが多い」、「人に会うのが怖いと感じる」、「繰り返し確認しないと落ち着かない」、「絶望的な気分になることがよくある」と回答した割合が4割台で続いている。

ひきこもりに該当する者が知っている相談機関としては、「区役所（福祉事務所）」が 56.8%と最も高く、次いで「医療機関」（48.6%）となっており、一方で「知っているものはない」と回答した割合が 18.9%となっている。

普段悩み事ができた際の相談先として、回答者全体では「友人・知人」と回答した割合が 49.5%と最も高く、「配偶者」（44.9%）、「親」（41.5%）が続いており、身近な人の割合が上位となっているが、一方で、「誰にも相談しない」と回答した割合が 7.9%となっている。

ひきこもりに該当する者の場合、普段悩み事ができた際の相談先として、「親」と回答した割合が 35.1%と最も高く、「カウンセラー・精神科医」（18.9%）、「きょうだい」（16.2%）が続いている。一方で、「誰にも相談しない」と回答した割合が 27.0%となっており、回答者全体より高くなっている。

悩み事ができた際に相談したいと思う人の割合は回答者全体では 37.1%であり、相談したいと思わない人の割合が 8.4%、「内容による」と回答した割合が 53.2%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、悩み事ができた際に相談したいと思う人の割合は 24.3%であり、相談したいと思わない人の割合が 16.2%、「内容による」と回答した割合が 54.1%となっている。

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、ひきこもりに該当する者の回答としては、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が 45.9%と最も高く、次いで、「無料で相談できる」（32.4%）、「精神科医がいる」（27.0%）となっている。また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が 24.3%となっており、回答者全体の 3.8%より高くなっている。

「どのようなところにも相談したくない」と回答した理由として、回答者全体では「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が 46.5%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」（28.2%）、「自分のことを知られたくない」（23.9%）が続いている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が66.7%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」(44.4%)、「自分のことを知られたくない」(33.3%)が続いている。

現在、困りごとが「ある」と回答した割合は、回答者全体では38.1%となっており、そのうち、現在の状態について相談機関に相談したことがある人の割合は24.4%、その相談先として「医療機関」の割合が最も高く48.6%、続いて「区役所(福祉事務所)」が24.3%となっている。

一方で、ひきこもりに該当する者では、現在、困りごとが「ある」と回答した割合が64.9%となっており、そのうち、現在の状態について相談機関に相談したことがある人の割合は45.8%、その相談先として「医療機関」と回答した割合が90.9%と最も高く、次いで「区役所(福祉事務所)」が36.4%となっている。

〔課題〕

相談支援は、困難な状況にある人やその家族を必要な支援につなぐ出発点となるためとても重要である。しかし、調査結果では相談機関を知らない人も多くいる結果となっているため、困難な状況にある本人や家族、また、支える身近な人や地域全体に確実に周知することが重要である。

また、困っていることがあっても、相談しない、相談したくないという回答もあることから、市や地域の様々な相談機関が身近で相談しやすい窓口となるよう環境づくりを進めるとともに、電話・メール・SNS・訪問・出張等、様々な方法で相談ができる体制づくりが重要である。

さらに、相談しない、相談したくない理由として「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「自分のことを知られたくない」等が挙げられているため、相談を通じて、背景にある課題を丁寧に把握し、支援者の尊厳を守りながら寄り添う姿勢で関わる等、相談体制の充実を図ることが重要である。

(6) 支援へのニーズ

〔概要〕

ひきこもりに該当する者では、最も必要だと思う支援について、「相談窓口の周知」と回答した割合が29.7%と最も高く、「相談窓口の充実」(18.9%)、「本人への直接的な支援」(16.2%)、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(13.5%)が続いている。また、優先度第3位までの複数回答とした場合は、「相談窓口の周知」、「相談窓口の充実」と回答した割合が48.6%と最も高く、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(37.8%)、「本人への直接的な支援」(35.1%)が続いている。

〔課題〕

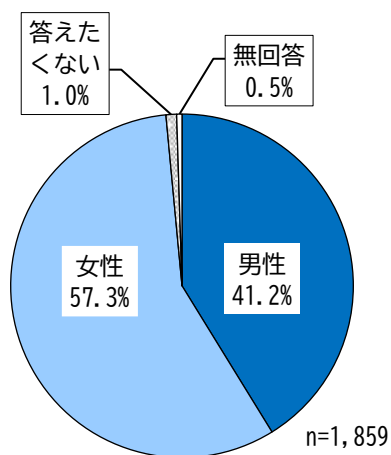
相談や本人へのニーズが上位となっていることから、前述のとおり、相談支援の充実を図るとともに、相談から必要な生活支援や参加支援に確実につながるよう、重層的支援体制整備事業等との一体的な推進等、市の他の取組との連携強化、庁内で横断的な対応を図るとともに、医療・福祉・教育・労働・司法等の地域の関係機関・団体等との連携を更に強化した取組が重要である。

さらに、「こころの病気に関する正しい知識の普及」が上位に挙げられていることから、地域全体がこころの病気やひきこもりの人への理解を深めるよう啓発を行い、孤立を防ぎ、支援につながる環境づくりを進めることが重要である。

第2章 回答者全体の調査結果(本人票)

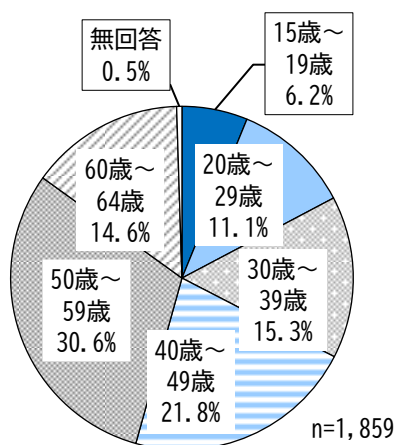
1 属性

(1) 性別



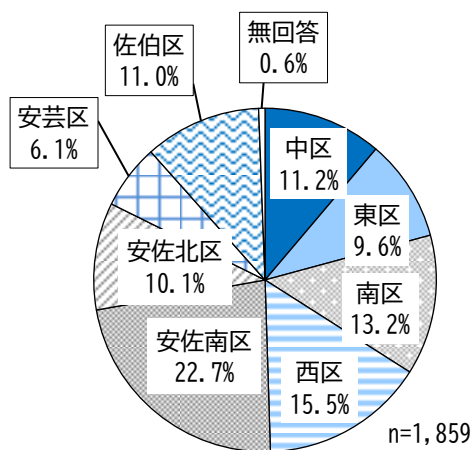
	回答数	割合
男性	766	41.2%
女性	1,065	57.3%
答えたくない	18	1.0%
無回答	10	0.5%
全体	1,859	100.0%

(2) 年齢



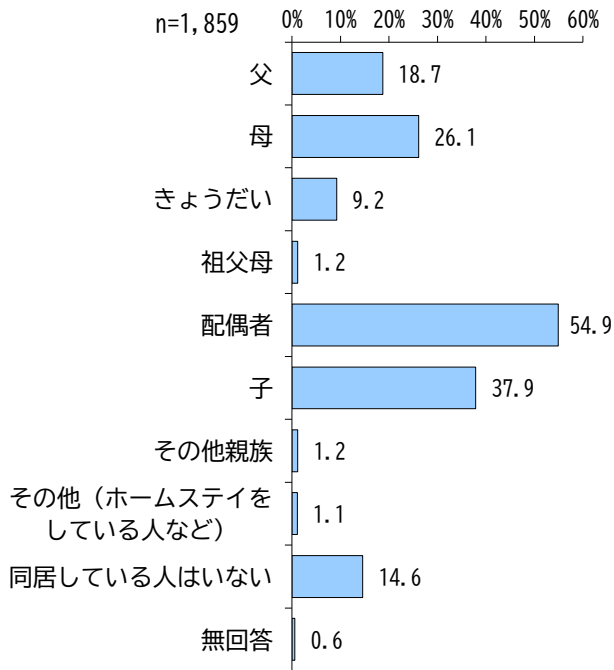
	回答数	割合
15歳～19歳	115	6.2%
20歳～29歳	207	11.1%
30歳～39歳	284	15.3%
40歳～49歳	405	21.8%
50歳～59歳	568	30.6%
60歳～64歳	271	14.6%
無回答	9	0.5%
全体	1,859	100.0%

(3) 居住区



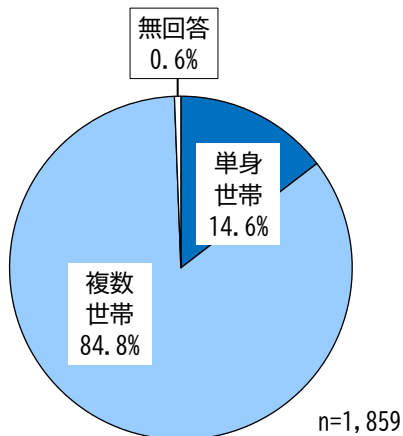
	回答数	割合
中区	208	11.2%
東区	179	9.6%
南区	246	13.2%
西区	288	15.5%
安佐南区	422	22.7%
安佐北区	188	10.1%
安芸区	113	6.1%
佐伯区	204	11.0%
無回答	11	0.6%
全体	1,859	100.0%

(4)-1 同居している人



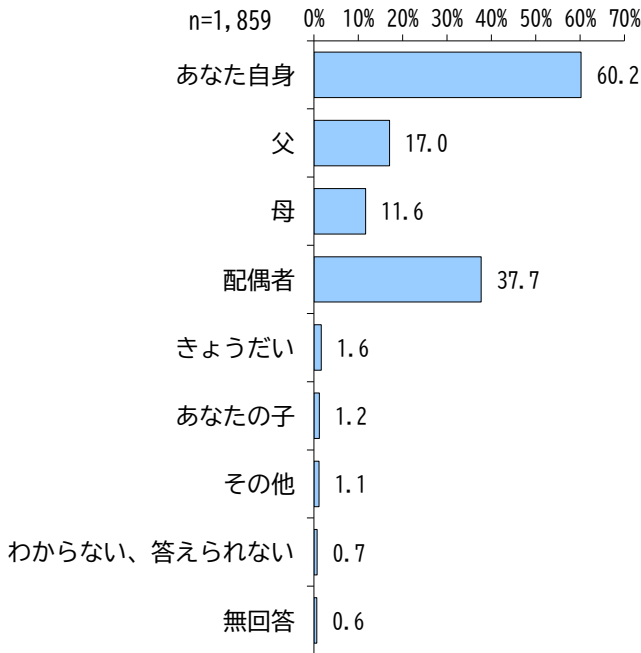
	回答数	割合
父	348	18.7%
母	486	26.1%
きょうだい	171	9.2%
祖父母	22	1.2%
配偶者	1,020	54.9%
子	705	37.9%
その他親族	22	1.2%
その他 (ホームステイをしている人など)	20	1.1%
同居している人はいない	272	14.6%
無回答	11	0.6%
全体	1,859	100.0%

(4)-2 世帯構成



	回答数	割合
単身世帯	272	14.6%
複数世帯	1,576	84.8%
無回答	11	0.6%
全体	1,859	100.0%

(5) 生計を支えている家族

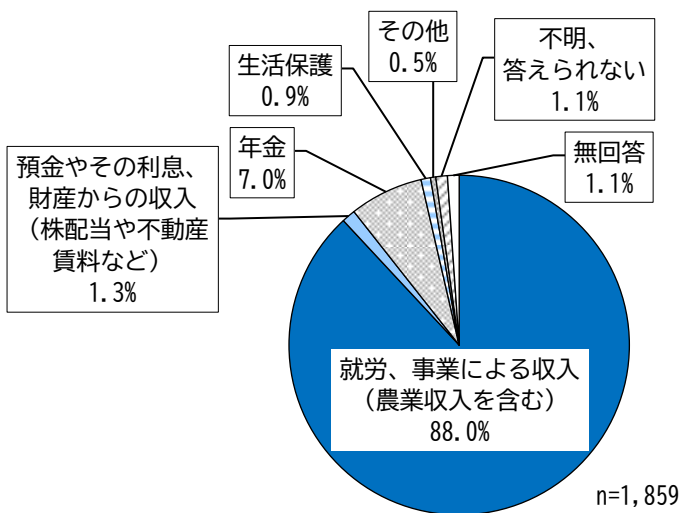


	回答数	割合
あなた自身	1,119	60.2%
父	316	17.0%
母	216	11.6%
配偶者	701	37.7%
きょうだい	29	1.6%
あなたの子	23	1.2%
その他	20	1.1%
わからない、答えられない	13	0.7%
無回答	11	0.6%
全体	1,859	100.0%

(年齢別)

	回答数	あなた自身	父	母	配偶者	きょうだい	あなたの子	その他	わからない、答えられない	無回答
15歳～19歳	115	1.7%	89.6%	54.8%	-	0.9%	-	1.7%	0.9%	-
20歳～29歳	207	54.1%	38.6%	17.9%	15.9%	1.9%	-	1.0%	1.9%	-
30歳～39歳	284	68.7%	13.7%	8.1%	47.2%	1.8%	-	0.7%	0.7%	-
40歳～49歳	405	65.7%	12.1%	8.6%	44.9%	1.0%	0.7%	0.2%	0.5%	0.2%
50歳～59歳	568	66.5%	6.9%	8.5%	39.8%	2.1%	2.3%	1.4%	0.4%	0.4%
60歳～64歳	271	60.5%	2.2%	3.7%	46.1%	1.1%	2.6%	1.8%	0.7%	0.4%

(6) 主に生計を支えている家族の収入源



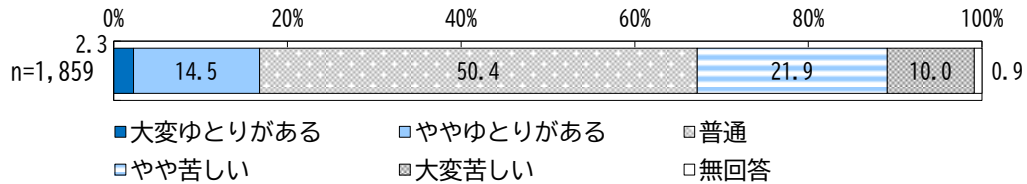
	回答数	割合
就労、事業による収入 (農業収入を含む)	1,636	88.0%
預金やその利息、財産からの収入 (株配当や不動産賃料など)	25	1.3%
年金	131	7.0%
生活保護	17	0.9%
その他	10	0.5%
不明、答えられない	20	1.1%
無回答	20	1.1%
全体	1,859	100.0%

2 自身や家族のことについて

(1) 暮らしの経済的状況

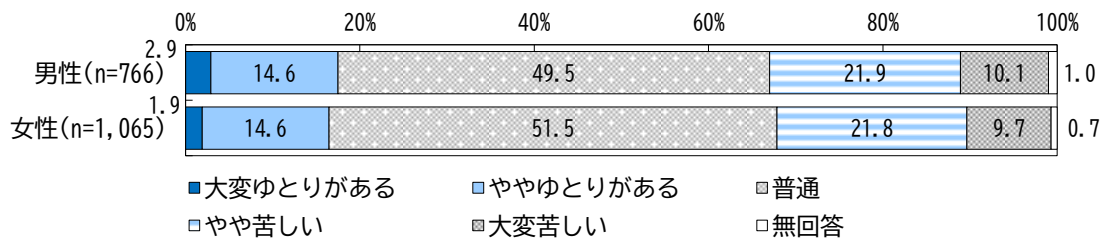
問7 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、いかがですか。あなたの実感でお答えください。(〇はひとつだけ)

【暮らしの経済的状況】



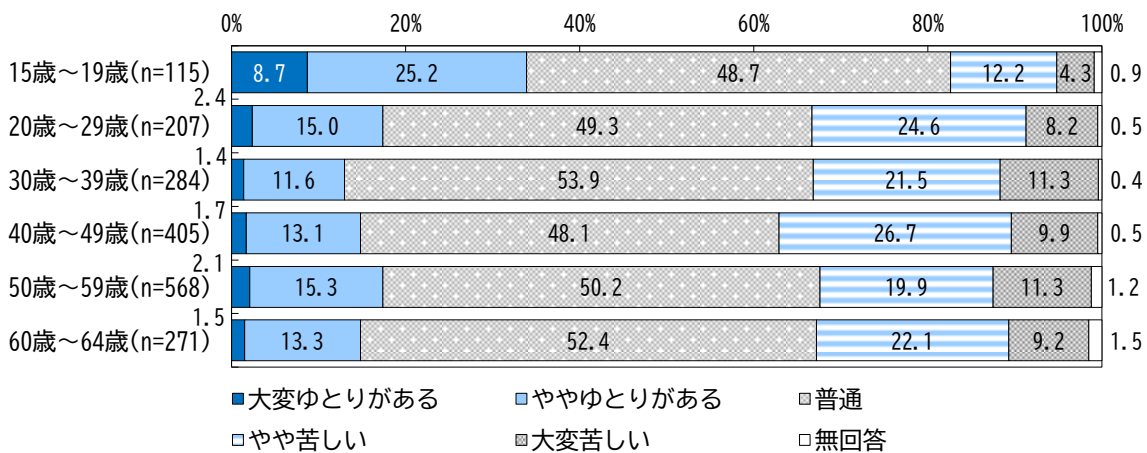
暮らしの経済的状況について、『ゆとりがある』(「大変ゆとりがある」+「ややゆとりがある」)と回答した割合が16.8%、『苦しい』(「大変苦しい」+「やや苦しい」)と回答した割合が31.9%、「普通」と回答した割合が50.4%となっている。

【暮らしの経済的状況(性別)】



性別にみると、性別による差はなく、『苦しい』と回答した割合は男女ともに3割台となっている。

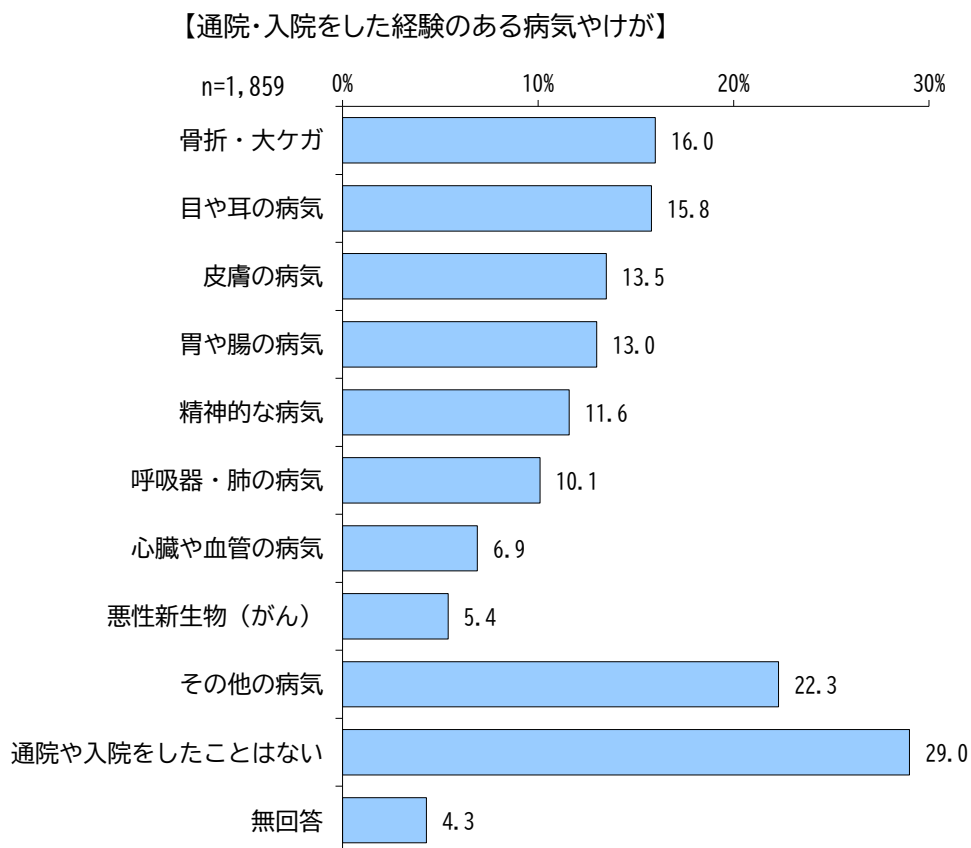
【暮らしの経済的状況(年齢別)】



年齢別にみると、『苦しい』と回答した割合は、20歳以上ではいずれも3割台となっている。

(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが

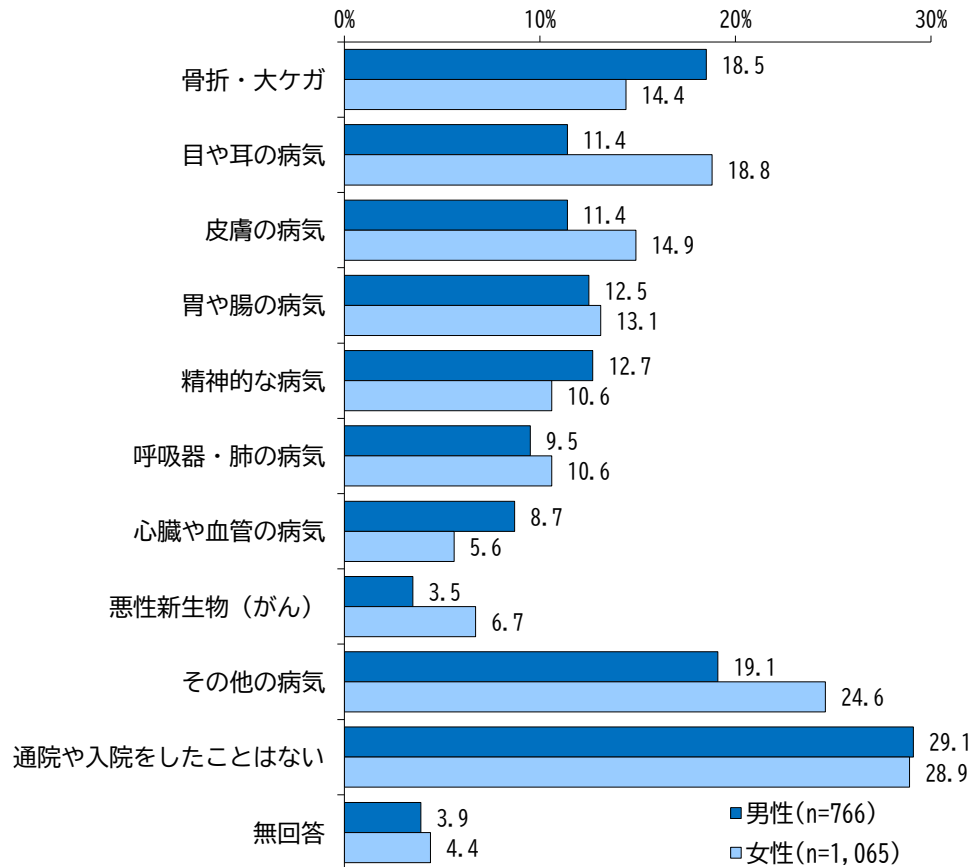
問8 これまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。(〇はいくつでも)



通院・入院をした経験のある病気やけがについて、「骨折・大ケガ」と回答した割合が16.0%と最も高く、「目や耳の病気」(15.8%)、「皮膚の病気」(13.5%)、「胃や腸の病気」(13.0%)、「精神的な病気」(11.6%)、「呼吸器・肺の病気」(10.1%)が続いている。

また、何らかの病気やけがを回答した割合は66.7%となっている。

【通院・入院をした経験のある病気やけが(性別)】



性別にみると、男性では「骨折・大ケガ」と回答した割合が18.5%と最も高く、「精神的な病気」(12.7%)、「胃や腸の病気」(12.5%)が続いている。

一方、女性では「目や耳の病気」と回答した割合が18.8%と最も高く、「皮膚の病気」(14.9%)、「骨折・大ケガ」(14.4%)が続いている。

【通院・入院をした経験のある病気やけが(年齢別)】

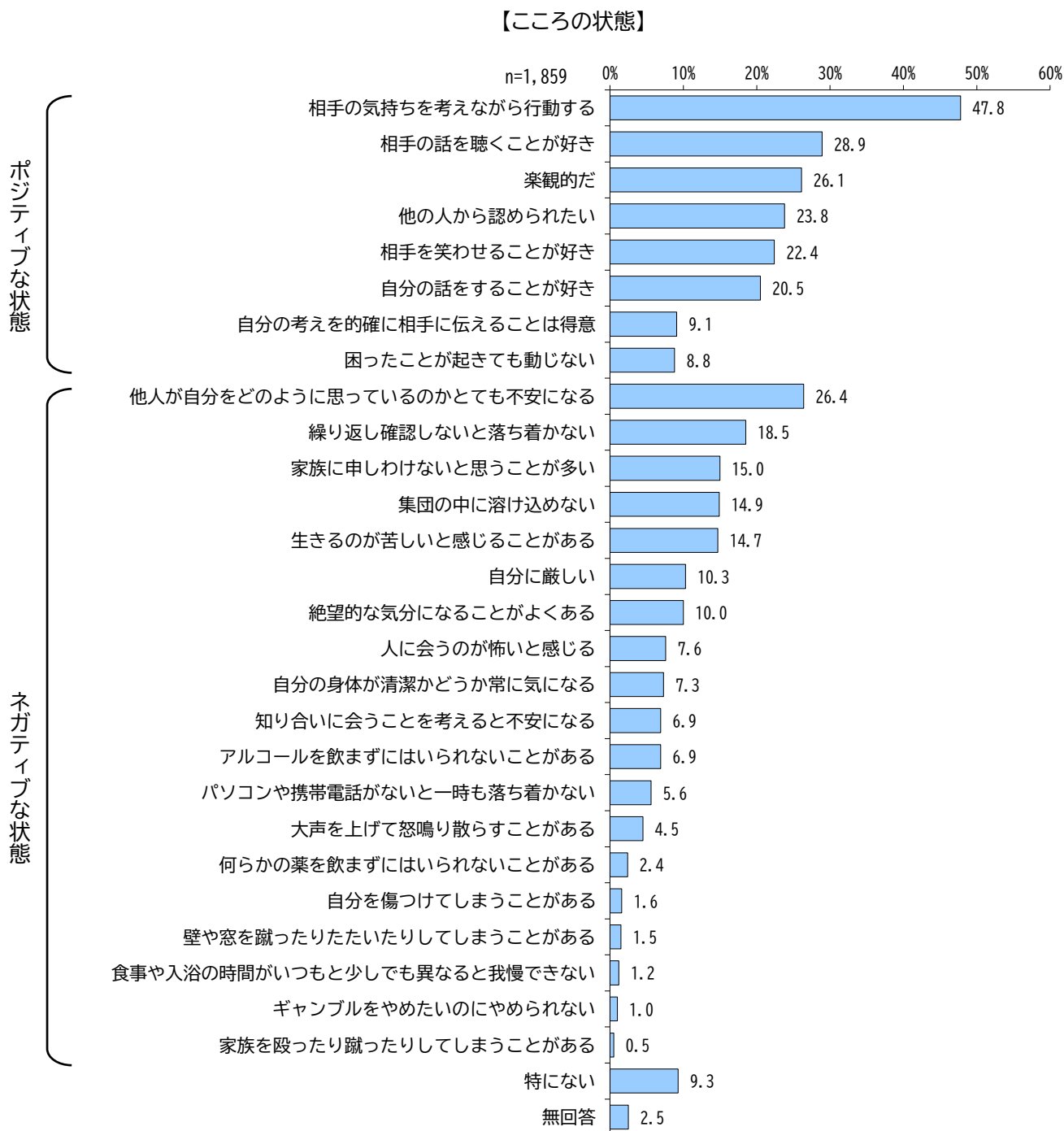
	回答数	骨折・大ケガ	目や耳の病気	皮膚の病気	胃や腸の病気	精神的な病気	呼吸器・肺の病気	心臓や血管の病気	悪性新生物(がん)
15歳～19歳	115	27.0%	10.4%	13.9%	3.5%	7.0%	7.0%	5.2%	0.9%
20歳～29歳	207	12.1%	10.1%	16.4%	3.4%	13.0%	8.7%	1.9%	1.4%
30歳～39歳	284	14.8%	9.5%	10.6%	10.6%	15.1%	10.6%	3.5%	2.1%
40歳～49歳	405	17.5%	17.3%	13.8%	12.6%	11.4%	11.6%	4.2%	4.2%
50歳～59歳	568	14.6%	18.1%	13.4%	16.5%	11.1%	8.6%	10.9%	6.9%
60歳～64歳	271	16.6%	21.4%	14.0%	19.2%	9.6%	12.5%	10.7%	12.2%

	回答数	その他の病気	通院や入院をしたことはない	無回答
15歳～19歳	115	13.9%	39.1%	3.5%
20歳～29歳	207	11.1%	44.9%	1.4%
30歳～39歳	284	15.1%	44.0%	3.9%
40歳～49歳	405	22.7%	29.4%	4.4%
50歳～59歳	568	27.1%	21.5%	4.8%
60歳～64歳	271	30.6%	12.5%	5.5%

年齢別にみると、何らかの病気やけがを回答した割合は、40歳未満では5割台、40歳～49歳では66.2%、50歳～59歳では73.7%、60～64歳では82.0%となっている。

(3) こころの状態

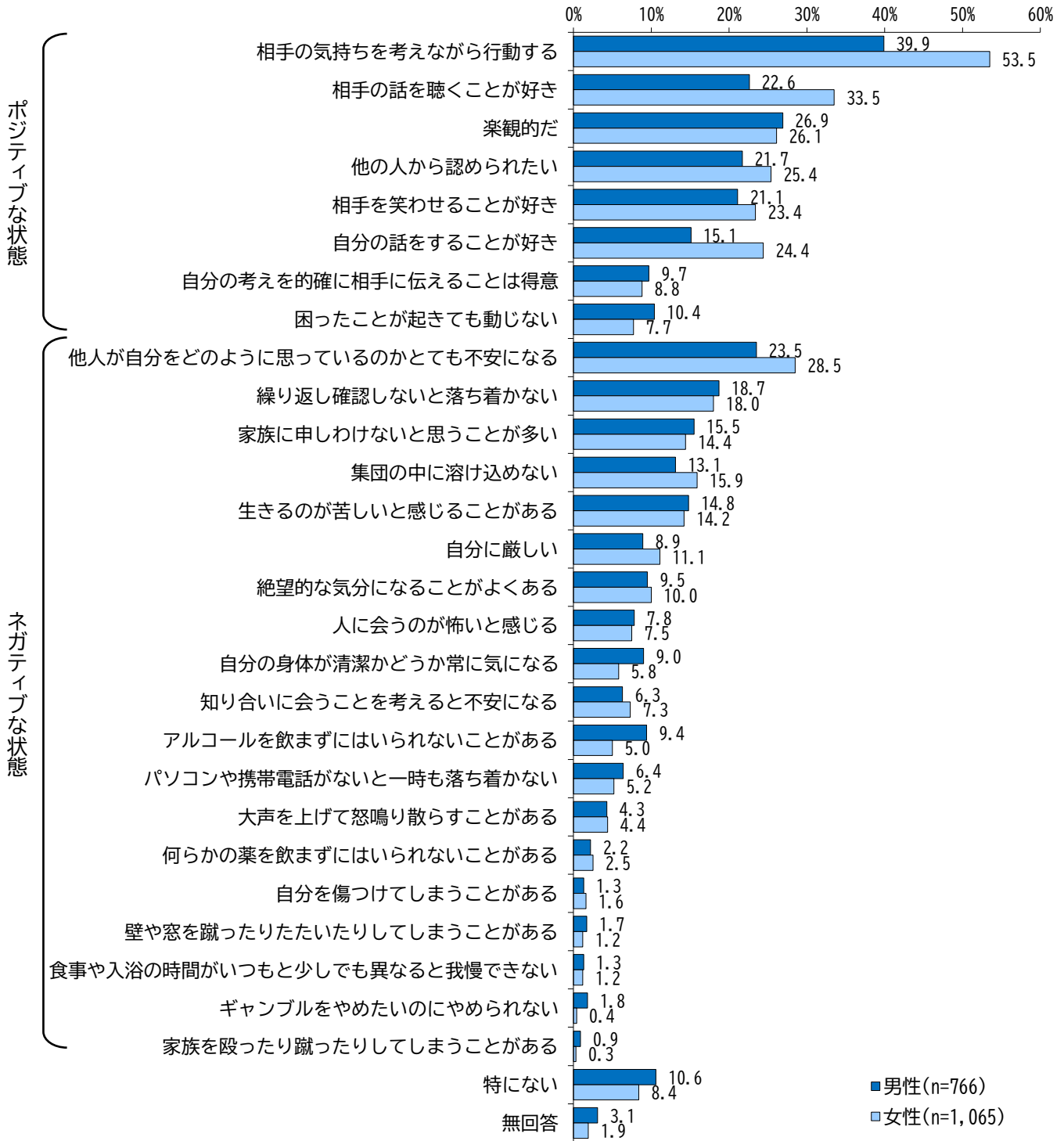
問9 次の中で、あなたのこころの状態にあてはまるものはありますか。(〇はいくつでも)



こころの状態について、ポジティブな状態では「相手の気持ちを考えながら行動する」と回答した割合が47.8%と最も高く、「相手の話を聴くことが好き」(28.9%)、「楽観的だ」(26.1%)が続いている。

ネガティブな状態では「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」と回答した割合が26.4%と最も高く、「繰り返し確認しないと落ち着かない」(18.5%)、「家族に申しわけないと思うことが多い」(15.0%)、「集団の中に溶け込めない」(14.9%)、「生きるのが苦しいと感じることがある」(14.7%)が続いている。

【こころの状態(性別)】



性別にみると、男女ともに、ポジティブな状態では「相手の気持ちを考えながら行動する」(男性39.9%、女性53.5%)、ネガティブな状態では「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」(男性23.5%、女性28.5%)が最も高くなっている。

【こころの状態(年齢別)】

	回答数	ポジティブな状態							
		相手の気持ちを考えながら行動する	相手の話を聴くことが好き	楽観的だ	他の人から認められたい	相手を笑わせることが好き	自分の話をすることが好き	自分の考えを的確に相手に伝えることは得意	困ったことが起きても動じない
15歳～19歳	115	42.6%	46.1%	42.6%	35.7%	28.7%	37.4%	12.2%	13.0%
20歳～29歳	207	48.8%	37.2%	28.0%	36.7%	31.9%	27.1%	10.6%	9.2%
30歳～39歳	284	47.9%	31.0%	25.7%	27.1%	23.9%	22.5%	9.5%	8.5%
40歳～49歳	405	51.1%	28.1%	23.7%	24.7%	22.7%	21.2%	9.6%	7.9%
50歳～59歳	568	47.0%	23.1%	24.8%	18.8%	19.4%	15.3%	7.7%	8.6%
60歳～64歳	271	45.8%	26.6%	25.1%	14.8%	17.0%	15.9%	8.5%	8.9%

	回答数	ネガティブな状態							
		他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	繰り返し確認しないと落ち着かない	家族に申しわけないと思うことが多い	集団の中に溶け込めない	生きるのが苦しいと感ずることがある	自分に敵しい	絶望的な気分になることがある	人に会うのが怖いと感ずる
15歳～19歳	115	34.8%	21.7%	13.0%	12.2%	11.3%	8.7%	10.4%	8.7%
20歳～29歳	207	39.6%	18.4%	14.5%	15.5%	17.4%	15.0%	15.0%	10.6%
30歳～39歳	284	34.5%	22.5%	18.7%	18.0%	22.9%	13.7%	13.7%	12.7%
40歳～49歳	405	26.2%	17.3%	18.3%	14.3%	14.3%	11.4%	11.9%	6.4%
50歳～59歳	568	21.1%	16.7%	13.0%	16.5%	13.4%	6.7%	7.2%	6.9%
60歳～64歳	271	15.5%	17.7%	11.4%	10.0%	8.1%	10.0%	4.8%	3.3%

	回答数	ネガティブな状態							
		自分の身体が清潔かどうか常に気になる	知り合いに会うことを考えると不安になる	アルコールを飲まざにはいられないことがある	パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない	大声を上げて怒鳴り散らすことがある	何らかの薬を飲まざにはいられないことがある	自分を傷つけてしまうことがある	壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまふことがある
15歳～19歳	115	6.1%	6.1%	-	7.8%	1.7%	0.9%	3.5%	2.6%
20歳～29歳	207	11.6%	8.7%	2.9%	11.6%	2.4%	1.4%	2.9%	1.4%
30歳～39歳	284	7.7%	13.0%	7.4%	9.5%	6.0%	2.5%	3.5%	2.5%
40歳～49歳	405	5.4%	7.7%	8.4%	4.7%	8.4%	3.2%	1.0%	2.2%
50歳～59歳	568	7.0%	5.1%	7.7%	3.3%	3.3%	2.6%	0.5%	0.7%
60歳～64歳	271	7.0%	1.8%	8.1%	2.2%	2.2%	2.2%	0.7%	0.4%

	回答数	ネガティブな状態			特にな	無回答
		食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない	ギャンブルをやめたいのにやめられない	家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある		
15歳～19歳	115	0.9%	0.9%	0.9%	7.0%	2.6%
20歳～29歳	207	0.5%	-	-	7.2%	1.9%
30歳～39歳	284	1.1%	1.1%	1.1%	7.7%	1.8%
40歳～49歳	405	1.2%	1.7%	0.7%	7.9%	2.0%
50歳～59歳	568	1.9%	1.1%	0.4%	9.9%	3.0%
60歳～64歳	271	0.7%	0.4%	0.4%	14.0%	2.6%

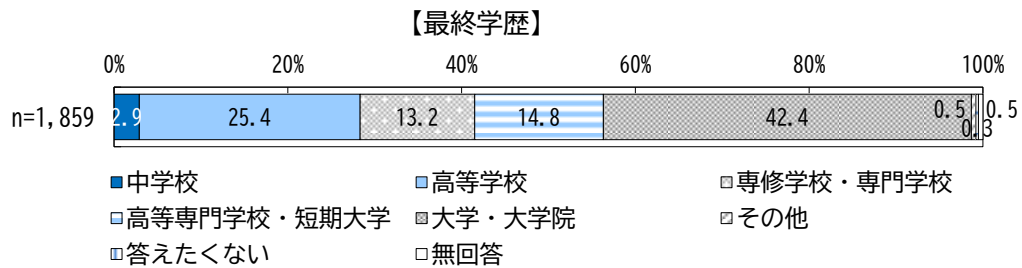
年齢別にみると、ポジティブな状態においては、15歳～19歳で「相手の話を聴くことが好き」、20歳以上で「相手の気持ちを考えながら行動する」が最も高くなっている。

ネガティブな状態においては、15歳～39歳で「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」が3割台となっている。また、30歳～39歳で「生きるのが苦しいと感ずることがある」と回答した割合が22.9%となっている。

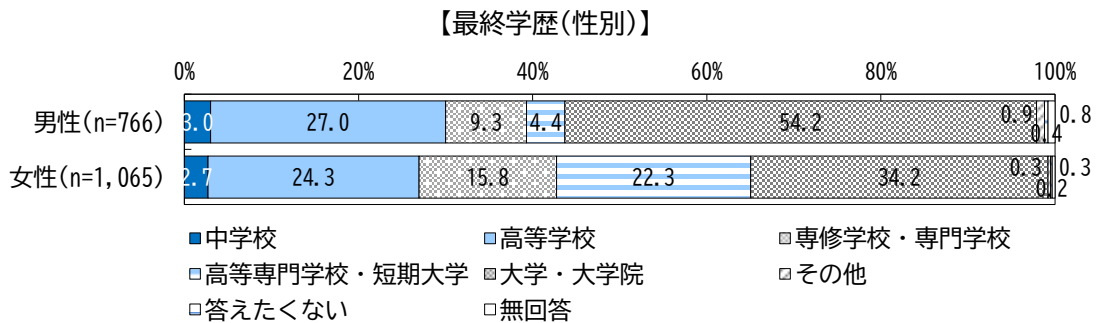
3 就労・就学等の状況について

(1) 最終学歴

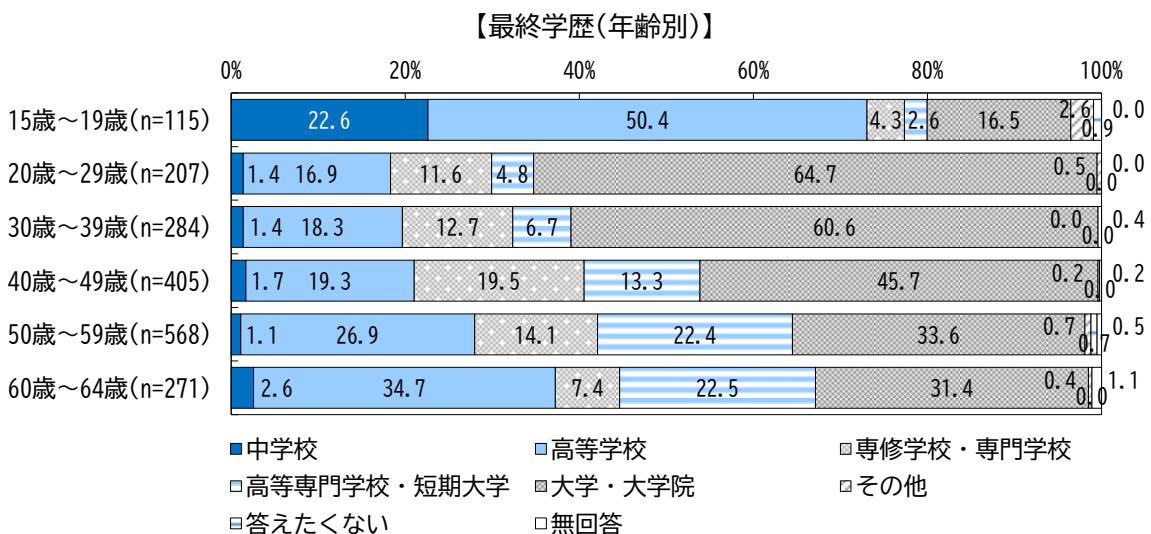
問10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（〇はひとつだけ）



最終学歴について、「大学・大学院」と回答した割合が42.4%と最も高くなっており、「中学校」と回答した割合が2.9%、「高等学校」と回答した割合が25.4%となっている。



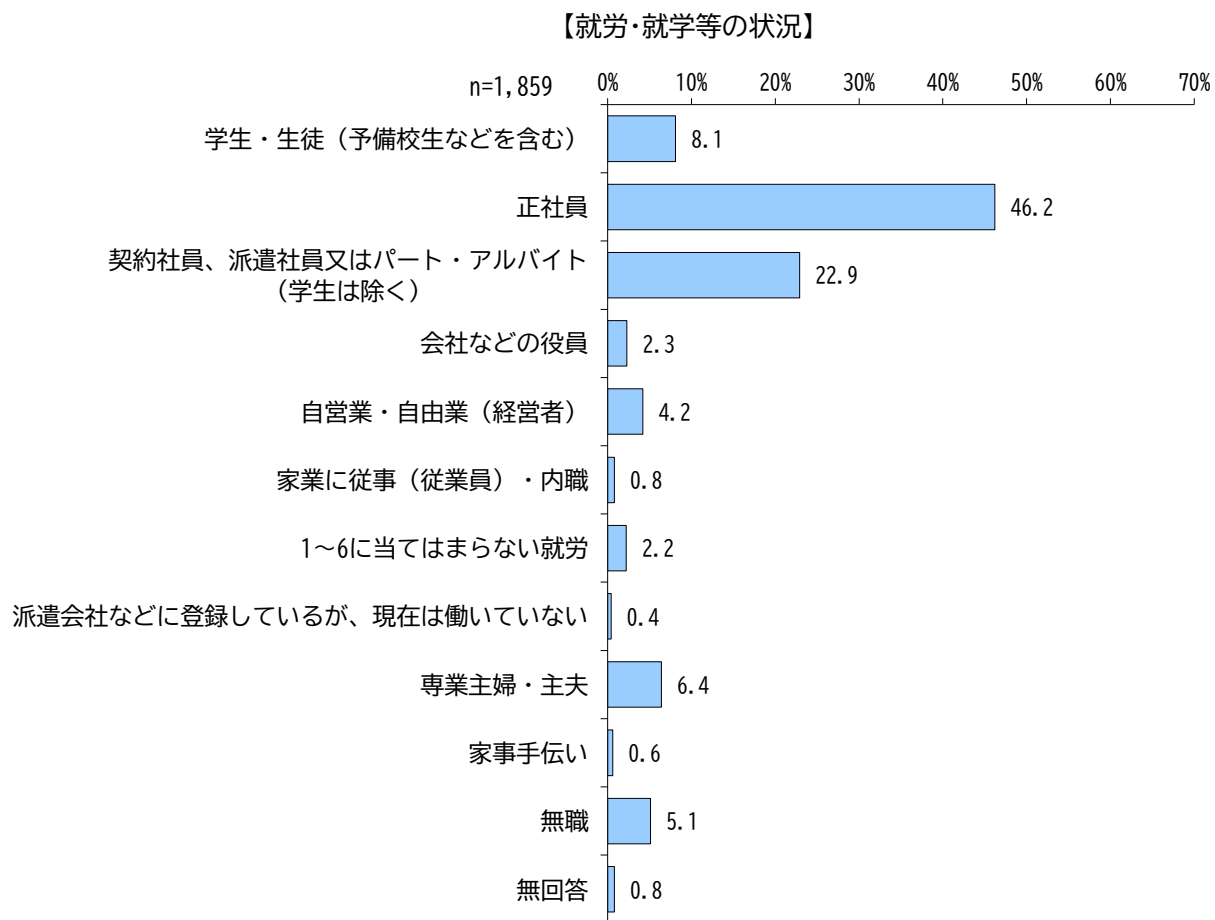
性別にみると、「大学・大学院」と回答した割合は、男性で54.2%、女性で34.2%となっており、「専修学校・専門学校」と「高等専門学校・短期大学」を合わせた割合は、男性で13.7%、女性で38.1%となっている。



年齢別にみると、「高等学校」、「高等専門学校・短期大学」と回答した割合は、年齢の高い層ほど高い傾向がみられ、「大学・大学院」と回答した割合は、年齢の低い層ほど高い傾向がみられる。

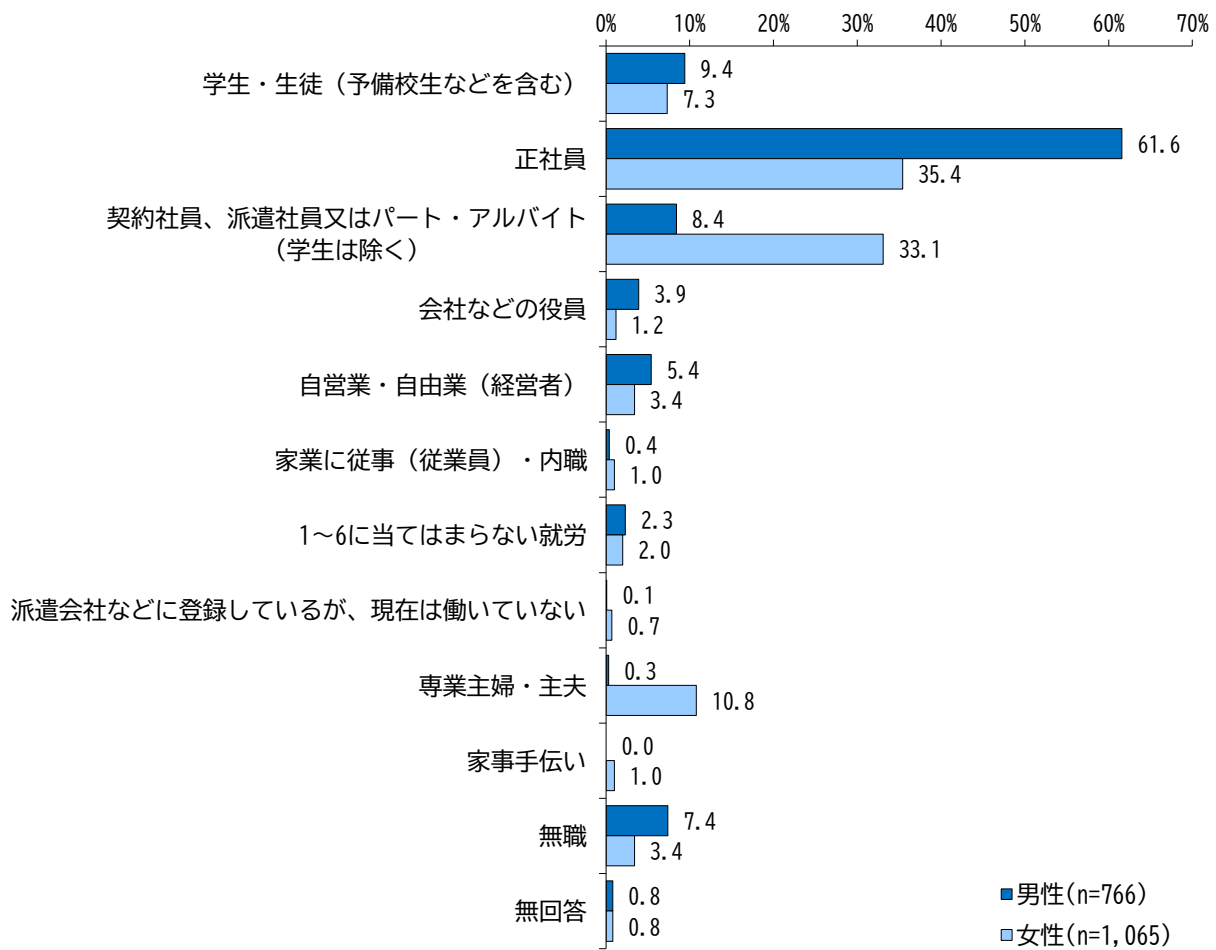
(2) 就労・就学等の状況

問11 あなたの現在の仕事をお答えください。(○はひとつだけ)



就労・就学等の状況について、「正社員」と回答した割合が46.2%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト (学生は除く)」と回答した割合が22.9%となっている。

【就労・就学等の状況(性別)】



性別にみると、「正社員」と回答した割合は、男性で61.6%、女性で35.4%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」と回答した割合は、男性で8.4%、女性で33.1%となっている。

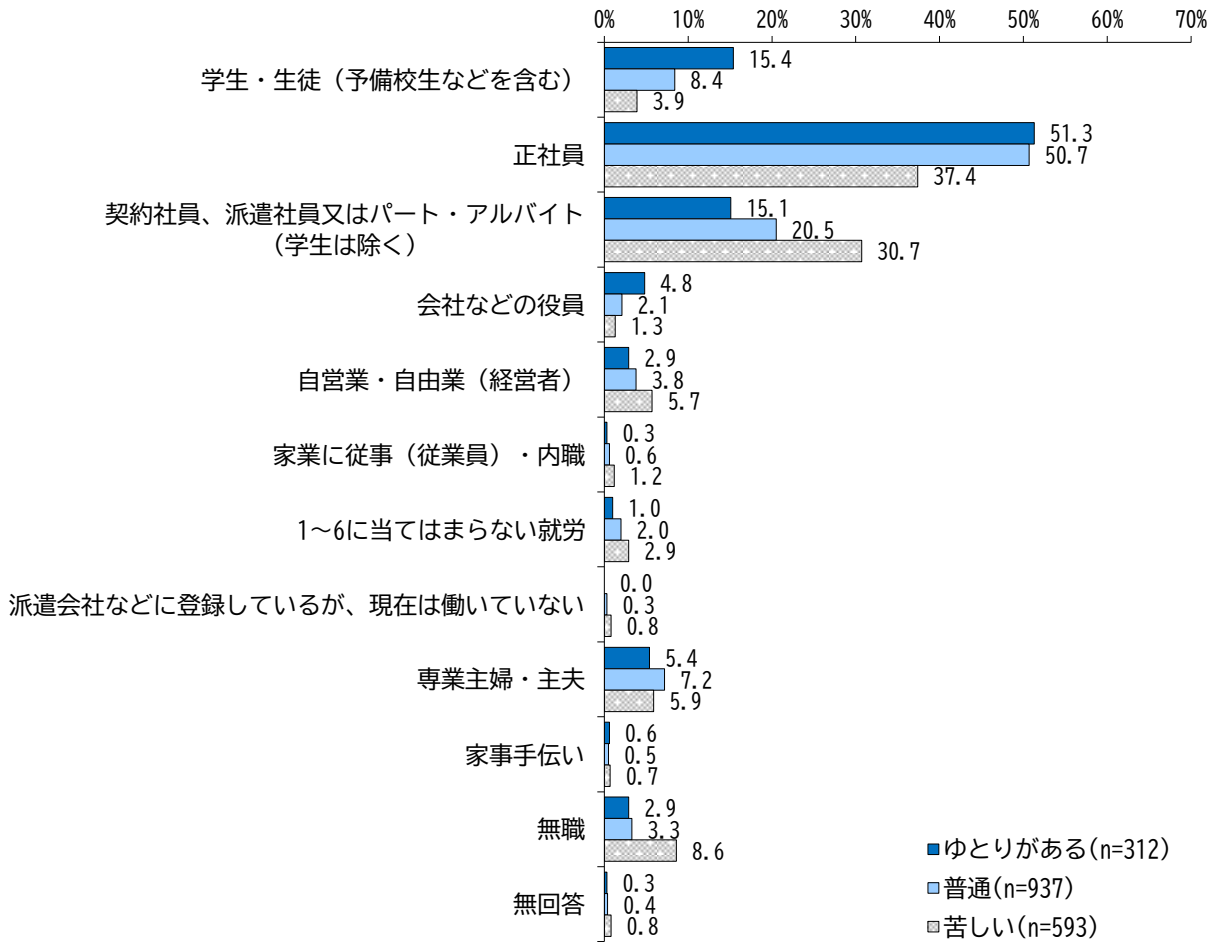
【就労・就学等の状況(性・年齢別)】

	回答数	学生・生徒(予備校生などを含む)	正社員	契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生は除く)	会社などの役員	自営業・自由業(経営者)	家業に従事(従業員)・内職	1～6に当てはまらない就労	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
男性 15歳～19歳	53	98.1%	-	1.9%	-	-	-	-	
20歳～29歳	86	22.1%	61.6%	8.1%	-	1.2%	-	1.2%	
30歳～39歳	116	0.9%	73.3%	8.6%	4.3%	1.7%	0.9%	1.7%	
40歳～49歳	158	-	79.1%	5.1%	1.9%	6.3%	-	1.9%	
50歳～59歳	238	-	66.4%	7.6%	5.9%	8.4%	0.8%	2.1%	
60歳～64歳	113	-	45.1%	17.7%	7.1%	6.2%	-	6.2%	
女性 15歳～19歳	60	96.7%	-	-	-	-	-	1.7%	
20歳～29歳	120	16.7%	60.8%	14.2%	0.8%	0.8%	-	0.8%	
30歳～39歳	162	-	53.1%	26.5%	-	1.9%	-	2.5%	
40歳～49歳	242	-	37.2%	42.1%	0.4%	4.5%	2.1%	1.7%	
50歳～59歳	323	-	32.2%	41.5%	2.5%	4.3%	0.9%	1.5%	
60歳～64歳	157	-	14.6%	35.7%	1.9%	4.5%	1.9%	3.8%	

	回答数	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職	無回答
男性 15歳～19歳	53	-	-	-	-
20歳～29歳	86	-	-	5.8%	-
30歳～39歳	116	-	-	8.6%	-
40歳～49歳	158	-	-	5.7%	-
50歳～59歳	238	0.4%	-	7.6%	0.8%
60歳～64歳	113	0.9%	-	13.3%	2.7%
女性 15歳～19歳	60	-	1.7%	-	-
20歳～29歳	120	1.7%	-	4.2%	-
30歳～39歳	162	13.0%	0.6%	1.2%	0.6%
40歳～49歳	242	6.6%	1.7%	2.9%	0.4%
50歳～59歳	323	10.5%	0.9%	3.4%	1.2%
60歳～64歳	157	26.8%	1.3%	7.0%	1.3%

性・年齢別にみると、男女ともに20歳～59歳のいずれの年齢層も1割未満であるが、「無職」と回答した人がいる結果となっている。

【就労・就学等の状況(暮らしの経済的状況別)】

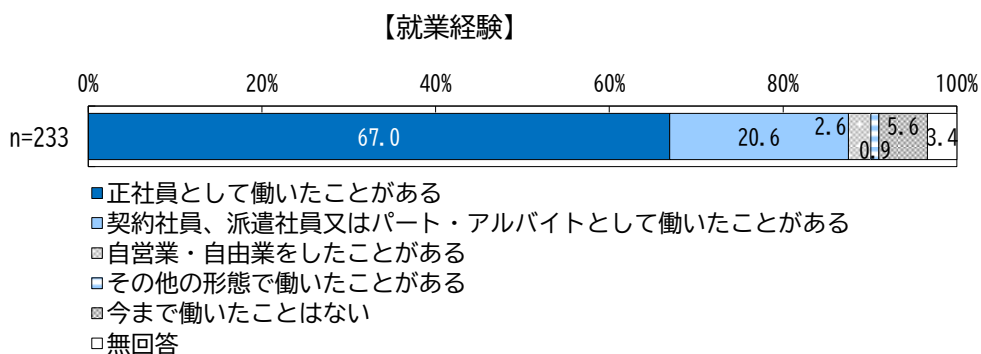


暮らしの経済的状況別にみると、「苦しい」層では、「正社員」、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生は除く)」と回答した割合が3割台であり、「無職」と回答した割合が8.6%となっている。

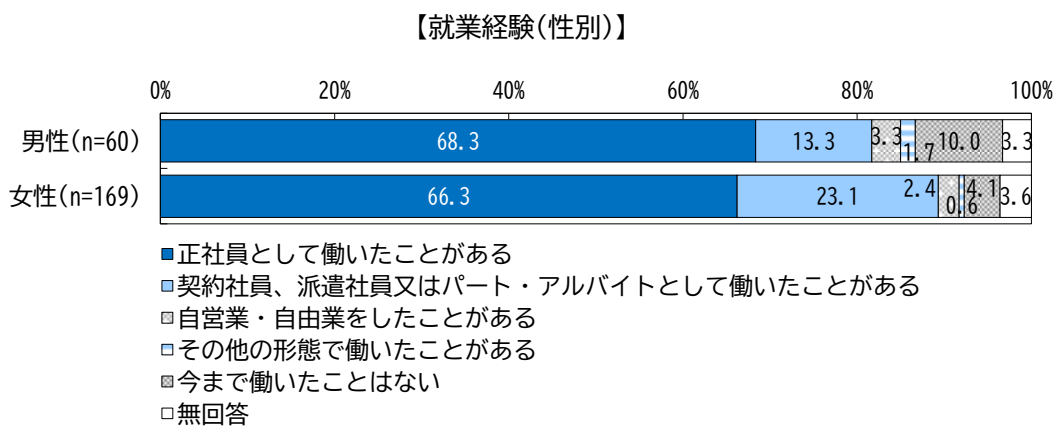
(3) 就業経験

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

問12 あなたの就業経験についてお答えください。(○はひとつだけ)



就労していない人の就業経験について、「正社員として働いたことがある」と回答した割合が67.0%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」と回答した割合が20.6%等、9割以上の方が働いた経験があり、「今まで働いたことはない」と回答した割合が5.6%となっている。

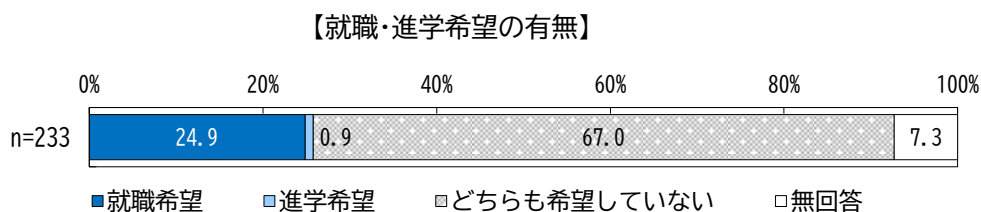


性別にみると、「今まで働いたことはない」と回答した割合は、男性で10.0%、女性で4.1%となっている。

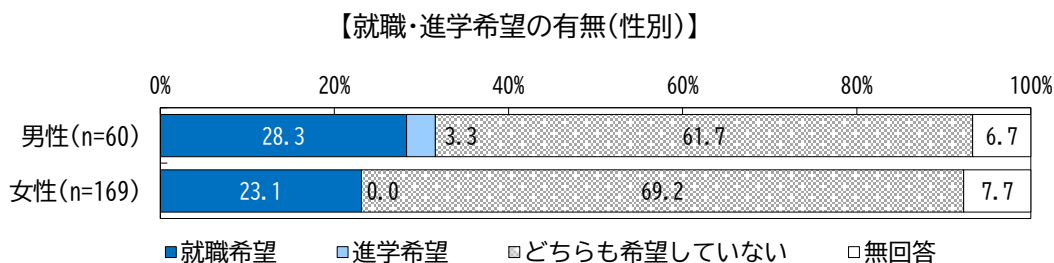
(4) 就職・進学希望の有無

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

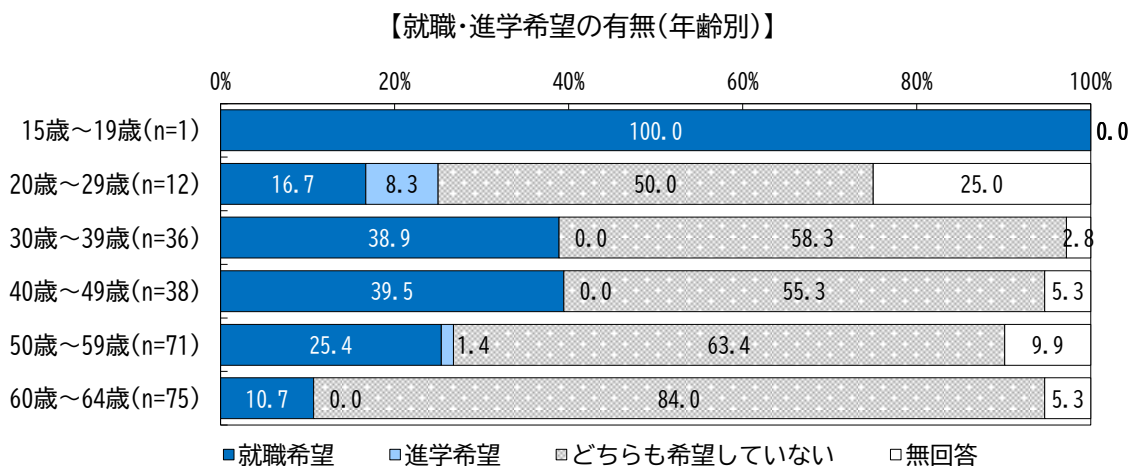
問13 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)



就労していない人の就職・進学希望の有無について、「就職希望」と回答した割合が24.9%となっている。



性別にみると、「就職希望」と回答した割合は、男性で28.3%、女性で23.1%となっている。

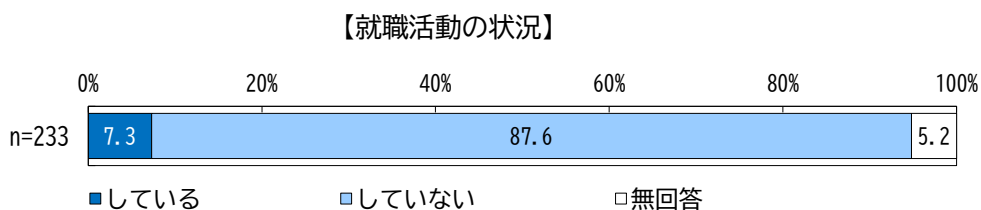


年齢別にみると、「就職希望」と回答した割合は、30歳～39歳、40歳～49歳で4割に近くとなっている。

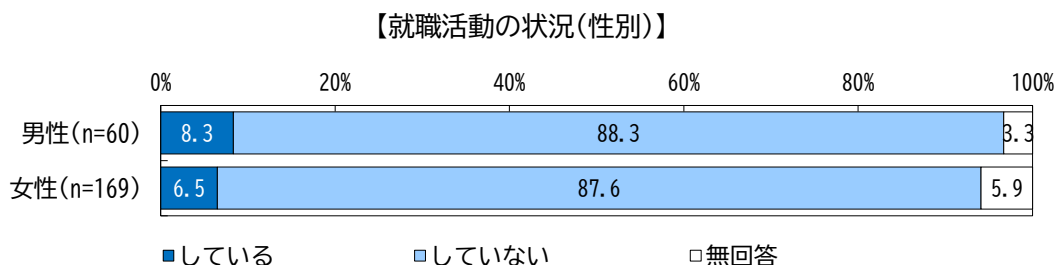
(5) 就職活動の状況

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

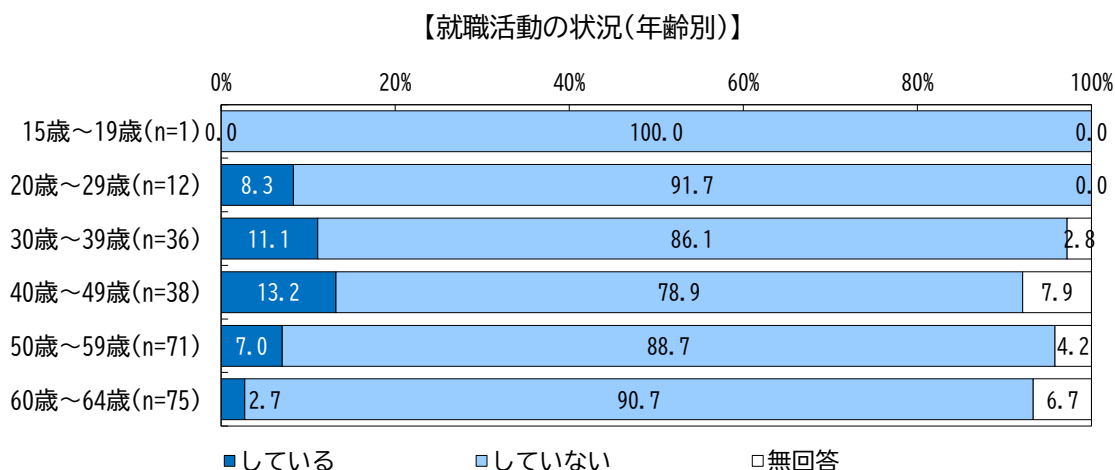
問14 現在、就職活動をしていますか。(〇はひとつだけ)



就労していない人の就職活動の状況について、就職希望がある回答は24.9%であったが、就職活動を「している」と回答した割合は7.3%となっている。



性別にみると、就職希望がある回答は男女ともに2割台であったが、就職活動を「している」と回答した割合は、男性で8.3%、女性で6.5%となっている。

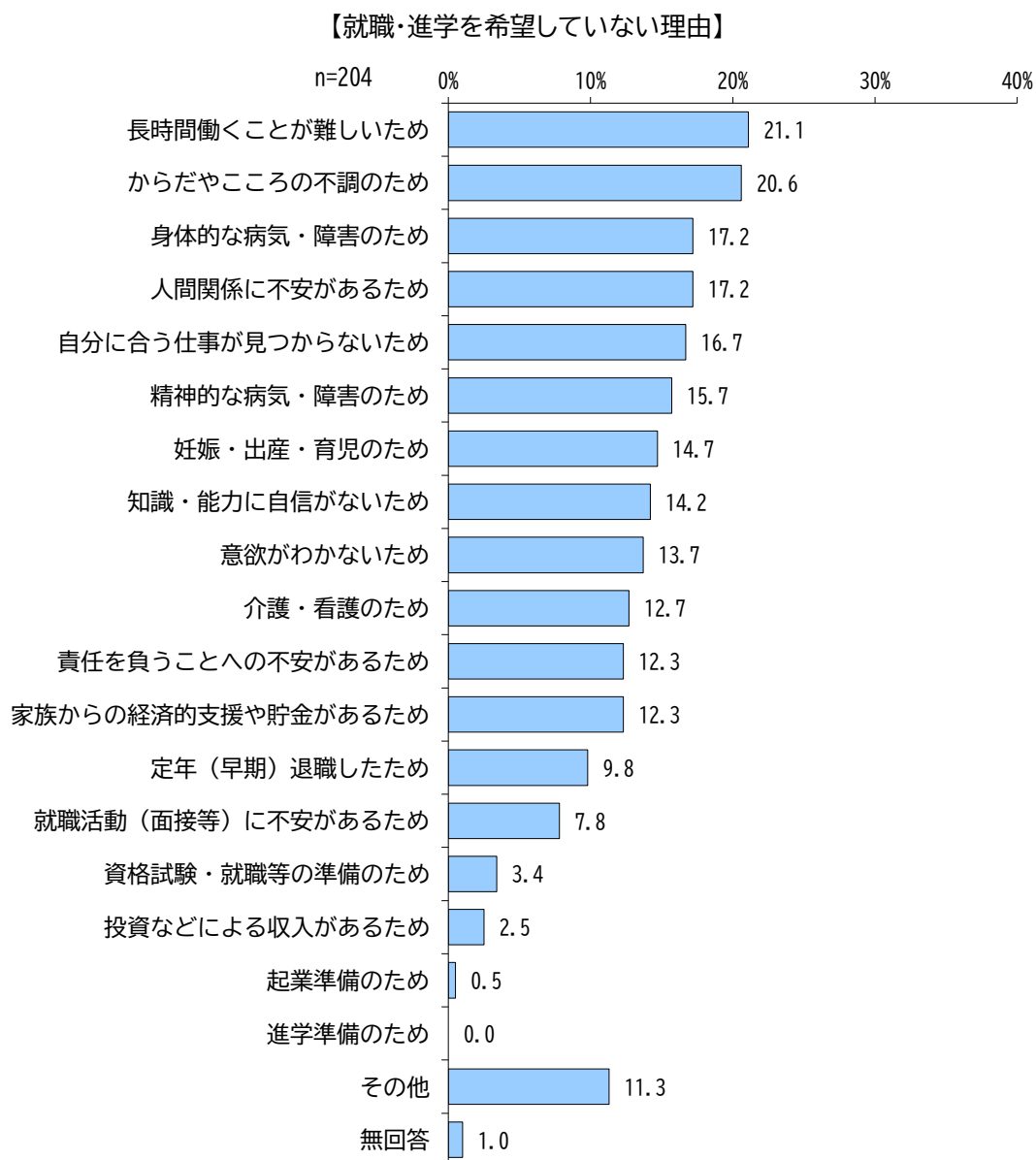


年齢別にみると、30歳～39歳、40歳～49歳では就職希望がある回答は4割に近くなっていたが、就職活動を「している」と回答した割合は、30歳～39歳で11.1%、40歳～49歳で13.2%となっている。

(6) 就職・進学を希望していない理由

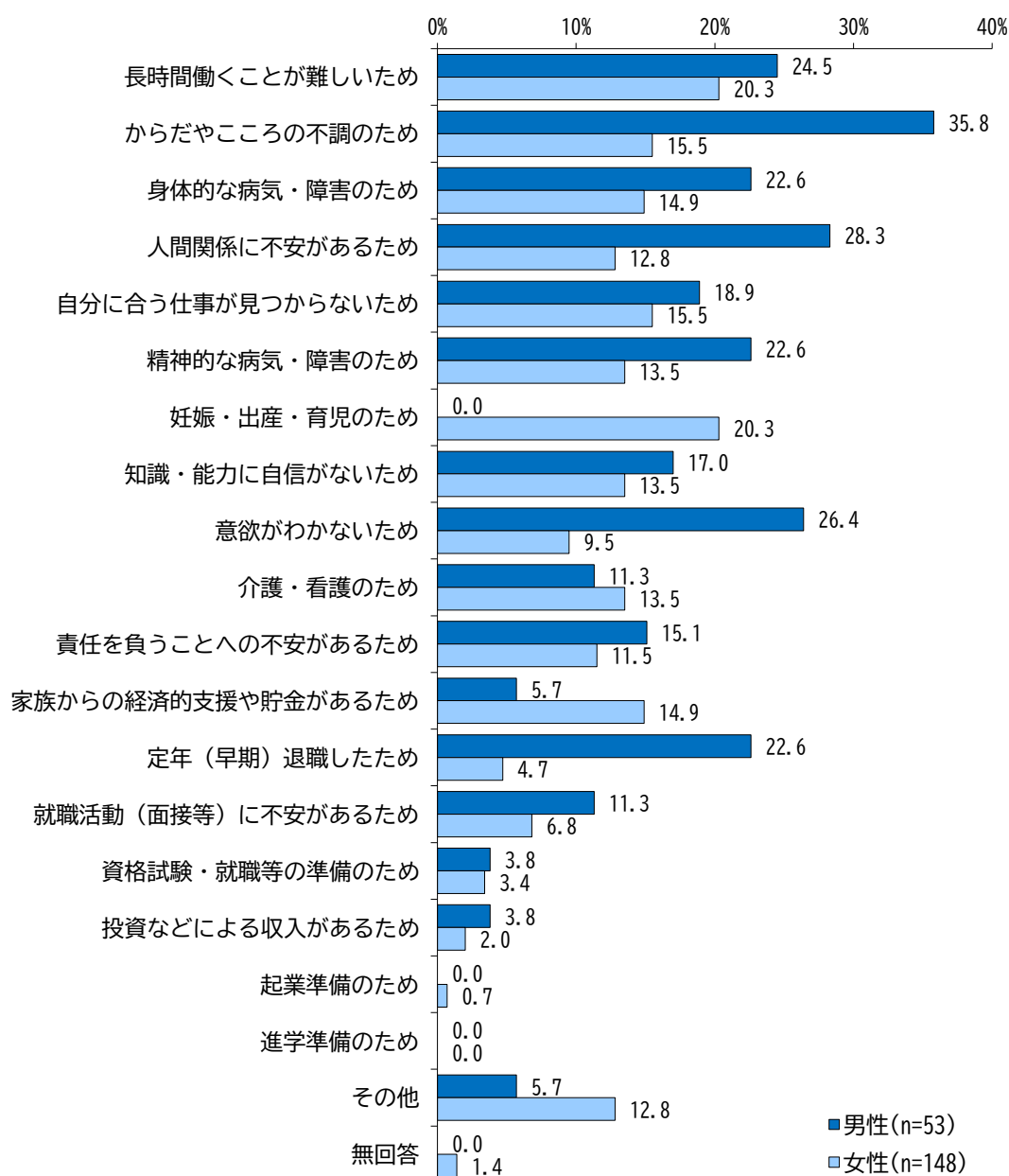
問11で「8」～「11」、かつ問14で「2 していない」と回答した人のみ回答

問15 あなたが就職・進学を希望していない、または就職活動をしていない理由についてお答えください。(〇はいくつでも)



就労していない人の就職・進学を希望していない理由について、「長時間働くことが難しいため」と回答した割合が21.1%と最も高く、「からだやこころの不調のため」(20.6%)、「身体的な病気・障害のため」(17.2%)、「人間関係に不安があるため」(17.2%)が続いている。

【就職・進学を希望していない理由(性別)】



性別にみると、男性では「からだやこころの不調のため」と回答した割合が35.8%と最も高く、「人間関係に不安があるため」(28.3%)、「意欲がわからないため」(26.4%)が続いている。

一方、女性では「長時間働くことが難しいため」、「妊娠・出産・育児のため」と回答した割合がともに20.3%と最も高く、「からだやこころの不調のため」(15.5%)、「自分に合う仕事が見つからないため」(15.5%)が続いている。

【就職・進学を希望していない理由(年齢別)】

	回答数	長時間働くことが難しいため	からだやこころの不調のため	身体的な病気・障害のため	人間関係に不安があるため	自分に合う仕事が見つからないため	精神的な病気・障害のため	妊娠・出産・育児のため	知識・能力に自信がないため
15歳～29歳	12	58.3%	41.7%	16.7%	41.7%	8.3%	41.7%	16.7%	33.3%
30歳～39歳	31	16.1%	22.6%	12.9%	16.1%	16.1%	22.6%	54.8%	19.4%
40歳～49歳	30	16.7%	20.0%	13.3%	13.3%	20.0%	16.7%	30.0%	6.7%
50歳～59歳	63	20.6%	19.0%	20.6%	22.2%	22.2%	19.0%	3.2%	14.3%
60歳～64歳	68	19.1%	17.6%	17.6%	10.3%	11.8%	4.4%	-	11.8%

	回答数	意欲がわかないため	介護・看護のため	責任を負うことへの不安があるため	家族からの経済的支援や貯金があるため	定年(早期)退職したため	就職活動(面接等)に不安があるため	資格試験・就職等の準備のため	投資などによる収入があるため
15歳～29歳	12	25.0%	-	33.3%	8.3%	-	33.3%	8.3%	-
30歳～39歳	31	9.7%	-	16.1%	3.2%	-	6.5%	3.2%	-
40歳～49歳	30	6.7%	3.3%	6.7%	6.7%	-	-	13.3%	-
50歳～59歳	63	20.6%	20.6%	11.1%	15.9%	6.3%	11.1%	-	3.2%
60歳～64歳	68	10.3%	17.6%	10.3%	16.2%	23.5%	4.4%	1.5%	4.4%

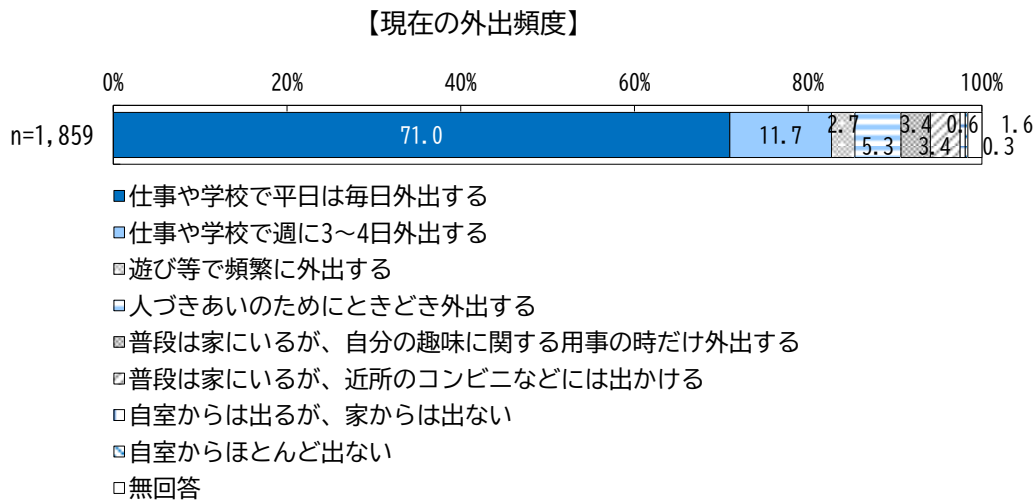
	回答数	起業準備のため	進学準備のため	その他	無回答
15歳～29歳	12	-	-	-	-
30歳～39歳	31	-	-	6.5%	-
40歳～49歳	30	-	-	16.7%	-
50歳～59歳	63	-	-	15.9%	-
60歳～64歳	68	1.5%	-	8.8%	2.9%

年齢別にみると、「からだやこころの不調のため」と回答した割合は、15歳～29歳で41.7%、30歳～39歳で22.6%、「人間関係に不安があるため」と回答した割合は、15歳～29歳で41.7%、50歳～59歳で22.2%、「精神的な病気・障害のため」と回答した割合は、15歳～29歳で41.7%、30歳～39歳で22.6%となっている。

4 活動状況について

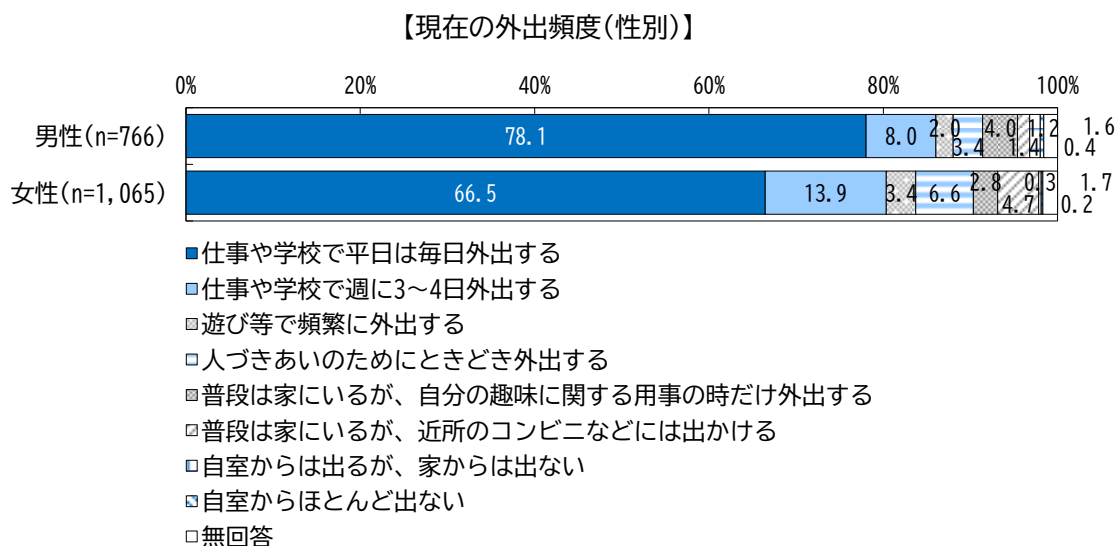
(1) 現在の外出頻度

問16 あなたは現在、どのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)



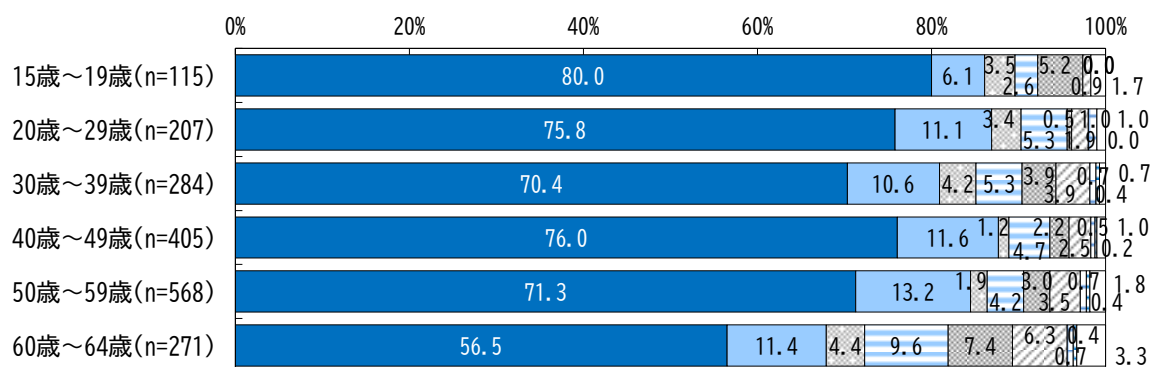
現在の外出頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」と回答した割合が71.0%となっている。

外出頻度が低い状態にある人についてみると、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が3.4%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が3.4%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が0.6%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が0.3%となっており、すべてを合わせると7.7%となっている。



性別にみると、外出頻度が低い状態にある人の割合は、男性で7.0%、女性で8.0%となっている。

【現在の外出頻度(年齢別)】



- 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 仕事や学校で週に3~4日外出する
- 遊び等で頻繁に外出する
- 人づきあいのためにときどき外出する
- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない
- 無回答

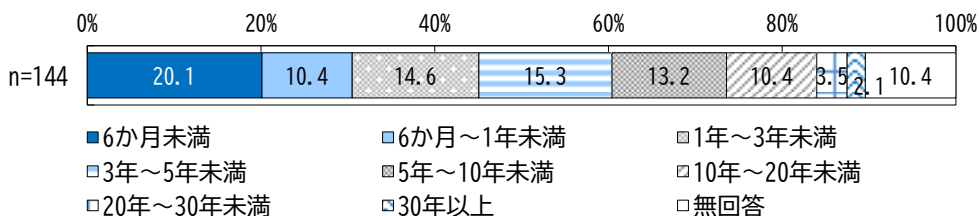
年齢別にみると、外出頻度が低い状態にある人の割合は、15歳~19歳で6.1%、20歳~29歳で3.4%、30歳~39歳で8.9%、40歳~49歳で5.4%、50歳~59歳で7.6%、60歳~64歳で14.8%となっている。

(2) 外出できなくなってしまう期間

問16で「5」～「8」と回答した人のみ回答

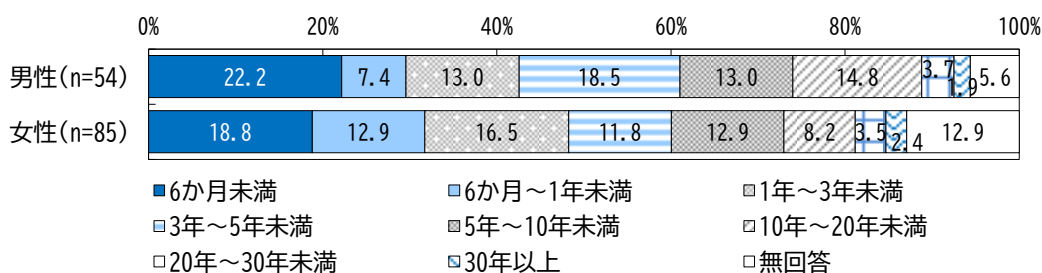
問17 あなたが、以前に比べて外出できなくなってしまうからこれまでの期間はどのくらいですか。
(○はひとつだけ)

【外出できなくなってしまう期間】



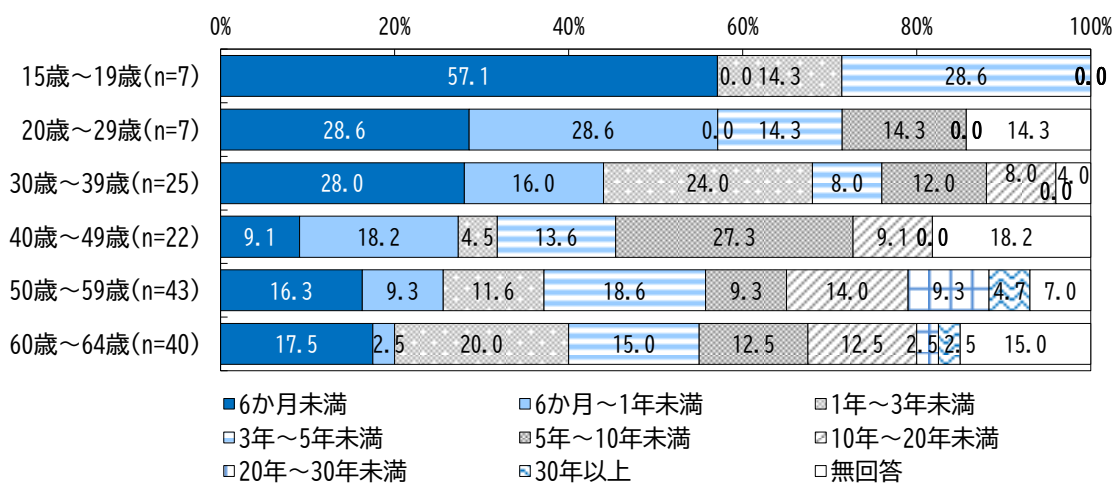
外出できなくなってしまう期間について、「6か月未満」と回答した割合が20.1%、『6か月以上』と回答した割合が69.5%となっている。

【外出できなくなってしまう期間(性別)】



性別にみると、『6か月以上』と回答した割合は、男性で72.3%、女性で68.2%となっている。

【外出できなくなってしまう期間(年齢別)】

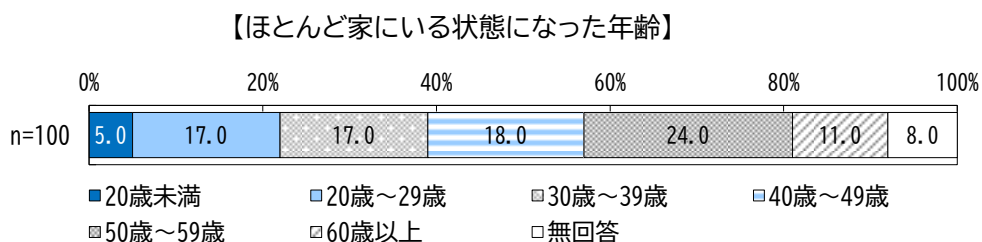


年齢別にみると、『6か月以上』と回答した割合は、40歳～49歳、50歳～59歳で7割を超えている。

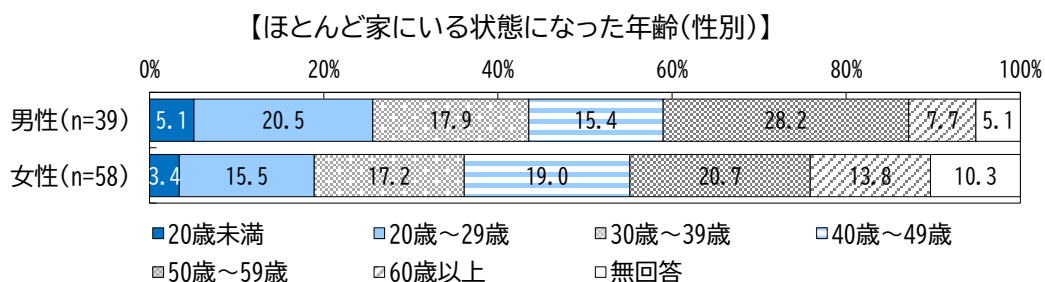
(3) ほとんど家にいる状態になった年齢

問17で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問18 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

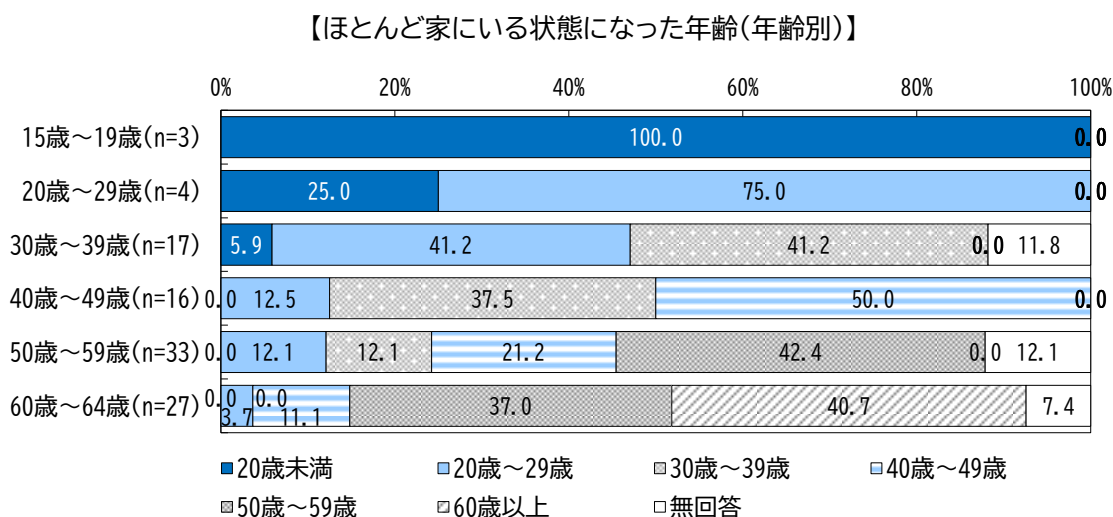


ほとんど家にいる状態になった年齢について、「50歳～59歳」と回答した割合が24.0%と最も高くなっており、40歳未満（「20歳未満」+「20歳～29歳」+「30歳～39歳」）の割合が39.0%となっている。



性別にみると、「50歳～59歳」と回答した割合は、男性で28.2%、女性で20.7%となっている。

また、40歳未満の割合は、男性で43.5%、女性で36.1%となっている。

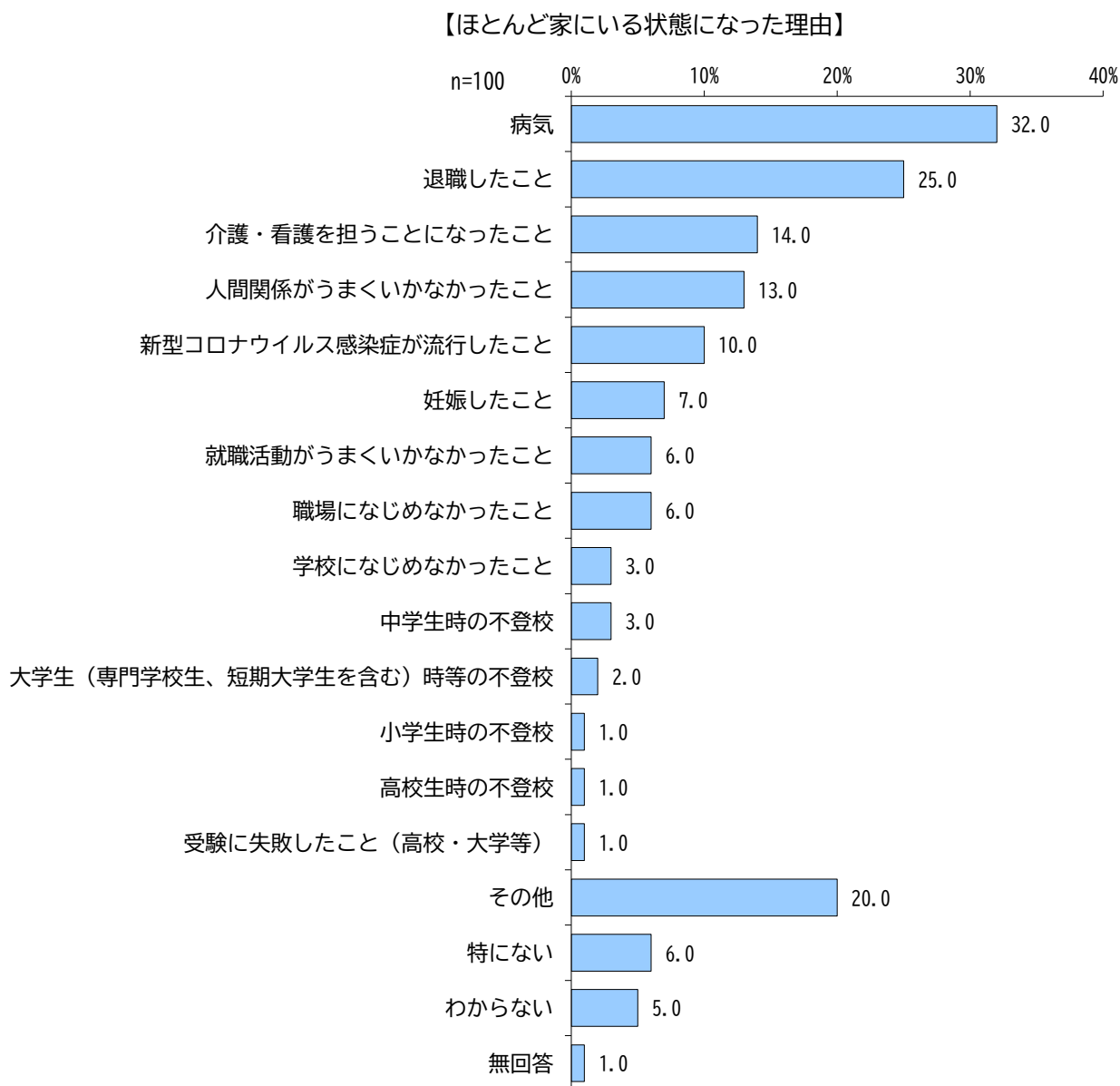


年齢別にみると、それぞれ本人の年齢区分と一つ前の年齢区分の割合が高くなっており、「20歳～29歳」と回答した割合が、40歳～49歳で12.5%、50歳～59歳で12.1%、60歳～64歳で3.7%となっている。

(4) ほとんど家にいる状態になった理由

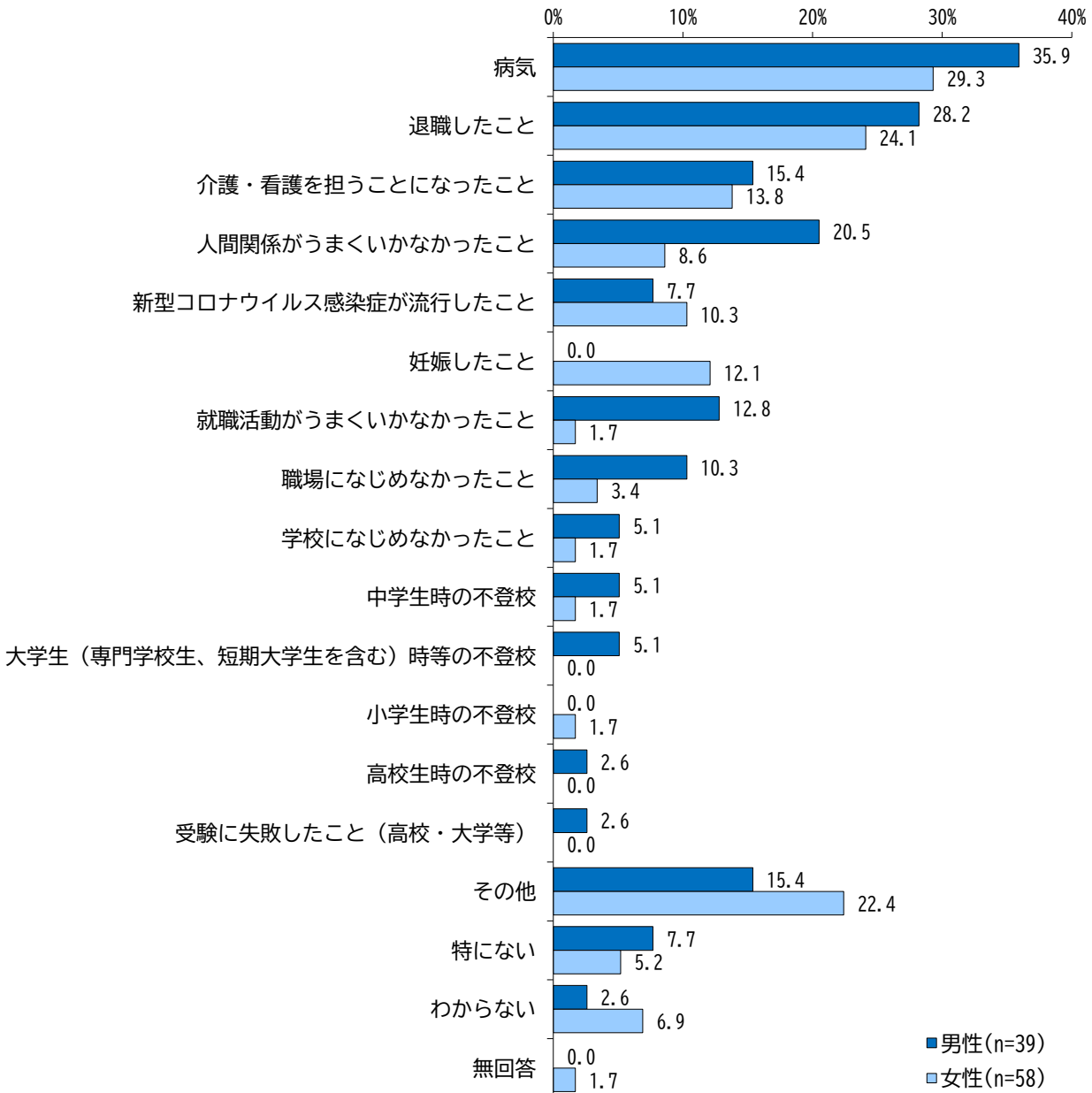
問17で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)



ほとんど家にいる状態になった理由について、「病気」と回答した割合が32.0%と最も高く、「退職したこと」(25.0%)、「介護・看護を担うことになったこと」(14.0%)、「人間関係がうまくいかなかったこと」(13.0%)、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」(10.0%)が続いている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(性別)】



性別にみると、男性では「病気」と回答した割合が35.9%と最も高く、「退職したこと」（28.2%）、「人間関係がうまくいかなかったこと」（20.5%）が続いている。

一方、女性では「病気」と回答した割合が29.3%と最も高く、次いで「退職したこと」（24.1%）となっている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(年齢別)】

	回答数	病気	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	妊娠したこと	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと
15歳～19歳	3	33.3%	-	-	33.3%	-	-	-	-
20歳～29歳	4	-	25.0%	-	50.0%	-	50.0%	25.0%	25.0%
30歳～39歳	17	29.4%	17.6%	-	11.8%	5.9%	29.4%	-	-
40歳～49歳	16	37.5%	6.3%	6.3%	6.3%	18.8%	-	12.5%	6.3%
50歳～59歳	33	39.4%	36.4%	21.2%	15.2%	15.2%	-	9.1%	9.1%
60歳～64歳	27	25.9%	29.6%	22.2%	7.4%	3.7%	-	-	3.7%

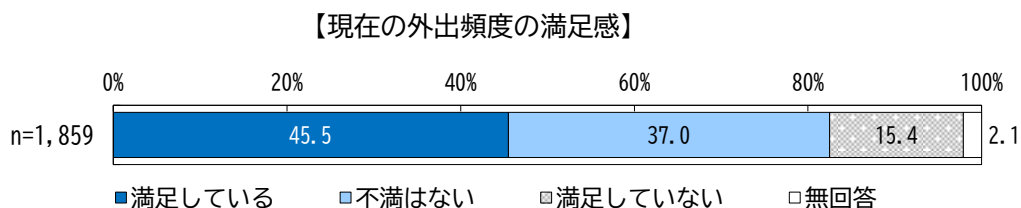
	回答数	学校になじめなかったこと	中学生時の不登校	大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校	小学生時の不登校	高校生時の不登校	受験に失敗したこと（高校・大学等）	その他	特にない
15歳～19歳	3	33.3%	66.7%	-	33.3%	-	-	-	-
20歳～29歳	4	50.0%	-	50.0%	-	25.0%	25.0%	-	-
30歳～39歳	17	-	-	-	-	-	-	41.2%	5.9%
40歳～49歳	16	-	-	-	-	-	-	12.5%	6.3%
50歳～59歳	33	-	3.0%	-	-	-	-	18.2%	3.0%
60歳～64歳	27	-	-	-	-	-	-	18.5%	11.1%

	回答数	わからない	無回答
15歳～19歳	3	-	-
20歳～29歳	4	-	-
30歳～39歳	17	5.9%	-
40歳～49歳	16	6.3%	-
50歳～59歳	33	3.0%	-
60歳～64歳	27	7.4%	3.7%

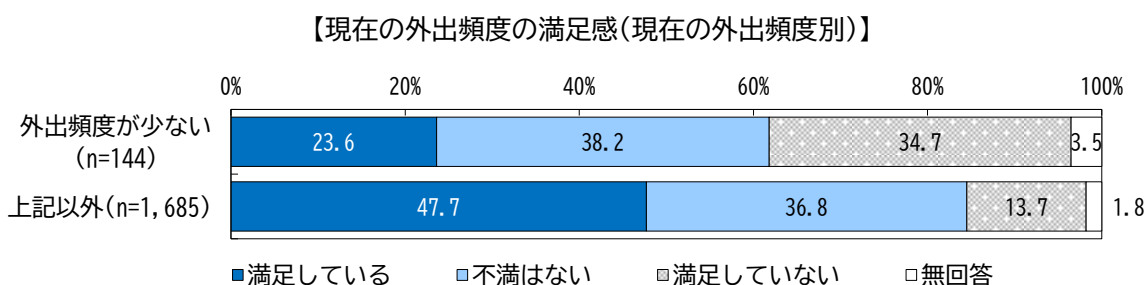
年齢別にみると、回答数は少ないが、15歳～19歳では「中学生時の不登校」、20歳～29歳では「人間関係がうまくいかなかったこと」、「妊娠したこと」、「学校になじめなかったこと」、「大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校」、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「病気」、60歳～64歳では「退職したこと」が最も高くなっている。

(5) 現在の外出頻度の満足感

問20 あなたは現在の外出頻度に満足していますか。(○はひとつだけ)



現在の外出頻度の満足感について、「満足している」と回答した割合が45.5%、「不満はない」と回答した割合が37.0%、「満足していない」と回答した割合が15.4%となっている。

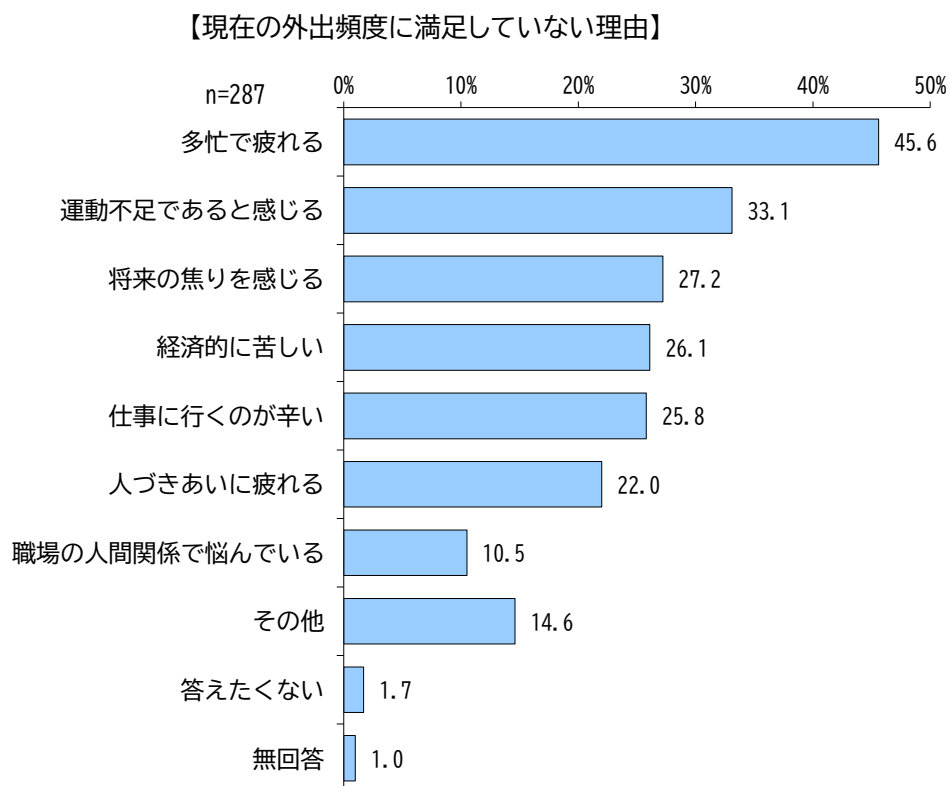


現在の外出頻度別にみると、外出頻度が少ない層では、「満足している」と回答した割合が23.6%、「不満はない」と回答した割合が38.2%、「満足していない」と回答した割合が34.7%となっている。

(6) 現在の外出頻度に満足していない理由

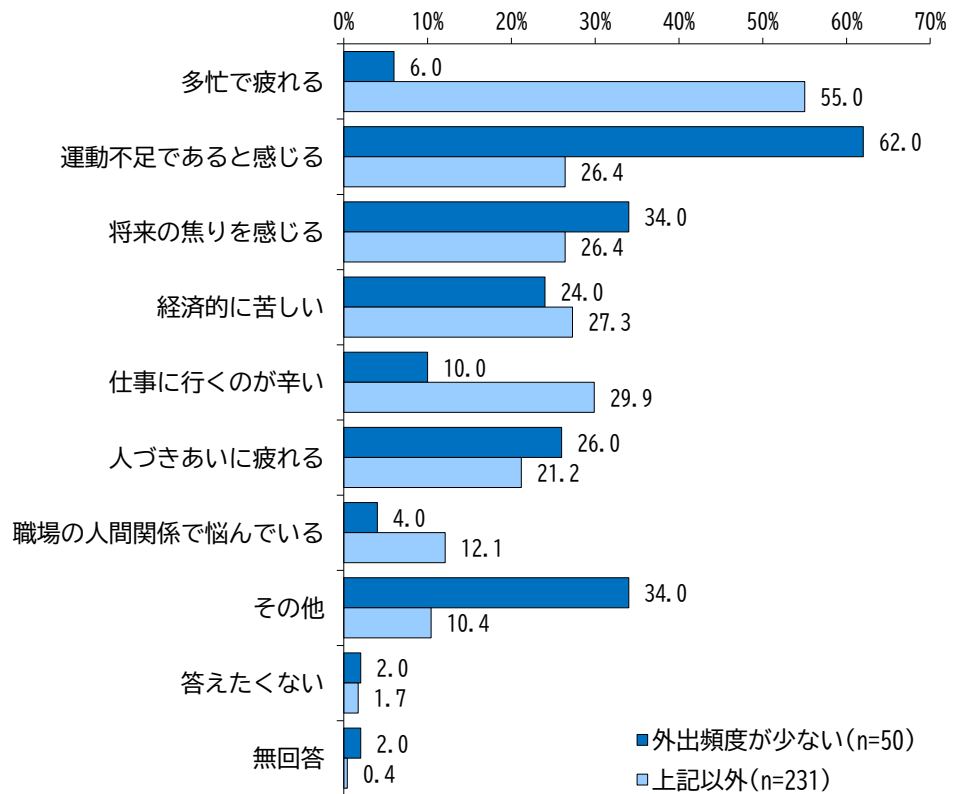
問20で「3 満足していない」と回答した人のみ回答

問21 満足していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



現在の外出頻度に満足していない理由について、「多忙で疲れる」と回答した割合が45.6%と最も高く、「運動不足であると感じる」(33.1%)、「将来の焦りを感じる」(27.2%)、「経済的に苦しい」(26.1%)、「仕事に行くのが辛い」(25.8%)、「人づきあいに疲れる」(22.0%)が続いている。

【現在の外出頻度に満足していない理由(現在の外出頻度別)】

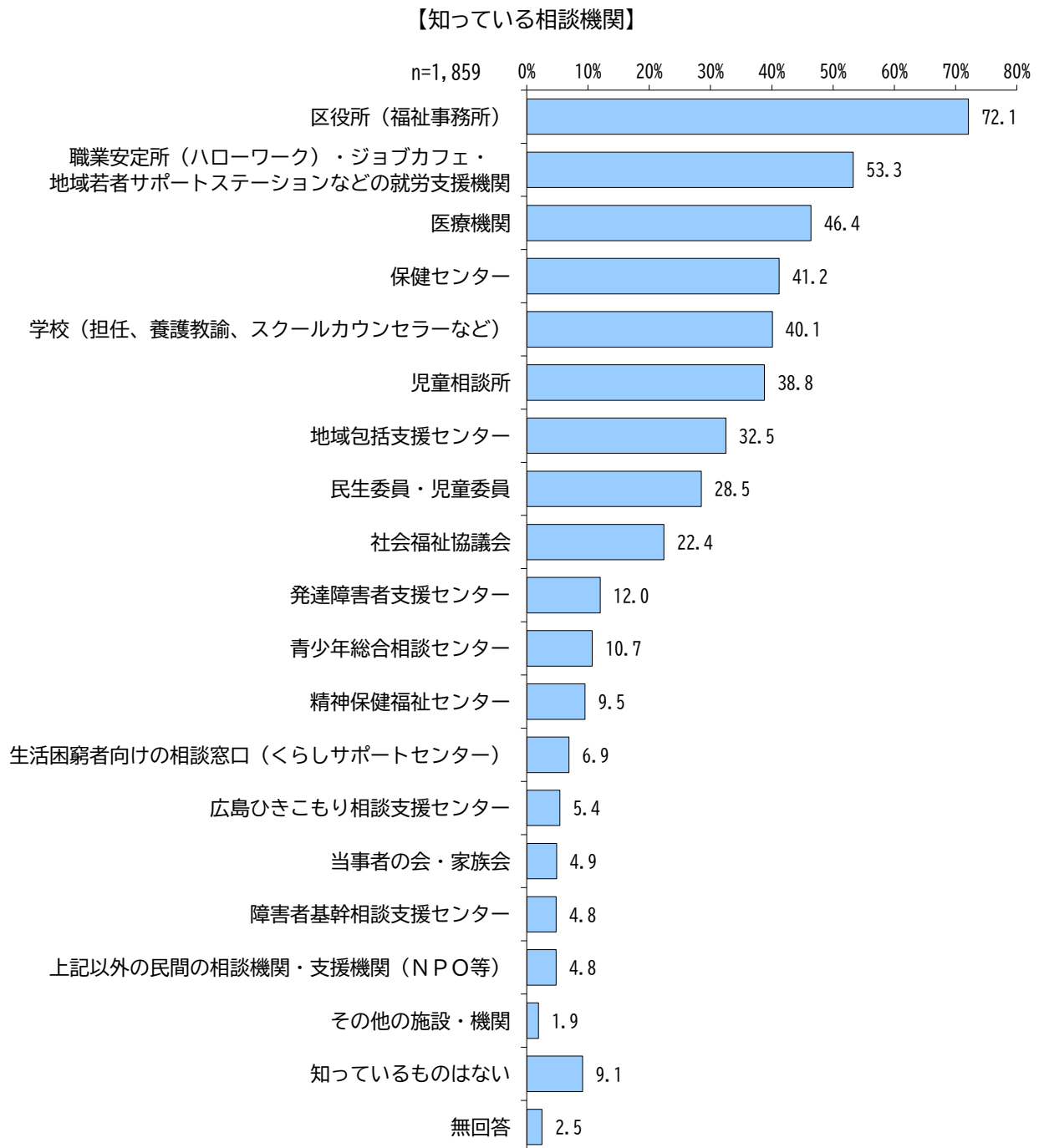


現在の外出頻度別にみると、外出頻度が少ない層では、「運動不足であると感じる」と回答した割合が62.0%と最も高く、「将来の焦りを感じる」(34.0%)、「人づきあいに疲れる」(26.0%)、「経済的に苦しい」(24.0%)が続いている。

5 困った時にする行動について

(1) 知っている相談機関

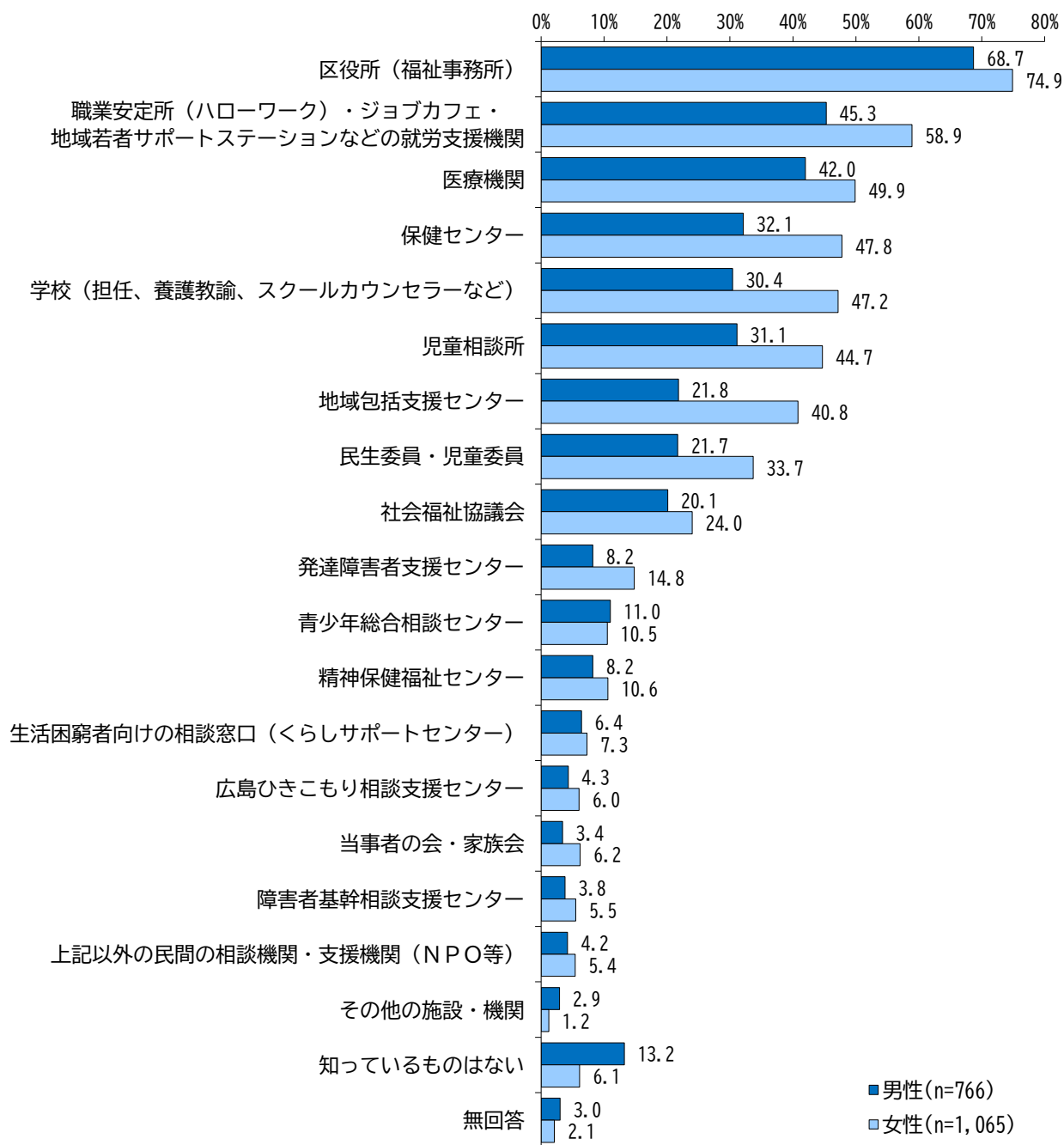
問22 あなたが知っている広島市の相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)



知っている相談機関について、「区役所(福祉事務所)」と回答した割合が72.1%と最も高く、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(53.3%)、「医療機関」(46.4%)、「保健センター」(41.2%)、「学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)」(40.1%)、「児童相談所」(38.8%)が続いている。

また、「知っているものはない」と回答した割合が9.1%となっている。

【知っている相談機関(性別)】



性別にみると、男女ともに「区役所(福祉事務所)」(男性68.7%、女性74.9%)が最も高く、次いで「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(男性45.3%、女性58.9%)となっている。

また、「知っているものはない」と回答した割合は、男性で13.2%、女性で6.1%となっている。

【知っている相談機関(年齢別)】

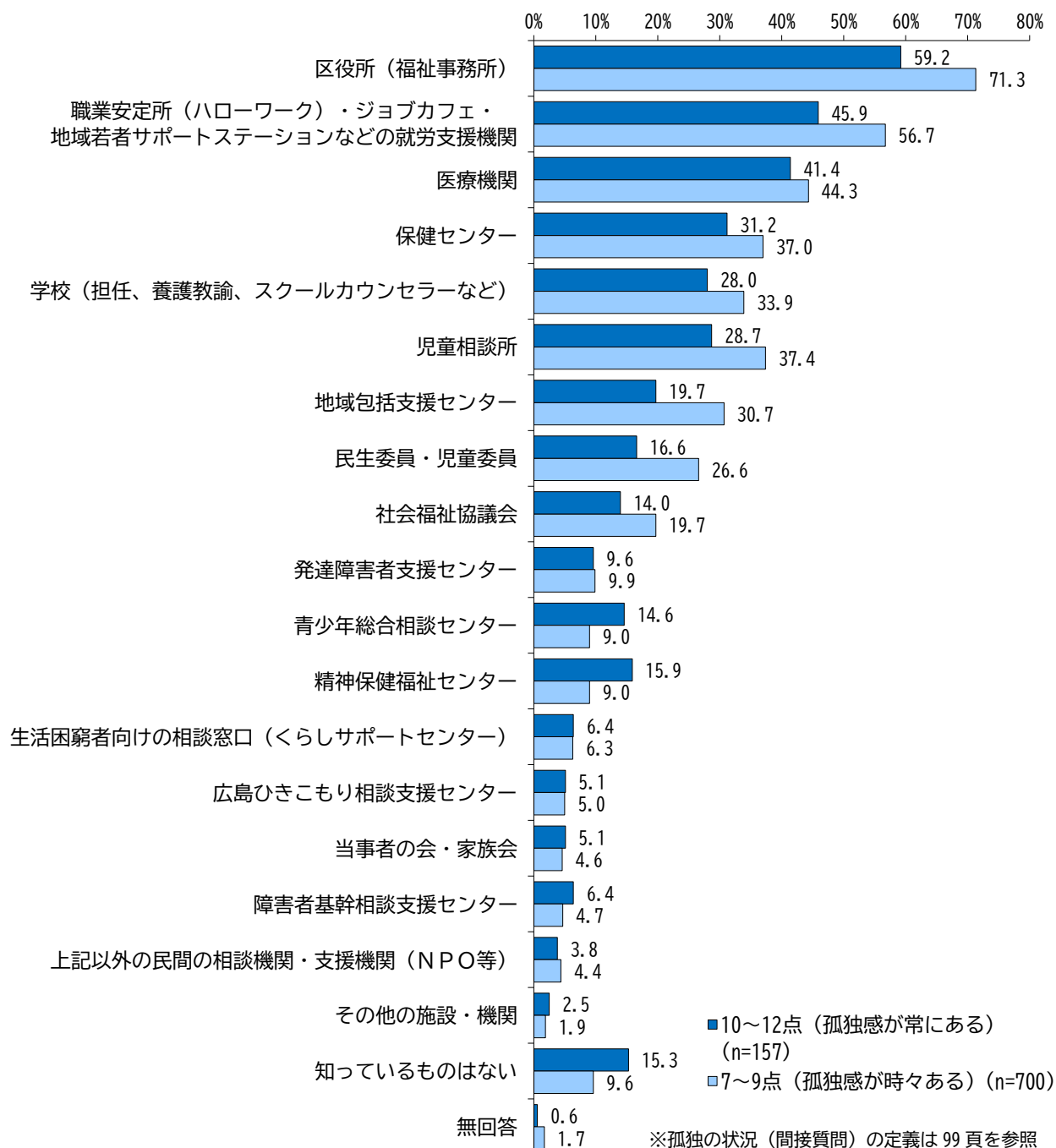
	回答数	区役所 (福祉事務所)	職業安定所 (ハローワーク)・ ジョブカフェ・地 域若者サ ポートス テーションなどの 就労支援 機関	医療機関	保健セン ター	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセラ ーなど)	児童相談 所	地域包括 支援セン ター	民生委 員・児童 委員
15歳～19歳	115	48.7%	10.4%	36.5%	36.5%	78.3%	47.8%	9.6%	7.8%
20歳～29歳	207	56.5%	34.8%	31.9%	30.4%	33.8%	33.8%	17.9%	9.2%
30歳～39歳	284	73.2%	53.5%	48.9%	45.4%	37.7%	39.1%	21.8%	19.0%
40歳～49歳	405	73.8%	55.8%	46.4%	44.2%	46.4%	40.5%	34.8%	30.4%
50歳～59歳	568	77.6%	62.7%	48.9%	41.9%	34.9%	38.6%	38.9%	35.7%
60歳～64歳	271	78.6%	61.6%	54.2%	41.0%	32.5%	37.3%	48.7%	43.9%

	回答数	社会福祉 協議会	発達障害 者支援セン ター	青少年総 合相談セン ター	精神保健 福祉セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらしサ ポートセン ター)	広島ひき こもり相 談支援セン ター	当事者の 会・家族 会	障害者基 幹相談支 援セン ター
15歳～19歳	115	7.0%	8.7%	21.7%	5.2%	3.5%	3.5%	5.2%	2.6%
20歳～29歳	207	12.1%	4.3%	7.7%	4.3%	5.3%	3.9%	1.9%	2.4%
30歳～39歳	284	14.4%	12.0%	9.5%	8.8%	6.3%	3.5%	6.0%	4.9%
40歳～49歳	405	22.5%	16.8%	13.3%	11.1%	8.9%	7.7%	6.2%	5.4%
50歳～59歳	568	28.2%	10.9%	8.6%	10.0%	6.9%	5.5%	4.8%	6.0%
60歳～64歳	271	32.8%	14.8%	10.3%	12.9%	7.0%	5.5%	4.8%	4.1%

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るものは ない	無回答
15歳～19歳	115	4.3%	-	11.3%	1.7%
20歳～29歳	207	3.4%	-	18.4%	2.9%
30歳～39歳	284	3.9%	2.8%	8.8%	2.8%
40歳～49歳	405	5.4%	3.0%	7.4%	1.5%
50歳～59歳	568	5.1%	1.8%	8.1%	2.5%
60歳～64歳	271	5.9%	1.8%	6.3%	3.3%

年齢別にみると、15歳～19歳では「学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)」、20歳以上では「区役所(福祉事務所)」が最も高くなっている。

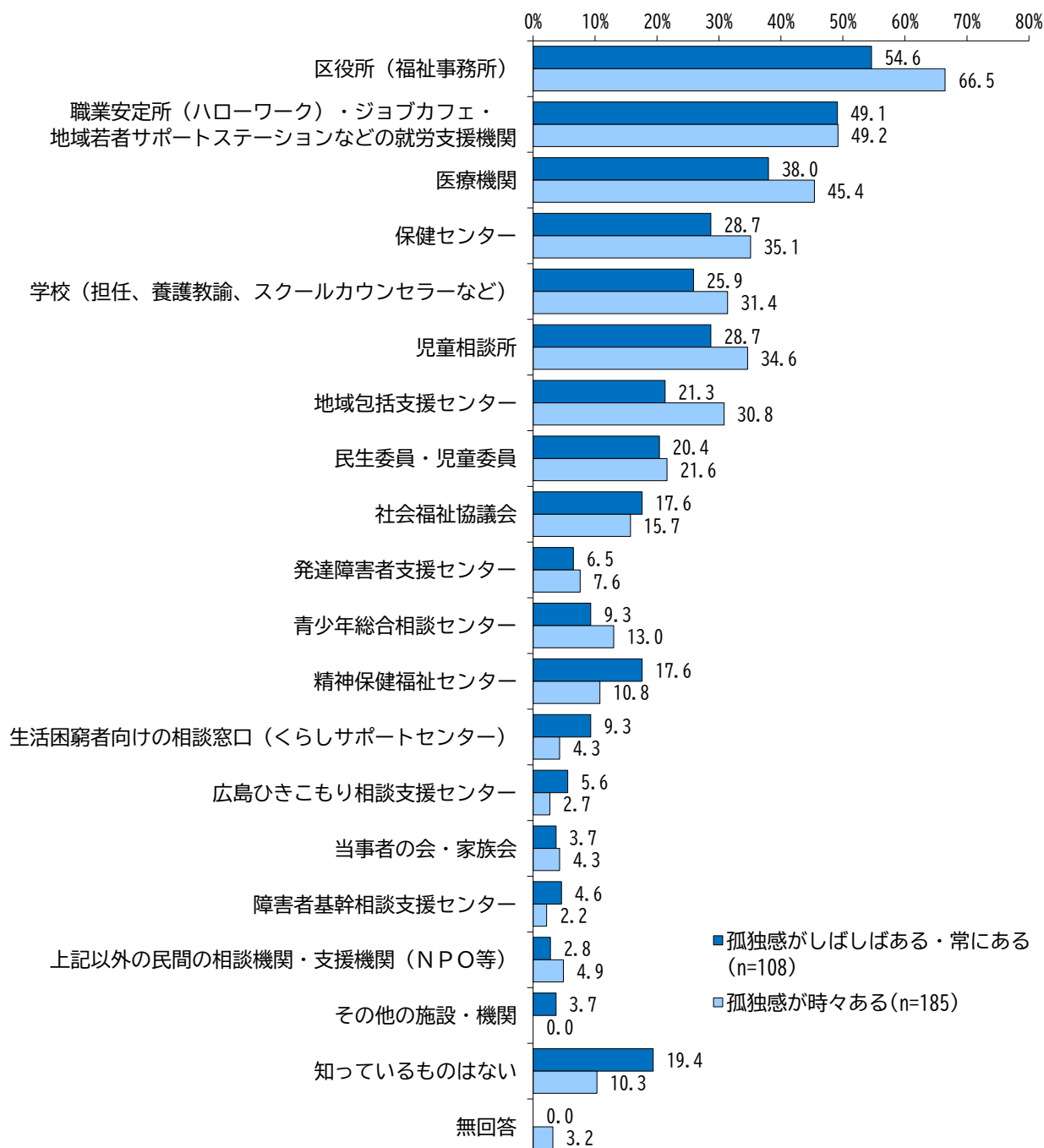
【知っている相談機関(孤独の状況(間接質問)※で7点以上の人)】



孤独の状況(間接質問)で7点以上の人では、いずれも「区役所(福祉事務所)」(「10～12点(孤独感が常にある)」59.2%、「7～9点(孤独感が時々ある)」71.3%)、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(「10～12点(孤独感が常にある)」45.9%、「7～9点(孤独感が時々ある)」56.7%)が上位となっている。

また、「知っているものはない」と回答した割合は、「10～12点(孤独感が常にある)」の層で15.3%、「7～9点(孤独感が時々ある)」の層で9.6%となっている。

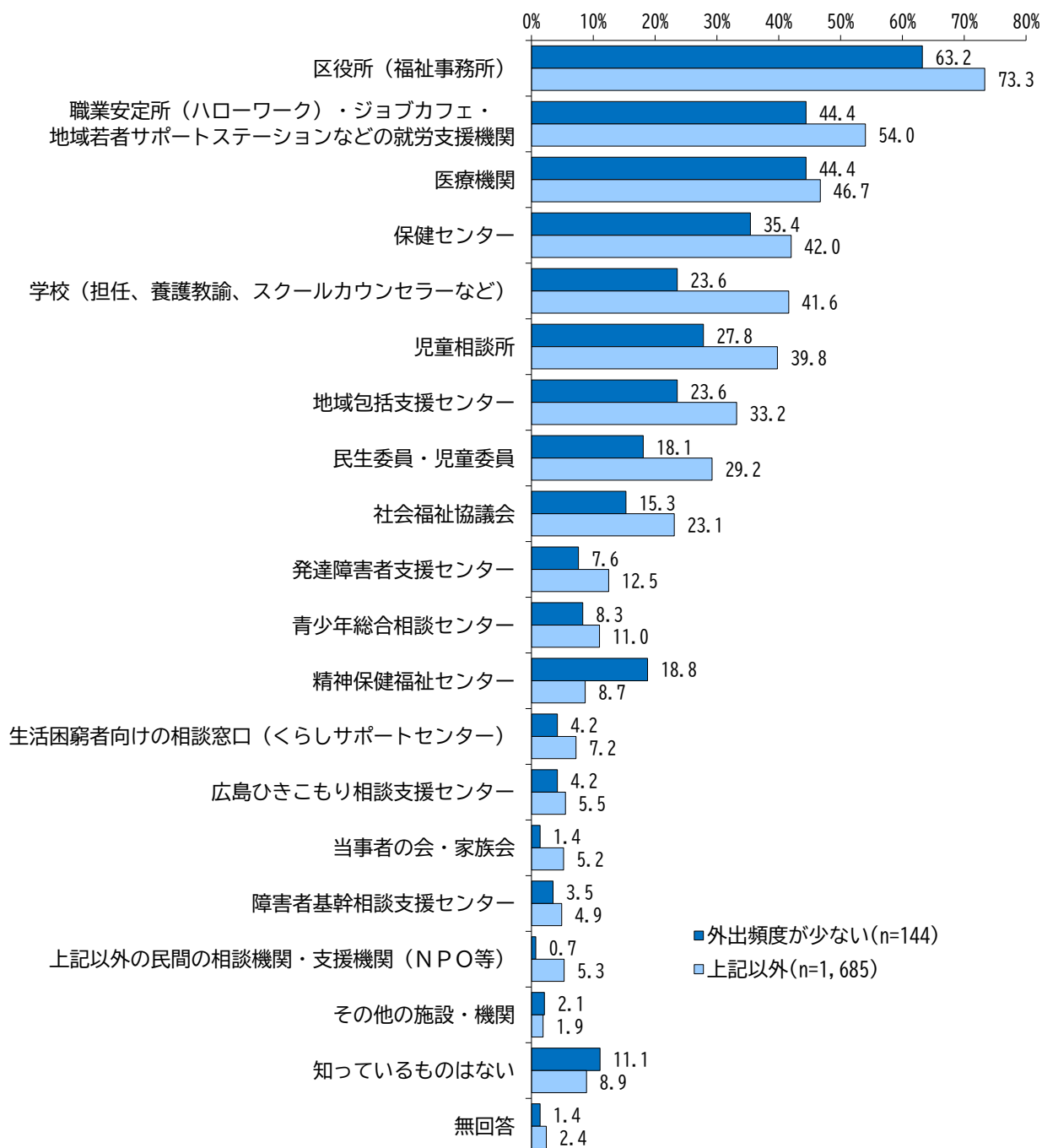
【知っている相談機関(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



孤独の状況 (直接質問) で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、いずれも「区役所 (福祉事務所)」(「孤独感がしばしばある・常にある」54.6%、「孤独感が時々ある」66.5%)、「職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(「孤独感がしばしばある・常にある」49.1%、「孤独感が時々ある」49.2%) が上位となっている。

また、「知っているものはない」と回答した割合は、「孤独感がしばしばある・常にある」層で19.4%、「孤独感が時々ある」層で10.3%となっている。

【知っている相談機関(現在の外出頻度別)】



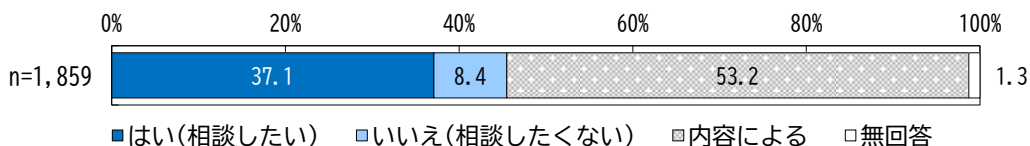
外出頻度が少ない層においても、知っている相談機関の上位は、「区役所(福祉事務所)」、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」、「医療機関」となっているが、いずれの機関の割合も、外出頻度が少ない層以外の層より低くなっている。

一方、「精神保健福祉センター」と回答した割合は、外出頻度が少ない層がそれ以外の層より高くなっている。

(2) 悩み事の相談意向

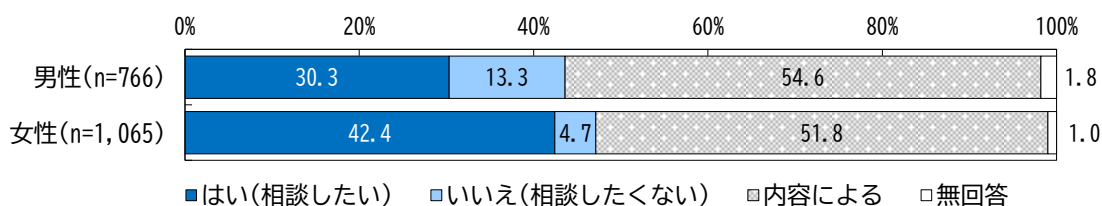
問23 あなたは普段悩み事ができた時に、他の人に相談をしたいと思いますか。
 (○はひとつだけ)

【悩み事の相談意向】



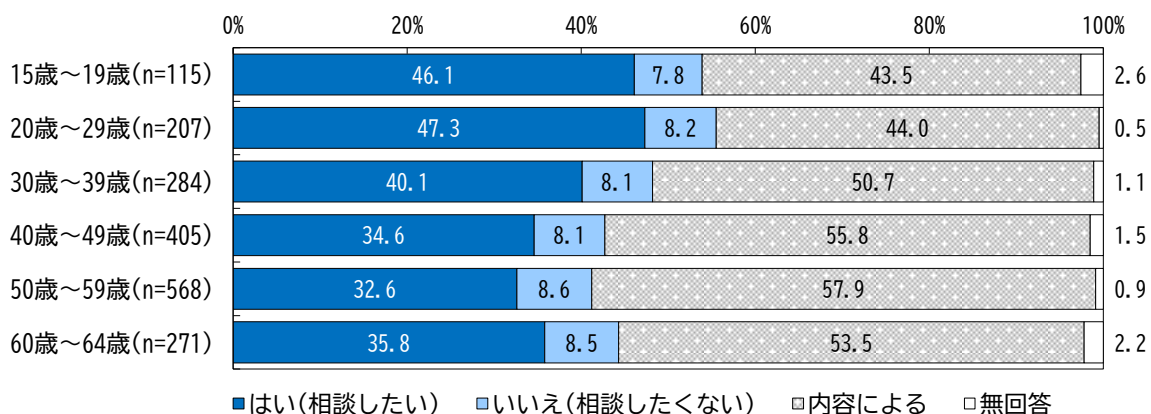
悩み事の相談意向について、「はい（相談したい）」と回答した割合が37.1%、「いいえ（相談したくない）」と回答した割合が8.4%、「内容による」と回答した割合が53.2%となっている。

【悩み事の相談意向(性別)】



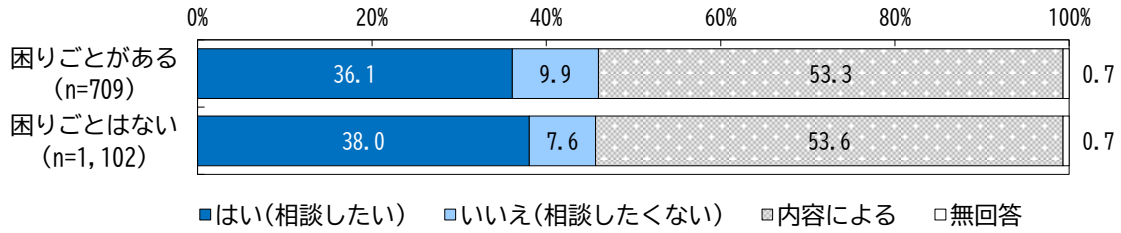
性別にみると、「はい（相談したい）」と回答した割合は、男性で30.3%、女性で42.4%となっている。

【悩み事の相談意向(年齢別)】



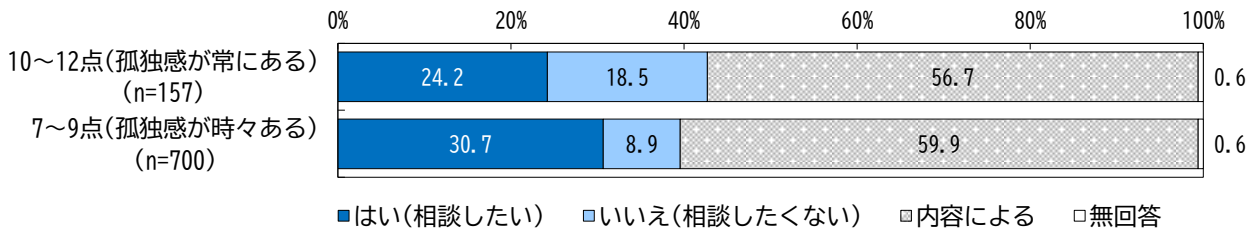
年齢別にみると、「はい（相談したい）」と回答した割合は、40歳未満では4割を超えているが、40歳以上では3割台となっている。

【悩み事の相談意向(困りごとの有無別)】



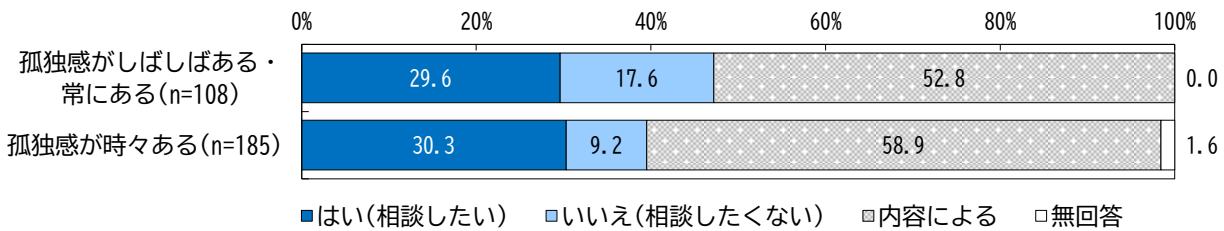
困りごとの有無別にみると、「はい（相談したい）」と回答した割合は、いずれも3割台となっている。

【悩み事の相談意向(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



孤独の状況（間接質問）で7点以上の人では、「はい（相談したい）」と回答した割合は、「10～12点（孤独感が常にある）」の層で24.2%、「7～9点（孤独感が時々ある）」の層で30.7%、「いいえ（相談したくない）」と回答した割合は、「10～12点（孤独感が常にある）」の層で18.5%、「7～9点（孤独感が時々ある）」の層で8.9%となっている。

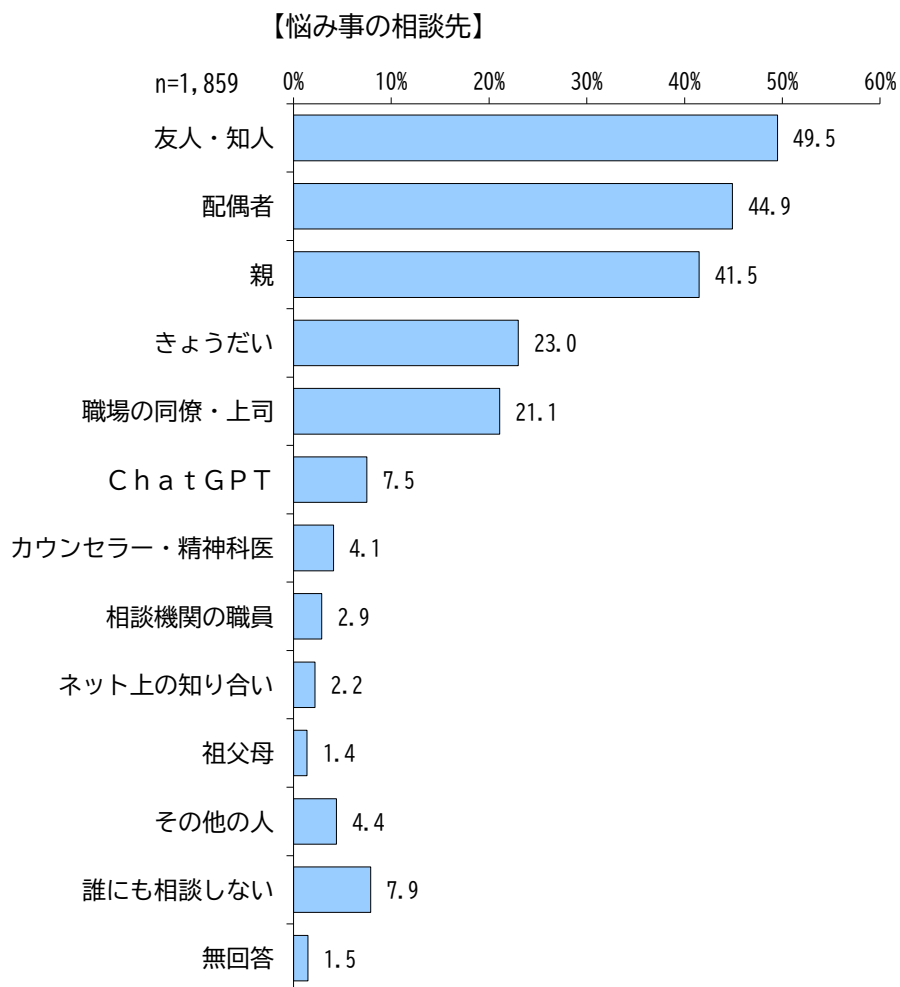
【悩み事の相談意向(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



孤独の状況（直接質問）で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、「はい（相談したい）」と回答した割合は、「孤独感がしばしばある・常にある」層で29.6%、「孤独感が時々ある」層で30.3%、「いいえ（相談したくない）」と回答した割合は、「孤独感がしばしばある・常にある」層で17.6%、「孤独感が時々ある」層で9.2%となっている。

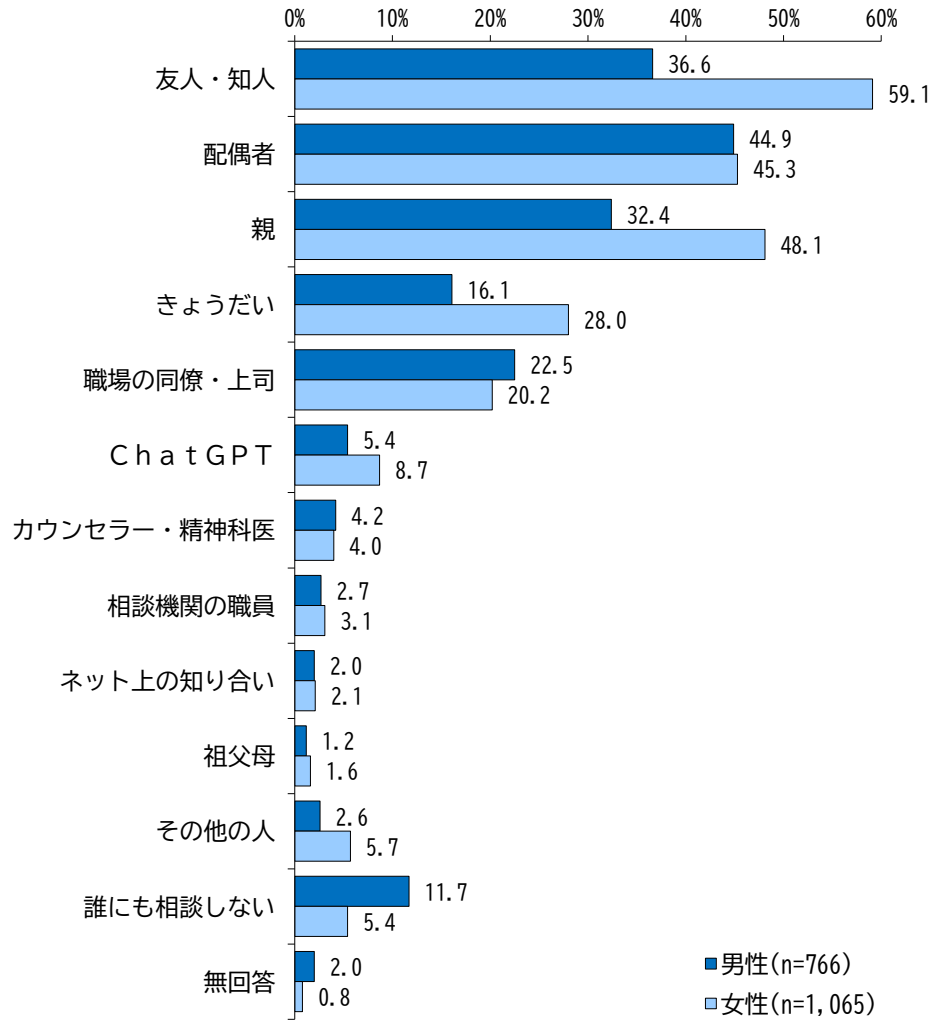
(3) 悩み事の相談先

問24 あなたは普段悩み事ができた時に、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)



悩み事の相談先について、「友人・知人」と回答した割合が49.5%と最も高く、「配偶者」(44.9%)、「親」(41.5%)が続いており、身近な人の割合が上位となっている。また、「誰にも相談しない」と回答した割合が7.9%となっている。

【悩み事の相談先(性別)】



性別にみると、男女ともに身近な人の割合が高くなっており、男性では「配偶者」と回答した割合が44.9%と最も高く、「友人・知人」(36.6%)、「親」(32.4%)が続いており、女性では「友人・知人」と回答した割合が59.1%と最も高く、「親」(48.1%)、「配偶者」(45.3%)が続いている。

また、「誰にも相談しない」と回答した割合は、男性で11.7%、女性で5.4%となっている。

【悩み事の相談先(年齢別)】

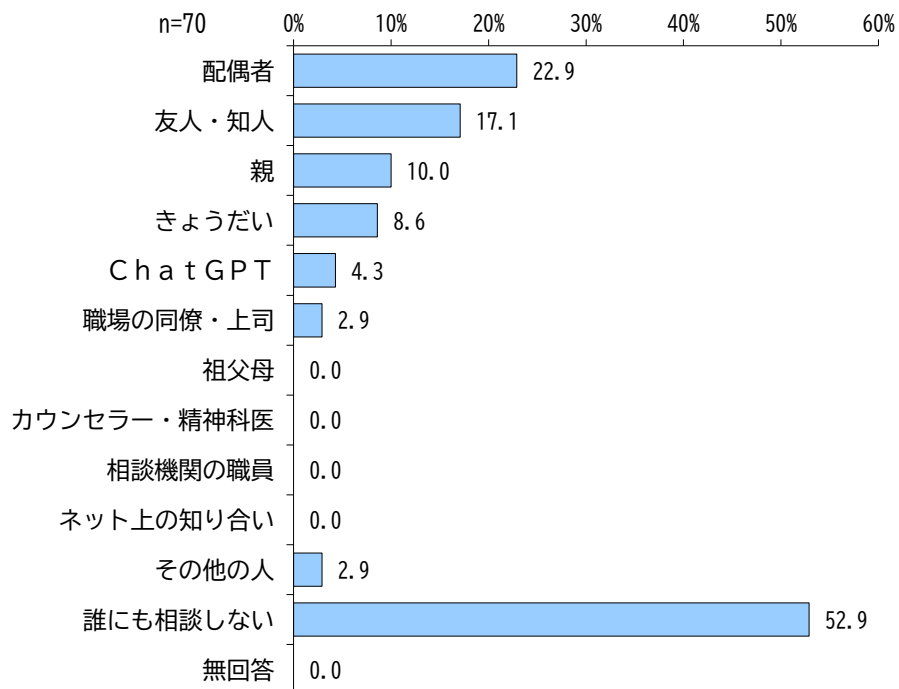
	回答数	友人・知人	配偶者	親	きょうだい	職場の同僚・上司	Chat GPT	カウンセラー・精神科医	相談機関の職員
15歳～19歳	115	75.7%	0.9%	71.3%	20.0%	-	15.7%	2.6%	1.7%
20歳～29歳	207	67.6%	20.3%	62.3%	18.4%	18.8%	15.9%	2.4%	1.4%
30歳～39歳	284	46.5%	53.2%	55.6%	25.0%	32.4%	9.9%	4.9%	2.8%
40歳～49歳	405	50.6%	49.4%	45.2%	24.7%	31.1%	7.4%	4.7%	4.0%
50歳～59歳	568	43.7%	49.5%	32.6%	22.5%	17.8%	4.6%	4.8%	3.0%
60歳～64歳	271	39.1%	57.9%	11.8%	24.0%	12.5%	1.1%	3.0%	3.0%

	回答数	ネット上の知り合い	祖父母	その他の人	誰にも相談しない	無回答
15歳～19歳	115	4.3%	1.7%	1.7%	5.2%	1.7%
20歳～29歳	207	5.3%	4.8%	1.9%	5.3%	0.5%
30歳～39歳	284	4.2%	3.2%	2.5%	9.5%	1.8%
40歳～49歳	405	1.2%	0.5%	2.0%	7.9%	1.5%
50歳～59歳	568	1.1%	0.5%	5.5%	8.6%	1.2%
60歳～64歳	271	-	-	10.7%	7.7%	1.8%

年齢別にみると、いずれの年齢層も身近な人の割合が高くなっており、15歳～19歳、20歳～29歳、40歳～49歳では「友人・知人」、30歳～39歳では「親」、50歳以上では「配偶者」が最も高くなっている。

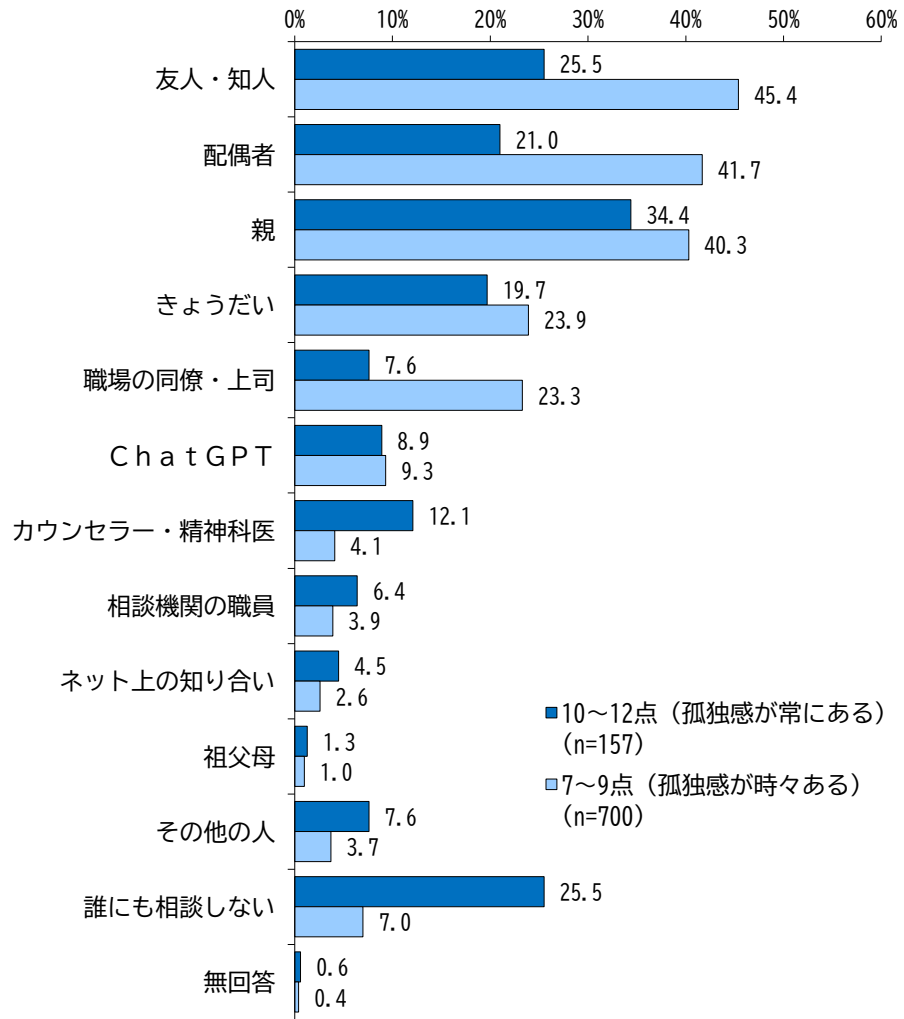
また、「Chat GPT」と回答した割合が、15歳～19歳で15.7%、20歳～29歳で15.9%となっている。

【悩み事の相談先(困りごとはあるが相談したいと思わない人)】



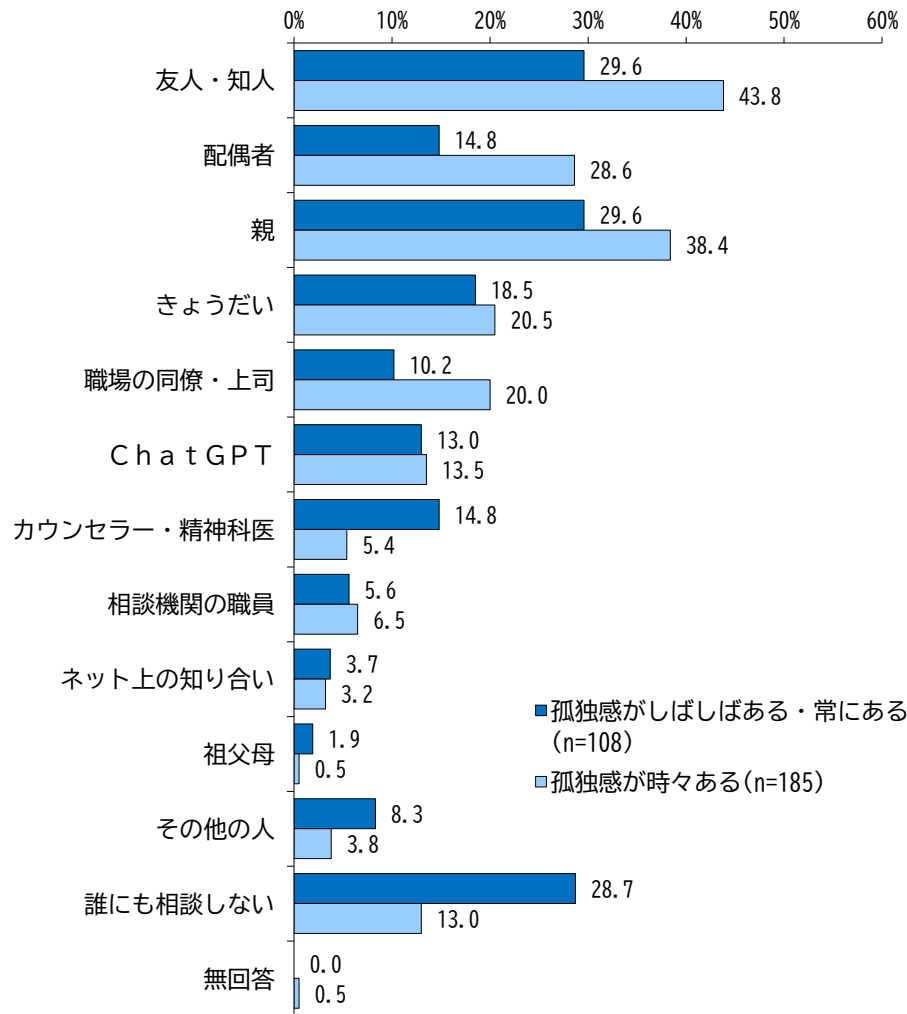
困りごとはあるが相談したいと思わない人では、「誰にも相談しない」と回答した割合が52.9%となっている。

【悩み事の相談先(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



孤独の状況(間接質問)で7点以上の人では、いずれも身近な人の割合が上位となっている。
 また、「10～12点(孤独感が常にある)」の層では、「誰にも相談しない」と回答した割合が25.5%となっている。

【悩み事の相談先(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

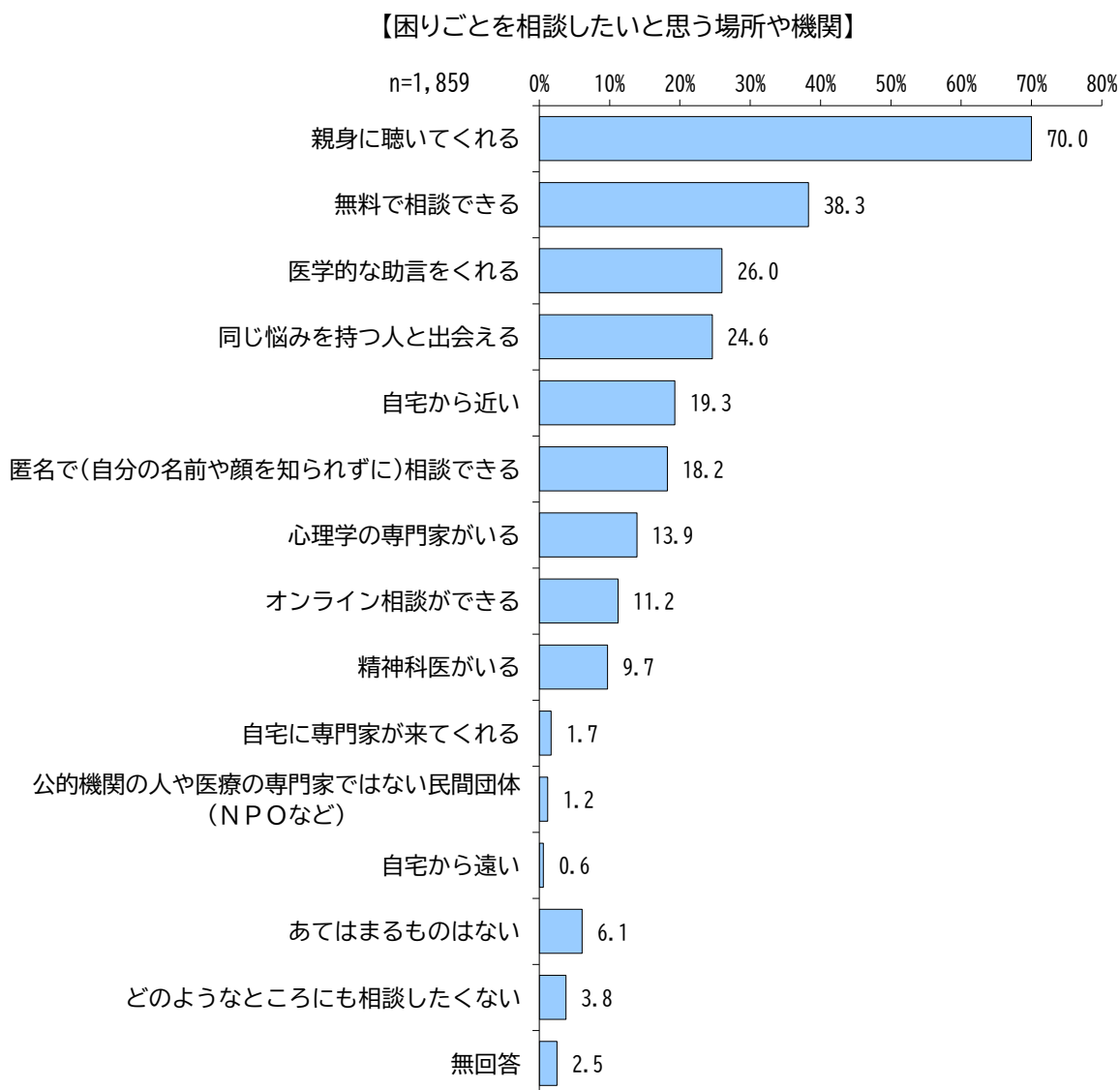


孤独の状況（直接質問）で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、いずれも身近な人の割合が上位となっている。

また、「孤独感がしばしばある・常にある」の層では、「誰にも相談しない」と回答した割合が28.7%となっている。

(4) 困りごとを相談したいと思う場所や機関

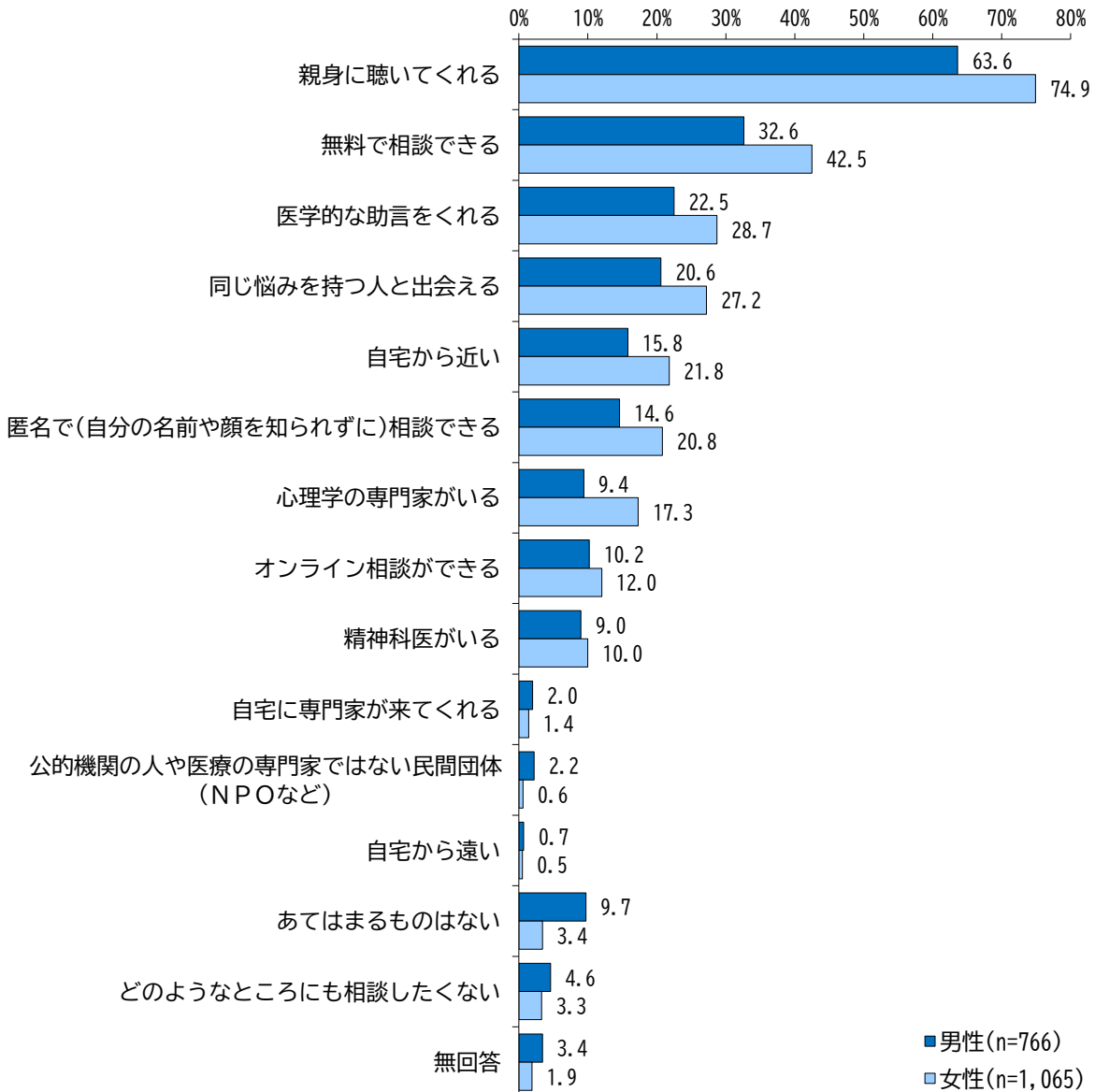
問25 あなたが困りごとを相談するとすれば、どのようなところに相談したいと思いますか。
 (〇はいくつでも)



困りごとを相談したいと思う場所や機関について、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が70.0%と最も高く、「無料で相談できる」(38.3%)、「医学的な助言をくれる」(26.0%)、「同じ悩みを持つ人と出会える」(24.6%)が続いている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が3.8%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(性別)】



性別にみると、男女ともに「親身に聴いてくれる」(男性63.6%、女性74.9%)が最も高く、次いで「無料で相談できる」(男性32.6%、女性42.5%)となっている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合は、男性で4.6%、女性で3.3%となっている。

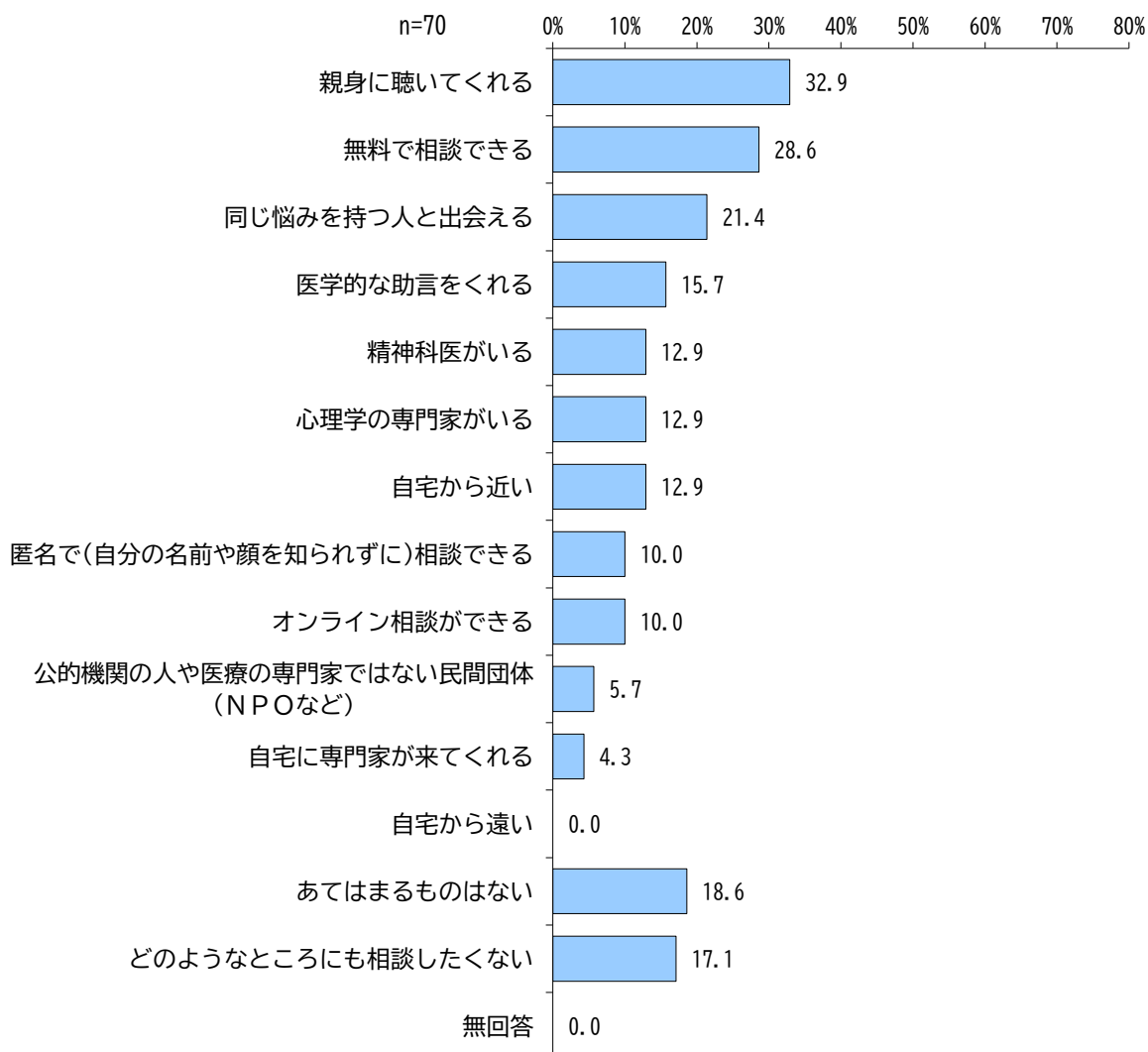
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(年齢別)】

	回答数	親身に聴いてくれる	無料で相談できる	医学的な助言をくれる	同じ悩みを持つ人と出会える	自宅から近い	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	オンライン相談ができる
15歳～19歳	115	74.8%	27.8%	15.7%	25.2%	12.2%	17.4%	7.8%	8.7%
20歳～29歳	207	72.5%	36.7%	21.3%	22.7%	20.8%	21.3%	18.4%	15.5%
30歳～39歳	284	74.3%	35.6%	29.9%	29.2%	22.5%	22.5%	12.7%	10.9%
40歳～49歳	405	72.8%	38.8%	27.9%	26.7%	23.2%	17.3%	16.5%	9.6%
50歳～59歳	568	66.7%	42.8%	23.9%	24.1%	17.8%	17.6%	11.8%	12.1%
60歳～64歳	271	64.9%	37.6%	31.7%	18.8%	15.5%	14.4%	14.8%	10.0%

	回答数	精神科医がいる	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなどころにも相談したくない	無回答
15歳～19歳	115	5.2%	0.9%	1.7%	0.9%	7.0%	3.5%	0.9%
20歳～29歳	207	12.1%	1.0%	-	1.0%	3.4%	3.9%	2.9%
30歳～39歳	284	11.3%	1.4%	1.1%	0.7%	4.2%	4.6%	2.5%
40歳～49歳	405	10.9%	1.5%	1.5%	0.2%	4.9%	4.2%	2.2%
50歳～59歳	568	9.5%	2.1%	1.4%	0.4%	7.2%	3.9%	3.0%
60歳～64歳	271	7.0%	2.2%	1.5%	0.7%	8.9%	2.6%	2.2%

年齢別にみると、いずれの年齢層も「親身に聴いてくれる」が最も高く、6割台から7割台となっている。

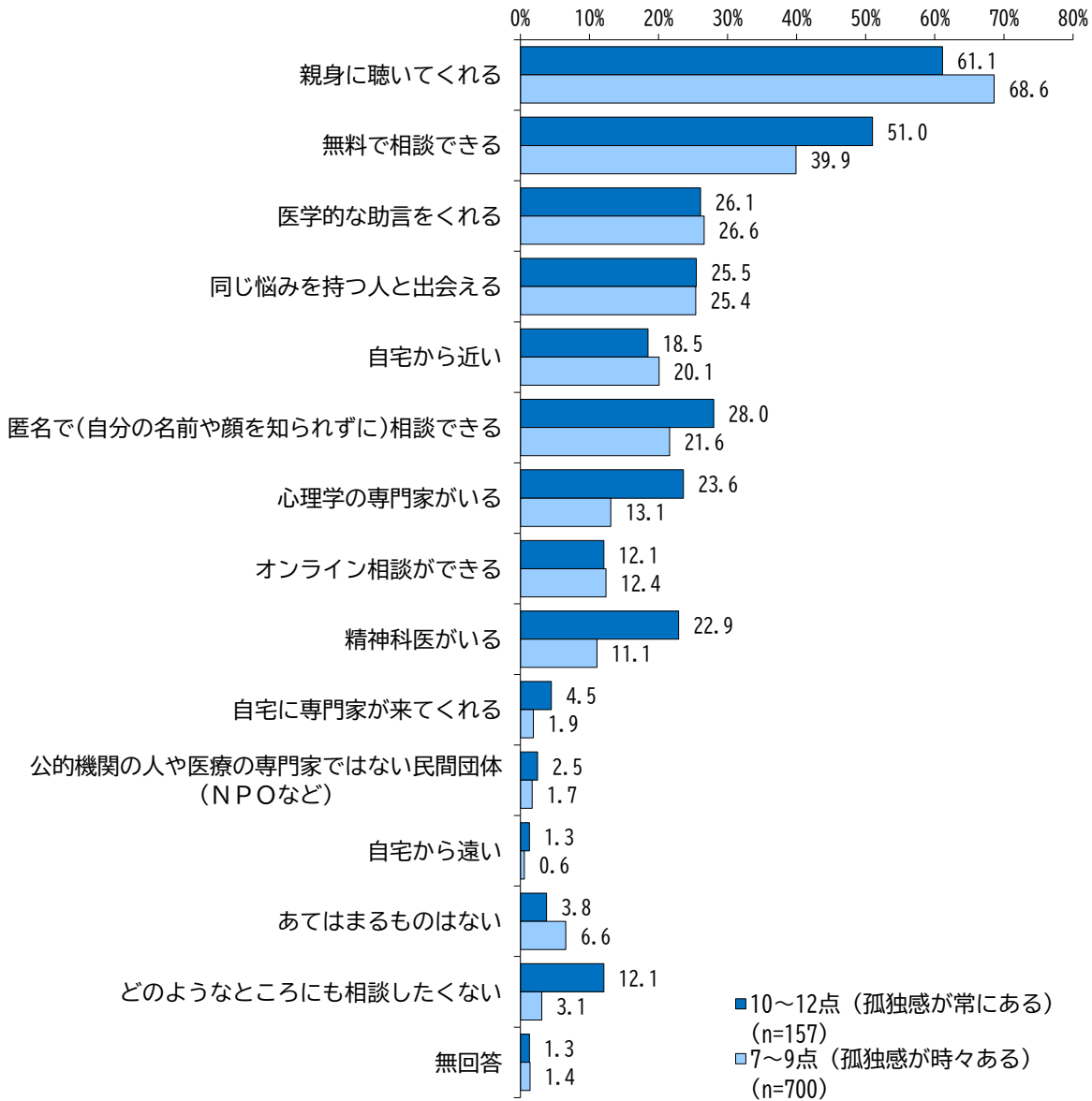
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(困りごとはあるが相談したいと思わない人)】



困りごとはあるが相談したいと思わない人では、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が32.9%と最も高く、「無料で相談できる」(28.6%)、「同じ悩みを持つ人と出会える」(21.4%)が続いている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が17.1%となっている。

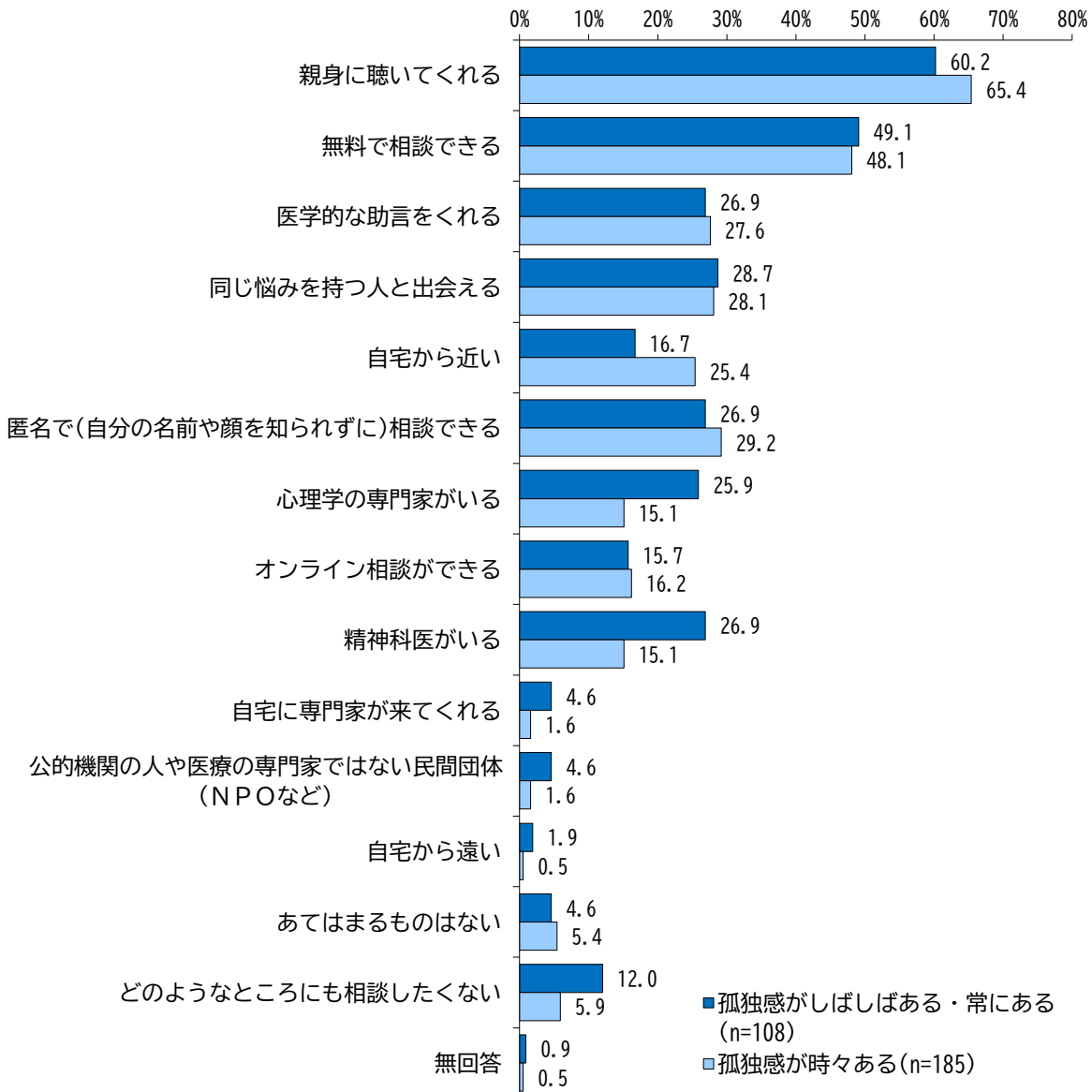
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



孤独の状況(間接質問)で7点以上の人では、いずれも「親身に聴いてくれる」、「無料で相談できる」が上位となっている。

また、「10～12点(孤独感が常にある)」の層では「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」と回答した割合が28.0%、「心理学の専門家がいる」と回答した割合が23.6%、「精神科医がいる」と回答した割合が22.9%となっており、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が12.1%となっている。

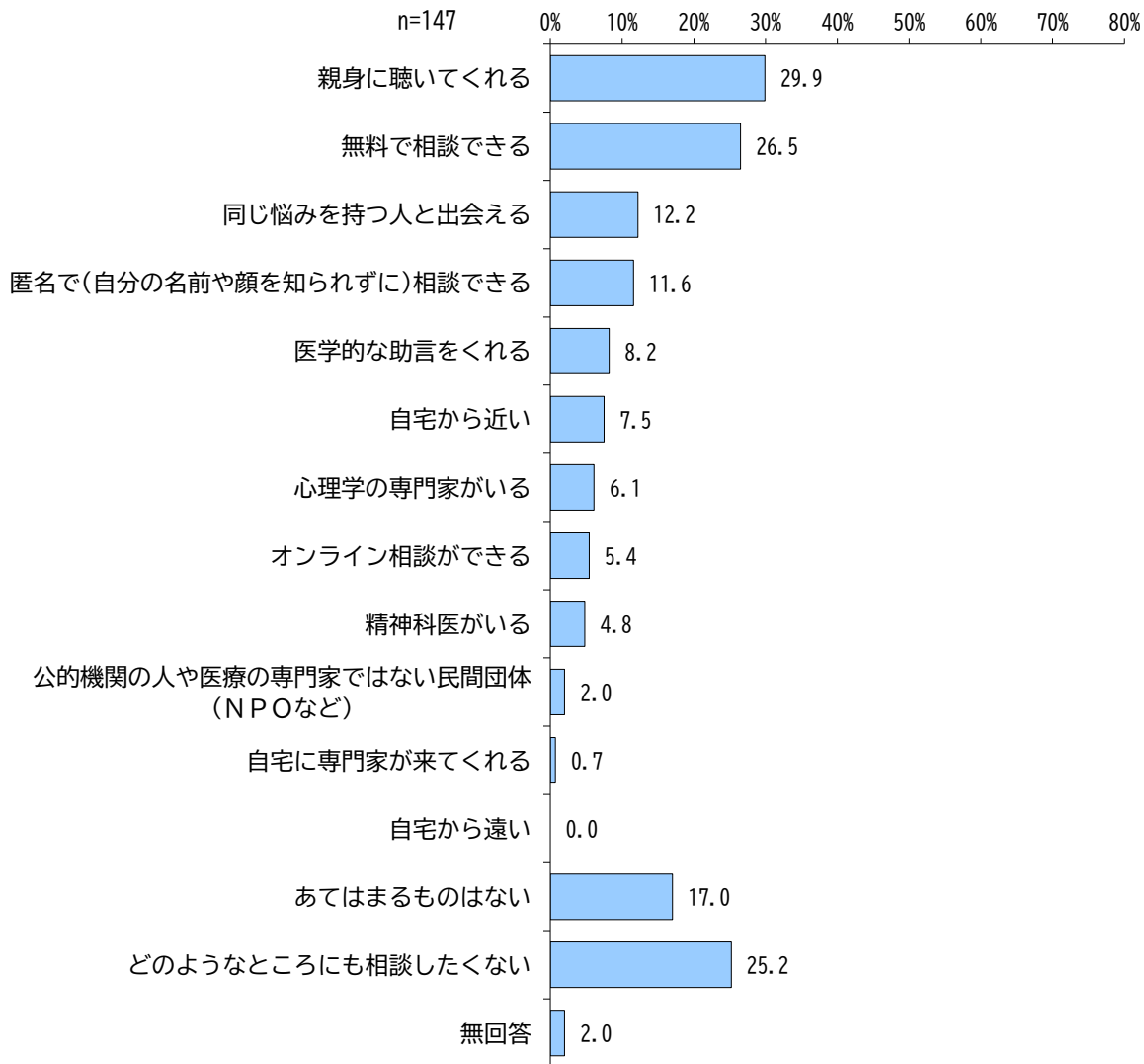
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、いずれも「親身に聴いてくれる」、「無料で相談できる」が上位となっている。

また、「孤独感がしばしばある・常にある」の層では「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」、「精神科医がいる」と回答した割合がともに26.9%、「心理学の専門家がいる」と回答した割合が25.9%となっており、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が12.0%となっている。

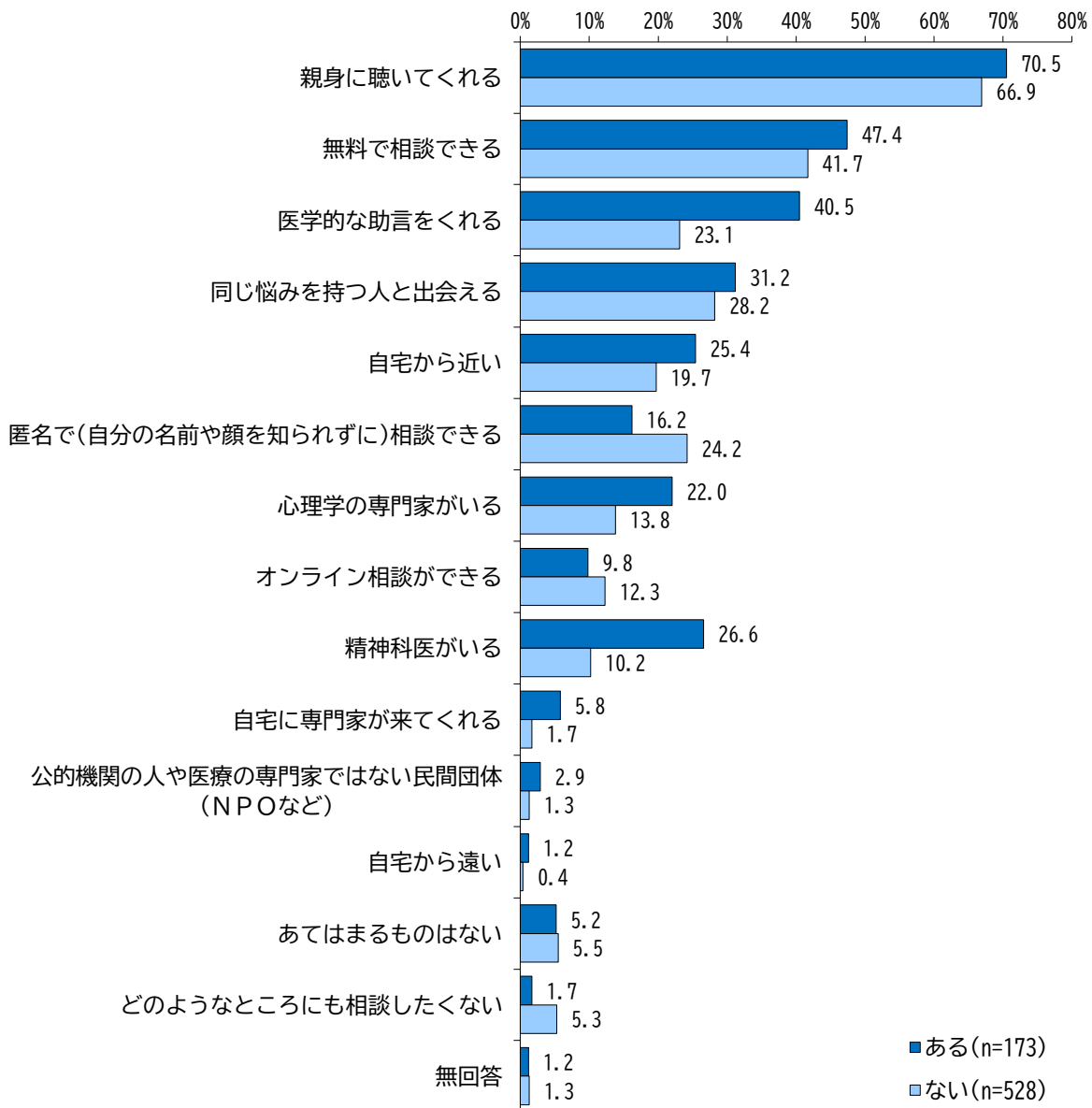
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(悩み事を誰にも相談しない人)】



悩み事を誰にも相談しない人では、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が29.9%と最も高く、「無料で相談できる」(26.5%)、「同じ悩みを持つ人と出会える」(12.2%)、「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」(11.6%)が続いている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が25.2%となっている。

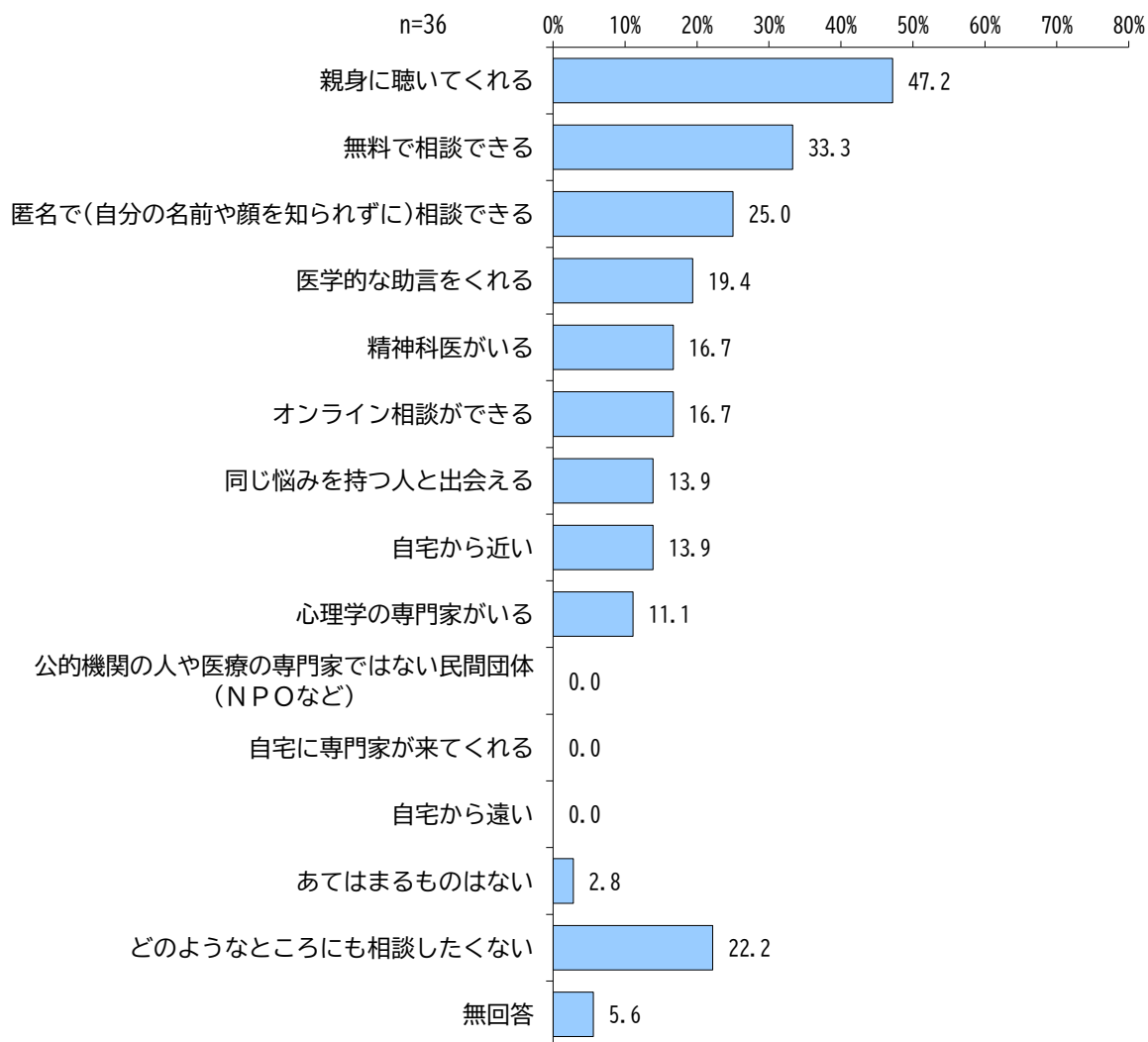
【困りごとを相談したいと思う場所や機関(相談機関に相談した経験の有無別)】



相談機関に相談した経験の有無別にみると、いずれも「親身に聴いてくれる」、「無料で相談できる」が上位となっている。

また、相談機関に相談した経験がない人では、「医学的な助言をくれる」、「精神科医がいる」と回答した割合は経験がある人より低く、「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」と回答した割合が高くなっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(ほとんど家にいる状態が改善していない人)】



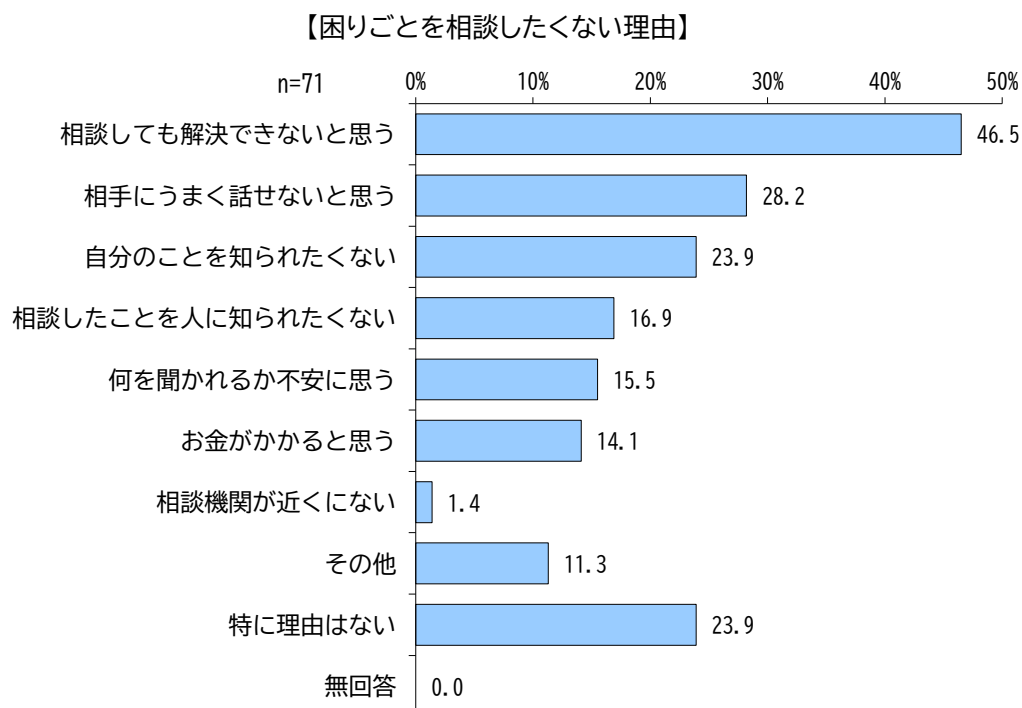
ほとんど家にいる状態が改善していない人では、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が47.2%と最も高く、「無料で相談できる」(33.3%)、「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」(25.0%)が続いている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合が22.2%となっている。

(5) 困りごとを相談したくない理由

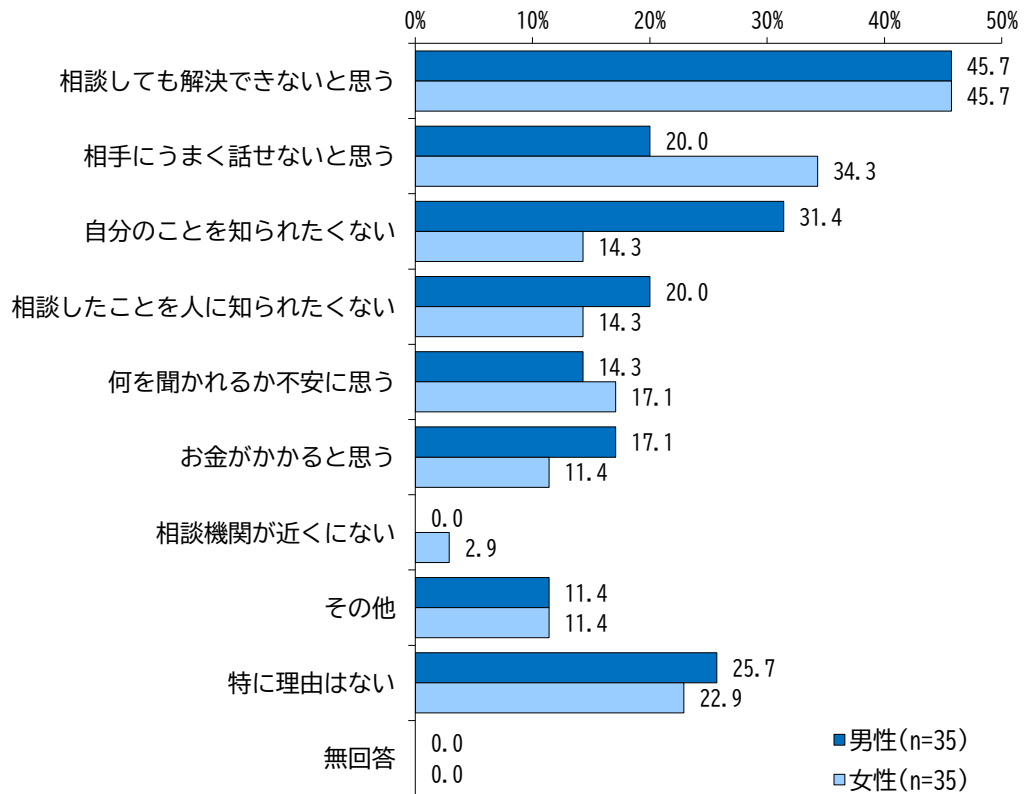
問25で「14 どのようなところにも相談したくない」と回答した人のみ回答

問26 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)



困りごとを相談したくない理由について、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が46.5%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」(28.2%)、「自分のことを知られたくない」(23.9%)が続いている。

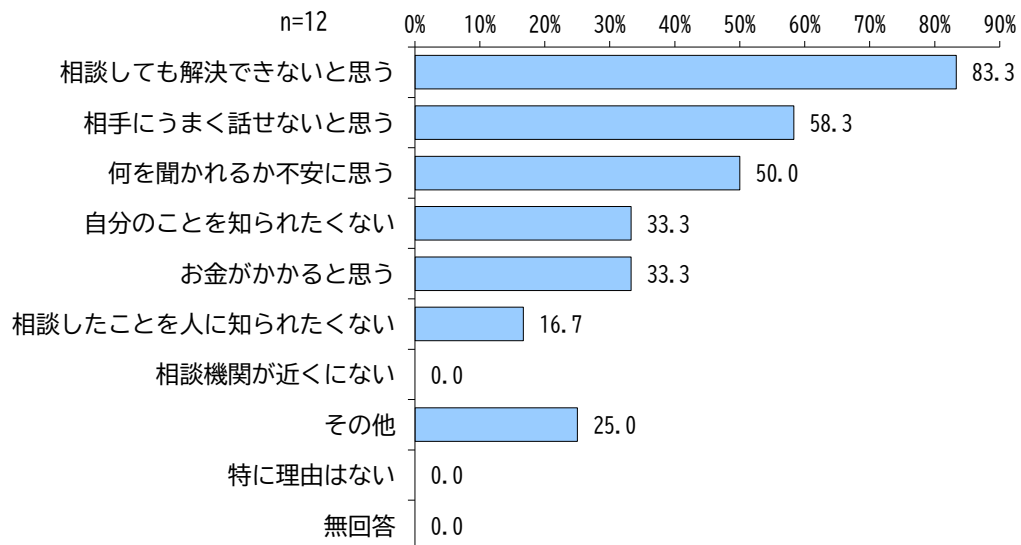
【困りごとを相談したくない理由(性別)】



性別にみると、男性では「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「自分のことを知られたくない」(31.4%)となっている。

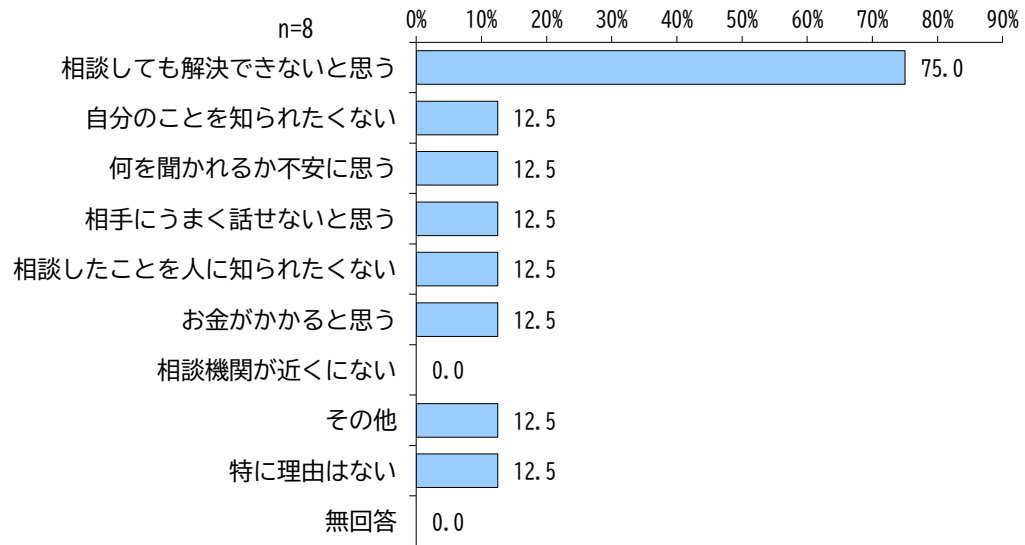
一方、女性では「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「相手にうまく話せないと思う」(34.3%)となっている。

【困りごとを相談したくない理由(困りごとはあるが相談したいと思わない人)】



困りごとはあるが相談したいと思わない人では、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が83.3%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」(58.3%)、「何を聞かれるか不安に思う」(50.0%)が続いている。

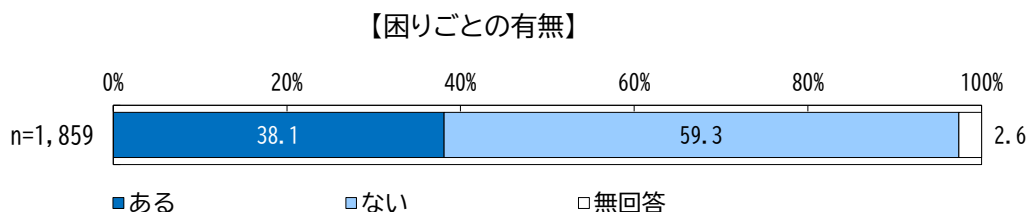
【困りごとを相談したくない理由(ほとんど家にいる状態が改善していない人)】



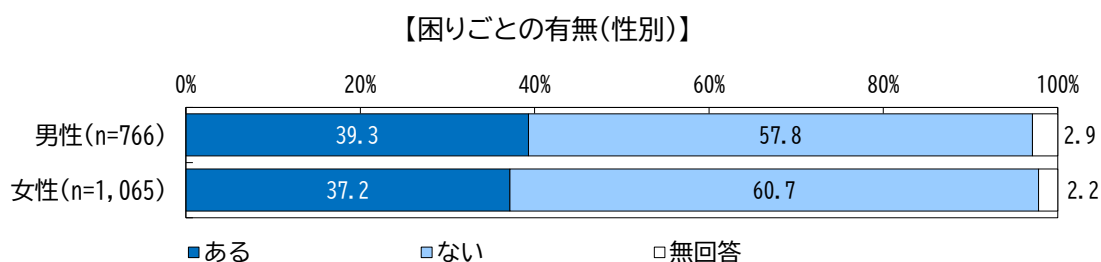
ほとんど家にいる状態が改善していない人では、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が75.0%となっている。

(6) 困りごとの有無

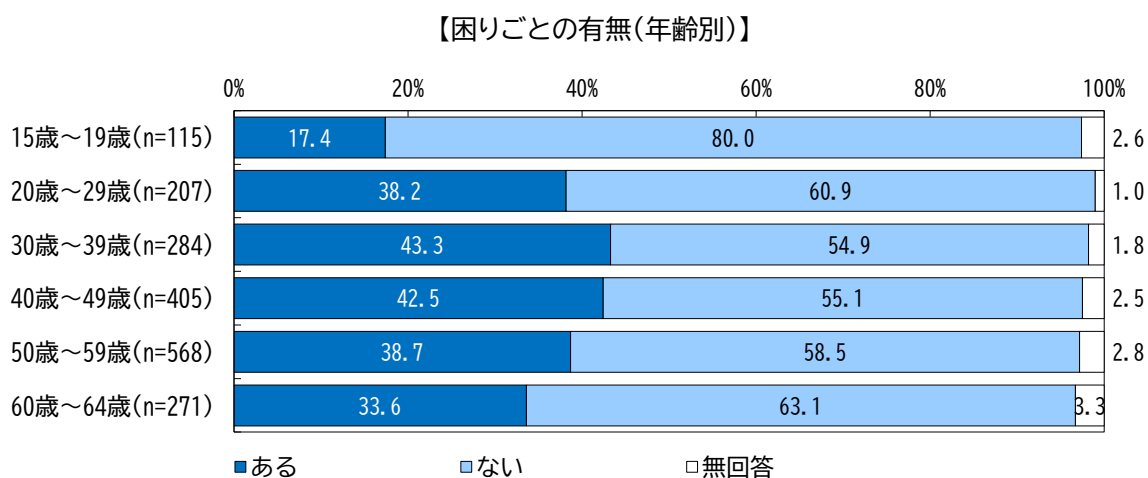
問27 あなたには現在、困りごとがありますか。(○はひとつだけ)



困りごとの有無について、「ある」と回答した割合が38.1%となっている。

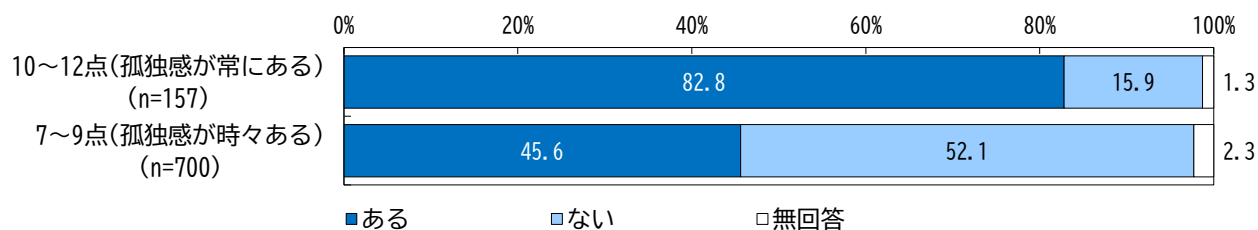


性別にみると、「ある」と回答した割合は、男性で39.3%、女性で37.2%となっている。



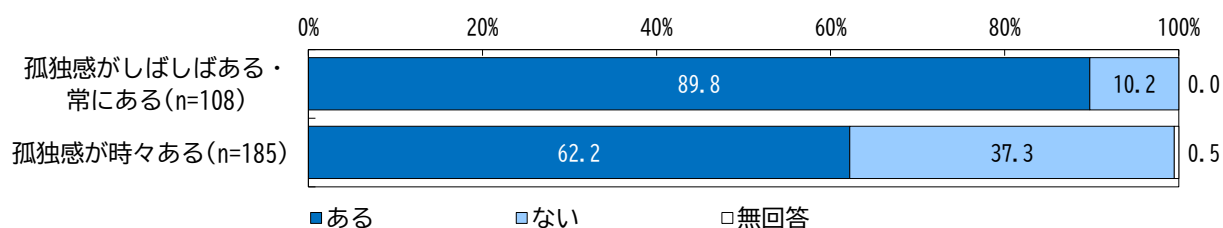
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は、20歳以上で3割を超えている。

【困りごとの有無(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



孤独の状況(間接質問)で7点以上の人では、「ある」と回答した割合は、「10~12点(孤独感が常にある)」の層で82.8%、「7~9点(孤独感が時々ある)」の層で45.6%となっている。

【困りごとの有無(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

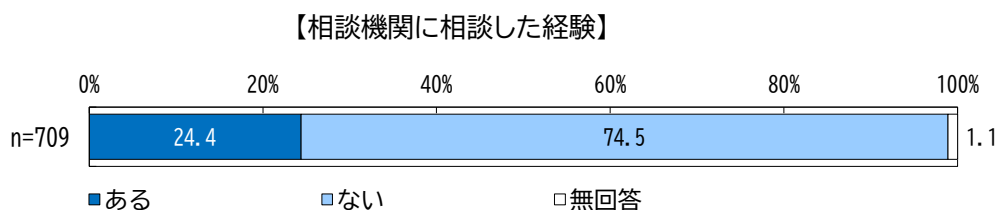


孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、「ある」と回答した割合は、「孤独感がしばしばある・常にある」の層で89.8%、「孤独感が時々ある」の層で62.2%となっている。

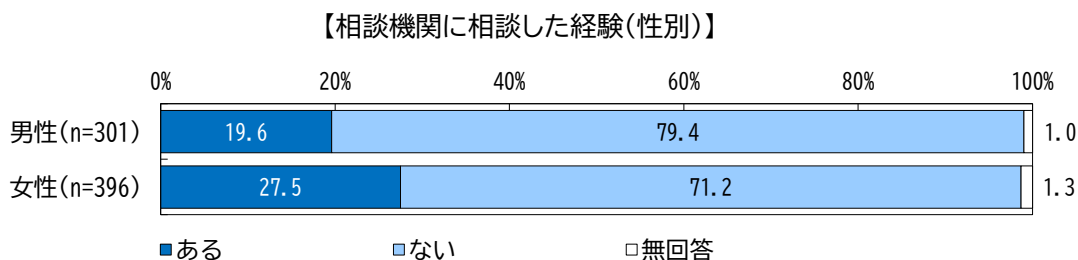
(7) 相談機関に相談した経験

問27で「1 (困りごと)がある」と回答した人のみ回答

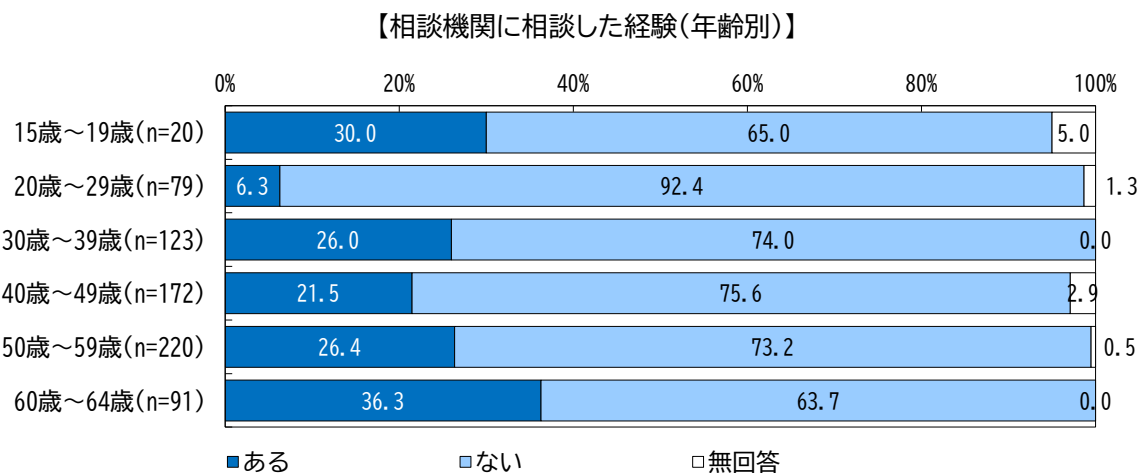
問28 現在の状態について、相談機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)



相談機関に相談した経験について、「ある」と回答した割合が24.4%、「ない」と回答した割合が74.5%となっている。

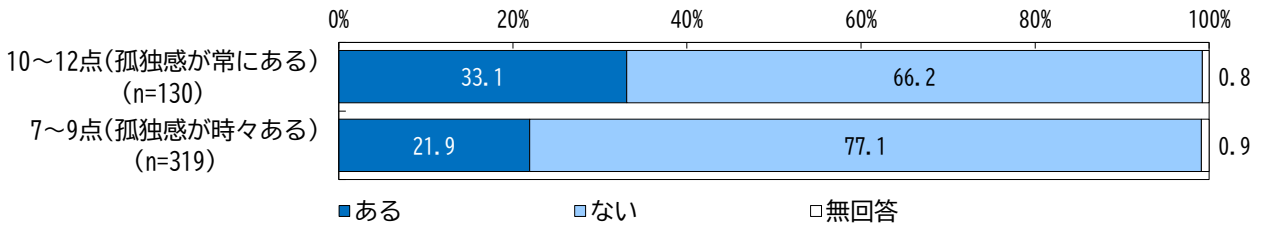


性別にみると、「ある」と回答した割合は、男性で19.6%、女性で27.5%となっている。



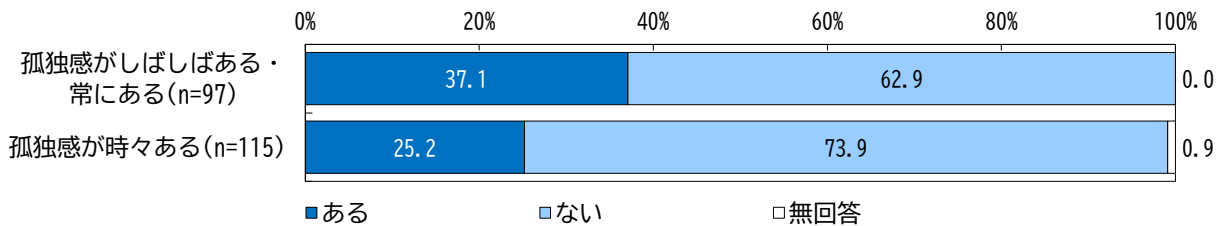
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は、15歳～19歳、60歳～64歳で3割台となっている。

【相談機関に相談した経験(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



孤独の状況(間接質問)で7点以上の人では、「ある」と回答した割合は、「10～12点(孤独感が常にある)」の層で33.1%、「7～9点(孤独感が時々ある)」の層で21.9%となっている。

【相談機関に相談した経験(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

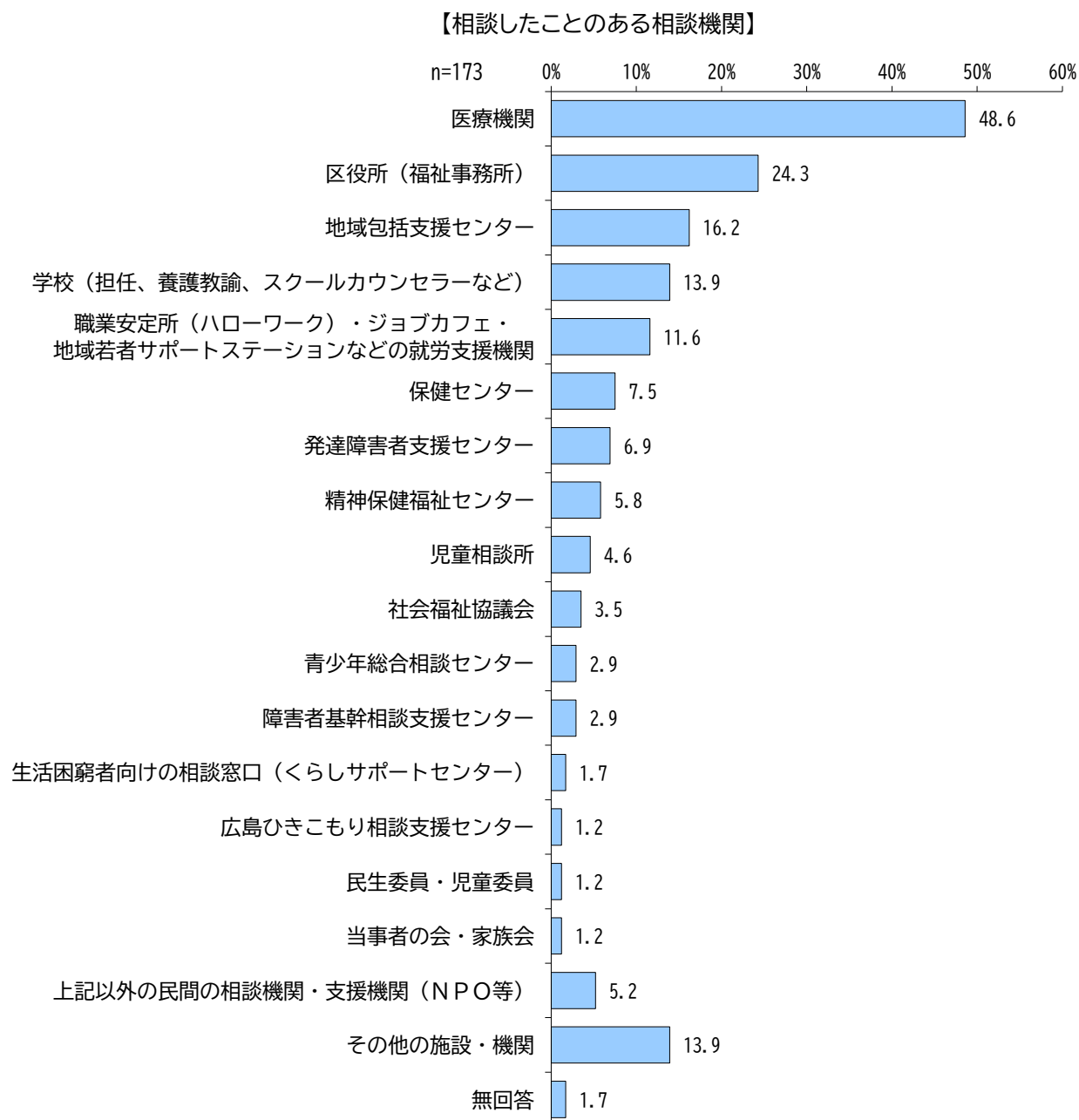


孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人では、「ある」と回答した割合は、「孤独感がしばしばある・常にある」の層で37.1%、「孤独感が時々ある」の層で25.2%となっている。

(8) 相談したことがある相談機関

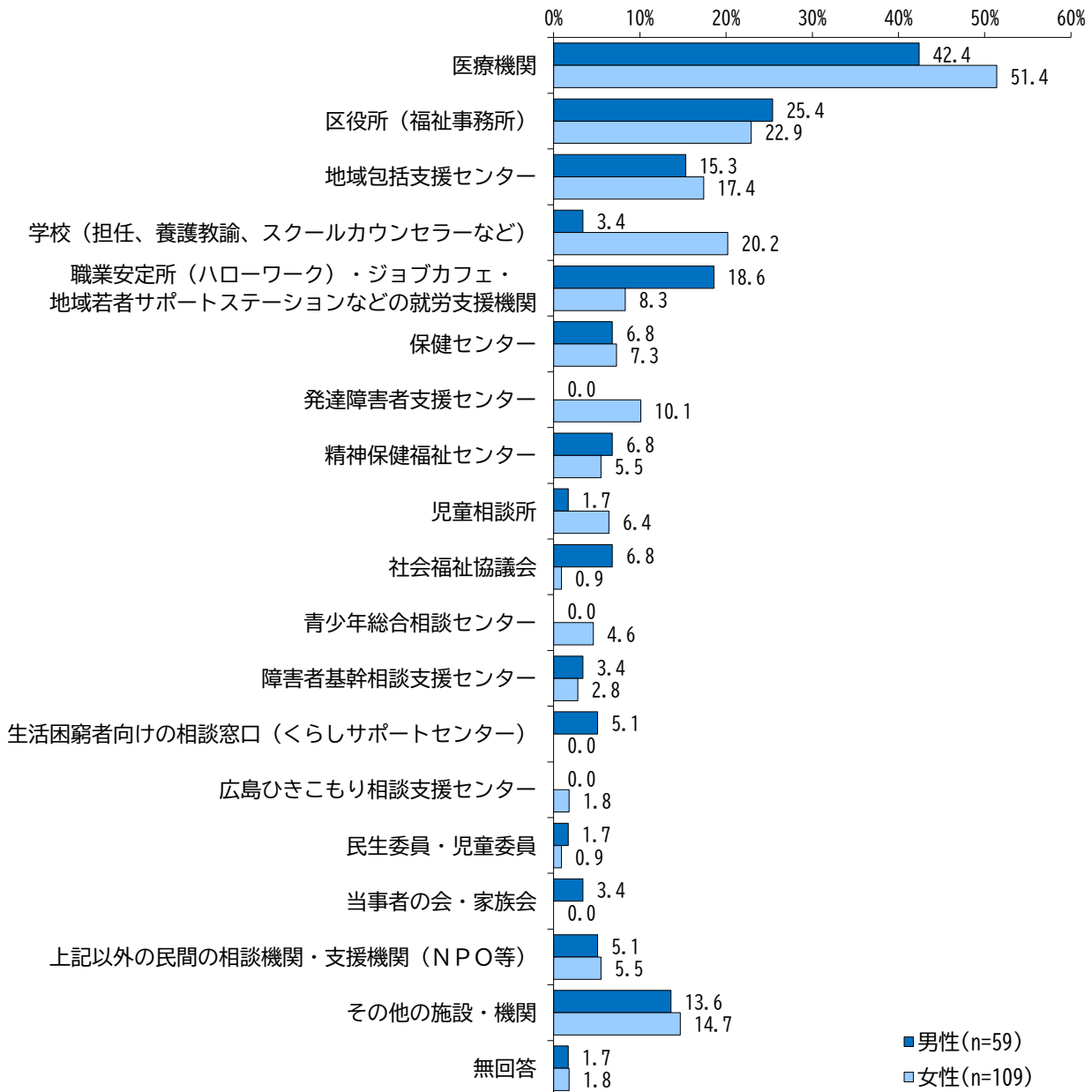
問27で「1 (困りごと)がある」、かつ問28で「1 (相談したことがある)」と回答した人のみ回答

問29 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)



相談したことがある相談機関について、「医療機関」と回答した割合が48.6%と最も高く、「区役所 (福祉事務所)」(24.3%)、「地域包括支援センター」(16.2%)、「学校 (担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)」(13.9%)、「職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(11.6%)が続いている。

【相談したことのある相談機関(性別)】



性別にみると、男性では「医療機関」と回答した割合が42.4%と最も高く、「区役所(福祉事務所)」(25.4%)、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(18.6%)が続いている。

一方、女性では「医療機関」と回答した割合が51.4%と最も高く、「区役所(福祉事務所)」(22.9%)、「学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)」(20.2%)が続いている。

【相談したことのある相談機関(年齢別)】

	回答数	医療機関	区役所 (福祉事務所)	地域包括 支援センター	学校(担任、養護 教諭、スクールカ ウンセラーなど)	職業安定 所(ハローワーク)・ ジョブカフェ・地 域若者サ ポートステーション などの 就労支援 機関	保健セン ター	発達障害 者支援セ ンター	精神保健 福祉セン ター
15歳～19歳	6	83.3%	33.3%	-	50.0%	-	-	16.7%	-
20歳～29歳	5	40.0%	-	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	-	-
30歳～39歳	32	53.1%	25.0%	-	12.5%	12.5%	12.5%	15.6%	9.4%
40歳～49歳	37	51.4%	13.5%	8.1%	21.6%	16.2%	13.5%	8.1%	5.4%
50歳～59歳	58	53.4%	29.3%	24.1%	13.8%	12.1%	5.2%	1.7%	8.6%
60歳～64歳	33	30.3%	27.3%	30.3%	-	6.1%	-	3.0%	-

	回答数	児童相談 所	社会福祉 協議会	青少年総 合相談セ ンター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらしサ ポートセ ンター)	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	民生委 員・児童 委員	当事者の 会・家族 会
15歳～19歳	6	33.3%	-	16.7%	16.7%	-	-	-	-
20歳～29歳	5	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳～39歳	32	3.1%	-	3.1%	3.1%	6.3%	-	-	3.1%
40歳～49歳	37	10.8%	2.7%	5.4%	-	-	-	-	-
50歳～59歳	58	1.7%	-	1.7%	3.4%	-	1.7%	1.7%	-
60歳～64歳	33	-	12.1%	-	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%

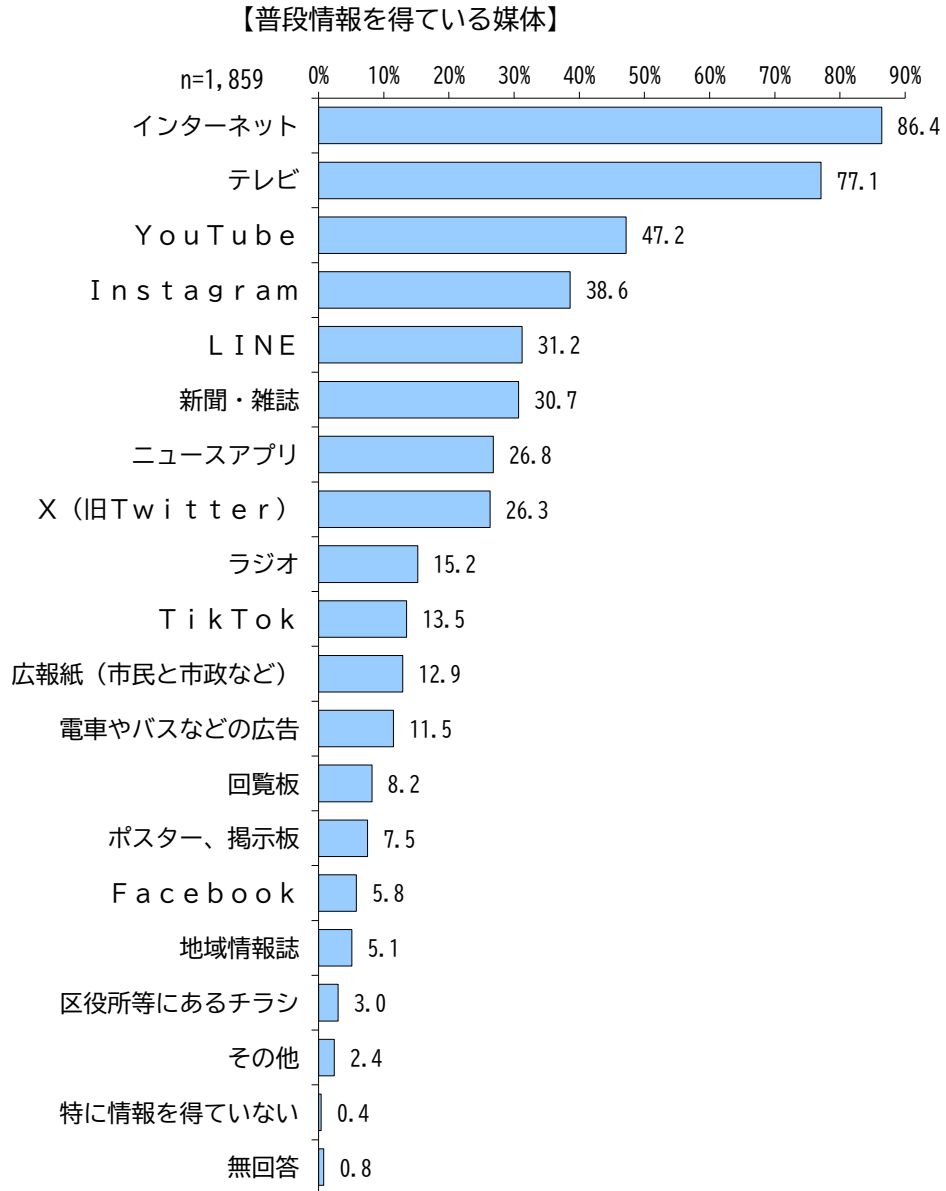
	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	無回答
15歳～19歳	6	-	-	-
20歳～29歳	5	-	-	-
30歳～39歳	32	-	15.6%	3.1%
40歳～49歳	37	2.7%	21.6%	-
50歳～59歳	58	12.1%	13.8%	-
60歳～64歳	33	3.0%	9.1%	6.1%

年齢別にみると、いずれの年齢層も「医療機関」が最も高くなっている。

6 余暇活動について

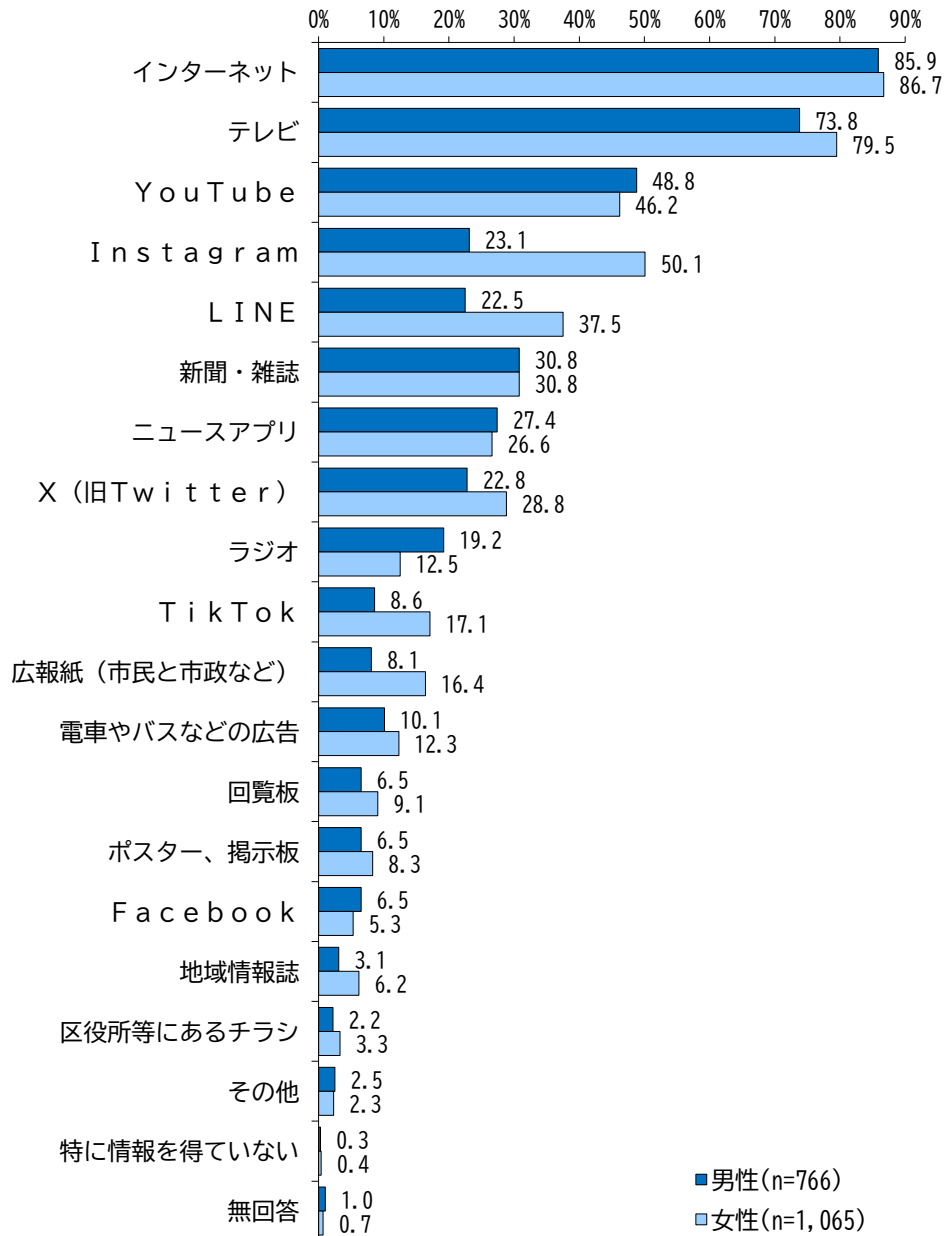
(1) 普段情報を得ている媒体

問31 普段、何から情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



普段情報を得ている媒体について、「インターネット」と回答した割合が86.4%と最も高く、「テレビ」(77.1%)、「YouTube」(47.2%)、「Instagram」(38.6%)が続いている。

【普段情報を得ている媒体(性別)】



性別にみると、男性では「インターネット」と回答した割合が85.9%と最も高く、「テレビ」(73.8%)、「YouTube」(48.8%)が続いている。

一方、女性では「インターネット」と回答した割合が86.7%と最も高く、「テレビ」(79.5%)、「Instagram」(50.1%)、「YouTube」(46.2%)が続いている。

【普段情報を得ている媒体(年齢別)】

	回答数	インターネット	テレビ	YouTube	Instagram	LINE	新聞・雑誌	ニュースアプリ	X(旧Twitter)
15歳～19歳	115	82.6%	72.2%	62.6%	49.6%	41.7%	10.4%	13.0%	34.8%
20歳～29歳	207	86.0%	55.1%	69.1%	63.8%	45.4%	11.6%	22.7%	51.7%
30歳～39歳	284	91.5%	67.3%	59.5%	55.6%	32.7%	16.9%	27.1%	48.6%
40歳～49歳	405	88.9%	79.8%	43.0%	39.3%	29.4%	29.6%	32.6%	22.0%
50歳～59歳	568	86.6%	84.3%	37.7%	26.4%	25.5%	38.9%	27.3%	14.6%
60歳～64歳	271	79.0%	87.1%	38.7%	21.8%	29.2%	52.8%	26.2%	11.1%

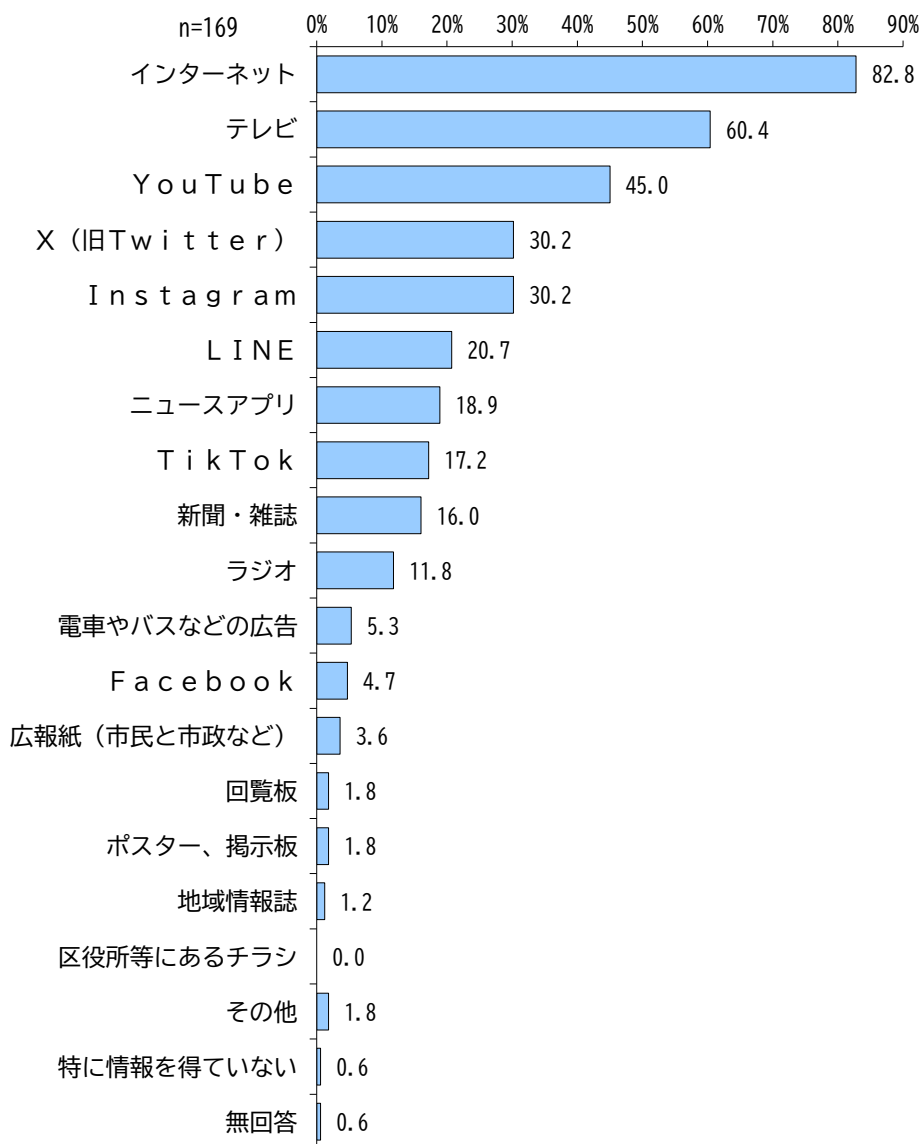
	回答数	ラジオ	TikTok	広報紙 (市民と市政など)	電車やバスなどの 広告	回覧板	ポスター、掲 示板	Face book	地域情報 誌
15歳～19歳	115	3.5%	33.9%	1.7%	11.3%	2.6%	5.2%	0.9%	-
20歳～29歳	207	5.8%	30.0%	3.4%	16.4%	2.4%	6.3%	1.0%	0.5%
30歳～39歳	284	11.3%	16.2%	10.2%	14.4%	6.0%	8.1%	6.3%	3.5%
40歳～49歳	405	14.1%	10.4%	14.3%	11.6%	10.1%	9.4%	7.4%	5.9%
50歳～59歳	568	20.8%	8.3%	13.9%	9.5%	8.1%	7.6%	5.6%	6.7%
60歳～64歳	271	22.1%	5.5%	23.2%	8.5%	14.0%	5.9%	9.2%	7.4%

	回答数	区役所等 にあるチ ラシ	その他	特に情報 を得てい ない	無回答
15歳～19歳	115	2.6%	2.6%	0.9%	0.9%
20歳～29歳	207	1.4%	2.4%	-	-
30歳～39歳	284	1.4%	2.8%	0.7%	0.7%
40歳～49歳	405	2.7%	2.7%	-	1.2%
50歳～59歳	568	3.9%	2.3%	0.4%	0.9%
60歳～64歳	271	4.1%	1.1%	0.7%	0.7%

年齢別にみると、20歳～29歳以外では「インターネット」、「テレビ」が上位となっており、20歳～29歳では、「インターネット」に続いて、「YouTube」、「Instagram」が上位となっている。

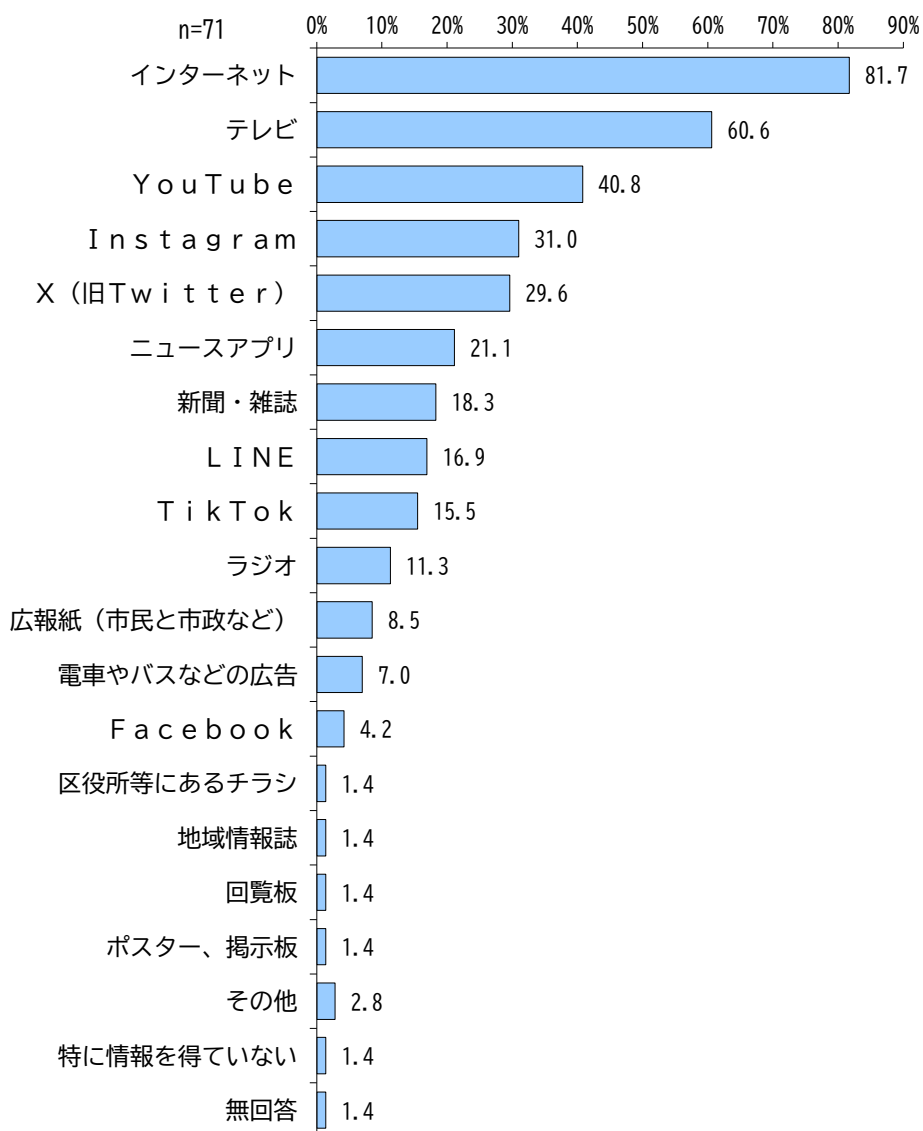
また、「新聞・雑誌」、「ラジオ」、「広報紙（市民と市政など）」は年齢の高い層ほど高くなっている。

【普段情報を得ている媒体(知っている相談機関がない人)】



知っている相談機関がない人では、普段情報を得ている媒体について、「インターネット」と回答した割合が82.8%と最も高く、「テレビ」(60.4%)、「YouTube」(45.0%)、「X (旧Twitter)」(30.2%)、「Instagram」(30.2%)が続いている。

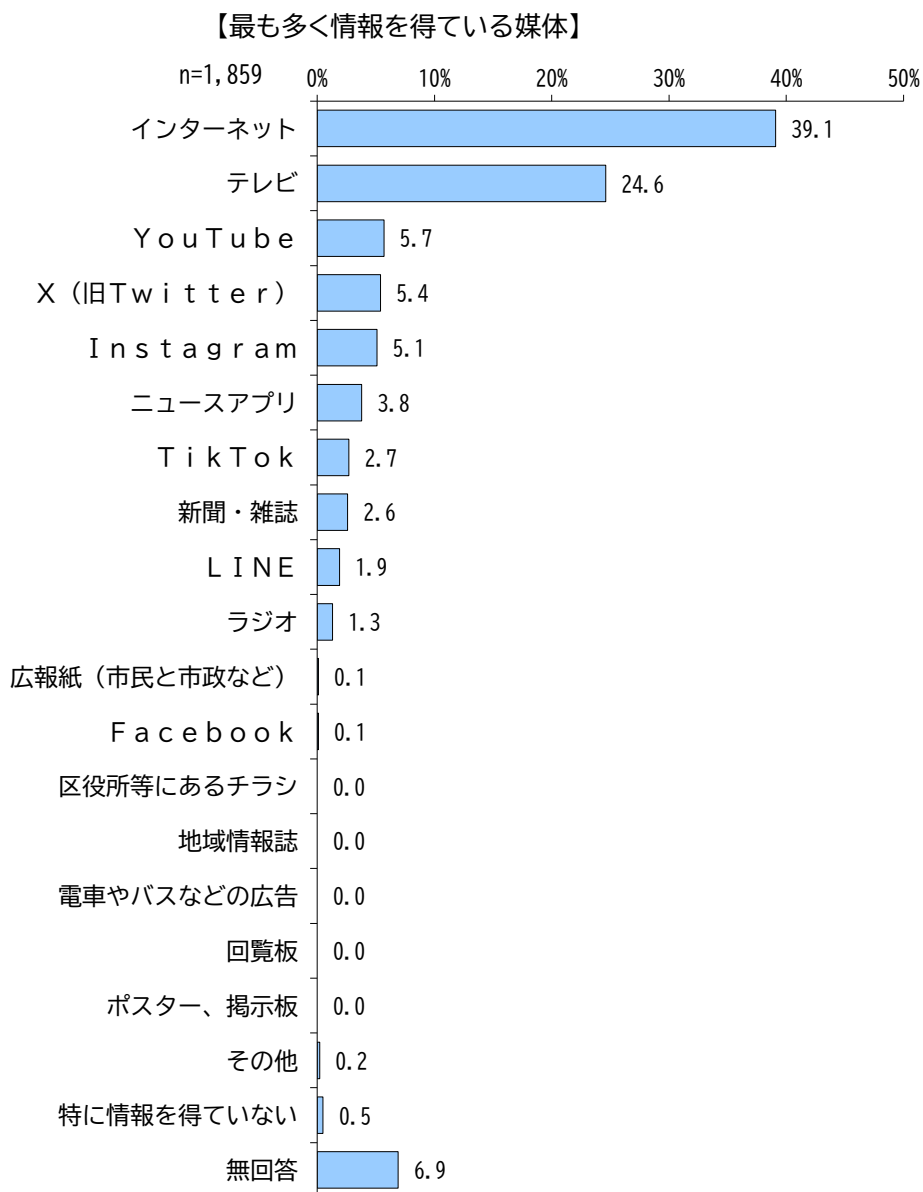
【普段情報を得ている媒体(どのようなところにも相談したくない人)】



どのようなところにも相談したくない人では、普段情報を得ている媒体について、「インターネット」と回答した割合が81.7%と最も高く、「テレビ」(60.6%)、「YouTube」(40.8%)、「Instagram」(31.0%)、「X (旧Twitter)」(29.6%)が続いている。

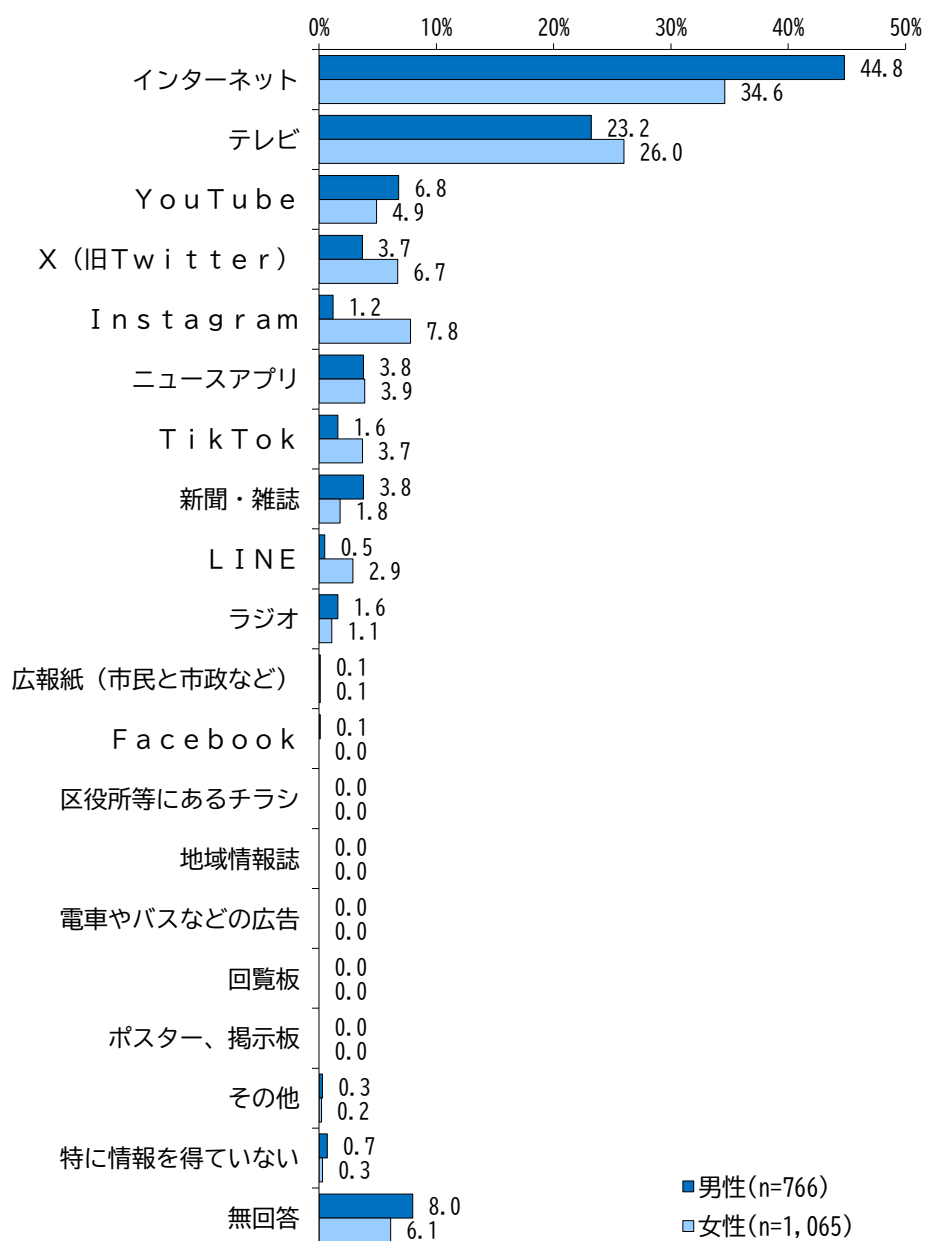
(2) 最も多く情報を得ている媒体

問32 最も多く情報を得ている媒体に○をつけてください。(○はひとつだけ)



最も多く情報を得ている媒体について、「インターネット」と回答した割合が39.1%と最も高く、次いで「テレビ」(24.6%)となっている。

【最も多く情報を得ている媒体(性別)】



性別にみると、男女ともに「インターネット」(男性44.8%、女性34.6%)が最も高く、次いで「テレビ」(男性23.2%、女性26.0%)となっている。

【最も多く情報を得ている媒体(年齢別)】

	回答数	インターネット	テレビ	YouTube	X(旧Twitter)	Instagram	ニュースアプリ	TikTok	新聞・雑誌
15歳～19歳	115	38.3%	18.3%	9.6%	8.7%	5.2%	0.9%	10.4%	0.9%
20歳～29歳	207	34.3%	11.1%	8.7%	15.9%	9.2%	4.3%	8.7%	-
30歳～39歳	284	41.2%	10.2%	8.8%	12.7%	12.0%	2.1%	3.5%	1.1%
40歳～49歳	405	45.7%	20.2%	3.5%	2.5%	5.2%	7.9%	0.5%	2.5%
50歳～59歳	568	41.0%	31.0%	5.3%	1.9%	1.1%	3.0%	1.4%	3.2%
60歳～64歳	271	26.2%	46.1%	3.0%	-	2.6%	2.2%	0.4%	6.3%

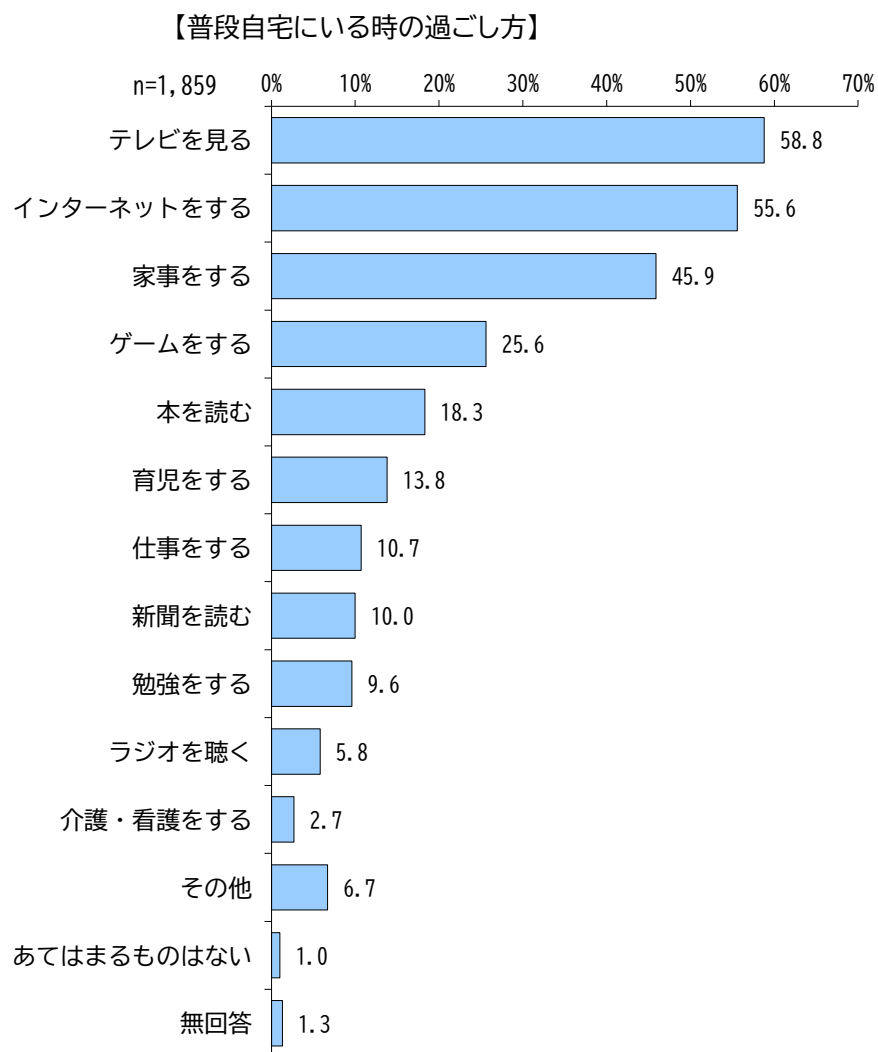
	回答数	LINE	ラジオ	広報紙 (市民と市政など)	Facebook	区役所等 にあるチラシ	地域情報誌	電車やバスなどの 広告	回覧板
15歳～19歳	115	5.2%	-	-	-	-	-	-	-
20歳～29歳	207	4.3%	0.5%	-	-	-	-	-	-
30歳～39歳	284	1.4%	0.7%	-	-	-	-	-	-
40歳～49歳	405	2.2%	1.5%	-	0.2%	-	-	-	-
50歳～59歳	568	0.7%	2.3%	0.2%	-	-	-	-	-
60歳～64歳	271	1.1%	1.1%	0.4%	-	-	-	-	-

	回答数	ポスター、 掲示板	その他	特に情報 を得ていない	無回答
15歳～19歳	115	-	-	0.9%	1.7%
20歳～29歳	207	-	0.5%	-	2.4%
30歳～39歳	284	-	-	1.4%	4.9%
40歳～49歳	405	-	0.5%	-	7.7%
50歳～59歳	568	-	0.2%	0.5%	8.3%
60歳～64歳	271	-	-	0.4%	10.3%

年齢別にみると、60歳未満では「インターネット」、60歳～64歳では「テレビ」が最も高くなっている。

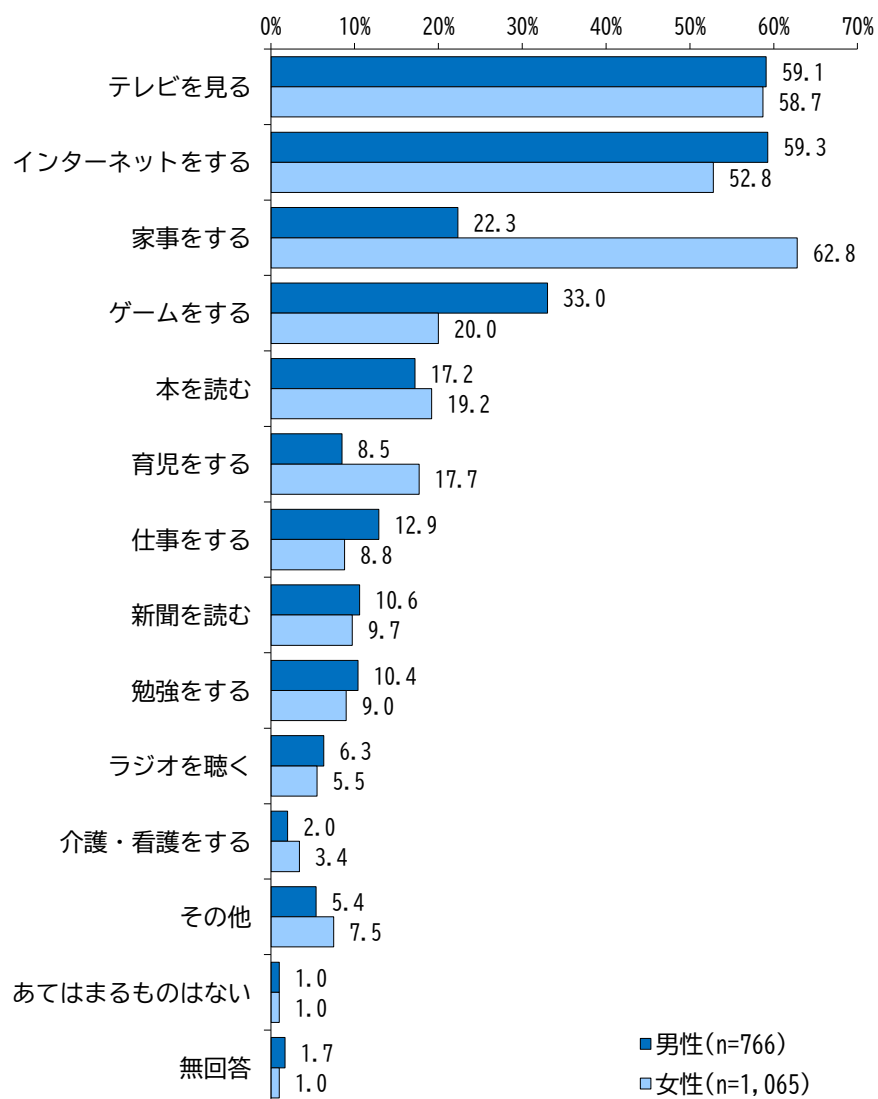
(3) 普段自宅にいる時の過ごし方

問33 普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）



普段自宅にいる時の過ごし方について、「テレビを見る」と回答した割合が58.8%と最も高く、「インターネットをする」(55.6%)、「家事をする」(45.9%)が続いている。

【普段自宅にいる時の過ごし方(性別)】



性別にみると、男性では「インターネットをする」と回答した割合が59.3%と最も高く、「テレビを見る」(59.1%)、「ゲームをする」(33.0%)が続いている。

一方、女性では「家事をする」と回答した割合が62.8%と最も高く、「テレビを見る」(58.7%)、「インターネットをする」(52.8%)が続いている。

【普段自宅にいる時の過ごし方(年齢別)】

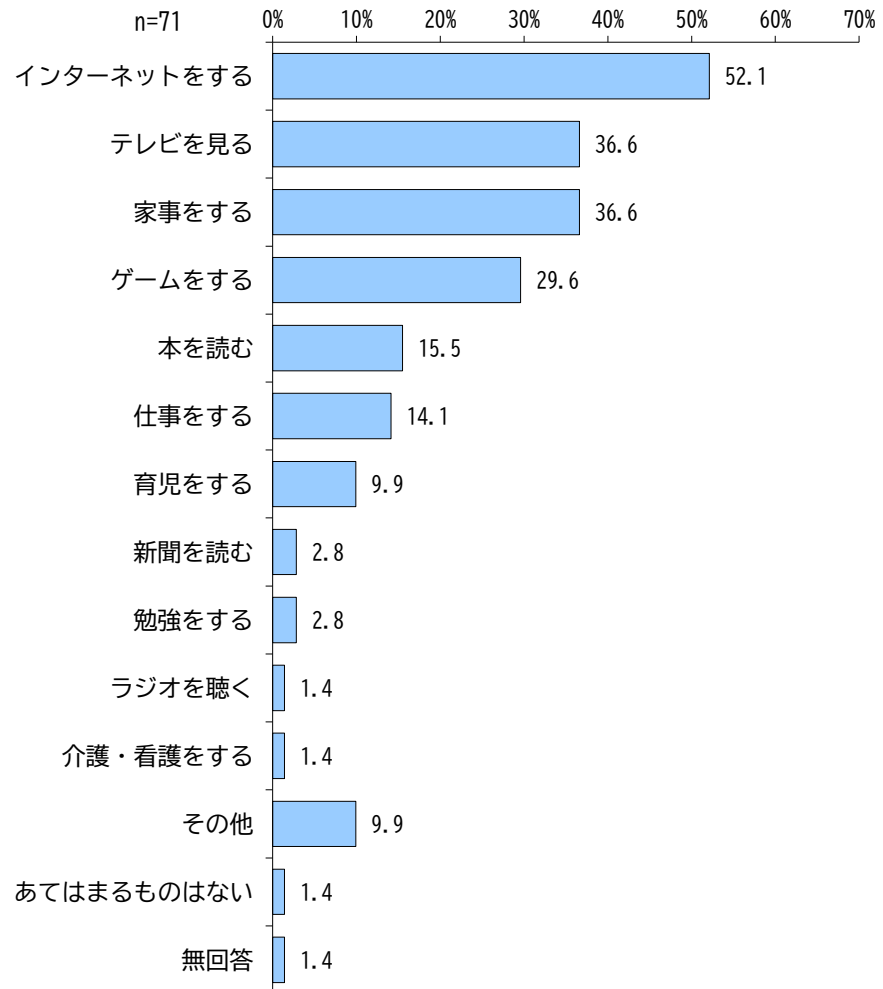
	回答数	テレビを見る	インターネットをする	家事をする	ゲームをする	本を読む	育児をする	仕事をす	新聞を読
15歳～19歳	115	44.3%	73.0%	7.8%	49.6%	18.3%	-	-	1.7%
20歳～29歳	207	39.1%	68.6%	26.1%	39.6%	15.0%	7.7%	9.2%	1.0%
30歳～39歳	284	47.5%	61.3%	52.5%	32.0%	16.2%	44.7%	12.7%	2.5%
40歳～49歳	405	58.3%	56.3%	54.6%	25.2%	19.0%	24.0%	10.6%	8.9%
50歳～59歳	568	67.1%	50.2%	49.1%	19.2%	17.3%	2.8%	13.0%	13.4%
60歳～64歳	271	74.9%	42.8%	50.9%	12.5%	24.7%	-	9.2%	22.1%

	回答数	勉強をする	ラジオを聴く	介護・看護をする	その他	あてはまるものはない	無回答
15歳～19歳	115	52.2%	0.9%	-	7.0%	0.9%	0.9%
20歳～29歳	207	19.3%	2.9%	-	8.7%	0.5%	1.4%
30歳～39歳	284	6.0%	4.2%	0.7%	6.3%	0.7%	1.1%
40歳～49歳	405	6.2%	5.4%	1.5%	5.9%	1.0%	1.2%
50歳～59歳	568	3.7%	7.6%	4.6%	5.6%	1.1%	1.4%
60歳～64歳	271	5.5%	8.9%	6.3%	9.2%	1.8%	1.1%

年齢別にみると、「インターネットをする」、「ゲームをする」と回答した割合は、年齢の低い層ほど高くなっている。

また、「テレビを見る」と回答した割合は、年齢の高い層で高くなっている。

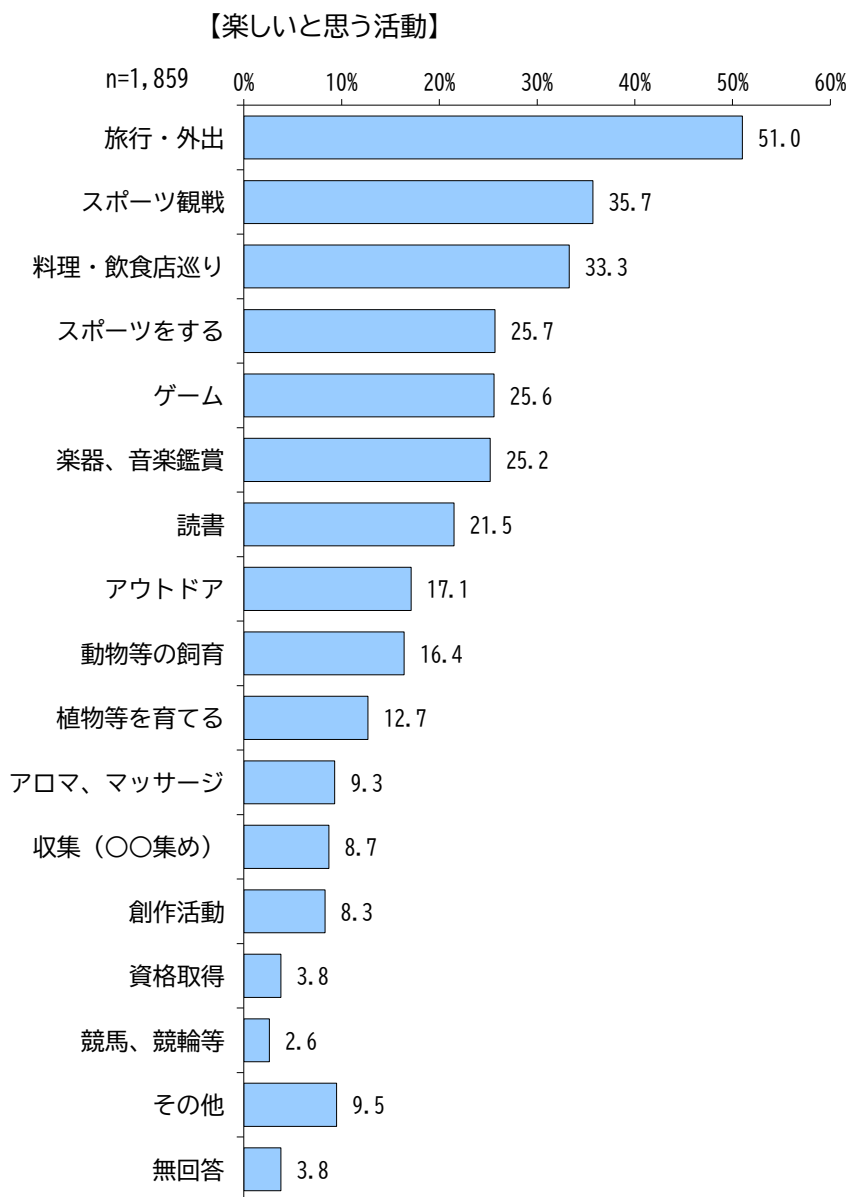
【普段自宅にいる時の過ごし方(どのようなところにも相談したくない人)】



どのようなところにも相談したくない人では、普段自宅にいる時の過ごし方について、「インターネットをする」と回答した割合が52.1%と最も高く、「テレビを見る」(36.6%)、「家事をする」(36.6%)、「ゲームをする」(29.6%)が続いている。

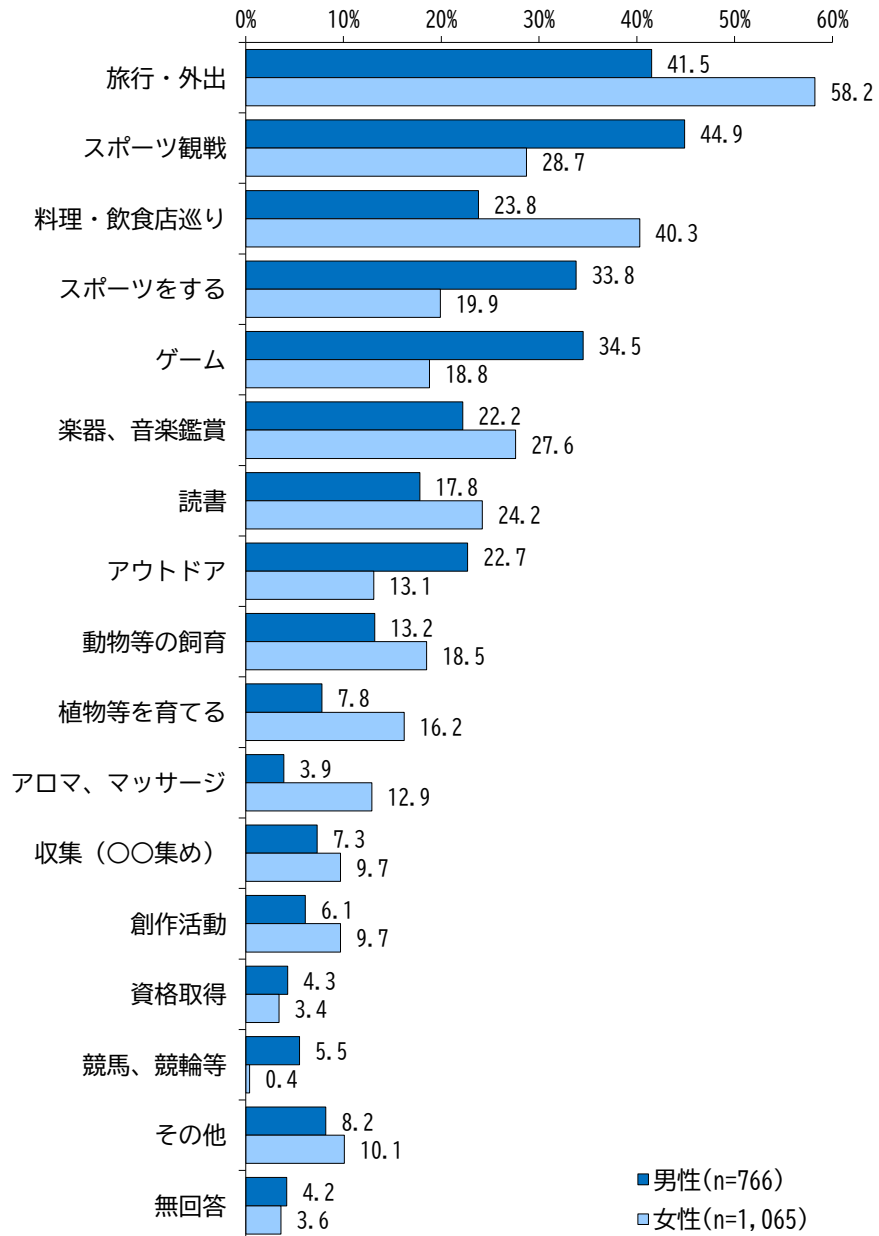
(4) 楽しいと思う活動

問34 あなたが楽しいと思う活動を教えてください。(〇はいくつでも)



楽しいと思う活動について、「旅行・外出」と回答した割合が51.0%と最も高く、「スポーツ観戦」(35.7%)、「料理・飲食店巡り」(33.3%)が続いている。

【楽しいと思う活動(性別)】



性別にみると、男性では「スポーツ観戦」と回答した割合が44.9%と最も高く、「旅行・外出」(41.5%)、「ゲーム」(34.5%)、「スポーツをする」(33.8%)が続いている。

一方、女性では「旅行・外出」と回答した割合が58.2%と最も高く、「料理・飲食店巡り」(40.3%)、「スポーツ観戦」(28.7%)、「楽器、音楽鑑賞」(27.6%)が続いている。

【楽しいと思う活動(年齢別)】

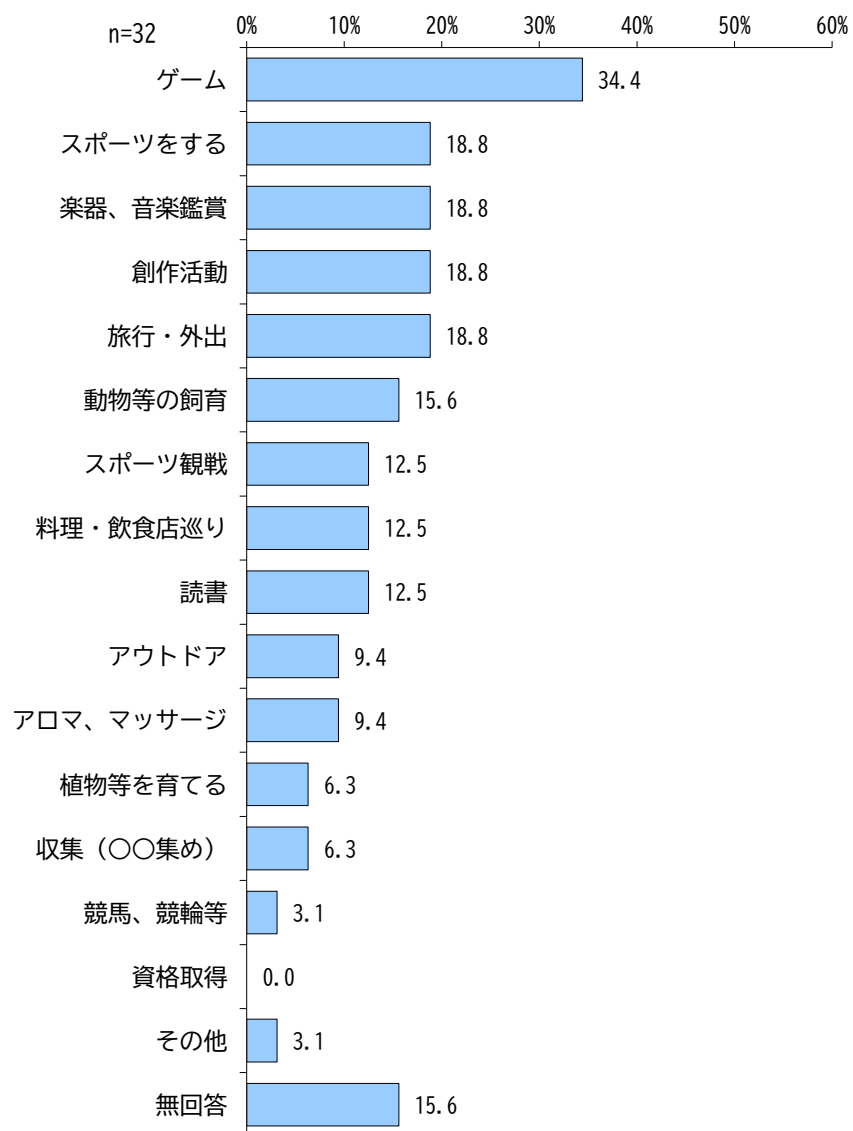
	回答数	旅行・外出	スポーツ観戦	料理・飲食店巡り	スポーツをする	ゲーム	楽器、音楽鑑賞	読書	アウトドア
15歳～19歳	115	39.1%	31.3%	18.3%	48.7%	55.7%	38.3%	27.0%	20.9%
20歳～29歳	207	58.5%	32.9%	37.7%	34.3%	37.7%	29.0%	15.0%	20.8%
30歳～39歳	284	52.8%	31.3%	39.8%	26.8%	35.6%	26.8%	22.9%	22.9%
40歳～49歳	405	50.1%	35.1%	33.3%	24.9%	24.7%	21.5%	22.5%	18.5%
50歳～59歳	568	50.0%	38.4%	32.4%	21.3%	18.1%	25.0%	21.7%	12.9%
60歳～64歳	271	53.1%	39.1%	31.7%	18.8%	10.0%	21.0%	20.7%	13.7%

	回答数	動物等の飼育	植物等を育てる	アロマ、マッサージ	収集(○ ○集め)	創作活動	資格取得	競馬、競輪等	その他
15歳～19歳	115	14.8%	4.3%	4.3%	16.5%	14.8%	3.5%	0.9%	2.6%
20歳～29歳	207	10.6%	3.9%	8.2%	13.5%	13.5%	4.8%	2.4%	7.7%
30歳～39歳	284	16.2%	10.9%	12.0%	14.4%	13.0%	3.2%	3.9%	7.4%
40歳～49歳	405	19.5%	11.6%	9.1%	8.6%	7.7%	5.2%	3.0%	9.9%
50歳～59歳	568	16.2%	15.7%	10.7%	4.9%	4.4%	2.8%	2.3%	11.4%
60歳～64歳	271	17.3%	20.7%	6.3%	3.7%	5.9%	3.3%	2.6%	10.7%

	回答数	無回答
15歳～19歳	115	1.7%
20歳～29歳	207	2.9%
30歳～39歳	284	4.2%
40歳～49歳	405	3.7%
50歳～59歳	568	3.2%
60歳～64歳	271	6.3%

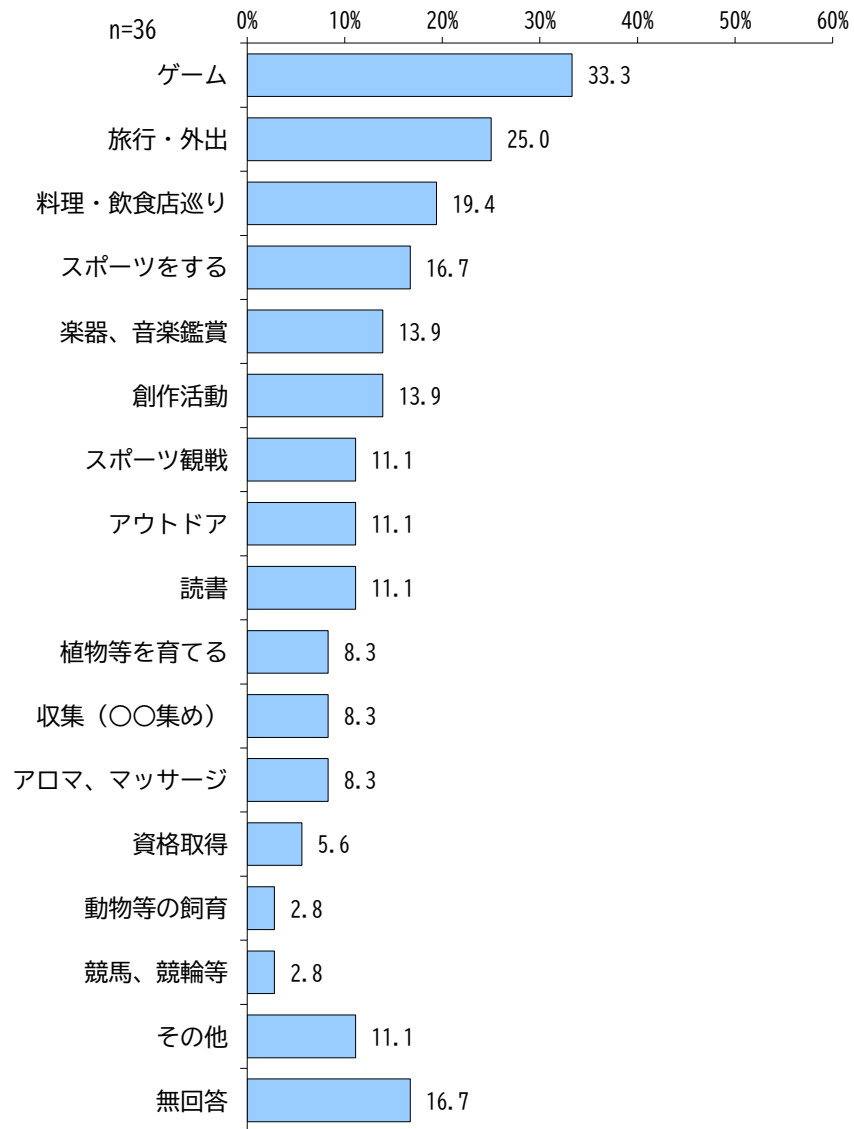
年齢別にみると、15歳～19歳では「ゲーム」、20歳以上では「旅行・外出」が最も高くなっている。

【楽しいと思う活動(困りごとはあるが、どのようなところにも相談したくない人)】



困りごとはあるが、どのようなところにも相談したくない人では、楽しいと思う活動について、「ゲーム」と回答した割合が34.4%と最も高くなっている。

【楽しいと思う活動(ほとんど家にいる状態が改善していない人)】



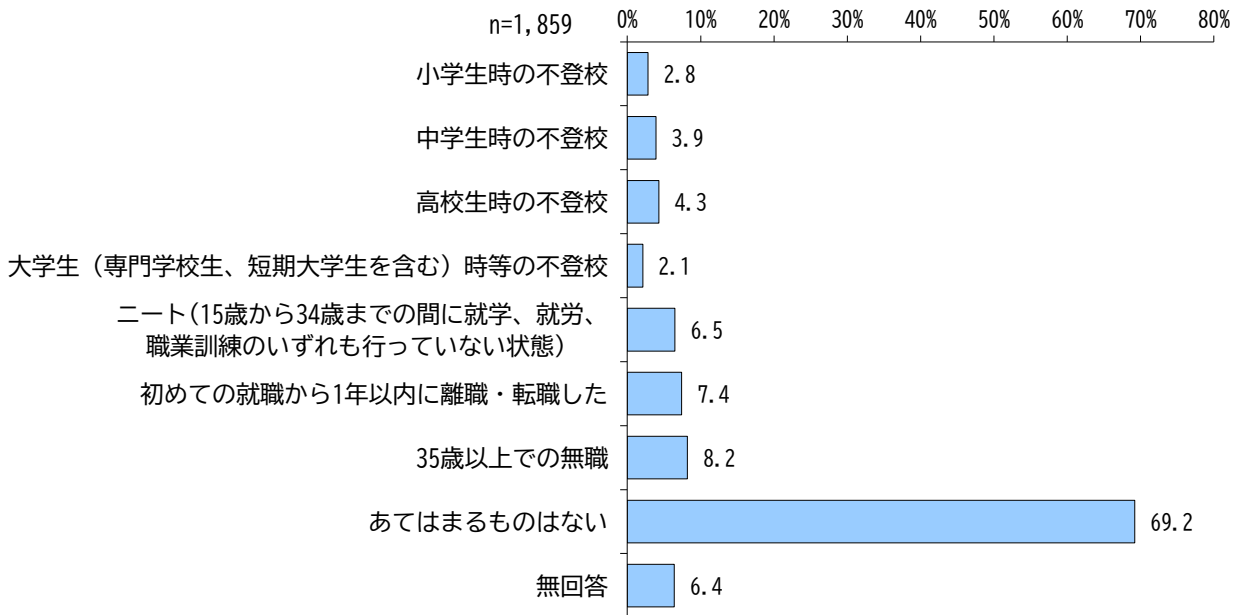
ほとんど家にいる状態が改善していない人では、楽しいと思う活動について、「ゲーム」と回答した割合が33.3%と最も高く、「旅行・外出」(25.0%)、「料理・飲食店巡り」(19.4%)が続いている。

7 これまでの経験について

(1) これまでの困難な経験の有無

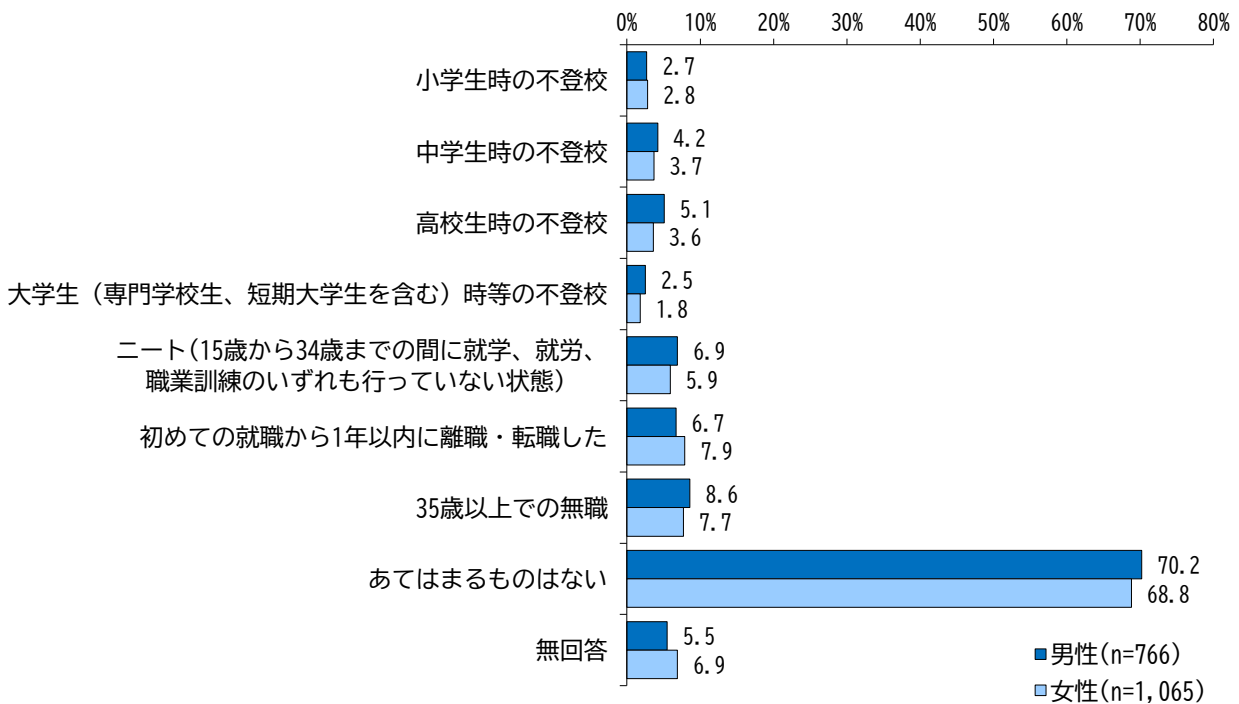
問35 これまでに、次のような経験をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

【これまでの困難な経験の有無】



これまでの困難な経験の有無について、何らかの経験を回答した人の割合が24.4%となっている。

【これまでの困難な経験の有無(性別)】



性別にみると、何らかの経験を回答した人の割合は、男女ともに24.3%となっている。

【これまでの困難な経験の有無(年齢別)】

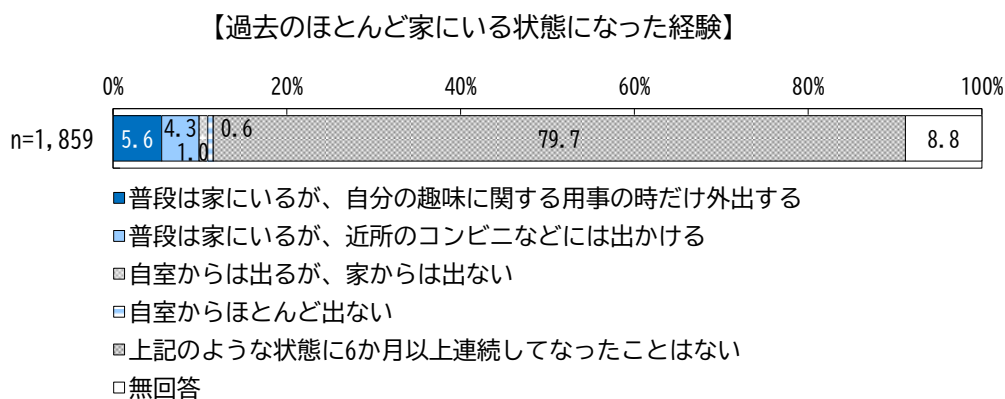
	回答数	小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	ニート(15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態)	初めての就職から1年以内に離職・転職した	35歳以上の無職	あてはまるものはない
15歳～19歳	115	1.7%	5.2%	6.1%	0.9%	0.9%	-	-	83.5%
20歳～29歳	207	6.3%	8.7%	6.8%	3.4%	11.1%	6.3%	-	71.5%
30歳～39歳	284	3.2%	7.4%	6.3%	2.8%	16.2%	9.9%	4.9%	58.8%
40歳～49歳	405	3.0%	3.5%	5.2%	2.5%	6.9%	8.9%	10.9%	67.7%
50歳～59歳	568	1.9%	2.3%	2.8%	2.1%	3.5%	7.9%	12.7%	66.7%
60歳～64歳	271	1.8%	0.4%	1.5%	0.4%	0.4%	5.2%	7.0%	80.8%

	回答数	無回答
15歳～19歳	115	5.2%
20歳～29歳	207	2.9%
30歳～39歳	284	7.7%
40歳～49歳	405	5.9%
50歳～59歳	568	7.9%
60歳～64歳	271	5.5%

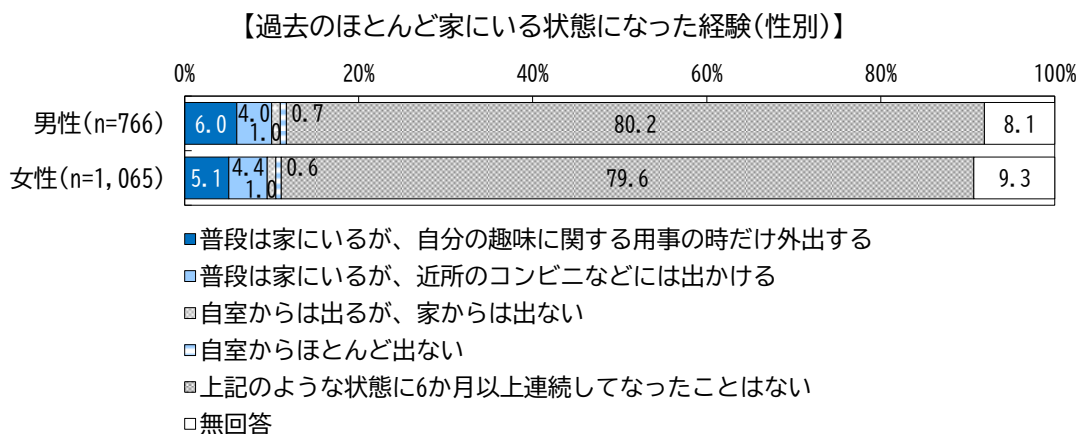
年齢別にみると、何らかの経験を回答した人の割合は、15歳～19歳で11.3%、20歳～29歳で25.6%、30歳～39歳で33.5%、40歳～49歳で26.4%、50歳～59歳で25.4%、60歳～64歳で13.7%となっている。

(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験

問36 あなたは過去に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
 (○はひとつだけ)

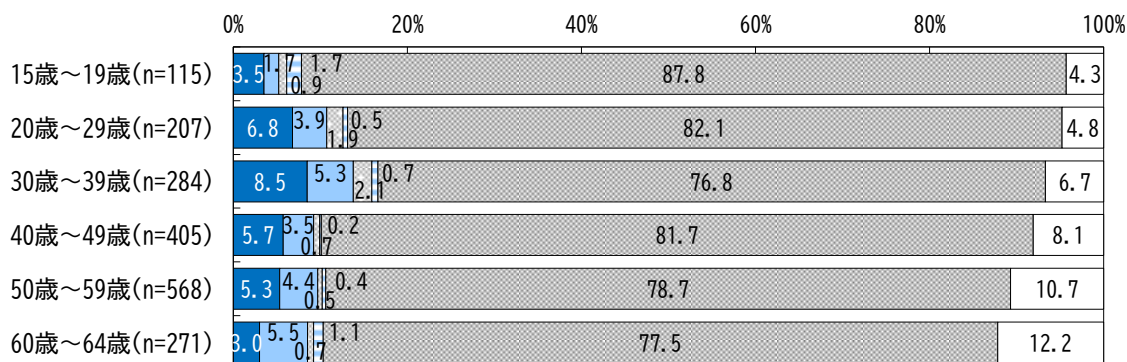


過去6か月以上連続してほとんど家にいる状態になった経験について、外出頻度が低い状態にあったことがある人についてみると、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が5.6%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が4.3%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が1.0%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が0.6%となっており、すべてを合わせると11.5%となっている。



性別にみると、外出頻度が低い状態にあったことがある人の割合は、男性で11.7%、女性で11.1%となっている。

【過去のほとんど家にいる状態になった経験(年齢別)】



- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない
- 上記のような状態に6か月以上連続してなったことはない
- 無回答

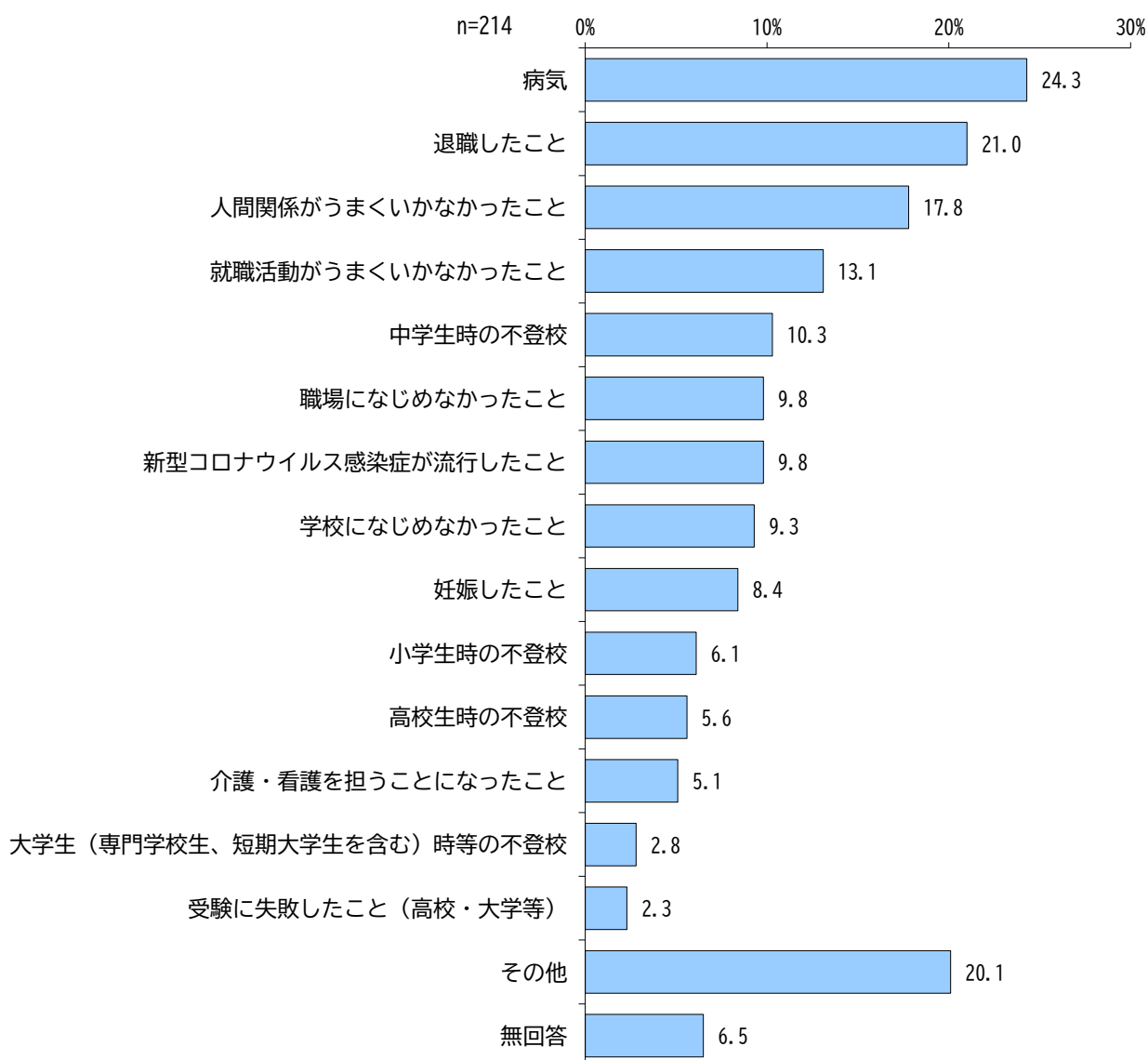
年齢別にみると、外出頻度が低い状態にあったことがある人の割合は、15歳～19歳で7.8%、20歳～29歳で13.1%、30歳～39歳で16.6%、40歳～49歳で10.1%、50歳～59歳で10.6%、60歳～64歳で10.3%となっている。

(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ

問36で「1」～「4」と回答した人のみ回答

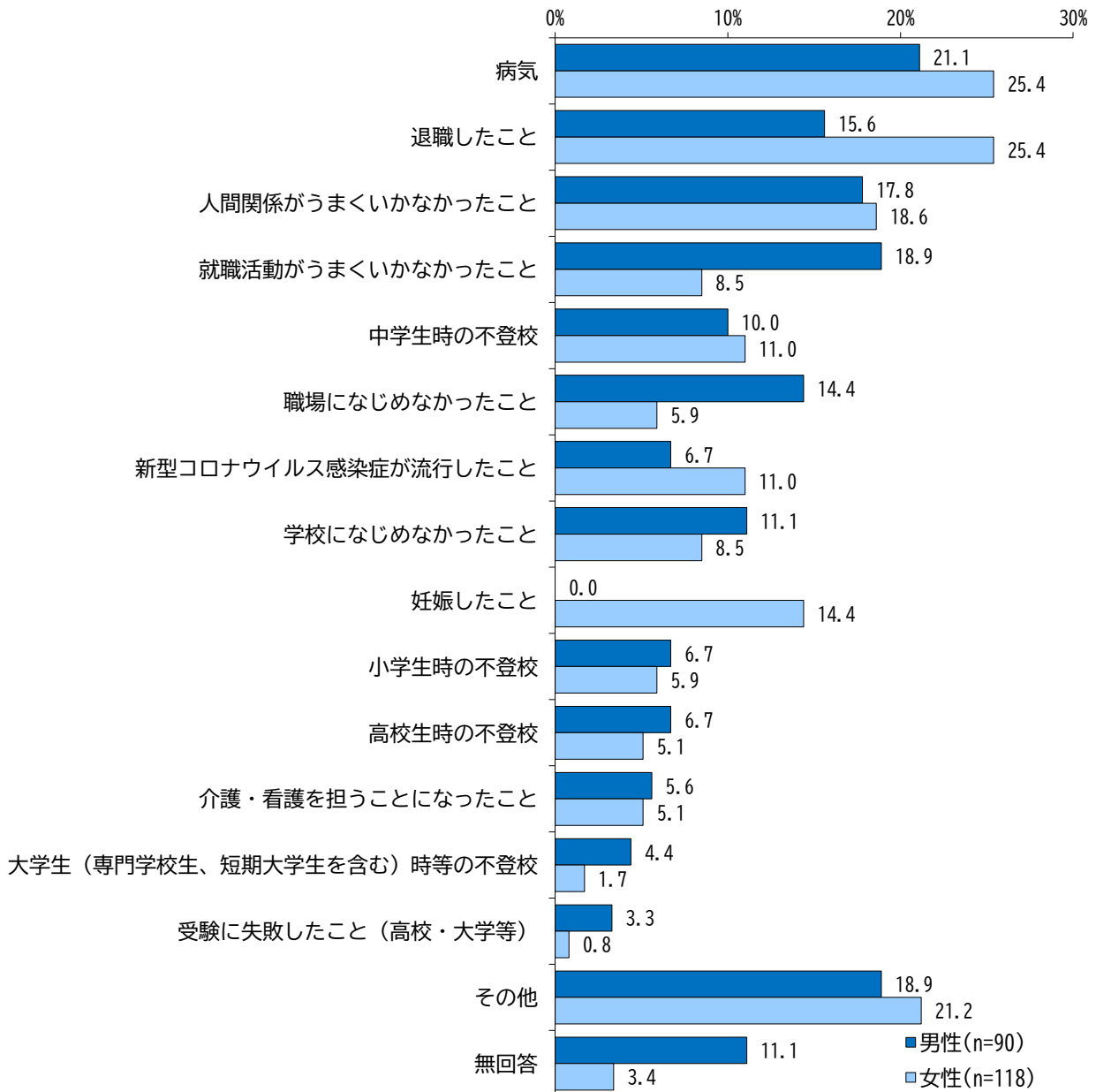
問37 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態になったきっかけ】



ほとんど家にいる状態になったきっかけについて、「病気」と回答した割合が24.3%と最も高く、「退職したこと」（21.0%）、「人間関係がうまくいかなかったこと」（17.8%）が続いている。

【ほとんど家にいる状態になったきっかけ(性別)】



性別にみると、男性では「病気」と回答した割合が21.1%と最も高く、「就職活動がうまくいかなかったこと」(18.9%)、「人間関係がうまくいかなかったこと」(17.8%)、「退職したこと」(15.6%)が続いている。

一方、女性では「病気」、「退職したこと」と回答した割合が25.4%と最も高く、「人間関係がうまくいかなかったこと」(18.6%)が続いている。

【ほとんど家にいる状態になったきっかけ(年齢別)】

	回答数	病気	退職したこと	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	中学生時の不登校	職場になじめなかったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	学校になじめなかったこと
15歳～19歳	9	11.1%	-	33.3%	-	33.3%	-	33.3%	22.2%
20歳～29歳	27	3.7%	18.5%	33.3%	14.8%	18.5%	11.1%	7.4%	22.2%
30歳～39歳	47	23.4%	21.3%	17.0%	17.0%	10.6%	17.0%	8.5%	6.4%
40歳～49歳	41	26.8%	19.5%	12.2%	19.5%	9.8%	9.8%	12.2%	9.8%
50歳～59歳	60	28.3%	25.0%	16.7%	10.0%	6.7%	8.3%	8.3%	6.7%
60歳～64歳	28	39.3%	21.4%	10.7%	3.6%	3.6%	-	3.6%	3.6%

	回答数	妊娠したこと	小学生時の不登校	高校生時の不登校	介護・看護を担うことになったこと	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	その他	無回答
15歳～19歳	9	-	11.1%	11.1%	-	-	-	11.1%	-
20歳～29歳	27	7.4%	14.8%	14.8%	3.7%	11.1%	7.4%	18.5%	7.4%
30歳～39歳	47	17.0%	4.3%	6.4%	2.1%	-	-	25.5%	8.5%
40歳～49歳	41	7.3%	7.3%	2.4%	-	-	-	22.0%	-
50歳～59歳	60	6.7%	3.3%	1.7%	11.7%	3.3%	3.3%	16.7%	6.7%
60歳～64歳	28	-	3.6%	7.1%	7.1%	3.6%	-	21.4%	14.3%

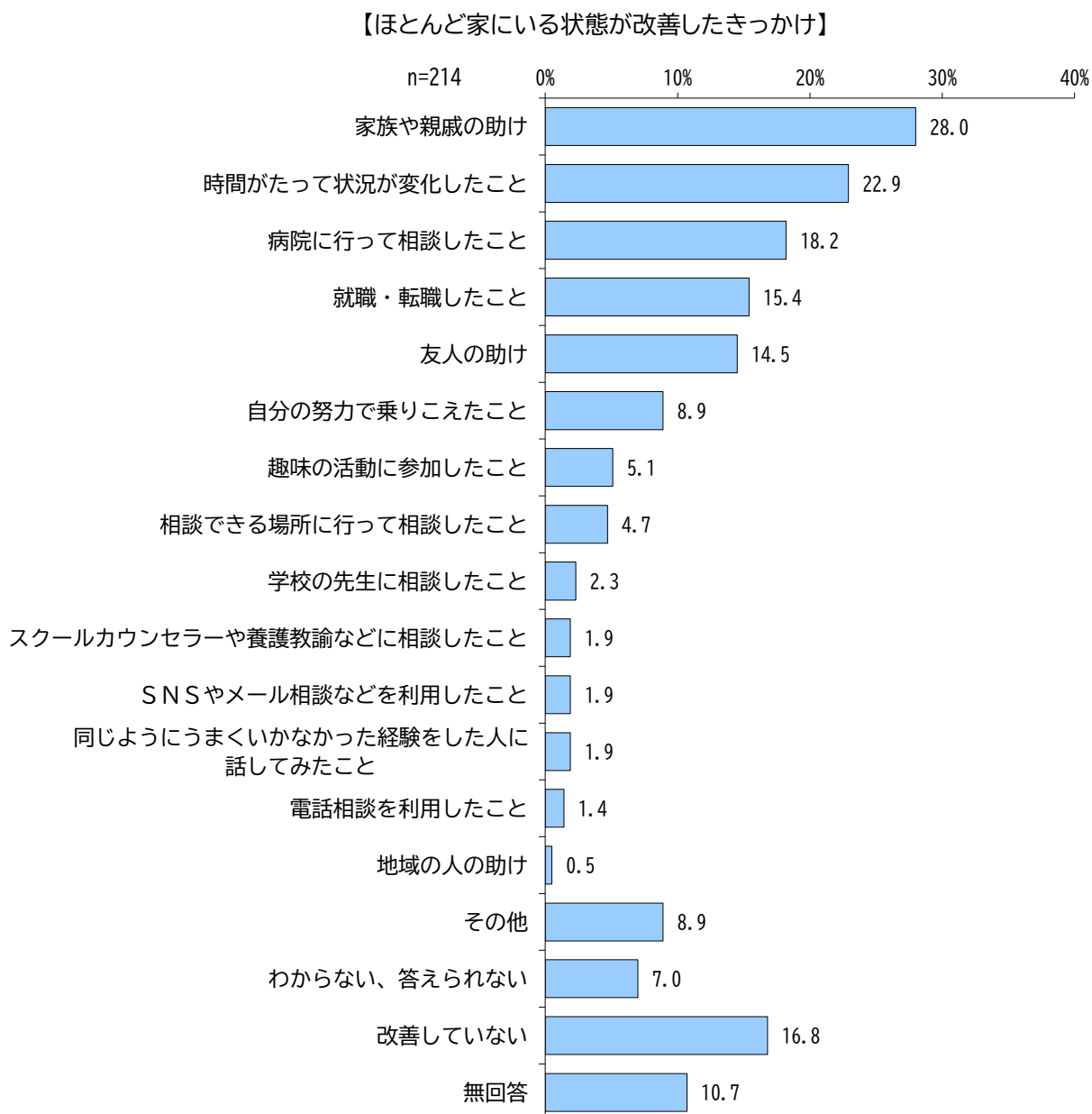
年齢別にみると、回答数は少ないが、15歳～19歳では「人間関係がうまくいかなかったこと」、「中学生時の不登校」、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」、20歳～29歳では「人間関係がうまくいかなかったこと」、30歳以上では「病気」が最も高くなっている。

(4) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ

問36で「1」～「4」と回答した人のみ回答

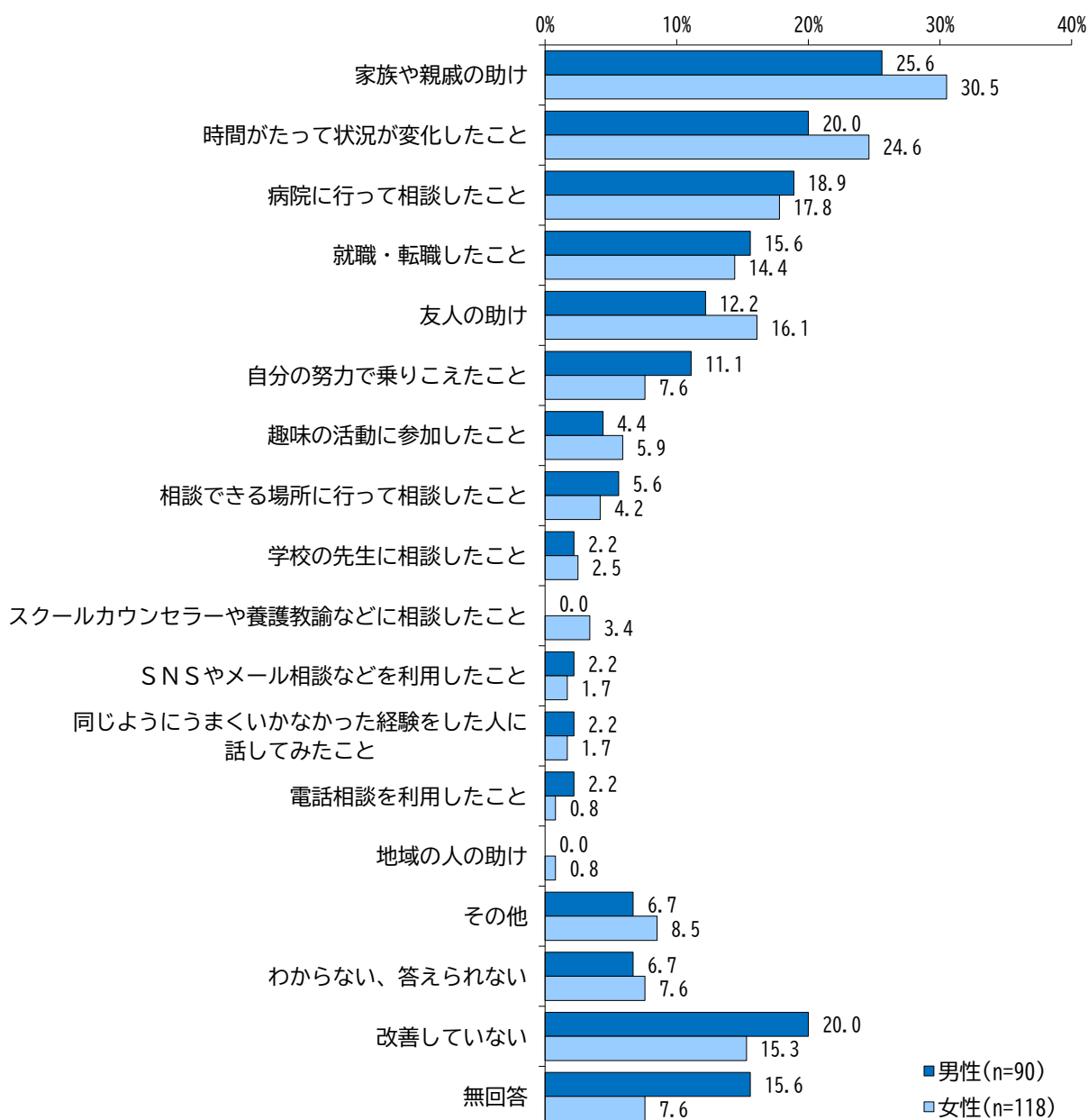
問38 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。

(○はいくつでも)



ほとんど家にいる状態が改善したきっかけについて、「家族や親戚の助け」と回答した割合が28.0%と最も高く、「時間がたって状況が変化したこと」(22.9%)、「病院に行って相談したこと」(18.2%)、「就職・転職したこと」(15.4%)、「友人の助け」(14.5%)が続いている。

【ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ(性別)】



性別にみると、男女ともに「家族や親戚の助け」（男性25.6%、女性30.5%）が最も高く、「時間がたって状況が変化したこと」（男性20.0%、女性24.6%）、「病院に行って相談したこと」（男性18.9%、女性17.8%）が続いている。

【ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ(年齢別)】

	回答数	家族や親戚の助け	時間がたって状況が変化したこと	病院に行って相談したこと	就職・転職したこと	友人の助け	自分の努力で乗りこえたこと	趣味の活動に参加したこと	相談できる場所に行って相談したこと
15歳～19歳	9	33.3%	33.3%	22.2%	-	11.1%	11.1%	-	-
20歳～29歳	27	29.6%	37.0%	7.4%	11.1%	18.5%	18.5%	7.4%	3.7%
30歳～39歳	47	36.2%	21.3%	19.1%	23.4%	10.6%	10.6%	6.4%	10.6%
40歳～49歳	41	26.8%	29.3%	24.4%	17.1%	22.0%	7.3%	4.9%	7.3%
50歳～59歳	60	26.7%	18.3%	16.7%	13.3%	15.0%	6.7%	6.7%	-
60歳～64歳	28	17.9%	7.1%	21.4%	7.1%	7.1%	3.6%	-	3.6%

	回答数	学校の先生に相談したこと	スクールカウンセラーや養護教諭などに相談したこと	SNSやメール相談などを利用したこと	同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	電話相談を利用したこと	地域の人の助け	その他	わからない、答えられない
15歳～19歳	9	11.1%	-	-	11.1%	-	-	11.1%	22.2%
20歳～29歳	27	3.7%	7.4%	-	-	-	-	7.4%	3.7%
30歳～39歳	47	6.4%	2.1%	4.3%	4.3%	2.1%	2.1%	6.4%	10.6%
40歳～49歳	41	-	-	2.4%	-	-	-	9.8%	4.9%
50歳～59歳	60	-	-	1.7%	-	1.7%	-	8.3%	3.3%
60歳～64歳	28	-	3.6%	-	3.6%	3.6%	-	14.3%	10.7%

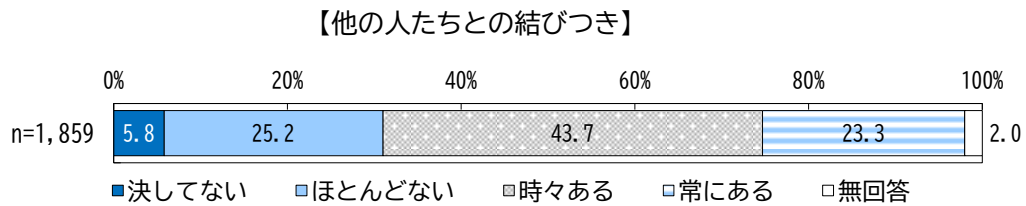
	回答数	改善していない	無回答
15歳～19歳	9	22.2%	-
20歳～29歳	27	14.8%	11.1%
30歳～39歳	47	17.0%	8.5%
40歳～49歳	41	14.6%	4.9%
50歳～59歳	60	16.7%	16.7%
60歳～64歳	28	21.4%	14.3%

年齢別にみると、15歳～19歳、20歳～29歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「家族や親戚の助け」、「時間がたって状況が変化したこと」、30歳～39歳では「家族や親戚の助け」、「就職・転職したこと」、60歳～64歳では「病院に行って相談したこと」「家族や親戚の助け」が上位となっている。

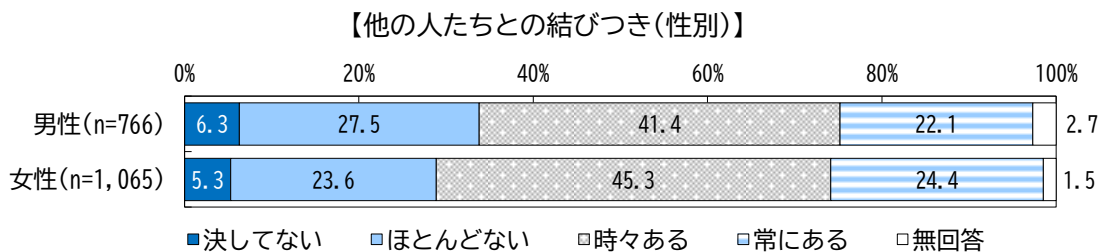
8 周囲とのかかわり方について

(1) 他の人たちとの結びつき

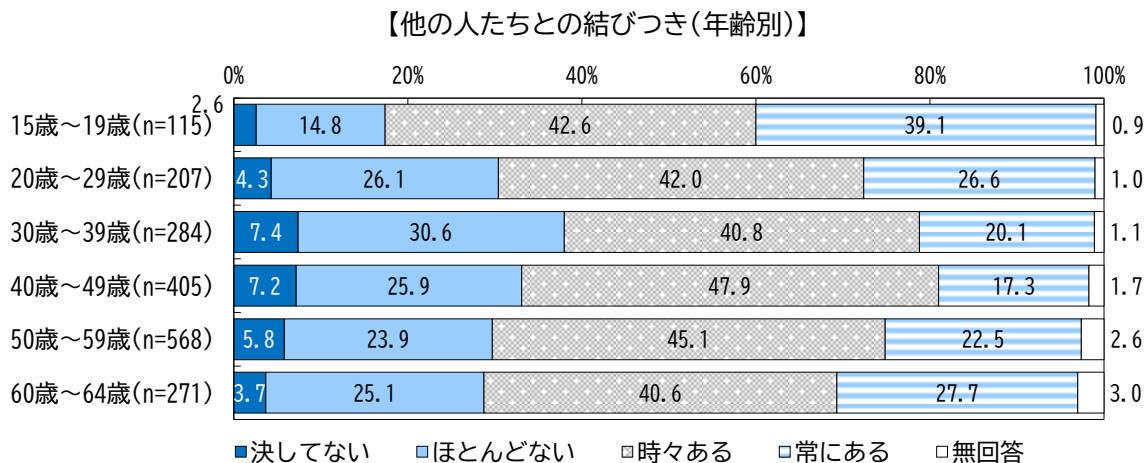
問39 自分は他の人たちとよく交流し結びつきが強いと思いますか。(〇はひとつだけ)



他の人たちとの結びつきについて、結びつきが強いと感じることが「常にある」と回答した割合が23.3%、『ない』（「決してない」+「ほとんどない」）と回答した割合が31.0%となっている。



性別にみると、結びつきが強いと感じることが『ない』と回答した割合は、男性で33.8%、女性で28.9%となっている。

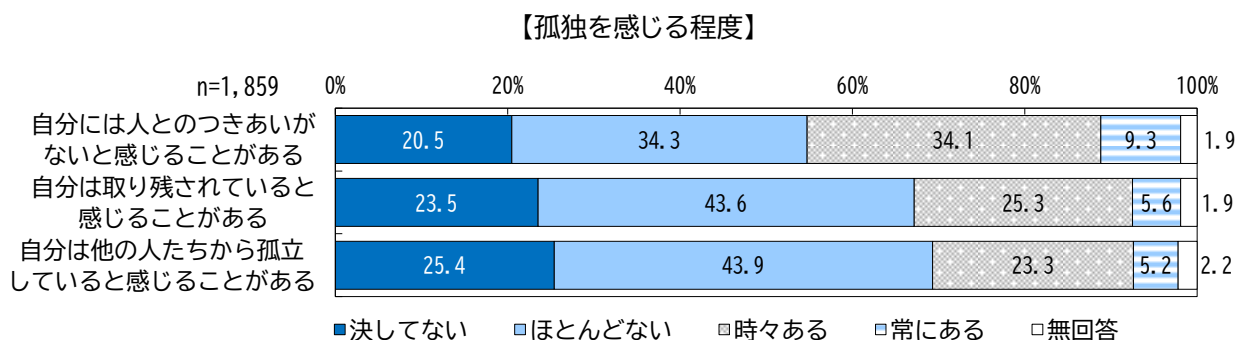


年齢別にみると、結びつきが強いと感じることが『ない』と回答した割合は、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳で3割台となっている。

(2) 孤独感(間接質問)

問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】



孤独を感じる程度について、自分には人とのつきあいがないと感じるものが「常にある」と回答した割合が9.3%、「時々ある」と回答した割合が34.1%、自分は取り残されていると感じることが「常にある」と回答した割合が5.6%、「時々ある」と回答した割合が25.3%、自分は他の人たちから孤立していると感じることが「常にある」と回答した割合が5.2%、「時々ある」と回答した割合が23.3%となっている。

本調査では、孤独感について把握するため、「直接質問」、「間接質問」の2種類の質問を行っており、本問は後者の「間接質問」である。

本問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA孤独感尺度」¹の日本語版²の3項目短縮版³に基づくもので、以下の3つの項目への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価する内容となっている⁴。

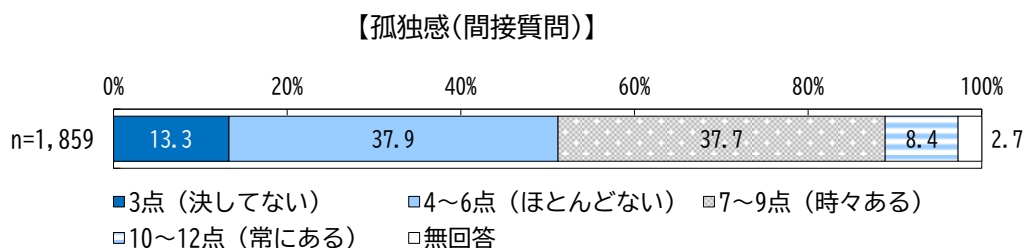
問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

- ・自分には人とのつきあいが無いと感じることがある
- ・自分は取り残されていると感じることがある
- ・自分は他の人たちから孤立していると感じることがある

※これらの選択肢はいずれも、「決してない」、「ほとんどない」、「時々ある」、「常にある」

本報告書では、内閣官房「人々のつながりに関する基礎調査」を参考に、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて便宜的に「3点（決してない）」、「4～6点（ほとんどない）」、「7～9点（時々ある）」、「10～12点（常にある）」の4区分に整理している。



孤独感（間接質問）について、「3点（決してない）」に該当する割合が13.3%、「4～6点（ほとんどない）」に該当する割合が37.9%、「7～9点（時々ある）」に該当する割合が37.7%、「10～12点（常にある）」に該当する割合が8.4%となっている。

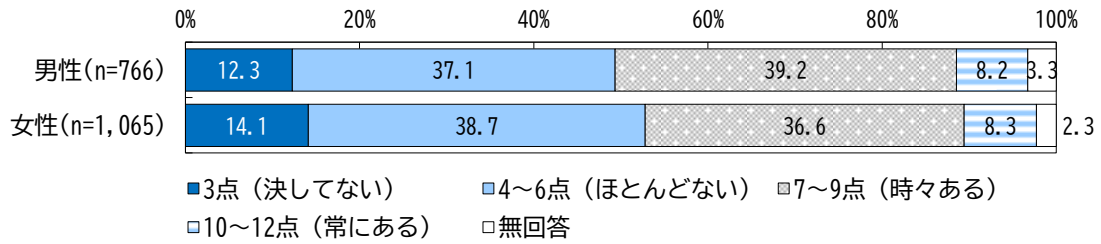
¹ Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. J Pers Assess. 1996;66(1):20-40.

² 舛田ゆづり,田高悦子,他::高齢者における日本語版UCLA 孤独感尺度（第3版）の開発とその信頼性・妥当性の検討,日本地域看護学会誌.15(1): 25-32,2012.

³ Arimoto A & Tadaka E:Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

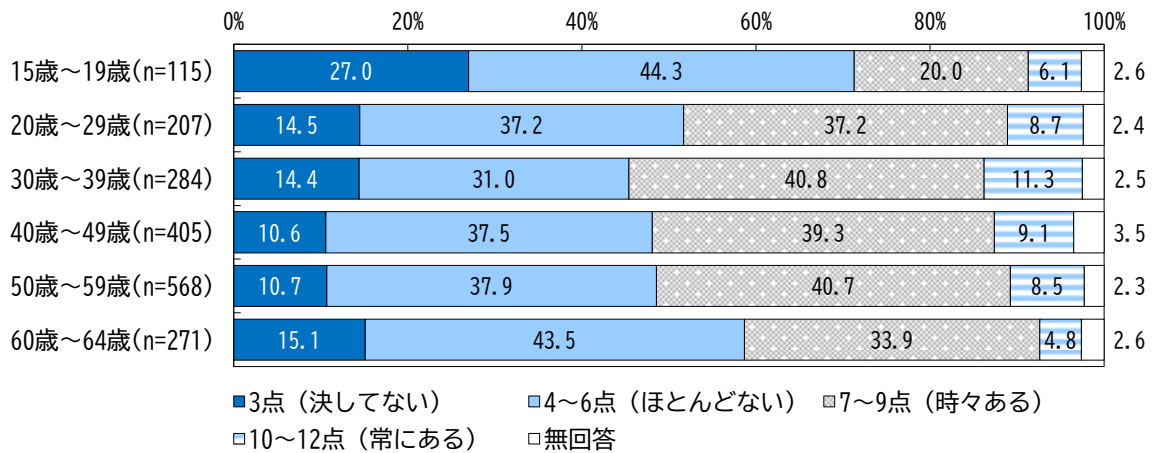
⁴ 質問に「孤独」という言葉を使用していないことから「間接質問」と呼称している。

【孤独感(間接質問)(性別)】



性別にみると、「10~12点 (常にある)」に該当する割合は、男性で8.2%、女性で8.3%となっている。

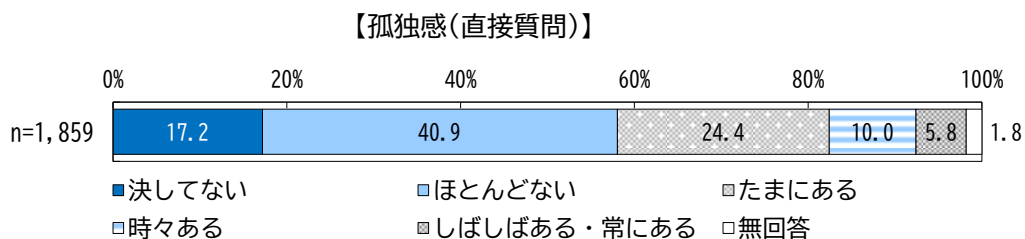
【孤独感(間接質問)(年齢別)】



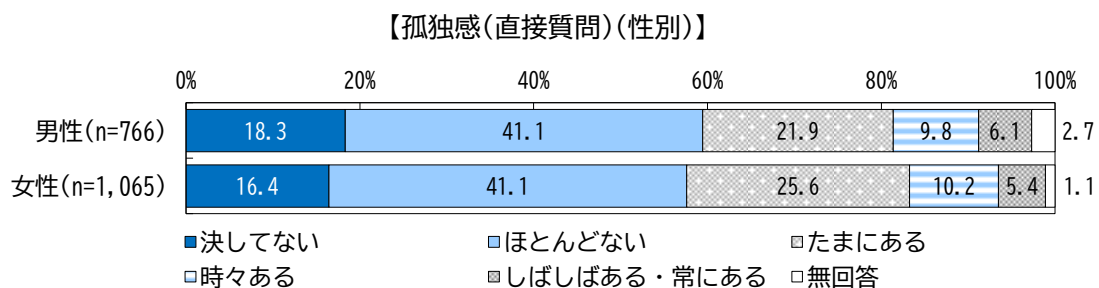
年齢別にみると、「10~12点 (常にある)」に該当する割合は、15歳~19歳で6.1%、20歳~29歳で8.7%、30歳~39歳で11.3%、40歳~49歳で9.1%、50歳~59歳で8.5%、60歳~64歳で4.8%となっている。

(3) 孤独感(直接質問)

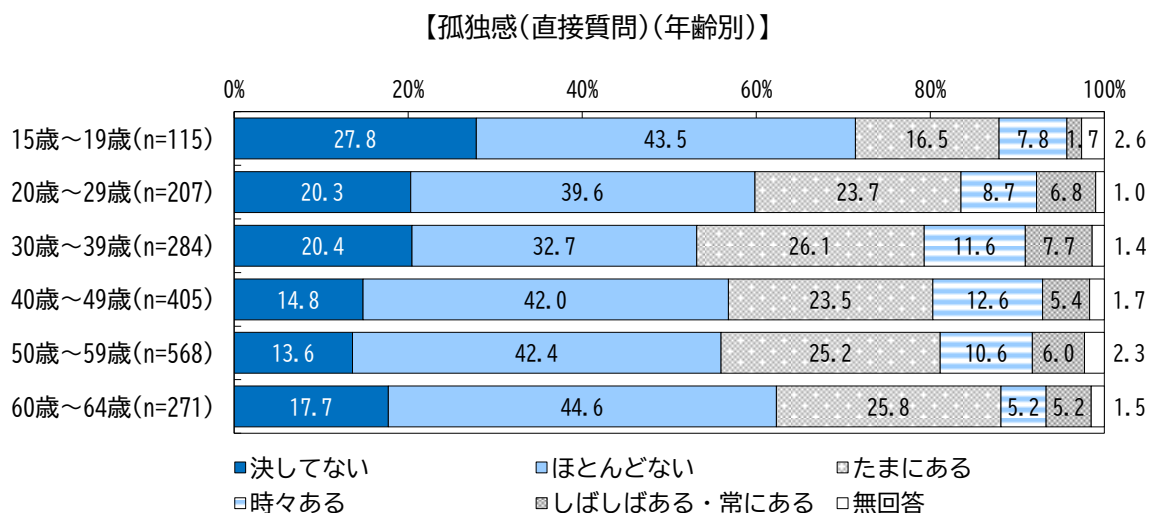
問40 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○はひとつだけ)



孤独感(直接質問)について、「時々ある」と回答した割合が10.0%、「しばしばある・常にある」と回答した割合が5.8%となっている。



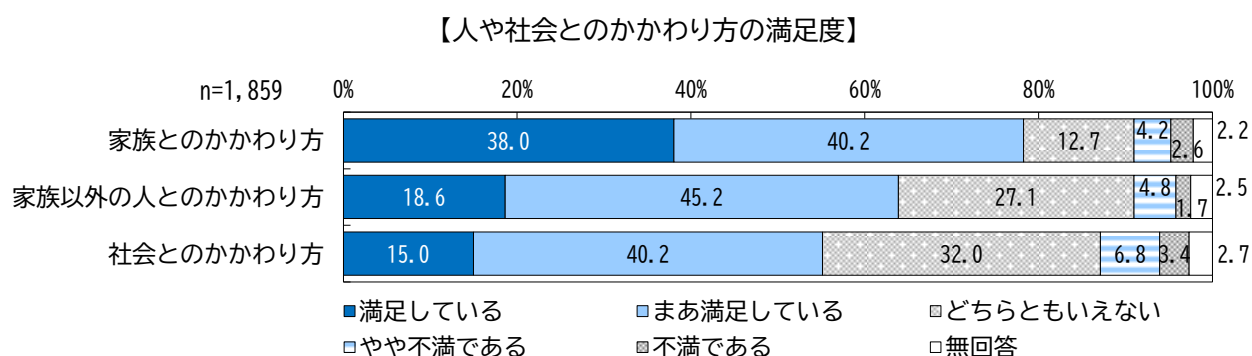
性別にみると、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、男性で6.1%、女性で5.4%となっている。



年齢別にみると、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、15歳～19歳で1.7%、20歳～29歳で6.8%、30歳～39歳で7.7%、40歳～49歳で5.4%、50歳～59歳で6.0%、60歳～64歳で5.2%となっている。

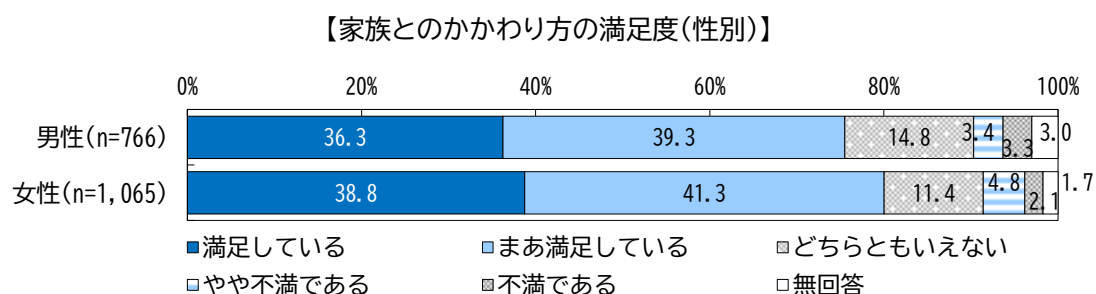
(4) 人や社会とのかかわり方の満足度

問41 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。
【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】



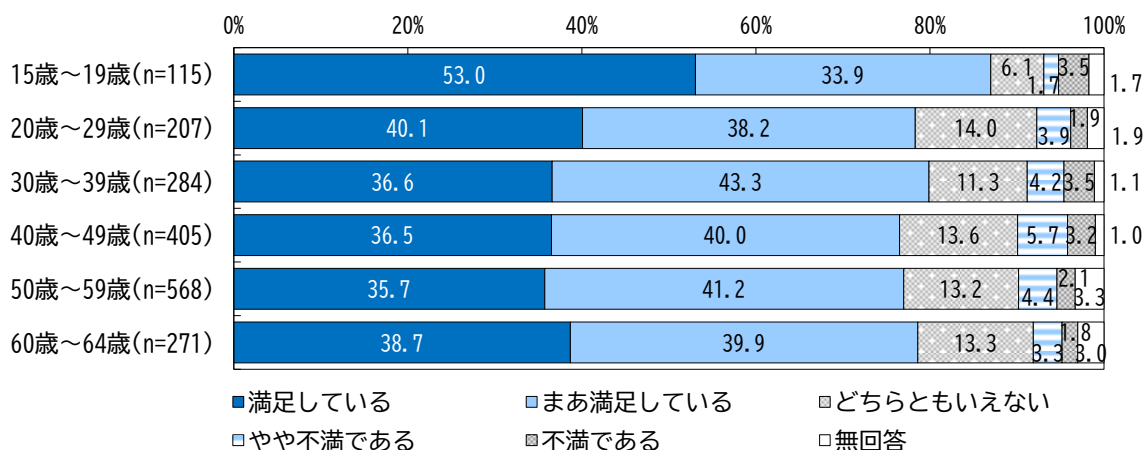
人や社会とのかかわり方の満足度について、『満足している』（「満足している」+「まあ満足している」）と回答した割合は、家族とのかかわり方で78.2%、家族以外の人とのかかわり方で63.8%、社会とのかかわり方で55.2%、『不満である』（「不満である」+「やや不満である」）と回答した割合は、家族とのかかわり方で6.8%、家族以外の人とのかかわり方で6.5%、社会とのかかわり方で10.2%となっている。

① 家族とのかかわり方



性別にみると、『満足している』と回答した割合は、男性で75.6%、女性で80.1%、『不満である』と回答した割合は、男性で6.7%、女性で6.9%となっている。

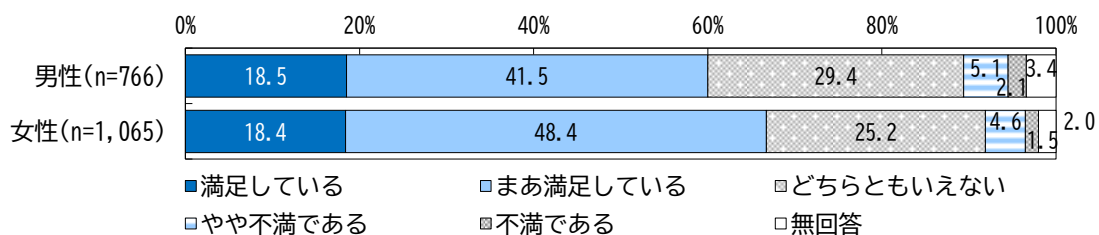
【家族とのかかわり方の満足度(年齢別)】



年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は、いずれの年齢層も7割を超えており、15歳～19歳では86.9%となっている。

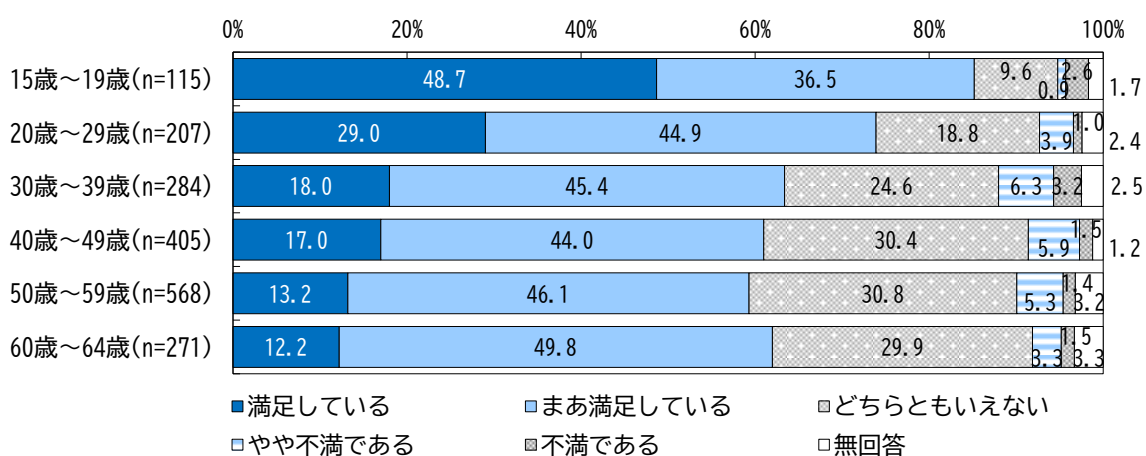
② 家族以外の人とのかかわり方

【家族以外の人とのかかわり方の満足度(性別)】



性別にみると、『満足している』と回答した割合は、男性で60.0%、女性で66.8%、『不満である』と回答した割合は、男性で7.2%、女性で6.1%となっている。

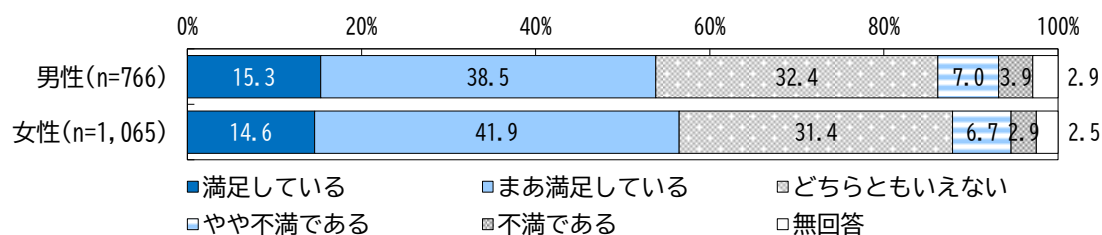
【家族以外の人とのかかわり方の満足度(年齢別)】



年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は、30歳未満で7割を超えており、15歳～19歳では85.2%となっている。

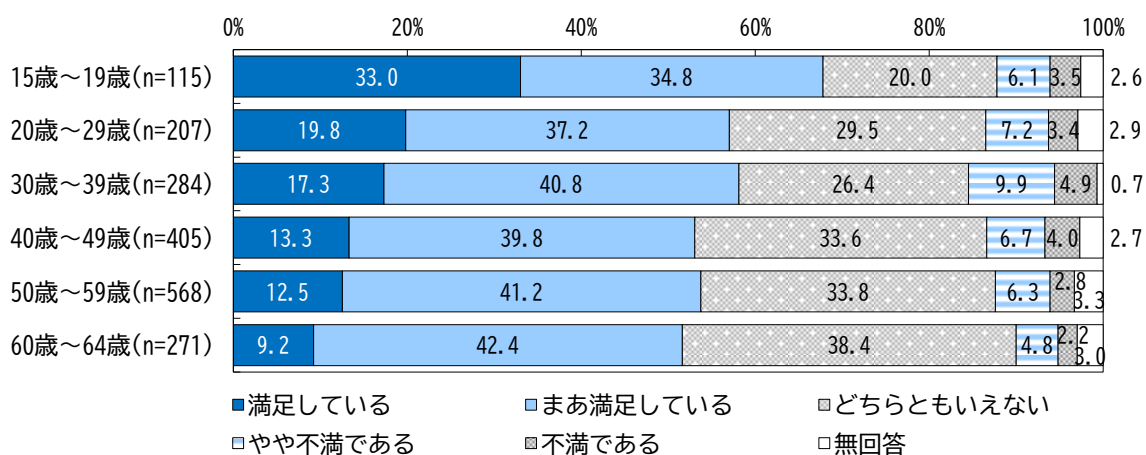
③ 社会とのかかわり方

【社会とのかかわり方の満足度(性別)】



性別にみると、『満足している』と回答した割合は、男性で53.8%、女性で56.5%、『不満である』と回答した割合は、男性で10.9%、女性で9.6%となっている。

【社会とのかかわり方の満足度(年齢別)】

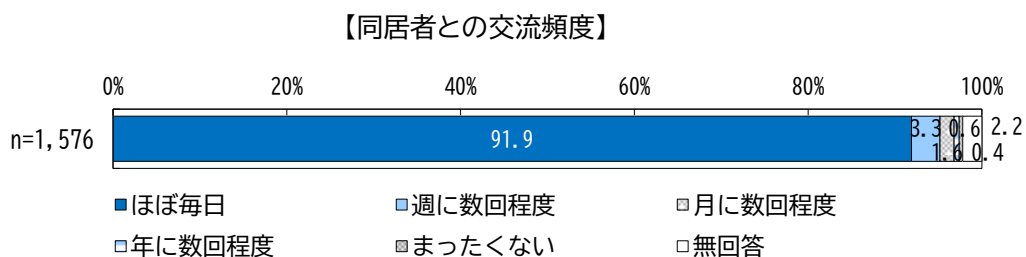


年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は、いずれの年齢層も5割を超えており、15歳～19歳で67.8%となっている。

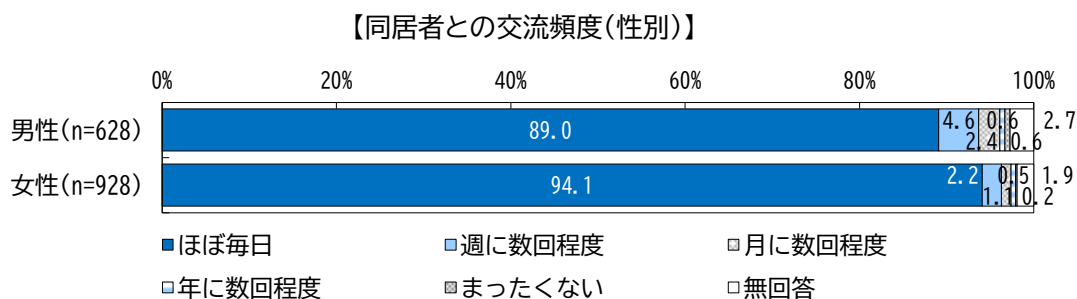
(5) 同居者との交流頻度

同居者がいる場合のみ回答

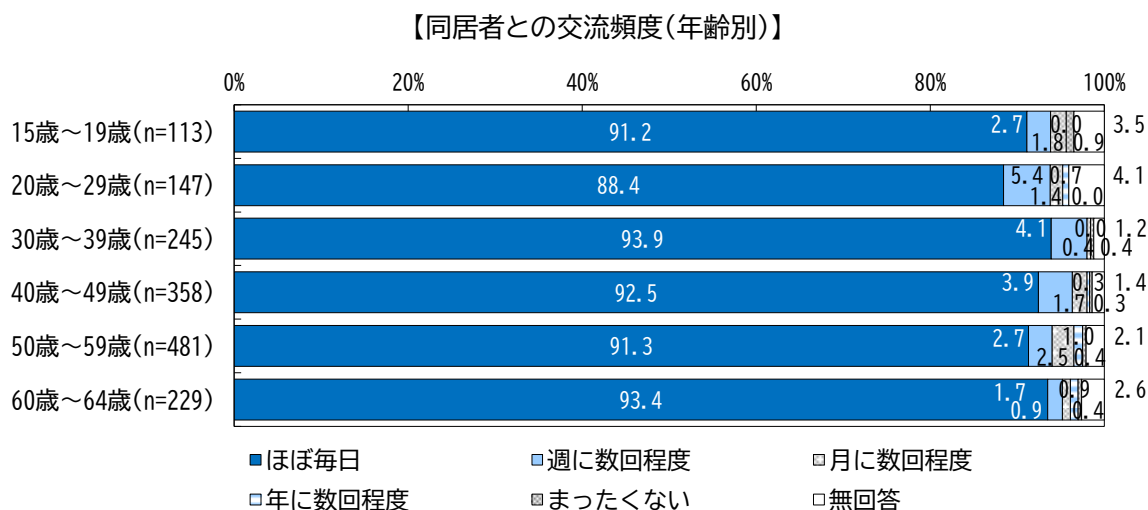
問42 同居している人との交流頻度についてお答えください。(〇はひとつだけ)



同居者との交流頻度について、「まったくない」と回答した割合が0.4%、「年に数回程度」と回答した割合が0.6%となっている。



性別にみると、「まったくない」と回答した割合は、男性で0.6%、女性で0.2%となっている。

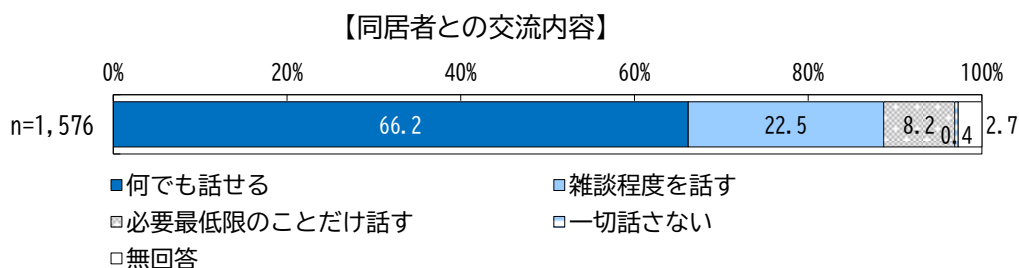


年齢別にみると、「まったくない」と回答した割合は、15歳～19歳で0.9%、30歳～39歳、50歳～59歳、60歳～64歳で0.4%、40歳～49歳で0.3%となっている。

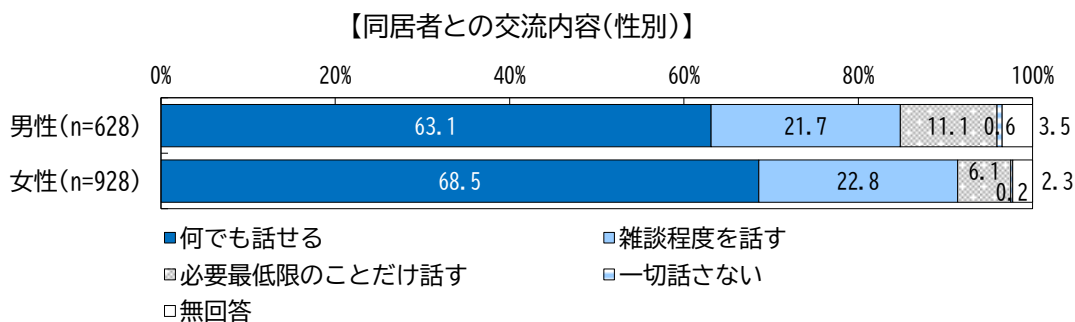
(6) 同居者との交流内容

同居者がいる場合のみ回答

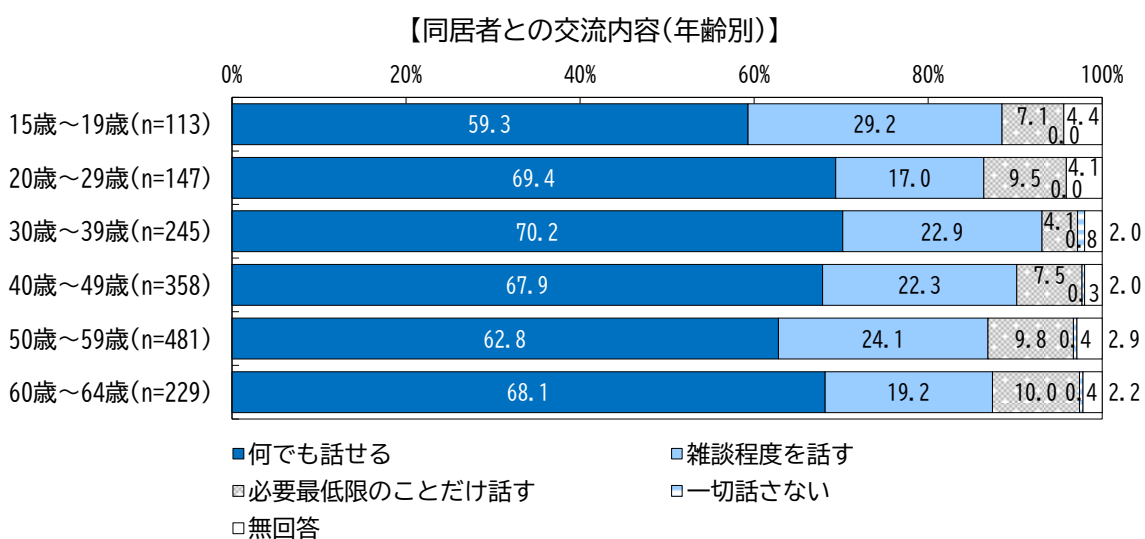
問43 同居している人との交流の内容についてお答えください。(〇はひとつだけ)



同居者との交流内容について、「何でも話せる」と回答した割合が66.2%、「雑談程度を話す」と回答した割合が22.5%、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合が8.2%、「一切話さない」と回答した割合が0.4%となっている。



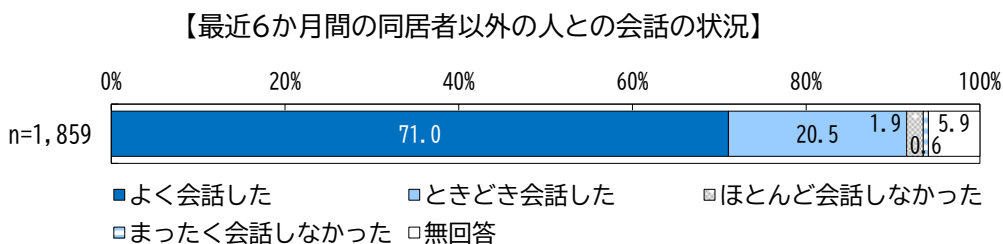
性別にみると、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合は、男性で11.1%、女性で6.1%、「一切話さない」と回答した割合は、男性で0.6%、女性で0.2%となっている。



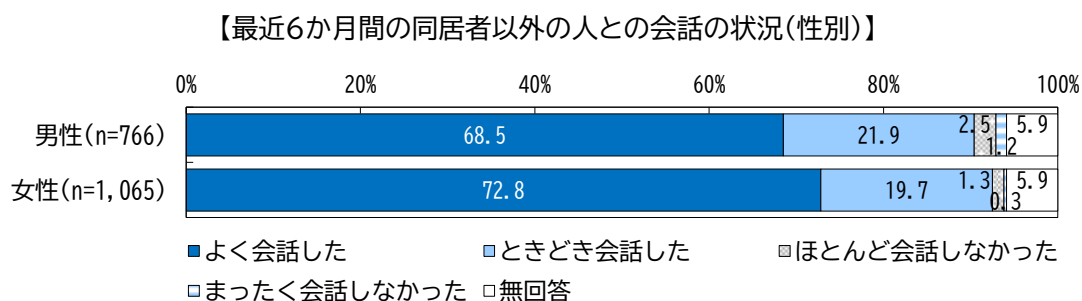
年齢別にみると、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合は、20歳～29歳、50歳～59歳、60歳～64歳で約1割、「一切話さない」と回答した割合は、30歳～39歳で0.8%となっている。

(7) 最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況

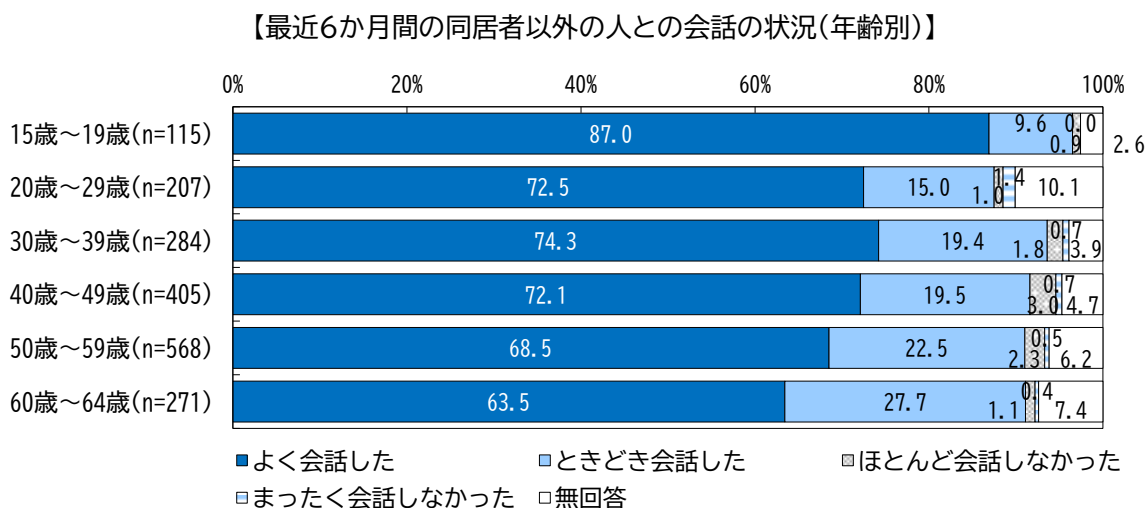
問44 最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)



最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況について、『会話した』(「よく会話した」+「ときどき会話した」)と回答した割合が91.5%、『会話しなかった』(「まったく会話しなかった」+「ほとんど会話しなかった」)と回答した割合が2.5%となっている。



性別にみると、『会話しなかった』と回答した割合は、男性で3.7%、女性で1.6%となっている。



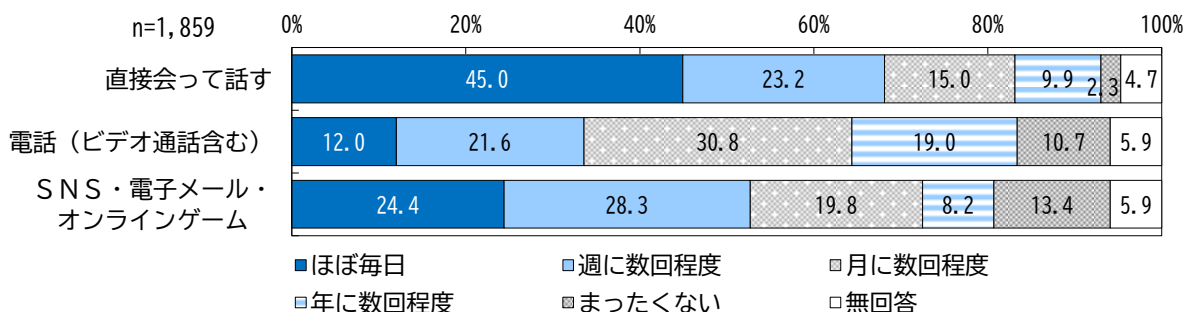
年齢別にみると、『会話しなかった』と回答した割合は、15歳～19歳で0.9%、20歳～29歳で2.4%、30歳～39歳で2.5%、40歳～49歳で3.7%、50歳～59歳で2.8%、60歳～64歳で1.5%となっている。

(8) 同居していない人とのコミュニケーションの頻度

問45 同居していない人とのコミュニケーションについてそれぞれお答えください。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

【同居していない人とのコミュニケーションの頻度】

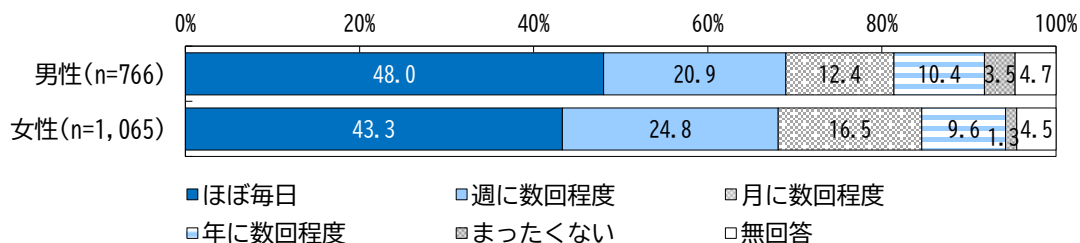


同居していない人とのコミュニケーションの頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合は、「直接会って話す」で45.0%、「電話（ビデオ通話含む）」で12.0%、「SNS・電子メール・オンラインゲーム」で24.4%となっている。

一方、「まったくくない」と回答した割合は、「直接会って話す」で2.3%、「電話（ビデオ通話含む）」で10.7%、「SNS・電子メール・オンラインゲーム」で13.4%となっている。

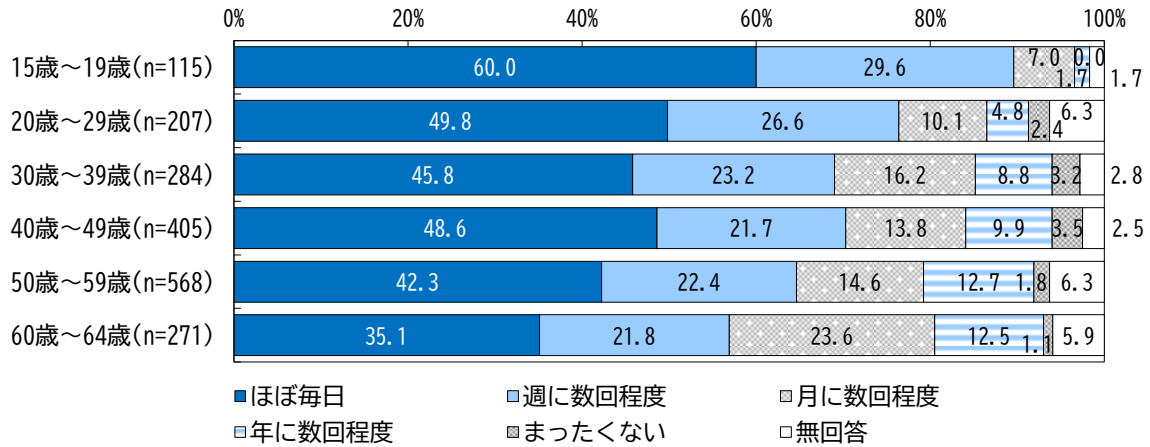
① 同居していない人と直接会って話す頻度

【同居していない人と直接会って話す頻度(性別)】



性別にみると、「年に数回程度」と回答した割合は、男性で10.4%、女性で9.6%、「まったくくない」と回答した割合は、男性で3.5%、女性で1.3%となっている。

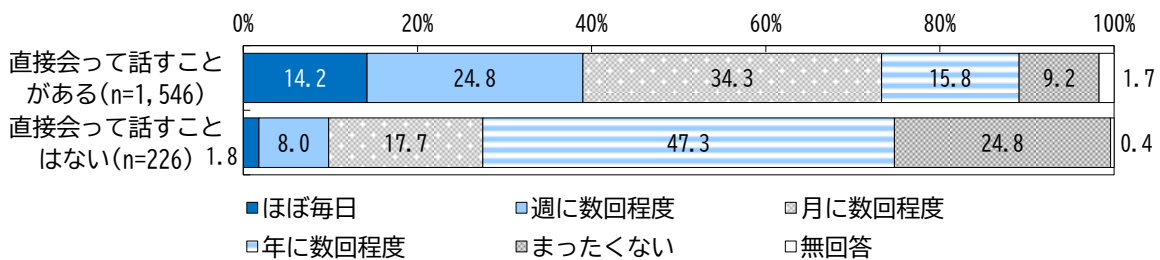
【同居していない人と直接会って話す頻度(年齢別)】



年齢別にみると、「年に数回程度」と回答した割合は、50歳～59歳で12.7%、60歳～64歳で12.5%、「まったくくない」と回答した割合は、30歳～39歳で3.2%、40歳～49歳で3.5%となっている。

② 同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度

【同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度(同居していない人と直接会って話す頻度別)】

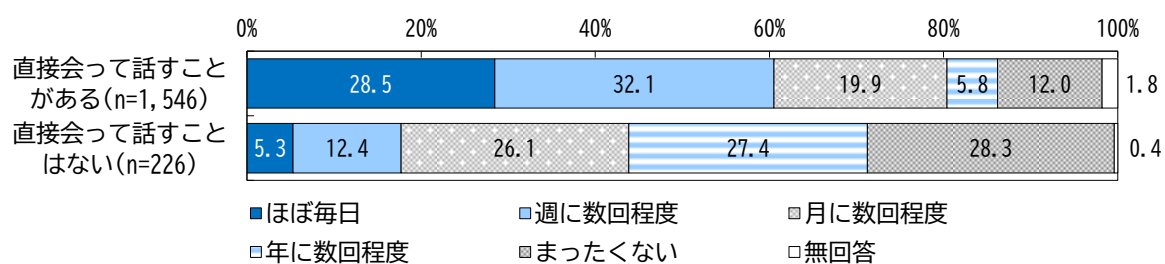


同居していない人と直接会って話す頻度別にみると、直接会って話すことはない層の同居していない人との電話の頻度は、「ほぼ毎日」と回答した割合は1.8%、「週に数回程度」と回答した割合は8.0%、「月に数回程度」と回答した割合は17.7%、「まったくくない」と回答した割合は24.8%となっている。

③ 同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度

【同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度

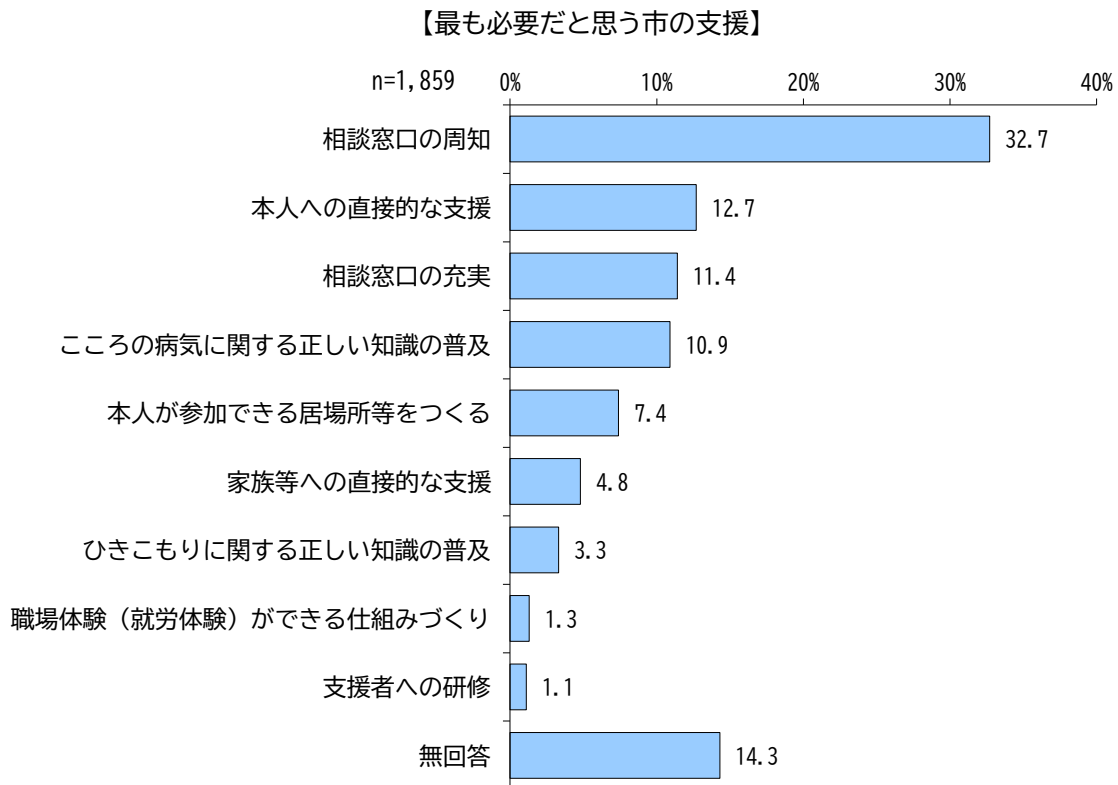
(同居していない人と直接会って話す頻度別)】



同居していない人と直接会って話す頻度別にみると、直接会って話すことはない層の同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度は、「ほぼ毎日」と回答した割合は5.3%、「週に数回程度」と回答した割合は12.4%、「月に数回程度」と回答した割合は26.1%「まったくくない」と回答した割合は28.3%となっている。

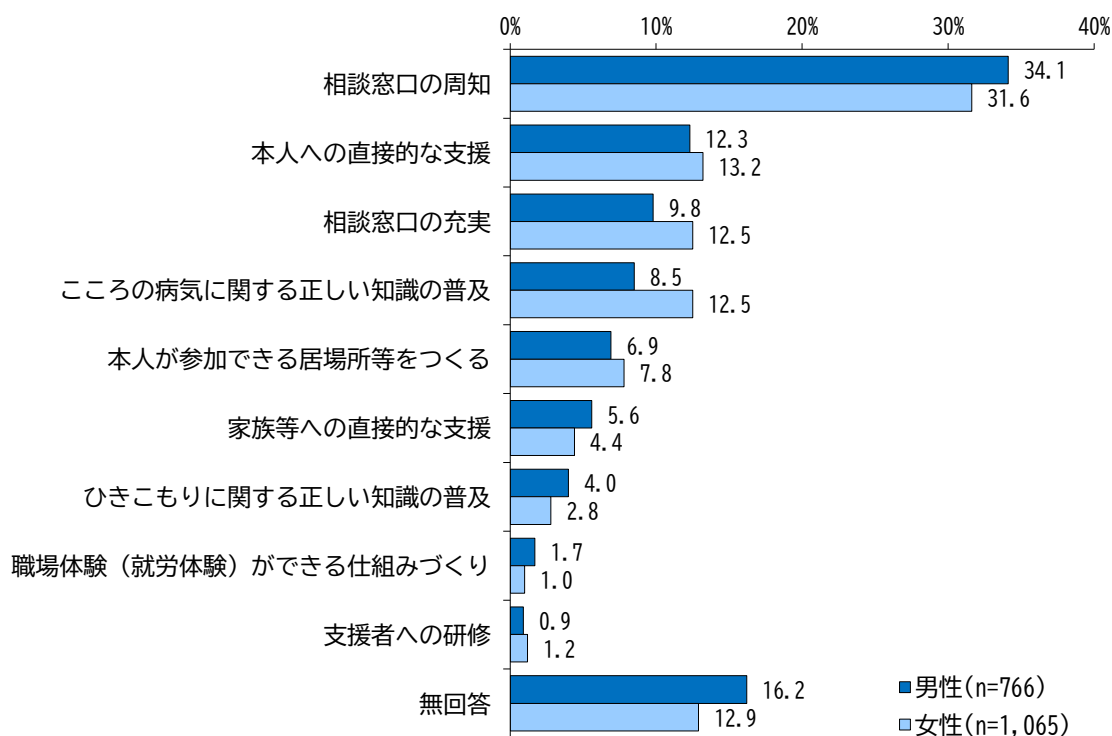
9 必要だと思う市の支援

問46 広島市では、身体の病気以外の理由で普段外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思う順に、枠内に数字を並べ替えてください。



最も必要だと思う市の支援について、「相談窓口の周知」と回答した割合が32.7%と最も高く、「本人への直接的な支援」（12.7%）、「相談窓口の充実」（11.4%）、「こころの病気に関する正しい知識の普及」（10.9%）が続いている。

【最も必要だと思う市の支援(性別)】



性別にみると、男女ともに「相談窓口の周知」(男性34.1%、女性31.6%)が最も高く、「本人への直接的な支援」(男性12.3%、女性13.2%)、「相談窓口の充実」(男性9.8%、女性12.5%)、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(男性8.5%、女性12.5%)が続いている。

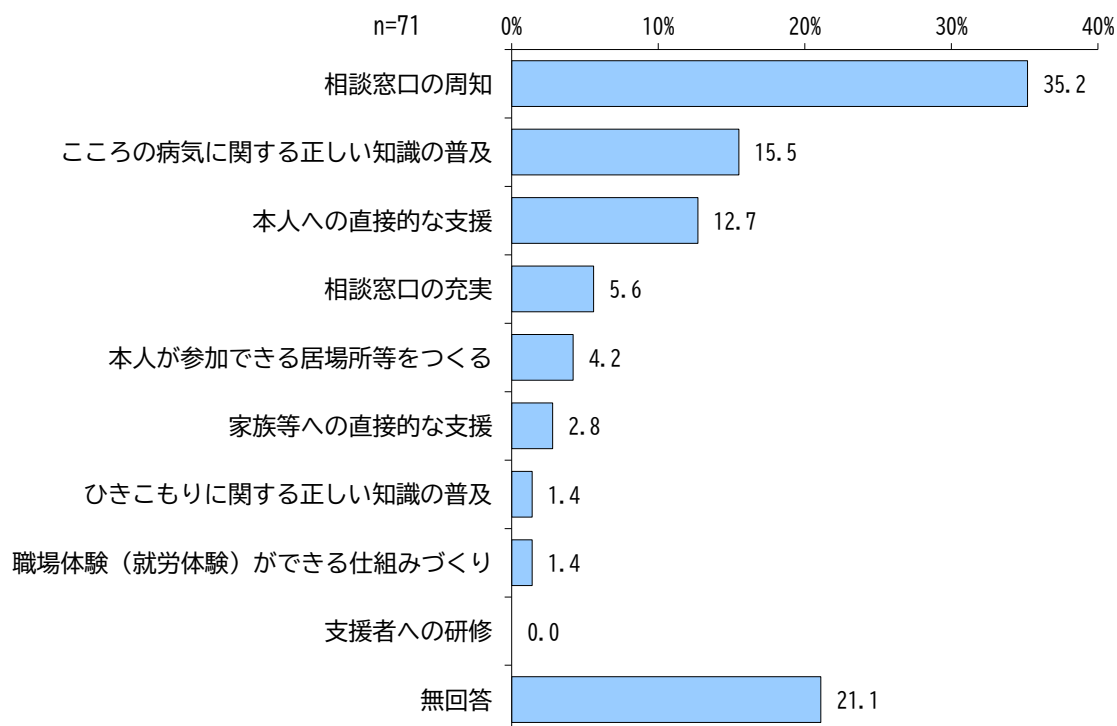
【最も必要だと思う市の支援(年齢別)】

	回答数	相談窓口の周知	本人への直接的な支援	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人が参加できる居場所等をつくる	家族等への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
15歳～19歳	115	21.7%	18.3%	10.4%	14.8%	7.8%	3.5%	8.7%	1.7%
20歳～29歳	207	27.5%	13.0%	9.7%	12.1%	12.1%	2.9%	4.3%	1.0%
30歳～39歳	284	28.5%	16.2%	8.5%	13.7%	6.3%	5.6%	2.1%	1.8%
40歳～49歳	405	30.9%	13.6%	11.1%	12.3%	8.4%	5.2%	3.0%	1.7%
50歳～59歳	568	35.7%	11.8%	13.0%	8.8%	4.9%	5.1%	3.2%	0.9%
60歳～64歳	271	42.1%	6.6%	12.9%	8.1%	8.9%	5.2%	2.2%	1.1%

	回答数	支援者への研修	無回答
15歳～19歳	115	-	13.0%
20歳～29歳	207	1.4%	15.9%
30歳～39歳	284	1.8%	15.5%
40歳～49歳	405	1.2%	12.6%
50歳～59歳	568	1.2%	15.3%
60歳～64歳	271	0.4%	12.5%

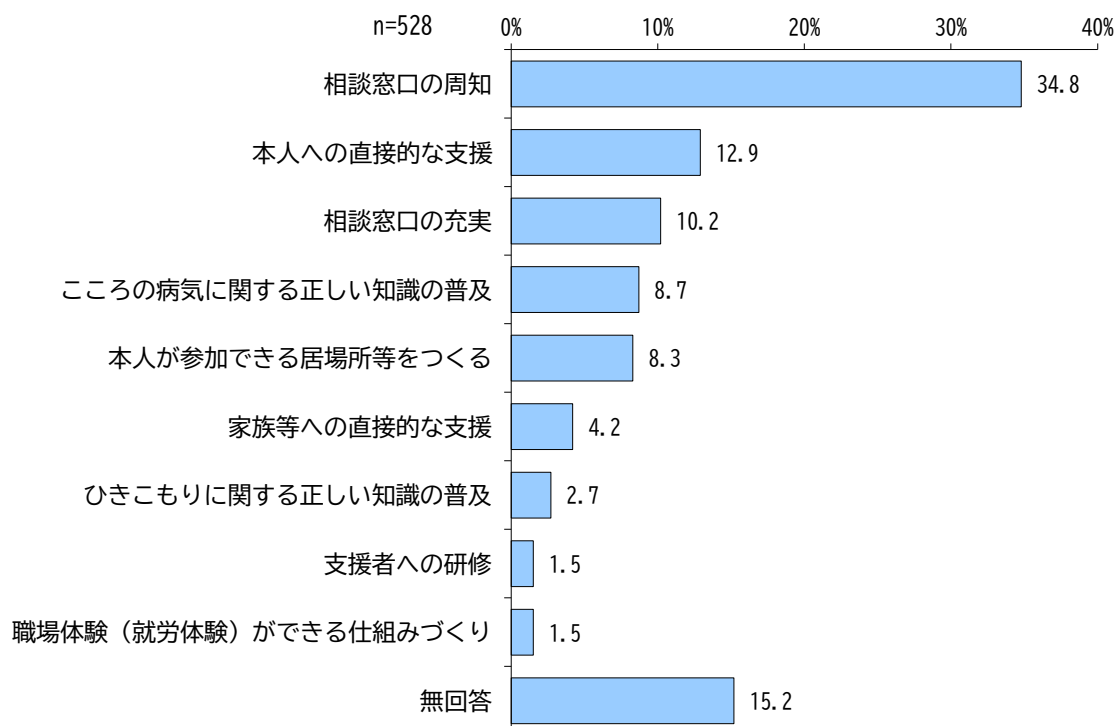
年齢別にみると、いずれの年齢層も「相談窓口の周知」が最も高くなっており、50歳未満では「本人への直接的な支援」、50歳以上では「相談窓口の充実」が続いている。

【最も必要だと思う市の支援(どのようなところにも相談したくない人)】



どのようなところにも相談したくない人では、「相談窓口の周知」と回答した割合が35.2%と最も高く、「こころの病気に関する正しい知識の普及」（15.5%）、「本人への直接的な支援」（12.7%）が続いている。

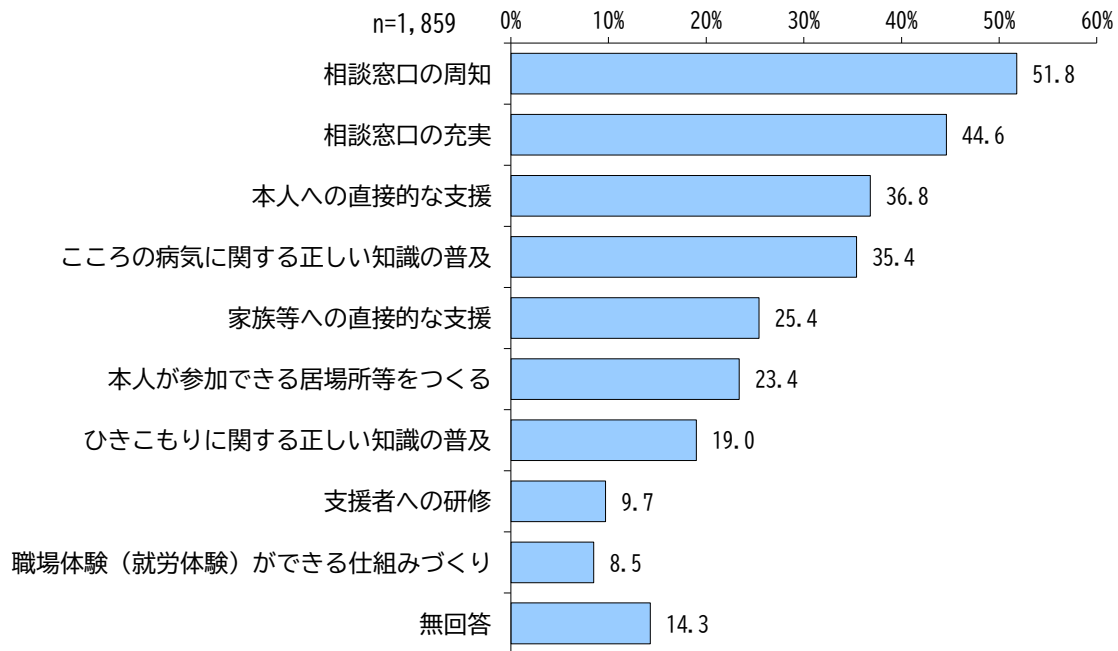
【最も必要だと思う市の支援(悩み事を相談したことがない人)】



悩み事を相談したことがない人では、「相談窓口の周知」と回答した割合が34.8%と最も高く、「本人への直接的な支援」（12.9%）、「相談窓口の充実」（10.2%）が続いている。

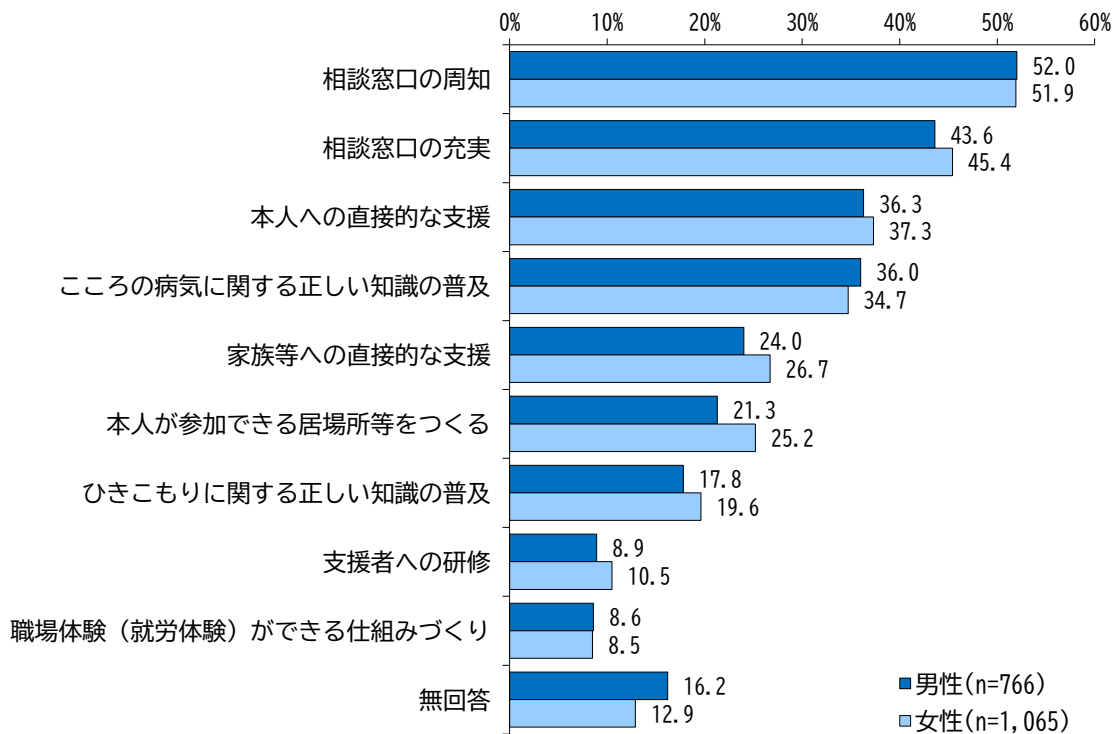
【必要だと思う市の支援(上位3位*)】

※上位3位までを複数回答として集計



必要だと思う市の支援（上位3位）について、「相談窓口の周知」と回答した割合が51.8%と最も高く、「相談窓口の充実」（44.6%）、「本人への直接的な支援」（36.8%）、「こころの病気に関する正しい知識の普及」（35.4%）が続いている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(性別)】



性別にみると、男女ともに「相談窓口の周知」（男性52.0%、女性51.9%）が最も高く、「相談窓口の充実」（男性43.6%、女性45.4%）、「本人への直接的な支援」（男性36.3%、女性37.3%）、「こころの病気に関する正しい知識の普及」（男性36.0%、女性34.7%）が続いている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(年齢別)】

	回答数	相談窓口 の周知	相談窓口 の充実	本人への 直接的な 支援	こころの 病気に関 する正し い知識の 普及	家族等へ の直接的 な支援	本人が参 加できる 居場所等 をつくる	ひきこも りに関す る正しい 知識の普 及	支援者へ の研修
15歳～19歳	115	40.9%	40.9%	42.6%	39.1%	29.6%	26.1%	27.0%	6.1%
20歳～29歳	207	44.4%	40.6%	41.1%	35.3%	21.7%	31.9%	16.9%	9.2%
30歳～39歳	284	43.7%	36.3%	41.2%	35.6%	28.2%	22.9%	19.4%	13.4%
40歳～49歳	405	50.4%	42.2%	35.8%	35.8%	26.7%	25.2%	22.5%	10.4%
50歳～59歳	568	57.0%	47.9%	34.0%	36.3%	23.8%	19.0%	17.3%	8.8%
60歳～64歳	271	62.4%	54.6%	33.6%	31.7%	25.5%	23.6%	15.5%	9.2%

	回答数	職場体験 (就労体 験)がで きる仕組 みづくり	無回答
15歳～19歳	115	8.7%	13.0%
20歳～29歳	207	8.7%	15.9%
30歳～39歳	284	12.3%	15.5%
40歳～49歳	405	9.9%	12.6%
50歳～59歳	568	7.0%	15.3%
60歳～64歳	271	5.2%	12.5%

年齢別にみると、15～19歳では「本人への直接的な支援」、20歳以上では「相談窓口の周知」が最も高くなっている。

第3章 ひきこもり・支援対象者の定義(本人票)

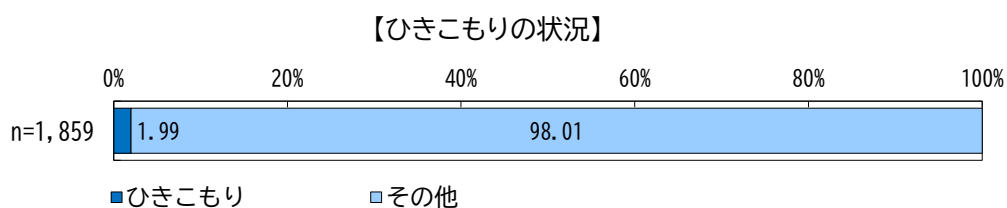
1 ひきこもり

<定義>

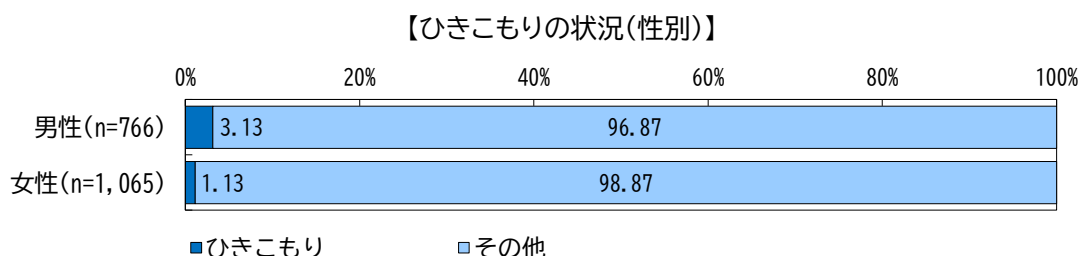
様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学，非常勤職を含む就労，家庭外での交遊など）を回避し、原則的には 6 か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）

※ 本報告書でいうひきこもりとは、広義のひきこもりを示している

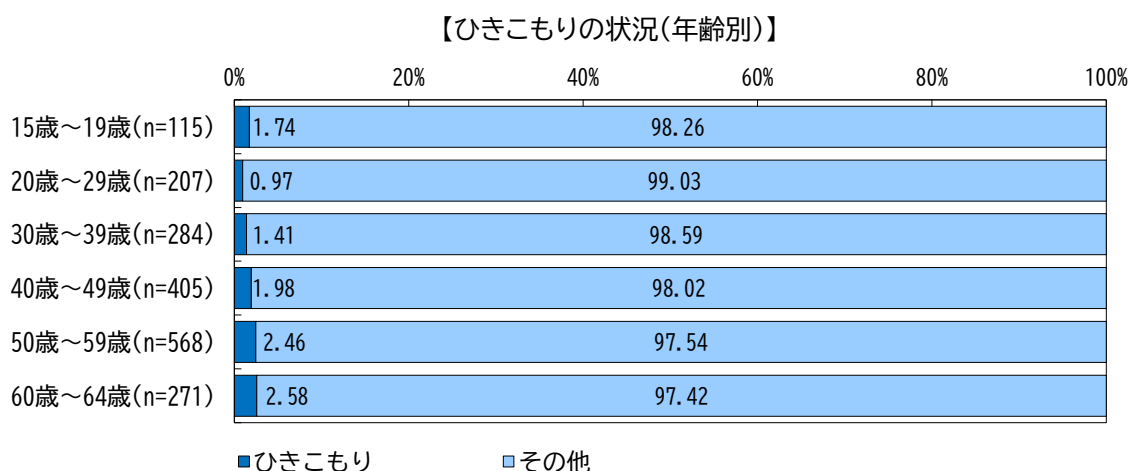
※ 選定手順は 261 頁「参考 ひきこもり・支援対象者の選定手順」を参照



ひきこもりの状況について、「ひきこもり」に該当する割合が1.99%となっている。

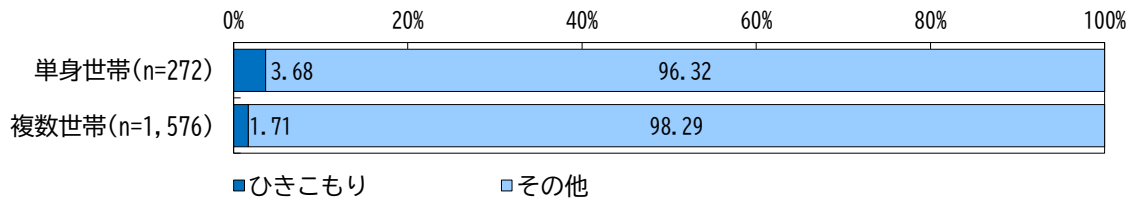


性別にみると、「ひきこもり」に該当する割合は、男性で3.13%、女性で1.13%であり、男性が女性より高くなっている。



年齢別にみると、「ひきこもり」に該当する割合は、いずれの年齢層も1～2%程度となっている。

【ひきこもりの状況(世帯構成別)】



世帯構成別にみると、「ひきこもり」に該当する割合は、単身世帯で3.68%、複数世帯で1.71%であり、単身世帯が複数世帯より高くなっている。

2 支援対象者

国は、ひきこもり支援施策の推進にあたり、昨今の社会情勢や取り巻く社会環境の変化に伴い、複雑化、複合化した課題等に対応するため、令和7年1月にひきこもり支援の指針を新たに策定し、当該指針において、以下のとおり支援対象者の考え方を明示した。

ひきこもり支援対象者の考え方

ひきこもり支援における対象者とは、社会的に孤立し、孤独を感じている状態にある人や、様々な生きづらさを抱えている状態の人となります。それぞれ一人ひとりの状況は異なりますが、具体的には、

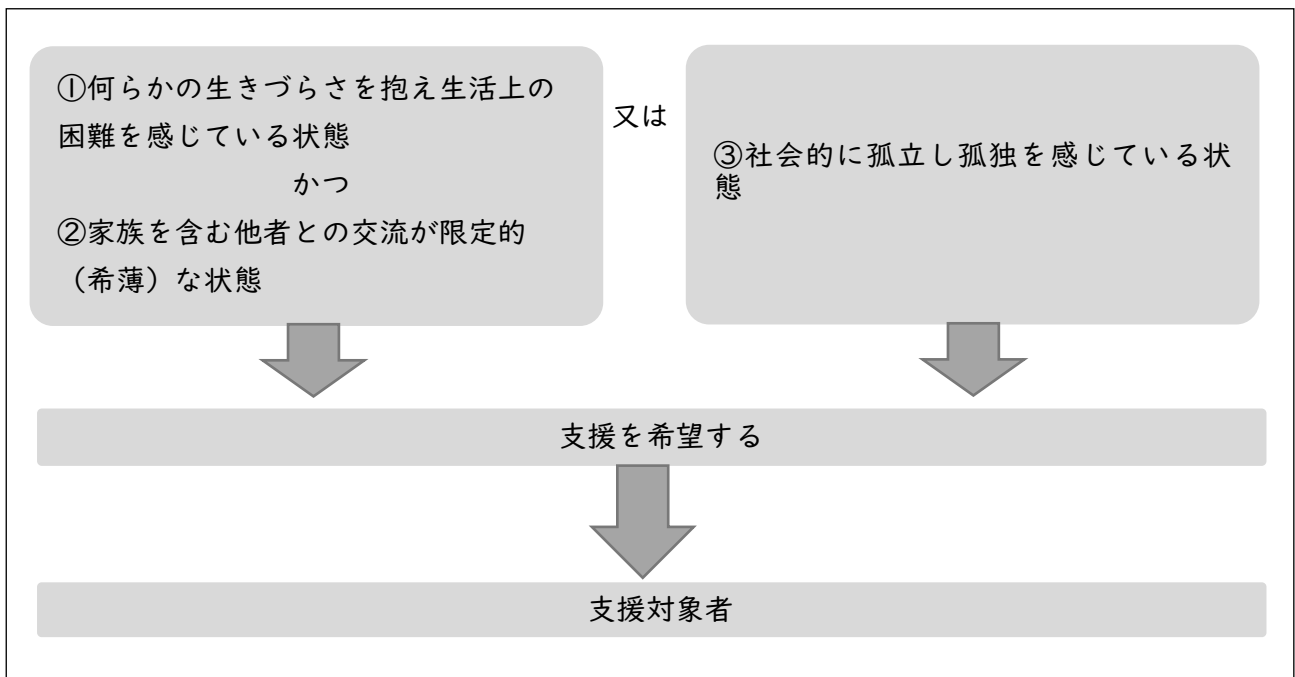
- ★何らかの生きづらさを抱え生活上の困難を感じている状態にある、
- ★家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある、
- ★支援を必要とする状態にある、

本人やその家族（世帯）です。また、その状態にある期間は問いません。

出典：厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～」より

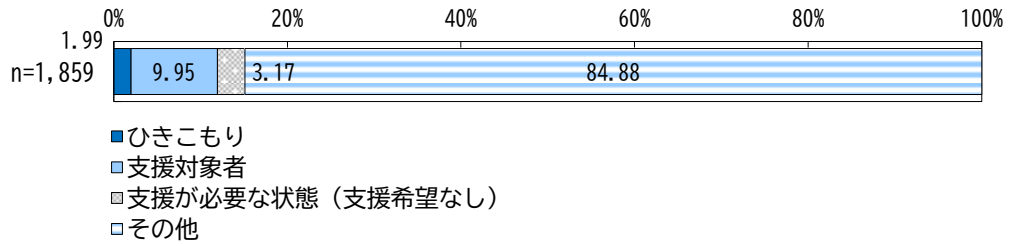
<定義>

このことから、今回の調査における支援対象者の考え方は以下のとおりとする。
なお、支援を希望しない者は、「支援が必要な状態（支援希望なし）」と定義する。



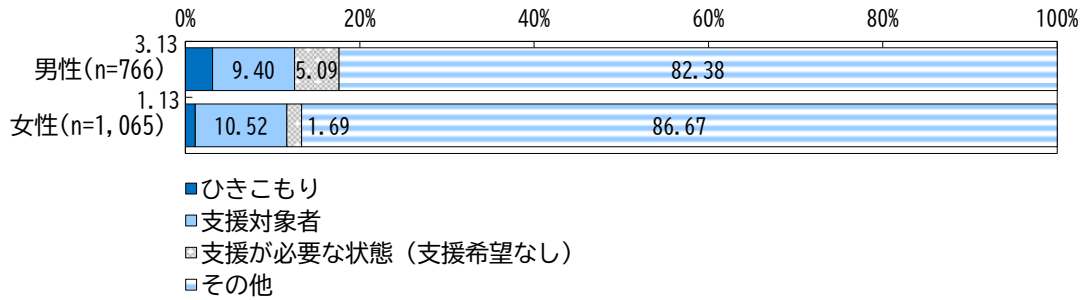
※ 選定手順は261頁「参考 ひきこもり・支援対象者の選定手順」を参照

【ひきこもり・支援対象者の該当状況】



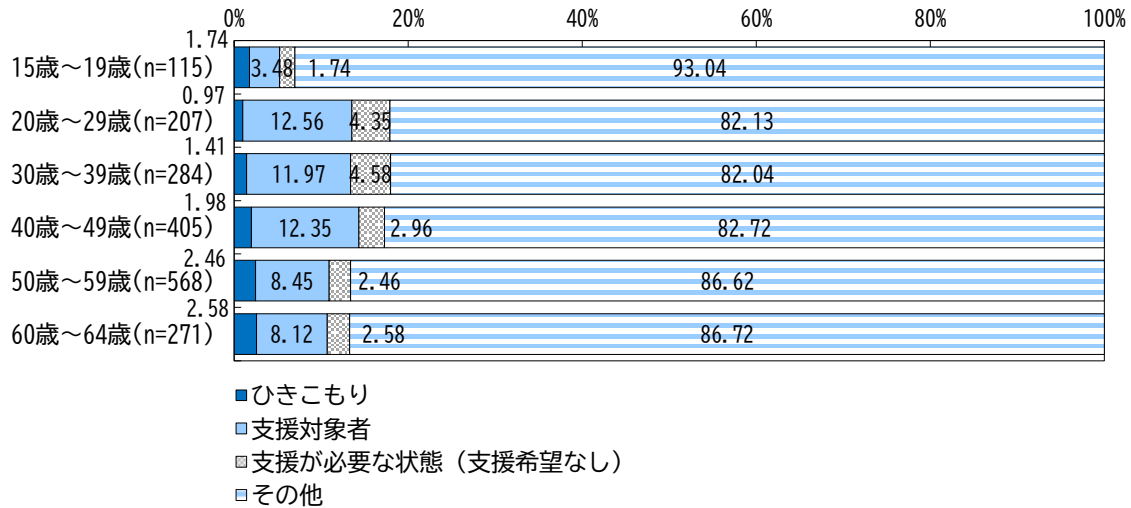
支援対象者の該当状況について、「支援対象者」に該当する割合が9.95%となっている。

【ひきこもり・支援対象者の該当状況(性別)】



性別にみると、「支援対象者」に該当する割合は、男性で9.40%、女性で10.52%となっている。

【ひきこもり・支援対象者の該当状況(年齢別)】

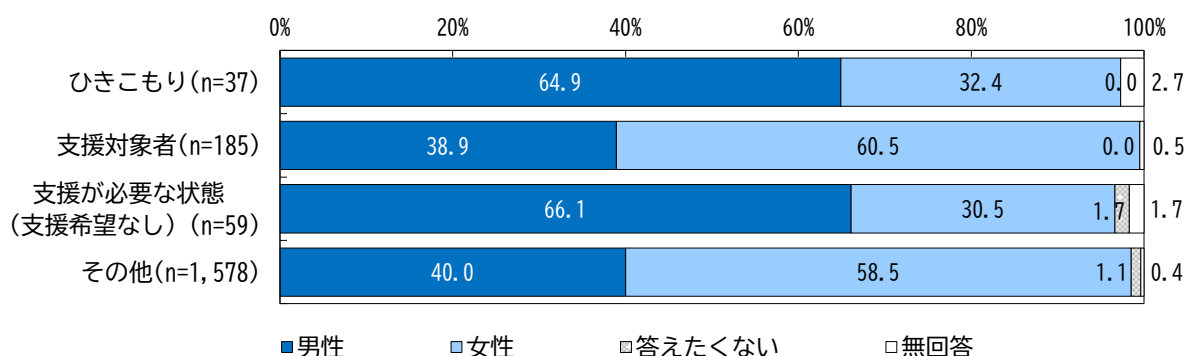


年齢別にみると、「支援対象者」に該当する割合は、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳で1割を超えている。

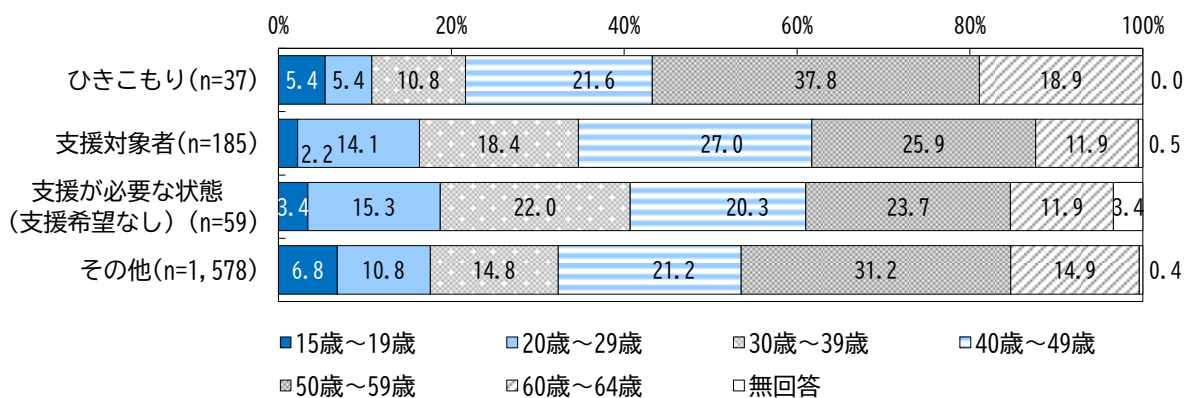
第4章 ひきこもり・支援対象者の調査結果(本人票)

1 属性

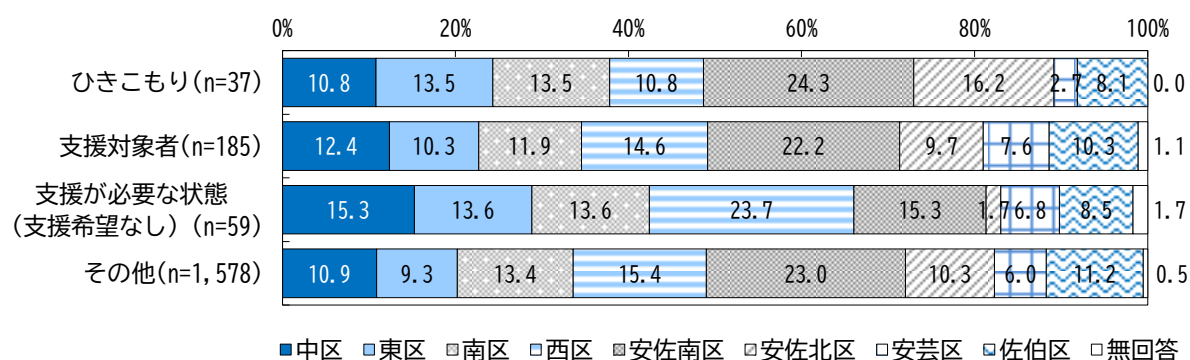
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住区

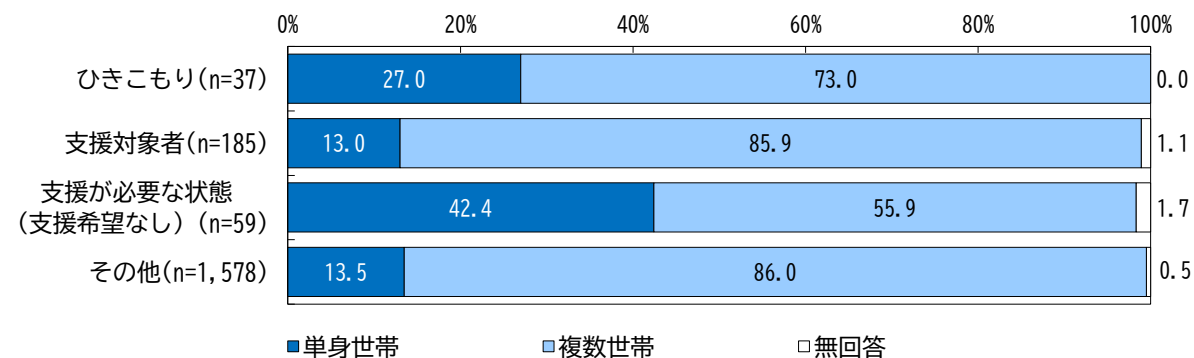


(4)-1 同居している人

	回答数	父	母	きょうだい	祖父母	配偶者	子	その他親族	その他 (ホームステイをしている人など)
ひきこもり	37	32.4%	40.5%	10.8%	-	18.9%	13.5%	-	2.7%
支援対象者	185	18.4%	22.7%	6.5%	1.1%	57.8%	44.3%	0.5%	1.6%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	10.2%	18.6%	8.5%	-	35.6%	22.0%	-	-
その他	1,578	18.8%	26.5%	9.5%	1.3%	56.1%	38.3%	1.3%	1.0%

	回答数	同居している人はいない	無回答
ひきこもり	37	27.0%	-
支援対象者	185	13.0%	1.1%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	42.4%	1.7%
その他	1,578	13.5%	0.5%

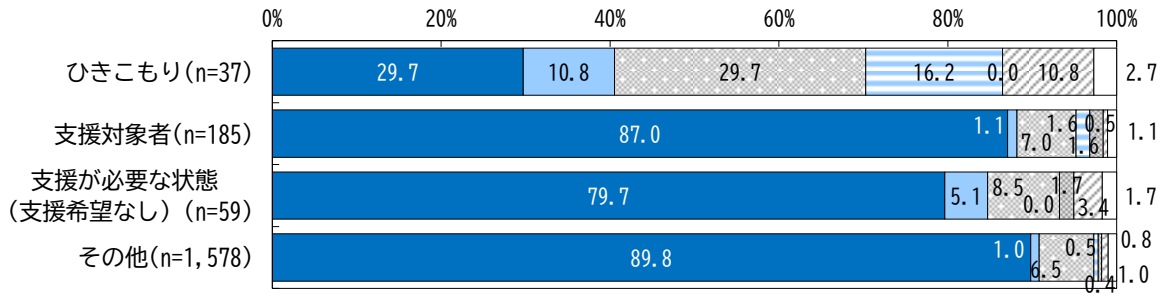
(4)-2 世帯構成



(5) 生計を支えている家族

	回答数	あなた自身	父	母	配偶者	きょうだい	あなたの子	その他	わからない、答えられない	無回答
ひきこもり	37	40.5%	27.0%	24.3%	13.5%	-	-	8.1%	-	-
支援対象者	185	60.5%	15.7%	10.3%	43.8%	1.1%	0.5%	1.1%	0.5%	0.5%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	76.3%	10.2%	11.9%	18.6%	-	5.1%	-	1.7%	1.7%
その他	1,578	60.0%	17.2%	11.5%	38.3%	1.7%	1.2%	1.0%	0.7%	0.6%

(6) 主に生計を支えている家族の収入源

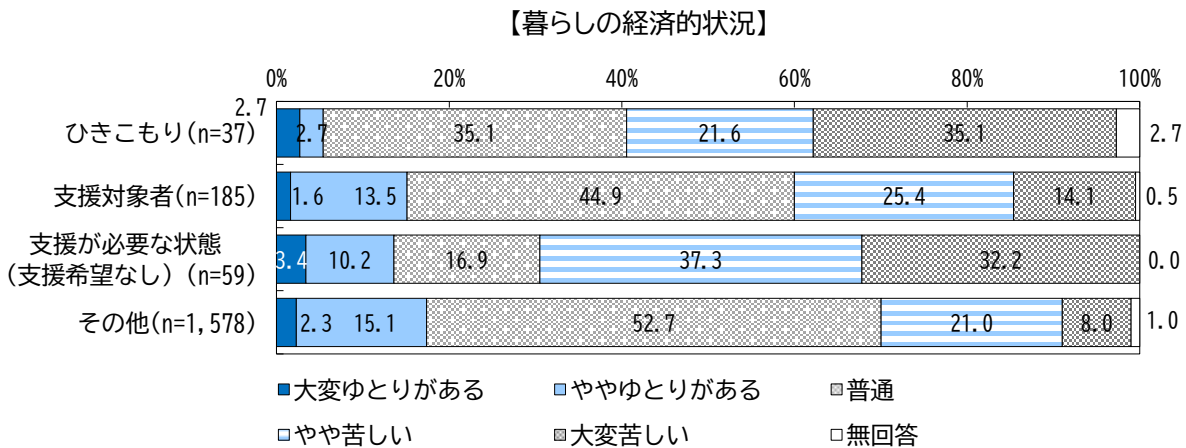


- 就労、事業による収入（農業収入を含む）
- 預金やその利息、財産からの収入（株配当や不動産賃料など）
- 年金
- 生活保護
- その他
- 不明、答えられない
- 無回答

2 自身や家族のことについて

(1) 暮らしの経済的状況

問7 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、いかがですか。あなたの実感でお答えください。(○はひとつだけ)



暮らしの経済的状況について、ひきこもりに該当する人では、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）と回答した割合が5.4%、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）と回答した割合が56.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、『ゆとりがある』と回答した割合が15.1%、『苦しい』と回答した割合が39.5%となっている。

『苦しい』と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人の割合がその人より高くなっている。

(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが

問8 これまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。(○はいくつでも)

【通院・入院をした経験のある病気やけが】

	回答数	精神的な 病気	胃や腸の 病気	目や耳の 病気	心臓や血 管の病気	骨折・大 ケガ	呼吸器・ 肺の病気	皮膚の病 気	悪性新生 物(がん)
ひきこもり	37	51.4%	27.0%	24.3%	16.2%	16.2%	13.5%	8.1%	5.4%
支援対象者	185	21.6%	16.8%	19.5%	7.6%	22.2%	9.7%	20.0%	3.2%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	30.5%	23.7%	10.2%	5.1%	18.6%	10.2%	18.6%	3.4%
その他	1,578	8.7%	11.8%	15.3%	6.7%	15.2%	10.0%	12.7%	5.8%

	回答数	その他の 病気	通院や入 院をした ことはな い	無回答
ひきこもり	37	24.3%	10.8%	2.7%
支援対象者	185	24.9%	20.5%	4.3%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	23.7%	22.0%	1.7%
その他	1,578	21.9%	30.7%	4.4%

通院・入院をした経験のある病気やけがについて、ひきこもりに該当する人では、「精神的な病気」と回答した割合が51.4%と最も高く、「胃や腸の病気」(27.0%)、「目や耳の病気」(24.3%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「その他の病気」を除くと、「骨折・大ケガ」と回答した割合が22.2%と最も高く、「精神的な病気」(21.6%)、「皮膚の病気」(20.0%)が続いている。

また、何らかの病気やけがを回答した割合は、ひきこもりに該当する人で86.5%、支援対象者に該当する人で75.2%となっている。

「精神的な病気」と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人の割合がその他の人より高くなっている。

(3) こころの状態

問9 次の中で、あなたのこころの状態にあてはまるものはありますか。(〇はいくつでも)

【こころの状態】

《ポジティブな状態》

	回答数	相手の気持ちを考えながら行動する	他の人から認められたい	相手の話を聴くことが好き	自分の話をすることが好き	相手を笑わせることが好き	楽観的だ	困ったことが起きても動じない	自分の考えを的確に相手に伝えることは得意
ひきこもり	37	29.7%	24.3%	18.9%	10.8%	10.8%	5.4%	2.7%	2.7%
支援対象者	185	50.8%	38.4%	35.1%	31.4%	24.3%	16.2%	3.8%	6.5%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	42.4%	16.9%	18.6%	15.3%	28.8%	16.9%	11.9%	10.2%
その他	1,578	48.1%	22.4%	28.8%	19.6%	22.2%	28.1%	9.4%	9.5%

《ネガティブな状態》

	回答数	集団の中に溶け込めない	生きるのが苦しいと感ずることがある	家族に申しわけないと思うことが多い	人に会うのが怖いと感ずる	繰り返し確認しないと落ち着かない	絶望的な気分になることがよくある	他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	自分に厳しい
ひきこもり	37	51.4%	51.4%	43.2%	40.5%	40.5%	40.5%	37.8%	24.3%
支援対象者	185	20.5%	27.0%	25.9%	14.1%	25.9%	16.8%	44.9%	13.5%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	27.1%	49.2%	25.4%	20.3%	32.2%	30.5%	33.9%	22.0%
その他	1,578	12.9%	11.2%	12.7%	5.6%	16.5%	7.7%	23.7%	9.1%

	回答数	知り合いに会うことを考えると不安になる	パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない	何らかの薬を飲まないと行けないことがある	自分を傷つけてしまうことがある	アルコールを飲まないと行けないことがある	自分の身体が清潔かどうか常に気になる	壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまっている	大声を上げて怒鳴り散らすことがある
ひきこもり	37	21.6%	18.9%	16.2%	13.5%	13.5%	10.8%	10.8%	10.8%
支援対象者	185	13.0%	11.4%	5.4%	1.6%	9.2%	9.7%	1.6%	8.1%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	15.3%	15.3%	6.8%	6.8%	10.2%	13.6%	10.2%	15.3%
その他	1,578	5.5%	4.2%	1.6%	1.1%	6.4%	6.7%	1.0%	3.5%

	回答数	食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない	家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある	ギャンブルをやめたいのにやめられない	特になし	無回答
ひきこもり	37	8.1%	2.7%	-	-	-
支援対象者	185	2.7%	1.1%	1.6%	2.7%	2.2%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	-	5.1%	5.1%	5.1%	1.7%
その他	1,578	1.0%	0.3%	0.8%	10.4%	2.6%

こころの状態について、ひきこもりに該当する人では、ネガティブな状態では「集団の中に溶け込めない」、「生きるのが苦しいと感じることがある」と回答した割合がともに51.4%と最も高く、「家族に申しわけないと思うことが多い」、「人に会うのが怖いと感じる」、「繰り返し確認しないと落ち着かない」、「絶望的な気分になることがよくある」と回答した割合が4割台で続いている。

また、ネガティブな状態の項目において、「アルコールを飲まずにはいられないことがある」、「自分の身体が清潔かどうか常に気になる」を除くすべての項目の割合がその他の人より高くなっている。

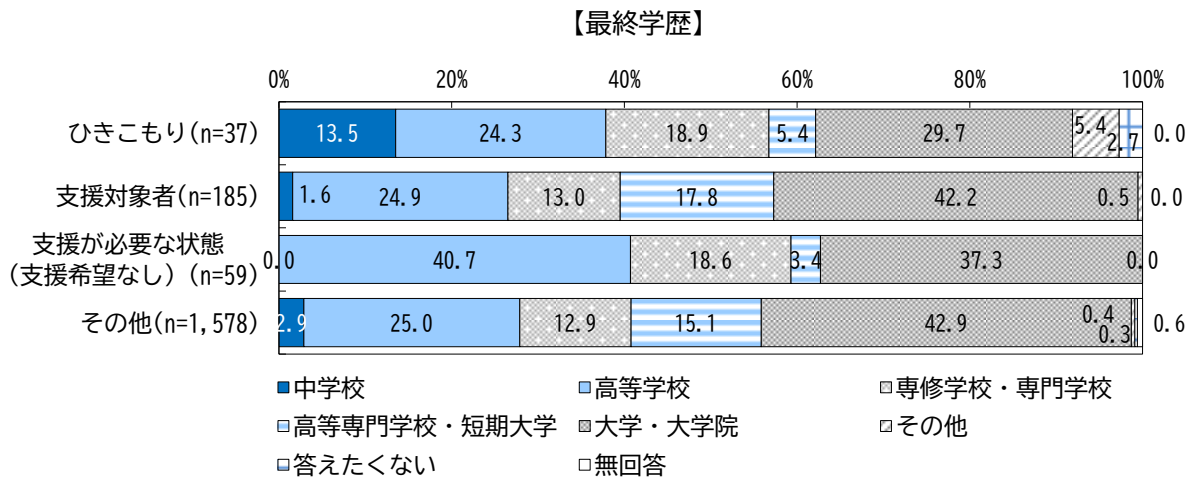
支援対象者に該当する人では、ネガティブな状態では「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」と回答した割合が44.9%と最も高く、「生きるのが苦しいと感じることがある」、「家族に申しわけないと思うことが多い」、「繰り返し確認しないと落ち着かない」、「集団の中に溶け込めない」と回答した割合が2割台で続いている。

また、ネガティブな状態の項目において、「自分を傷つけてしまうことがある」、「アルコールを飲まずにはいられないことがある」、「自分の身体が清潔かどうか常に気になる」、「壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある」、「家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある」を除くすべての項目の割合がその他の人より高くなっている。

3 就労・就学等の状況について

(1) 最終学歴

問10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（○はひとつだけ）



最終学歴について、ひきこもりに該当する人では、「大学・大学院」と回答した割合が29.7%と約3割にとどまり、「中学校」と回答した割合が13.5%、「高等学校」と回答した割合が24.3%となっている。

支援対象者に該当する人では、「大学・大学院」と回答した割合が42.2%と4割を超えており、「中学校」と回答した割合が1.6%、「高等学校」と回答した割合が24.9%となっている。

(2) 就労・就学等の状況

問11 あなたの現在の仕事をお答えください。(○はひとつだけ)

【就労・就学等の状況】

	回答数	学生・生徒（予備校生などを含む）	正社員	契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）	会社などの役員	自営業・自由業（経営者）	家業に従事（従業員）・内職	1～6に当てはまらない就労	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
ひきこもり	37	5.4%	-	-	-	-	-	2.7%	-
支援対象者	185	4.9%	48.6%	19.5%	1.1%	3.2%	1.1%	2.7%	0.5%
支援が必要な状態（支援希望なし）	59	6.8%	42.4%	28.8%	3.4%	5.1%	-	5.1%	1.7%
その他	1,578	8.6%	47.1%	23.6%	2.5%	4.4%	0.8%	2.0%	0.4%

	回答数	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職	無回答
ひきこもり	37	8.1%	-	83.8%	-
支援対象者	185	10.3%	0.5%	6.5%	1.1%
支援が必要な状態（支援希望なし）	59	-	-	6.8%	-
その他	1,578	6.1%	0.6%	3.0%	0.8%

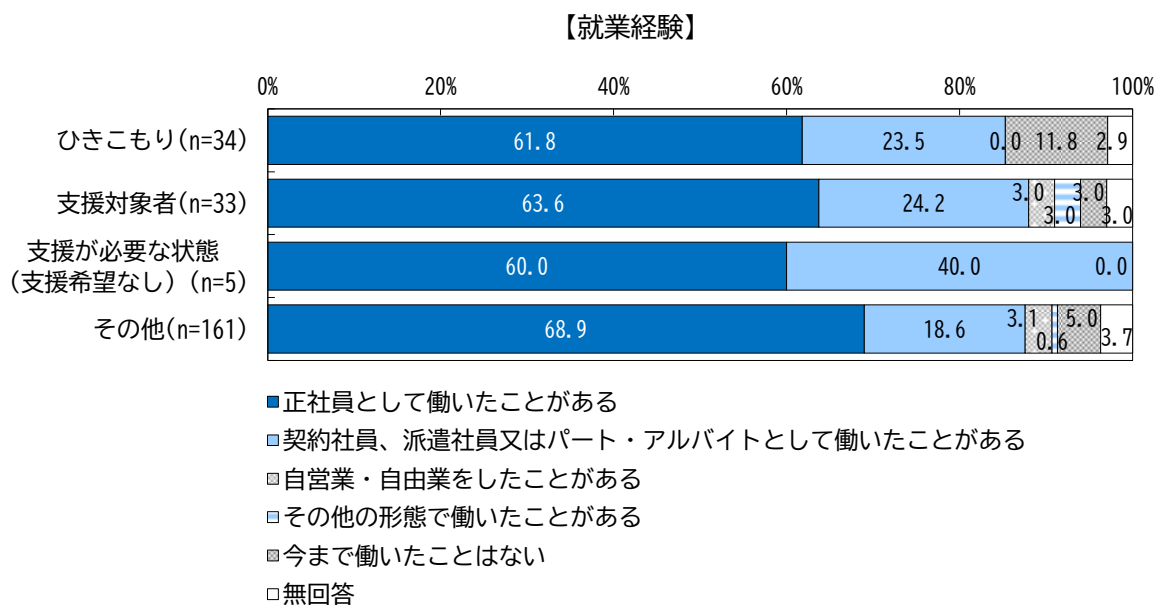
就労・就学等の状況について、ひきこもりに該当する人では、「無職」と回答した割合が83.8%となっている。

支援対象者に該当する人では、「正社員」と回答した割合が48.6%と最も高く、次いで「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」（19.5%）となっている。

(3) 就業経験

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

問12 あなたの就業経験についてお答えください。(○はひとつだけ)



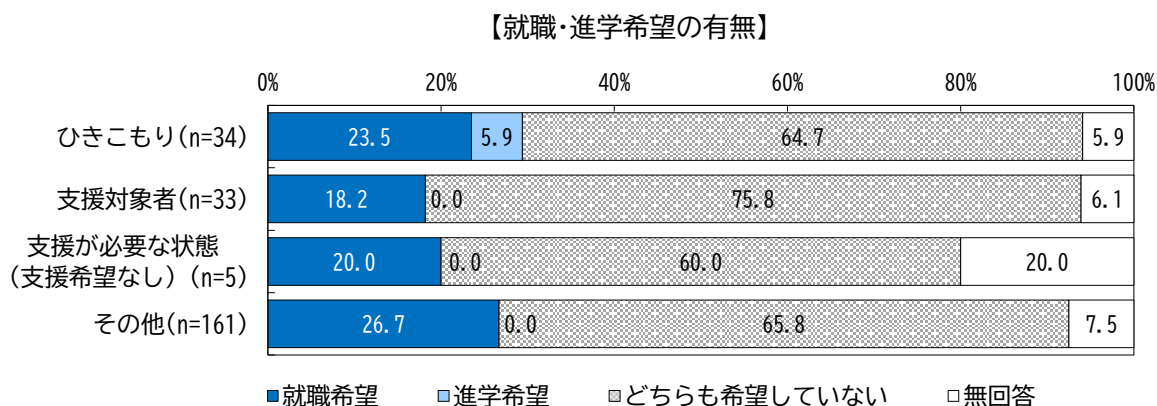
就労していない人の就業経験について、ひきこもりに該当する人では、「正社員として働いたことがある」と回答した割合が61.8%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」と回答した割合が23.5%、「今まで働いたことはない」と回答した割合が11.8%となっている。

支援対象者に該当する人では、「正社員として働いたことがある」と回答した割合が63.6%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」と回答した割合が24.2%、「今まで働いたことはない」と回答した割合が3.0%となっている。

(4) 就職・進学希望の有無

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

問13 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)



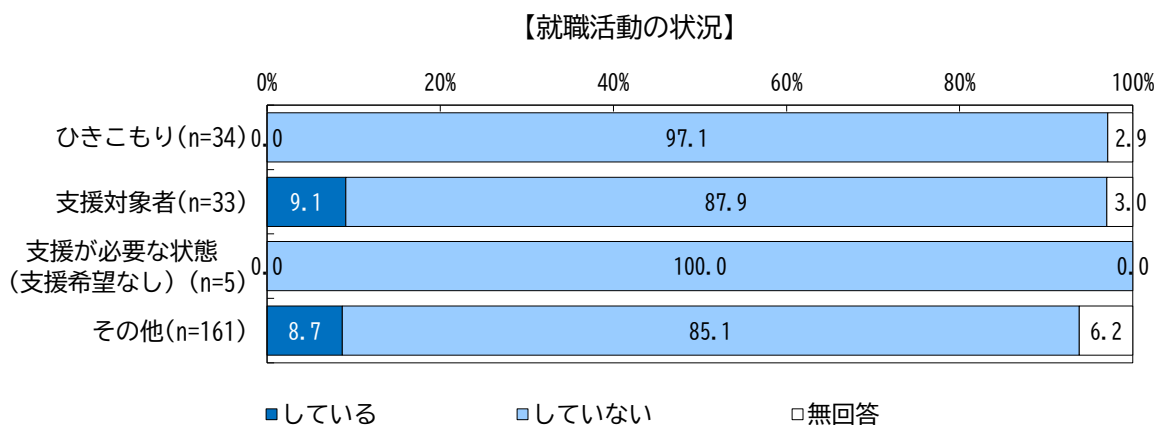
就労していない人の就職・進学希望の有無について、ひきこもりに該当する人では、「就職希望」と回答した割合が23.5%となっている。

支援対象者に該当する人では、「就職希望」と回答した割合が18.2%となっている。

(5) 就職活動の状況

問11で「8」～「11」と回答した人のみ回答

問14 現在、就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)



就労していない人の就職活動の状況について、ひきこもりに該当する人では、「している」と回答した人はいない。

支援対象者に該当する人では、「している」と回答した割合が9.1%となっている。

(6) 就職・進学を希望していない理由

問11で「8」～「11」と回答した人、かつ問14で「2 していない」と回答した人のみ回答

問15 あなたが就職・進学を希望していない、または就職活動をしていない理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

【就職・進学を希望していない理由】

	回答数	からだや こころの 不調のため	精神的な 病気・障 害のため	人間関係 に不安が あるため	長時間働 くことが 難しいた め	身体的な 病気・障 害のため	意欲がわ かないた め	知識・能 力に自信 がないた め	責任を負 うことへ の不安が あるため
ひきこもり	33	48.5%	36.4%	36.4%	36.4%	33.3%	30.3%	24.2%	24.2%
支援対象者	29	31.0%	24.1%	13.8%	31.0%	20.7%	10.3%	20.7%	17.2%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	5	40.0%	-	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
その他	137	10.9%	9.5%	13.1%	13.9%	12.4%	9.5%	10.2%	8.0%

	回答数	自分に合 う仕事 が見つ からない ため	就職活動 (面接 等)に不 安がある ため	定年(早 期)退職 したため	家族から の経済的 支援や貯 金がある ため	投資など による収 入がある ため	妊娠・出 産・育児 のため	進学準備 のため	資格試 験・就職 等の準備 のため
ひきこもり	33	21.2%	18.2%	15.2%	12.1%	3.0%	3.0%	-	-
支援対象者	29	20.7%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	10.3%	-	3.4%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	5	20.0%	20.0%	20.0%	-	-	-	-	20.0%
その他	137	14.6%	5.1%	9.5%	13.9%	2.2%	19.0%	-	3.6%

	回答数	起業準備 のため	介護・看 護のため	その他	無回答
ひきこもり	33	-	-	6.1%	-
支援対象者	29	-	20.7%	10.3%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	5	-	20.0%	-	-
その他	137	0.7%	13.9%	13.1%	1.5%

就労していない人の就職・進学を希望していない理由について、ひきこもりに該当する人では、「からだやこころの不調のため」と回答した割合が48.5%と最も高く、「精神的な病気・障害のため」、「人間関係に不安があるため」、「長時間働くことが難しいため」がいずれも36.4%で続いている。

また、「からだやこころの不調のため」、「精神的な病気・障害のため」、「人間関係に不安があるため」、「長時間働くことが難しいため」、「身体的な病気・障害のため」、「意欲がわかないため」、「知識・能力に自信がないため」、「責任を負うことへの不安があるため」、「就職活動(面接等)に不安があるため」と回答した割合は、その他の人より高くなっている。

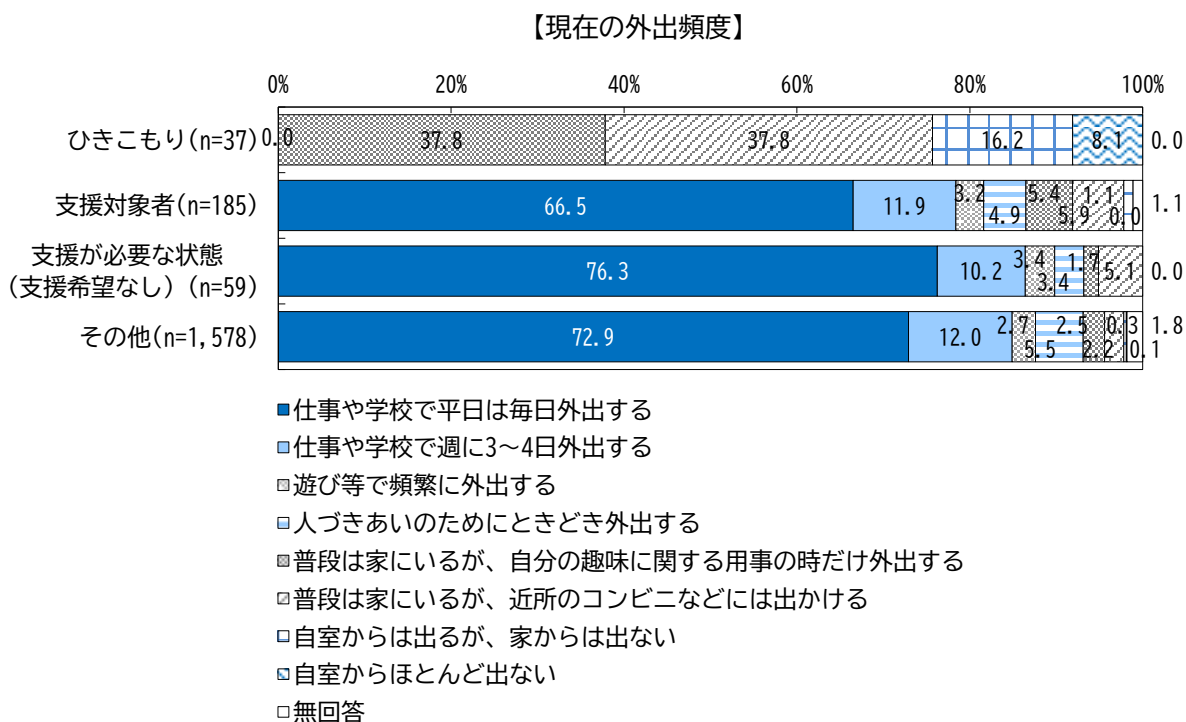
支援対象者に該当する人では、「からだやこころの不調のため」、「長時間働くことが難しいため」と回答した割合がいずれも31.0%と最も高く、「精神的な病気・障害のため」が24.1%で続いている。

また、「からだやこころの不調のため」、「精神的な病気・障害のため」、「長時間働くことが難しいため」と回答した割合は、その他の人より高くなっている。

4 活動状況について

(1) 現在の外出頻度

問16 あなたは現在、どのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)



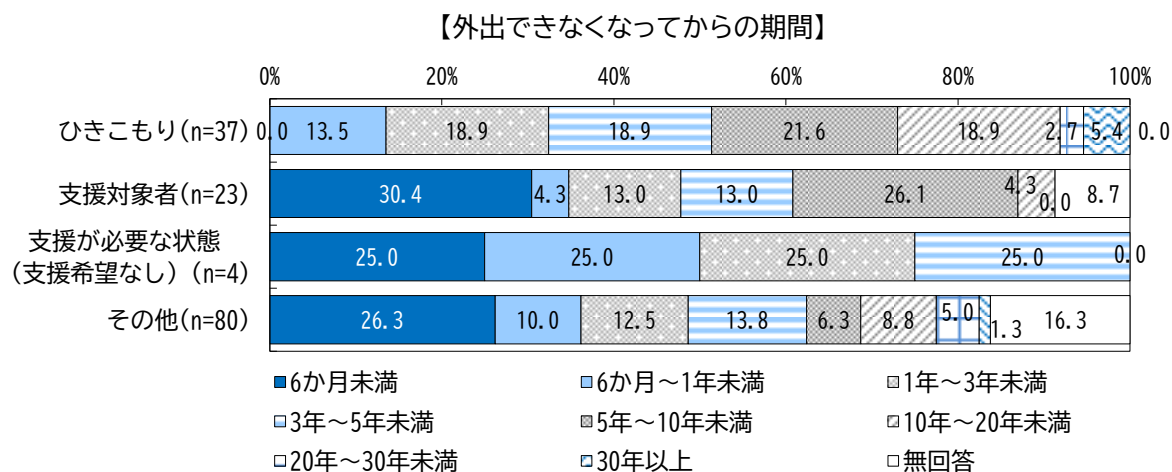
現在の外出頻度について、ひきこもりに該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が37.8%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が37.8%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が16.2%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が8.1%となっている。

支援対象者に該当する人では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」と回答した割合が66.5%、「仕事や学校で週に3~4日外出する」と回答した割合が11.9%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合が5.9%となっている。

(2) 外出できなくなってしまう期間

問16で「5」～「8」と回答した人のみ回答

問17 あなたが、以前に比べて外出できなくなってしまうからこれまでの期間はどのくらいですか。
(○はひとつだけ)



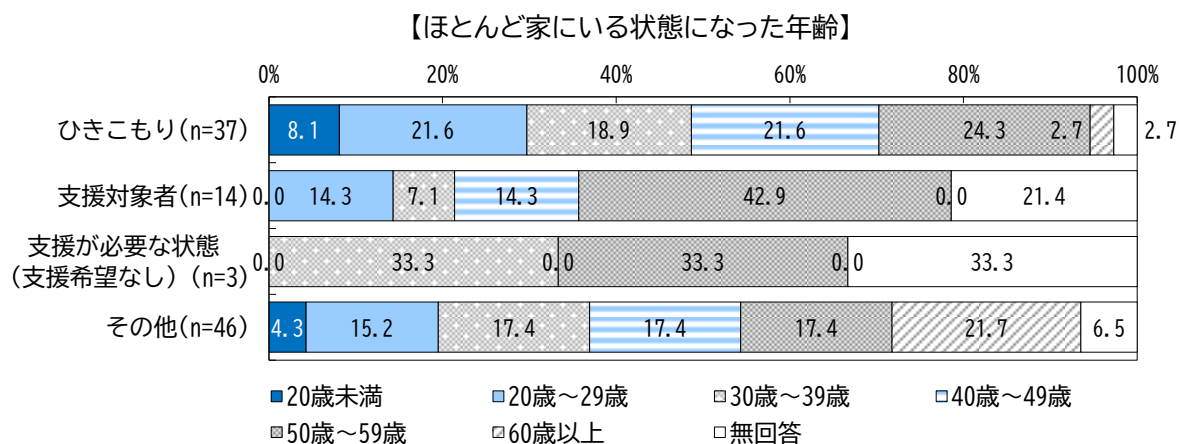
外出できなくなってしまう期間について、ひきこもりに該当する人では、3年未満（「6か月未満」＋「6か月～1年未満」＋「1年～3年未満」）の割合が32.4%、「3年～5年未満」の割合が18.9%、「5年～10年未満」の割合が21.6%、10年以上（「10年～20年未満」＋「20年～30年未満」＋「30年以上」）の割合が27.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、3年未満の割合が47.7%、「3年～5年未満」の割合が13.0%、「5年～10年未満」の割合が26.1%、「10年～20年未満」の割合が4.3%となっている。

(3) ほとんど家にいる状態になった年齢

問17で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問18 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。



ほとんど家にいる状態になった年齢について、ひきこもりに該当する人では、40歳未満(「20歳未満」+「20歳～29歳」+「30歳～39歳」)の割合が48.6%、40歳以上(「40～49歳」+「50～59歳」+「60歳以上」の割合が)の割合が48.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、40歳未満の割合が21.4%、40歳以上の割合が57.2%となっている。

(4) ほとんど家にいる状態になった理由

問17で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態になった理由】

	回答数	病気	退職したこと	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	学校になじめなかったこと	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	職場になじめなかったこと	中学生時の不登校
ひきこもり	37	40.5%	24.3%	18.9%	10.8%	5.4%	5.4%	5.4%	2.7%
支援対象者	14	57.1%	28.6%	7.1%	-	-	-	7.1%	-
支援が必要な状態(支援希望なし)	3	33.3%	33.3%	-	-	-	-	-	-
その他	46	17.4%	23.9%	10.9%	4.3%	2.2%	-	6.5%	4.3%

	回答数	高校生時の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	小学生時の不登校	その他	特になし
ひきこもり	37	2.7%	2.7%	2.7%	-	-	-	18.9%	5.4%
支援対象者	14	-	-	21.4%	-	7.1%	-	21.4%	7.1%
支援が必要な状態(支援希望なし)	3	-	-	-	-	33.3%	-	33.3%	-
その他	46	-	-	13.0%	15.2%	26.1%	2.2%	19.6%	6.5%

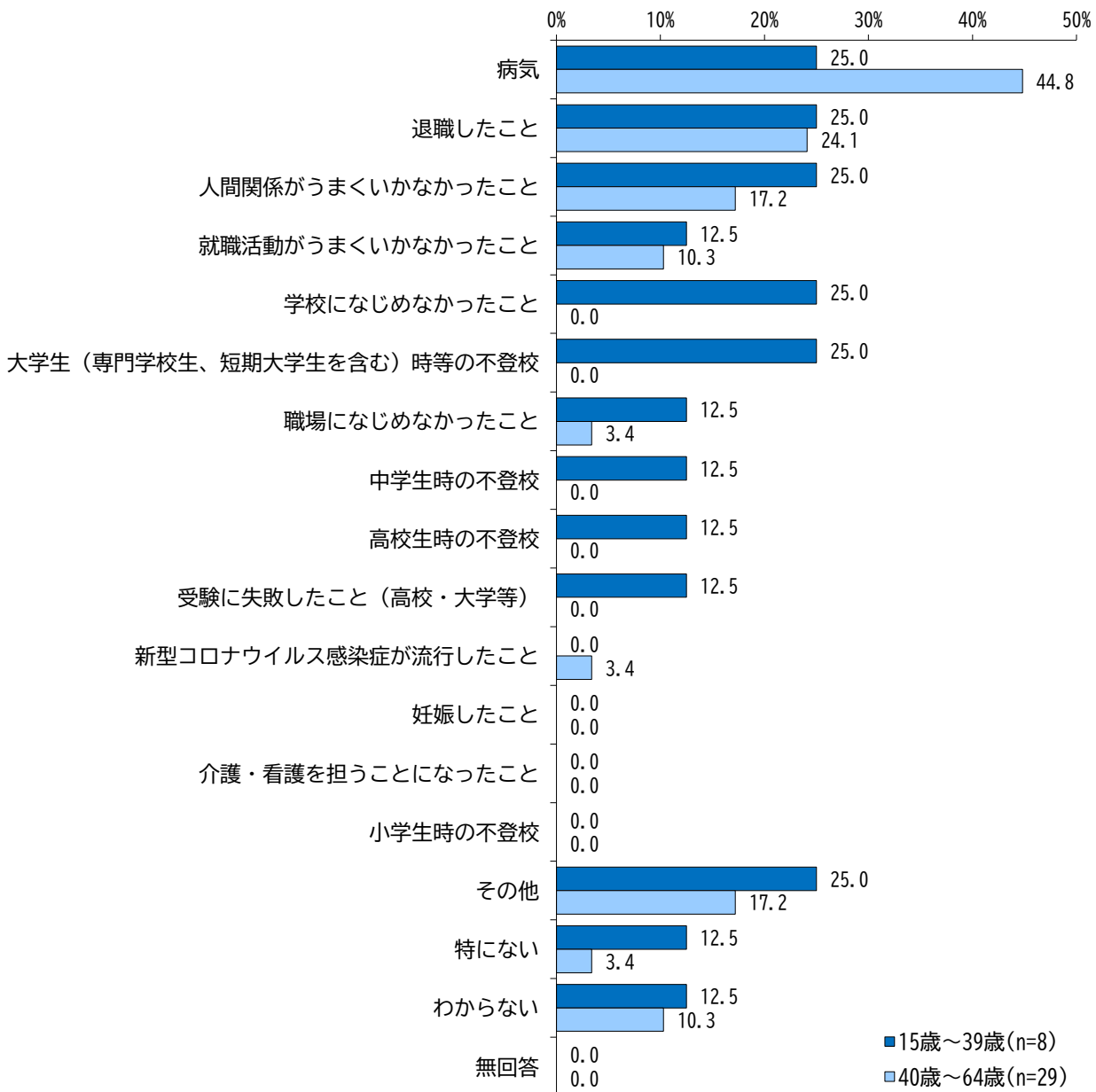
	回答数	わからない	無回答
ひきこもり	37	10.8%	-
支援対象者	14	-	7.1%
支援が必要な状態(支援希望なし)	3	-	-
その他	46	2.2%	-

ほとんど家にいる状態になった理由について、ひきこもりに該当する人では、「病気」と回答した割合が40.5%と最も高く、「退職したこと」(24.3%)、「人間関係がうまくいかなかったこと」(18.9%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「病気」と回答した割合が57.1%と最も高く、「退職したこと」(28.6%)、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」(21.4%)が続いている。

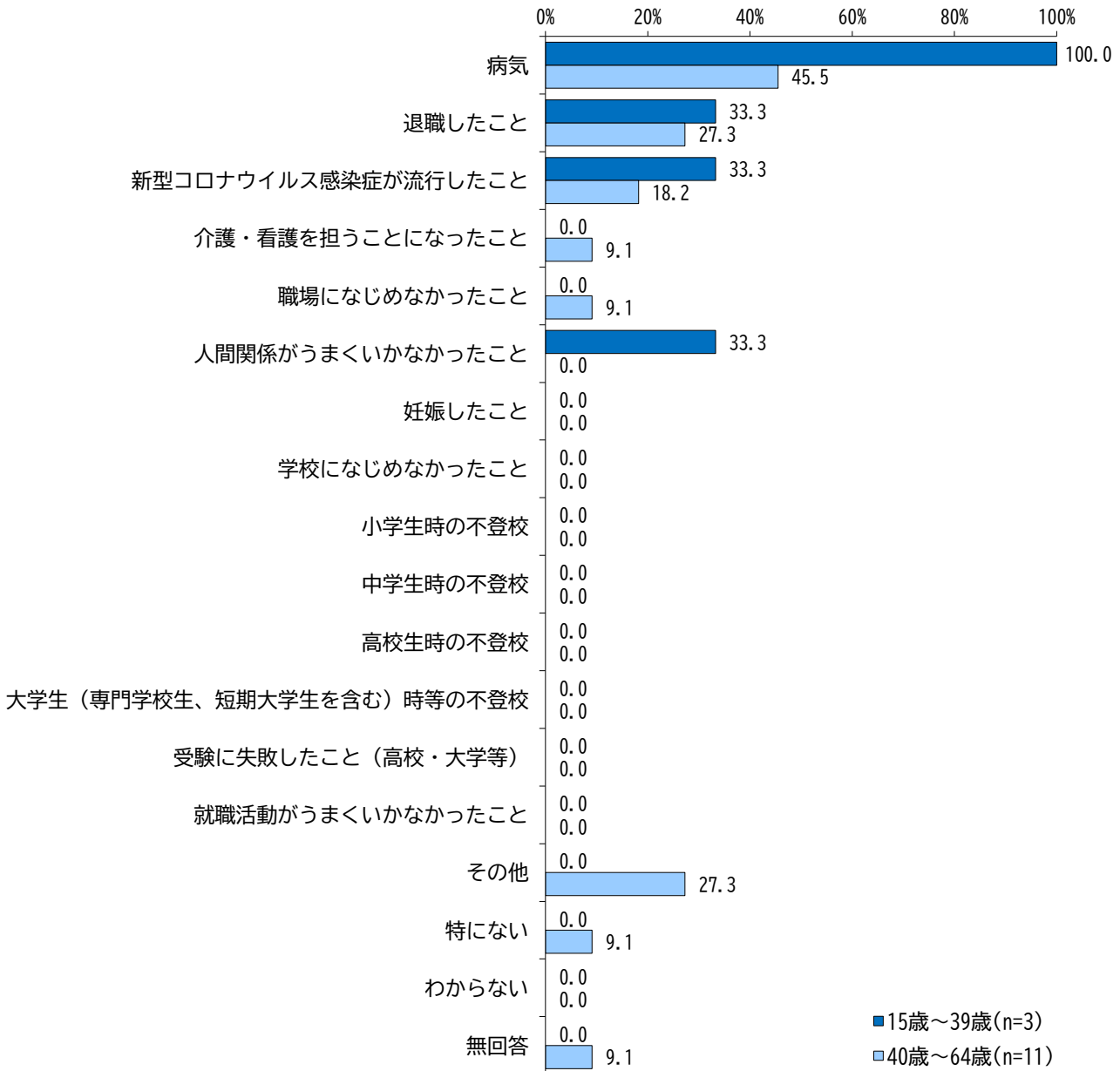
【ほとんど家にいる状態になった理由(年齢別)】

(ひきこもり該当者)



ひきこもりに該当する者の年齢別にみると、15歳～39歳では「病気」、「退職したこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「学校になじめなかったこと」、「大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校」、40歳～64歳では「病気」が上位となっている。

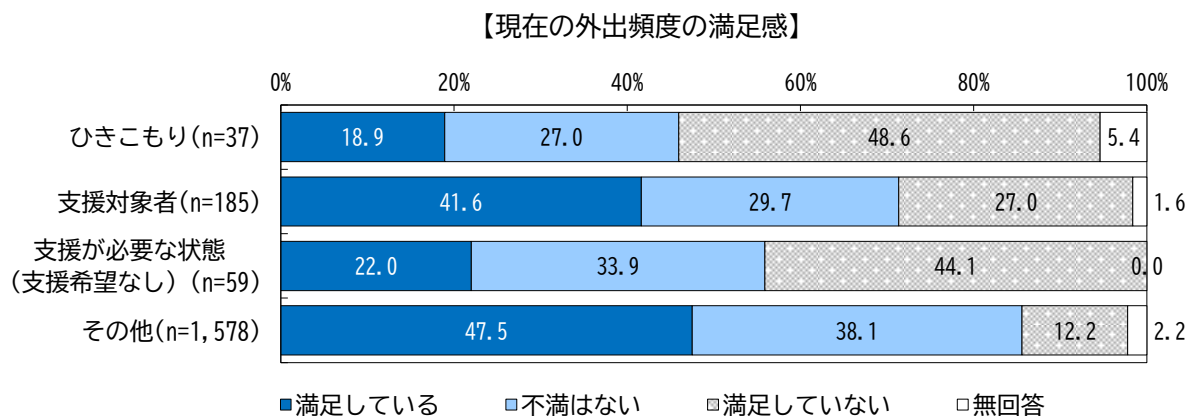
(支援対象者該当者)



支援対象者に該当する人の年齢別にみると、いずれの年齢層も「病気」が最も高くなっている。

(5) 現在の外出頻度の満足感

問20 あなたは現在の外出頻度に満足していますか。(○はひとつだけ)



現在の外出頻度の満足感について、ひきこもりに該当する人では、「満足している」と回答した割合が18.9%、「不満はない」と回答した割合が27.0%、「満足していない」と回答した割合が48.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、「満足している」と回答した割合が41.6%、「不満はない」と回答した割合が29.7%、「満足していない」と回答した割合が27.0%となっている。

(6) 現在の外出頻度に満足していない理由

問20で「3 満足していない」と回答した人のみ回答

問21 満足していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【現在の外出頻度に満足していない理由】

	回答数	運動不足 であると感じる	将来の焦りを感じる	人づきあいに疲れる	経済的に 苦しい	仕事に行くのが辛い	多忙で疲れる	職場の人間関係で悩んでいる	その他
ひきこもり	18	61.1%	55.6%	44.4%	44.4%	16.7%	11.1%	11.1%	22.2%
支援対象者	50	38.0%	22.0%	26.0%	20.0%	28.0%	34.0%	14.0%	12.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	26	26.9%	42.3%	34.6%	46.2%	38.5%	46.2%	26.9%	15.4%
その他	193	30.1%	23.8%	17.1%	23.3%	24.4%	51.8%	7.3%	14.5%

	回答数	答えたくない	無回答
ひきこもり	18	-	-
支援対象者	50	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	26	3.8%	-
その他	193	2.1%	1.6%

現在の外出頻度に満足していない理由について、ひきこもりに該当する人では、「運動不足であると感じる」と回答した割合が61.1%と最も高く、「将来の焦りを感じる」(55.6%)、「人づきあいに疲れる」、「経済的に苦しい」(44.4%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「運動不足であると感じる」と回答した割合が38.0%と最も高く、「多忙で疲れる」(34.0%)、「仕事に行くのが辛い」(28.0%)、「人づきあいに疲れる」(26.0%)が続いている。

5 困った時にする行動について

(1) 知っている相談機関

問22 あなたが知っている広島市の相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【知っている相談機関】

	回答数	区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク) ・ジ ョブカ フェ・地 域若者サ ポートス テーショ ンなどの 就労支援 機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
ひきこもり	37	56.8%	48.6%	29.7%	24.3%	24.3%	21.6%	18.9%	10.8%
支援対象者	185	68.6%	49.2%	54.6%	38.4%	36.8%	38.9%	12.4%	20.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	61.0%	44.1%	39.0%	22.0%	32.2%	25.4%	5.1%	25.4%
その他	1,578	73.3%	46.1%	54.2%	39.9%	41.1%	42.5%	9.1%	22.9%

	回答数	民生委 員・児童 委員	発達障害 者支援セン ター	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セン ター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	広島ひき こもり相 談支援セン ター	当事者の 会・家族 会
ひきこもり	37	10.8%	8.1%	8.1%	5.4%	5.4%	5.4%	-	-
支援対象者	185	25.9%	12.4%	31.9%	9.2%	5.9%	2.7%	8.6%	4.9%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	22.0%	5.1%	25.4%	15.3%	5.1%	8.5%	8.5%	3.4%
その他	1,578	29.4%	12.4%	33.5%	10.8%	4.7%	7.4%	5.0%	5.1%

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るものは ない	無回答
ひきこもり	37	-	2.7%	18.9%	5.4%
支援対象者	185	4.9%	2.2%	11.9%	1.1%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	5.1%	3.4%	20.3%	1.7%
その他	1,578	4.9%	1.8%	8.1%	2.7%

知っている相談機関について、ひきこもりに該当する人では、「区役所(福祉事務所)」と回答した割合が56.8%と最も高く、次いで「医療機関」(48.6%)となっている。

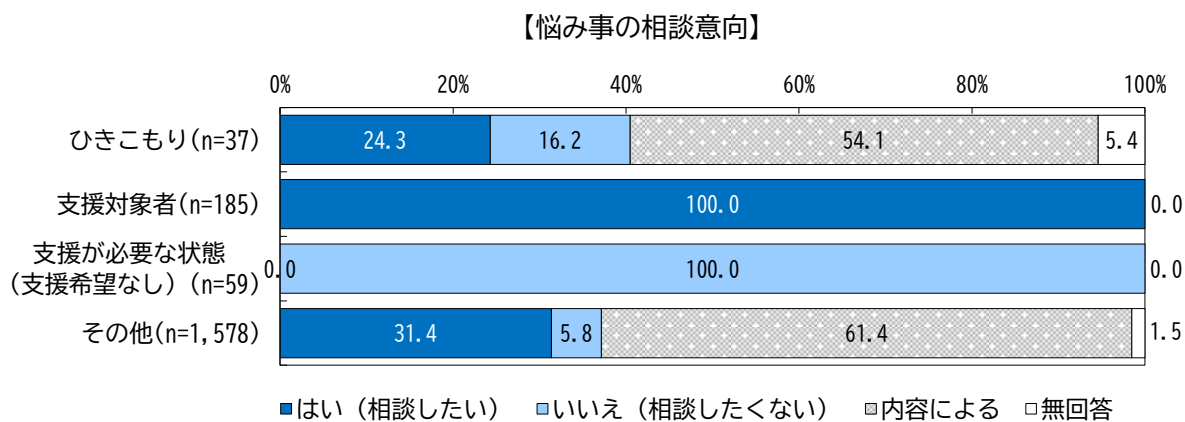
支援対象者に該当する人では、「区役所(福祉事務所)」と回答した割合が68.6%と最も高く、次いで「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(54.6%)となっている。

また、「知っているものはない」と回答した割合が、ひきこもりに該当する人で18.9%となっており、その他の人より高くなっている。

(2) 悩み事の相談意向

問23 あなたは普段悩み事ができた時に、他の人に相談をしたいと思いますか。

(○はひとつだけ)



悩み事の相談意向について、ひきこもりに該当する人では、「はい (相談したい)」と回答した割合が24.3%、「いいえ (相談したくない)」と回答した割合が16.2%、「内容による」と回答した割合が54.1%となっており、「いいえ (相談したくない)」と回答した割合はその他の人より高くなっている。

支援対象者に該当する人では、「はい (相談したい)」と回答した割合が100%となっている。

(3) 悩み事の相談先

問24 あなたは普段悩み事ができた時に、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

【悩み事の相談先】

	回答数	親	カウンセラー・精神科医	きょうだい	友人・知人	配偶者	Chat GPT	ネット上の知り合い	祖父母
ひきこもり	37	35.1%	18.9%	16.2%	13.5%	8.1%	5.4%	2.7%	-
支援対象者	185	49.2%	12.4%	25.9%	52.4%	48.1%	15.1%	4.3%	2.7%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	8.5%	-	10.2%	15.3%	20.3%	5.1%	-	-
その他	1,578	42.0%	2.9%	23.3%	51.3%	46.3%	6.7%	2.0%	1.3%

	回答数	職場の同僚・上司	相談機関の職員	その他の人	誰にも相談しない	無回答
ひきこもり	37	-	-	10.8%	27.0%	5.4%
支援対象者	185	29.2%	8.6%	6.5%	1.6%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	1.7%	-	1.7%	55.9%	-
その他	1,578	21.4%	2.4%	4.1%	6.4%	1.6%

悩み事の相談先について、ひきこもりに該当する人では、「親」と回答した割合が35.1%と最も高く、「カウンセラー・精神科医」(18.9%)、「きょうだい」(16.2%)が続いている。

また、「誰にも相談しない」と回答した割合が27.0%であり、その他の人より高くなっている。

支援対象者に該当する人では、「友人・知人」と回答した割合が52.4%と最も高く、「親」(49.2%)、「配偶者」(48.1%)が続いている。

また、「カウンセラー・精神科医」と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人の割合がその他の人より高くなっている。

(4) 困りごとを相談したいと思う場所や機関

問25 あなたが困りごとを相談するとすれば、どのようなところに相談したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

【困りごとを相談したいと思う場所や機関】

	回答数	親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
ひきこもり	37	45.9%	32.4%	27.0%	18.9%	18.9%	13.5%	10.8%	10.8%
支援対象者	185	81.1%	44.3%	20.5%	31.4%	21.1%	18.9%	30.8%	16.8%
支援が必要な状態(支援希望なし)	59	33.9%	28.8%	15.3%	16.9%	10.2%	13.6%	20.3%	8.5%
その他	1,578	70.6%	38.1%	7.8%	25.9%	18.1%	13.3%	24.3%	10.7%

	回答数	自宅から近い	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
ひきこもり	37	10.8%	5.4%	-	-	-	24.3%	5.4%
支援対象者	185	26.5%	3.8%	2.2%	0.5%	2.7%	1.1%	2.7%
支援が必要な状態(支援希望なし)	59	11.9%	5.1%	6.8%	-	22.0%	15.3%	-
その他	1,578	18.9%	1.2%	1.0%	0.6%	6.1%	3.3%	2.5%

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、ひきこもりに該当する人では、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が45.9%と最も高く、「無料で相談できる」(32.4%)、「精神科医がいる」(27.0%)が続いており、「精神科医がいる」と回答した割合はその他の人より高くなっている。

また、「どのようなところにも相談したくない」と回答した割合は24.3%であり、その他の人より高くなっている。

支援対象者に該当する人では、「親身に聴いてくれる」と回答した割合が81.1%と最も高く、「無料で相談できる」(44.3%)、「医学的な助言をくれる」(31.4%)、「同じ悩みを持つ人と出会える」(30.8%)が続いている。

また、「親身に聴いてくれる」、「精神科医がいる」、「心理学の専門家がいる」、「同じ悩みを持つ人と出会える」、「オンライン相談ができる」、「自宅から近い」と回答した割合は、その他の人より高くなっている。

(5) 困りごとを相談したくない理由

問25で「14 どのようなところにも相談したくない」と回答した人のみ回答

問26 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【困りごとを相談したくない理由】

	回答数	相談しても解決できないと思う	相手にうまく話せないと思う	自分のことを知られたくない	相談したことを人に知られたくない	何を聞かれるか不安に思う	お金がかかると思う	相談機関が近くにない	その他
ひきこもり	9	66.7%	44.4%	33.3%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%
支援対象者	2	100.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	8	75.0%	50.0%	25.0%	12.5%	50.0%	25.0%	-	12.5%
その他	52	36.5%	21.2%	21.2%	15.4%	9.6%	11.5%	-	9.6%

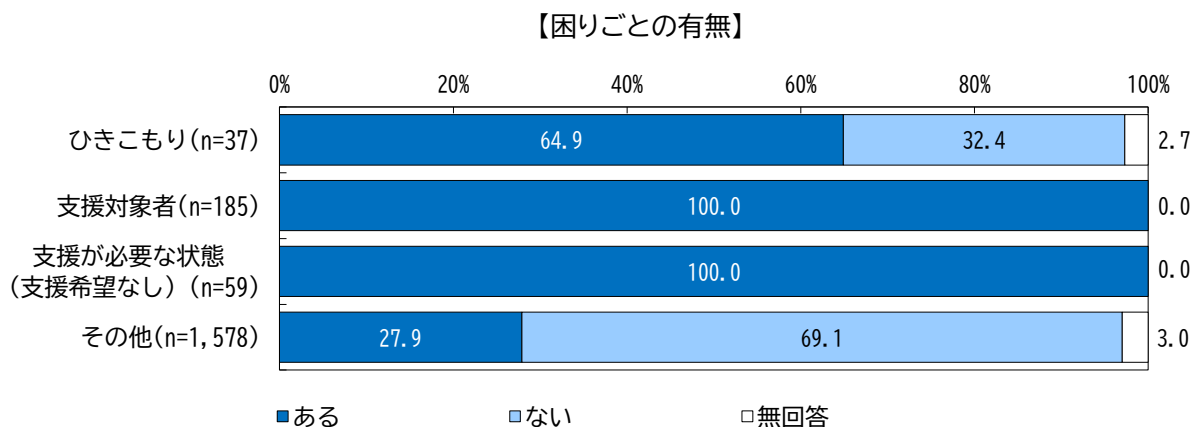
	回答数	特に理由はない	無回答
ひきこもり	9	11.1%	-
支援対象者	2	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	8	-	-
その他	52	30.8%	-

困りごとを相談したくない理由について、ひきこもりに該当する人では、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が66.7%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」(44.4%)、「自分のことを知られたくない」、「相談したことを人に知られたくない」(33.3%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「相談しても解決できないと思う」と回答した割合が100%と最も高く、「相手にうまく話せないと思う」、「自分のことを知られたくない」(50.0%)が続いている。

(6) 困りごとの有無

問27 あなたには現在、困りごとがありますか。(○はひとつだけ)

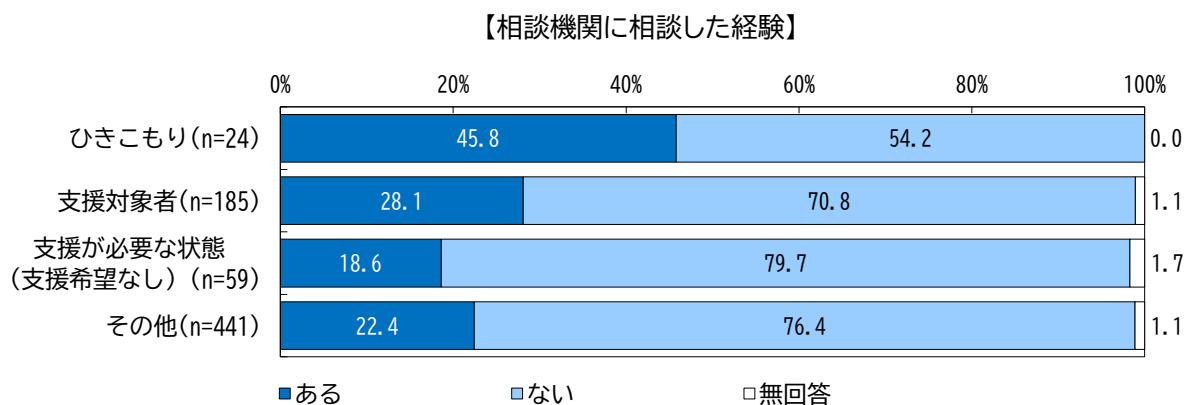


困りごとの有無について、ひきこもりに該当する人では、「ある」と回答した割合が64.9%であり、その他の人より高くなっている。

(7) 相談機関に相談した経験

問27で「1 (困りごと)がある」と回答した人のみ回答

問28 現在の状態について、相談機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)



相談機関に相談した経験について、ひきこもりに該当する人では、「ある」と回答した割合が45.8%であり、その他の人より高くなっている。

(8) 相談したことのある相談機関

問27で「1 (困りごとがある)」、かつ問28で「1 (相談したことがある)」と回答した人のみ回答

問29 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【相談したことのある相談機関】

	回答数	医療機関	区役所 (福祉事務所)	職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関	保健センター	精神保健福祉センター	青少年総合相談センター	児童相談所	学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)
ひきこもり	11	90.9%	36.4%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%
支援対象者	52	44.2%	26.9%	11.5%	7.7%	9.6%	5.8%	5.8%	13.5%
支援が必要な状態(支援希望なし)	11	27.3%	27.3%	9.1%	-	9.1%	-	-	18.2%
その他	99	48.5%	21.2%	10.1%	7.1%	2.0%	1.0%	4.0%	14.1%

	回答数	発達障害者支援センター	地域包括支援センター	生活困窮者向けの相談窓口(くらしサポートセンター)	社会福祉協議会	広島ひきこもり相談支援センター	障害者基幹相談支援センター	民生委員・児童委員	当事者の会・家族会
ひきこもり	11	9.1%	9.1%	9.1%	-	-	-	-	-
支援対象者	52	9.6%	15.4%	-	1.9%	3.8%	5.8%	1.9%	3.8%
支援が必要な状態(支援希望なし)	11	-	18.2%	-	-	-	-	-	-
その他	99	6.1%	17.2%	2.0%	5.1%	-	2.0%	1.0%	-

	回答数	上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	その他の施設・機関	無回答
ひきこもり	11	-	9.1%	-
支援対象者	52	9.6%	17.3%	1.9%
支援が必要な状態(支援希望なし)	11	-	-	-
その他	99	4.0%	14.1%	2.0%

相談したことのある相談機関について、ひきこもりに該当する人では、「医療機関」と回答した割合が90.9%と最も高く、「区役所(福祉事務所)」(36.4%)、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(27.3%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「医療機関」と回答した割合が44.2%と最も高く、「区役所(福祉事務所)」(26.9%)、「その他の施設・機関」(17.3%)、「地域包括支援センター」(15.4%)が続いている。

6 余暇活動について

(1) 普段情報を得ている媒体

問31 普段、何から情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

【普段情報を得ている媒体】

	回答数	インターネット	テレビ	X (旧Twitter)	YouTube	ニュースアプリ	ラジオ	LINE	Instagram
ひきこもり	37	75.7%	59.5%	35.1%	35.1%	27.0%	13.5%	13.5%	13.5%
支援対象者	185	90.3%	79.5%	34.6%	56.2%	22.2%	10.8%	35.7%	45.4%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	81.4%	59.3%	27.1%	47.5%	25.4%	22.0%	23.7%	27.1%
その他	1,578	86.4%	77.9%	25.0%	46.5%	27.4%	15.5%	31.4%	38.8%

	回答数	新聞・雑誌	広報紙 (市民と市政など)	TikTok	地域情報誌	回覧板	ポスター、掲 示板	区役所等 にあるチ ラシ	電車やバ スなどの 広告
ひきこもり	37	10.8%	8.1%	8.1%	5.4%	5.4%	5.4%	2.7%	2.7%
支援対象者	185	29.7%	13.0%	13.5%	4.3%	8.1%	6.5%	2.7%	11.4%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	18.6%	8.5%	13.6%	1.7%	5.1%	8.5%	-	8.5%
その他	1,578	31.7%	13.2%	13.6%	5.3%	8.4%	7.7%	3.2%	11.9%

	回答数	Face book	その他	特に情報 を得てい ない	無回答
ひきこもり	37	-	2.7%	5.4%	2.7%
支援対象者	185	10.3%	2.2%	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	3.4%	-	1.7%	-
その他	1,578	5.5%	2.5%	0.3%	0.9%

普段情報を得ている媒体について、ひきこもりに該当する人では、「インターネット」と回答した割合が75.7%と最も高く、「テレビ」(59.5%)、「X (旧Twitter)」、「YouTube」(35.1%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「インターネット」と回答した割合が90.3%と最も高く、「テレビ」(79.5%)、「YouTube」(56.2%)、「Instagram」(45.4%)が続いている。

(2) 最も多く情報を得ている媒体

問32 最も多く情報を得ている媒体に○をつけてください。(○はひとつだけ)

【最も多く情報を得ている媒体】

	回答数	インターネット	テレビ	YouTube	X (旧Twitter)	ラジオ	LINE	Instagram	新聞・雑誌
ひきこもり	37	37.8%	27.0%	8.1%	5.4%	2.7%	2.7%	2.7%	-
支援対象者	185	43.8%	16.8%	4.3%	6.5%	1.1%	1.6%	10.8%	3.2%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	44.1%	22.0%	5.1%	6.8%	5.1%	1.7%	-	-
その他	1,578	38.3%	25.5%	5.8%	5.2%	1.2%	1.9%	4.6%	2.7%

	回答数	広報紙 (市民と 市政など)	区役所等 にあるチ ラシ	地域情報 誌	電車やバ スなどの 広告	回覧板	ポス ター、掲 示板	ニュー スアプ リ	Face book
ひきこもり	37	-	-	-	-	-	-	-	-
支援対象者	185	-	-	-	-	-	-	2.7%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	-	-	-	-	-	-	1.7%	-
その他	1,578	0.1%	-	-	-	-	-	4.1%	0.1%

	回答数	T i k T o k	その他	特に情報 を得てい ない	無回答
ひきこもり	37	-	-	5.4%	8.1%
支援対象者	185	2.2%	0.5%	-	6.5%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	1.7%	-	3.4%	8.5%
その他	1,578	2.9%	0.2%	0.3%	6.9%

最も多く情報を得ている媒体について、ひきこもりに該当する人では、「インターネット」と回答した割合が37.8%と最も高く、次いで「テレビ」(27.0%)となっている。

支援対象者に該当する人では、「インターネット」と回答した割合が43.8%と最も高く、次いで「テレビ」(16.8%)となっている。

(3) 普段自宅にいる時の過ごし方

問33 普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【普段自宅にいる時の過ごし方】

	回答数	インターネットをする	テレビを見る	ゲームをする	本を読む	ラジオを聴く	新聞を読む	家事をする	勉強をする
ひきこもり	37	62.2%	35.1%	21.6%	13.5%	10.8%	10.8%	10.8%	5.4%
支援対象者	185	62.7%	57.8%	27.0%	17.3%	5.9%	8.6%	47.6%	10.8%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	61.0%	49.2%	30.5%	18.6%	6.8%	6.8%	30.5%	8.5%
その他	1,578	54.4%	59.8%	25.3%	18.6%	5.6%	10.2%	47.1%	9.6%

	回答数	育児をする	仕事をする	介護・看護をする	その他	あてはまるものはない	無回答
ひきこもり	37	5.4%	2.7%	-	13.5%	8.1%	5.4%
支援対象者	185	15.7%	8.6%	2.7%	8.6%	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	8.5%	10.2%	3.4%	3.4%	1.7%	-
その他	1,578	14.0%	11.1%	2.8%	6.5%	1.0%	1.5%

普段自宅にいる時の過ごし方について、ひきこもりに該当する人では、「インターネットをする」と回答した割合が62.2%と最も高く、「テレビを見る」(35.1%)、「ゲームをする」(21.6%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「インターネットをする」と回答した割合が62.7%と最も高く、「テレビを見る」(57.8%)、「家事をする」(47.6%)が続いている。

(4) 楽しいと思う活動

問34 あなたが楽しいと思う活動を教えてください。(〇はいくつでも)

【楽しいと思う活動】

	回答数	料理・飲食店巡り	ゲーム	旅行・外出	スポーツ観戦	楽器、音楽鑑賞	創作活動	読書	アウトドア	スポーツをする
ひきこもり	37	21.6%	21.6%	16.2%	13.5%	13.5%	13.5%	13.5%	10.8%	8.1%
支援対象者	185	43.2%	26.5%	56.8%	38.4%	27.0%	10.3%	20.0%	23.8%	27.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	20.3%	23.7%	30.5%	22.0%	23.7%	16.9%	18.6%	8.5%	15.3%
その他	1,578	32.9%	25.6%	52.0%	36.4%	25.3%	7.7%	21.9%	16.7%	26.3%

	回答数	アロマ、マッサージ	動物等の飼育	植物等を育てる	資格取得	収集(〇〇集め)	競馬、競輪等	その他	無回答
ひきこもり	37	8.1%	5.4%	5.4%	5.4%	2.7%	-	13.5%	18.9%
支援対象者	185	11.9%	17.3%	12.4%	7.6%	6.5%	3.2%	12.4%	2.7%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	5.1%	15.3%	8.5%	5.1%	13.6%	10.2%	13.6%	3.4%
その他	1,578	9.1%	16.6%	13.1%	3.2%	8.9%	2.3%	8.9%	3.6%

楽しいと思う活動について、ひきこもりに該当する人では、「料理・飲食店巡り」、「ゲーム」と回答した割合が21.6%と最も高く、「旅行・外出」(16.2%)、「スポーツ観戦」、「楽器、音楽鑑賞」、「創作活動」、「読書」(13.5%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「旅行・外出」と回答した割合が56.8%と最も高く、「料理・飲食店巡り」(43.2%)、「スポーツ観戦」(38.4%)が続いている。

7 これまでの経験について

(1) これまでの困難な経験の有無

問35 これまでに、次のような経験をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

【これまでの困難な経験の有無】

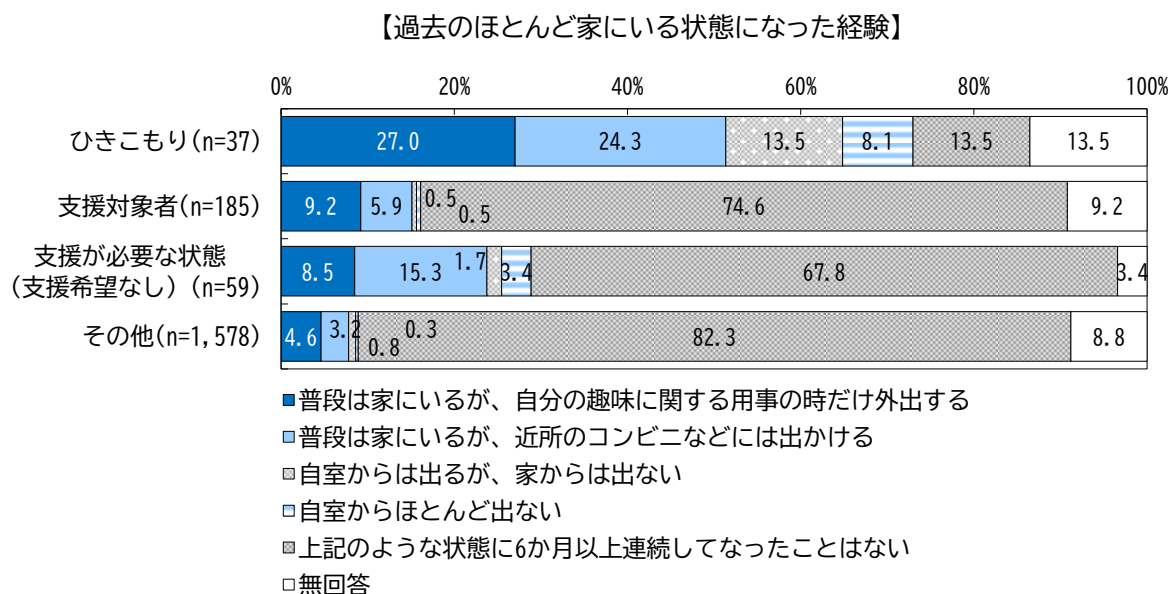
	回答数	35歳以上の無職	高校生時の不登校	ニート(15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも)	中学生時の不登校	初めての就職から1年以内に離職・転職した	小学生時の不登校	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	あてはまるものはない	無回答
ひきこもり	37	29.7%	27.0%	24.3%	21.6%	13.5%	10.8%	8.1%	29.7%	5.4%
支援対象者	185	10.8%	8.1%	6.5%	4.9%	12.4%	3.2%	1.6%	60.0%	6.5%
支援が必要な状態(支援希望なし)	59	5.1%	10.2%	11.9%	6.8%	11.9%	-	3.4%	59.3%	10.2%
その他	1,578	7.5%	3.1%	5.9%	3.3%	6.5%	2.7%	2.0%	71.6%	6.3%

これまでの困難な経験の有無について、何らかの経験を回答した人の割合が、ひきこもりに該当する人で64.9%、支援対象者に該当する人で33.5%となっている。

また、「初めての就職から1年以内に離職・転職した」を除くすべての項目について、ひきこもりに該当する人の割合がその他の人より高くなっている。

(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験

問36 あなたは過去に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
(○はひとつだけ)



過去6か月以上連続してほとんど家にいる状態になった経験について、ひきこもりに該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(27.0%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(24.3%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(13.5%)、「自室からほとんど出ない」(8.1%)を合わせると72.9%となっている。

支援対象者に該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(9.2%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(5.9%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(0.5%)、「自室からほとんど出ない」(0.5%)を合わせると16.1%となっている。

その他の人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(4.6%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(3.2%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(0.8%)、「自室からほとんど出ない」(0.3%)を合わせると8.9%となっている。

(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ

問36で「1」～「4」と回答した人のみ回答

問37 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態になったきっかけ】

	回答数	病気	学校になじめなかつたこと	人間関係がうまくいかなかつたこと	退職したこと	中学生時の不登校	小学生時の不登校	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	就職活動がうまくいかなかつたこと
ひきこもり	27	44.4%	29.6%	25.9%	22.2%	18.5%	14.8%	14.8%	14.8%
支援対象者	30	26.7%	3.3%	10.0%	36.7%	6.7%	-	-	13.3%
支援が必要な状態(支援希望なし)	17	35.3%	-	11.8%	17.6%	5.9%	-	-	11.8%
その他	140	18.6%	7.9%	18.6%	17.9%	10.0%	6.4%	1.4%	12.9%

	回答数	高校生時の不登校	職場になじめなかつたこと	受験に失敗したこと(高校・大学等)	介護・看護を担うことになったこと	妊娠したこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	その他	無回答
ひきこもり	27	11.1%	11.1%	3.7%	3.7%	-	-	18.5%	-
支援対象者	30	6.7%	13.3%	3.3%	3.3%	10.0%	10.0%	23.3%	6.7%
支援が必要な状態(支援希望なし)	17	5.9%	5.9%	-	11.8%	-	17.6%	17.6%	17.6%
その他	140	4.3%	9.3%	2.1%	5.0%	10.7%	10.7%	20.0%	6.4%

ほとんど家にいる状態になったきっかけについて、ひきこもりに該当する人では、「病気」と回答した割合が44.4%と最も高く、「学校になじめなかつたこと」(29.6%)、「人間関係がうまくいかなかつたこと」(25.9%)、「退職したこと」(22.2%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「その他」を除くと、「退職したこと」と回答した割合が36.7%と最も高く、「病気」(26.7%)、「就職活動がうまくいかなかつたこと」(13.3%)、「職場になじめなかつたこと」(13.3%)が続いている。

その他の人では、「その他」を除くと、「病気」、「人間関係がうまくいかなかつたこと」と回答した割合がともに18.6%と最も高く、「退職したこと」(17.9%)、「就職活動がうまくいかなかつたこと」(12.9%)が続いている。

(4) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ

問36で「1」～「4」と回答した人のみ回答

問38 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。
(〇はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ】

	回答数	病院に行き行って相談したこと	家族や親戚の助け	時間がたって状況が変化したこと	友人の助け	自分の努力で乗りこえたこと	相談できる場所に行き行って相談したこと	SNSやメール相談などを利用したこと	就職・転職したこと
ひきこもり	27	25.9%	14.8%	11.1%	7.4%	7.4%	3.7%	3.7%	3.7%
支援対象者	30	26.7%	30.0%	20.0%	23.3%	6.7%	6.7%	-	13.3%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	17	23.5%	35.3%	35.3%	5.9%	17.6%	11.8%	11.8%	17.6%
その他	140	14.3%	29.3%	24.3%	15.0%	8.6%	3.6%	0.7%	17.9%

	回答数	趣味の活動に参加したこと	学校の先生に相談したこと	スクールカウンセラーや養護教諭などに相談したこと	地域の人への助け	電話相談を利用したこと	同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	その他	わからない、答えられない
ひきこもり	27	3.7%	-	-	-	-	-	7.4%	-
支援対象者	30	3.3%	6.7%	-	3.3%	-	-	6.7%	3.3%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	17	5.9%	-	-	-	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%
その他	140	5.7%	2.1%	2.9%	-	1.4%	2.1%	10.0%	9.3%

	回答数	改善していない	無回答
ひきこもり	27	48.1%	3.7%
支援対象者	30	20.0%	13.3%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	17	23.5%	11.8%
その他	140	9.3%	11.4%

ほとんど家にいる状態が改善したきっかけについて、ひきこもりに該当する人では、「病院に行き行って相談したこと」と回答した割合が25.9%と最も高く、「家族や親戚の助け」(14.8%)、「時間がたって状況が変化したこと」(11.1%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「家族や親戚の助け」と回答した割合が30.0%と最も高く、「病院に行き行って相談したこと」(26.7%)、「友人の助け」(23.3%)が続いている。

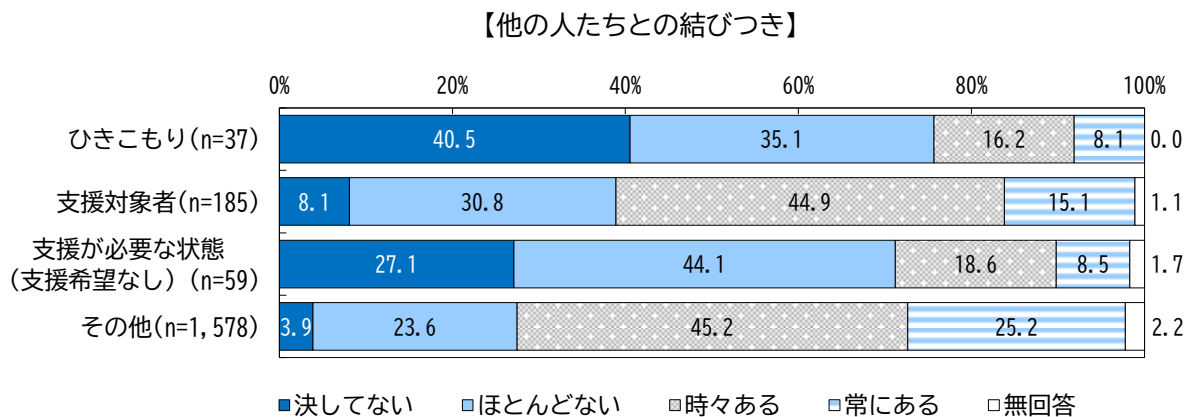
また、「改善していない」と回答した割合が、ひきこもりに該当する人で48.1%、支援対象者に該当する人で20.0%となっている。

その他の人では、「家族や親戚の助け」と回答した割合が29.3%と最も高く、「時間がたって状況が変化したこと」(24.3%)、「就職・転職したこと」(17.9%)が続いている。

8 周囲とのかかわり方について

(1) 他の人たちとの結びつき

問39 自分は他の人たちとよく交流し結びつきが強いですか。(○はひとつだけ)



他の人たちとの結びつきについて、ひきこもりに該当する人では、結びつきが強いと感じることが「常にある」と回答した割合が8.1%、『ない』（「決してない」＋「ほとんどない」）と回答した割合が75.6%となっており、『ない』と回答した割合は、その他の人より高くなっている。

支援対象者に該当する人では、結びつきが強いと感じることが「常にある」と回答した割合が15.1%、『ない』と回答した割合が38.9%となっている。

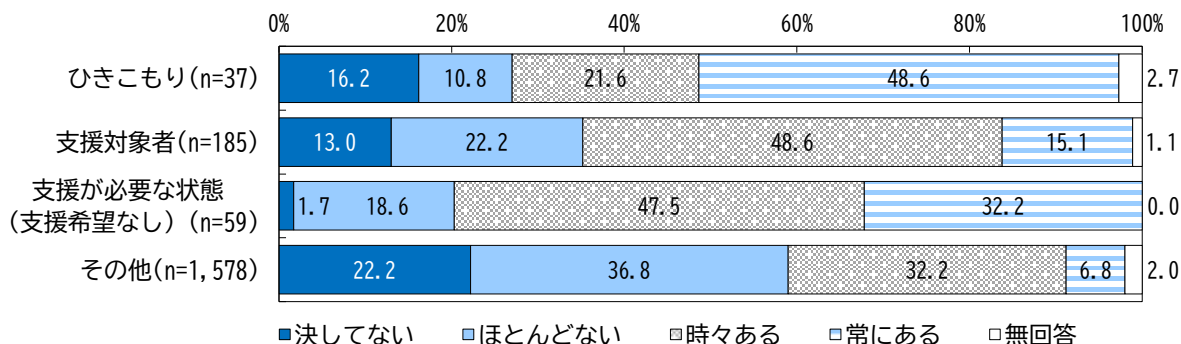
(2) 孤独感(間接質問)

問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

① 人とのつきあいがないと感じる程度

【人とのつきあいがないと感じる程度】

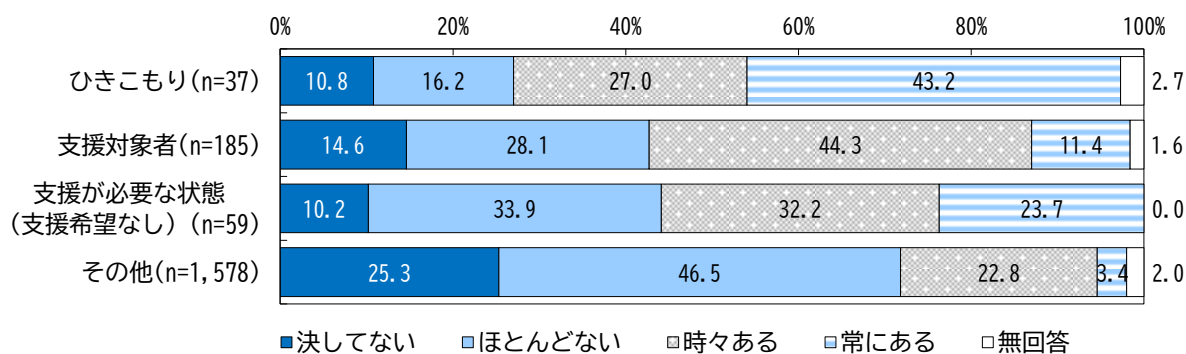


人とのつきあいがないと感じる程度について、ひきこもりに該当する人では、「常にある」と回答した割合が48.6%、「時々ある」と回答した割合が21.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、「常にある」と回答した割合が15.1%、「時々ある」と回答した割合が48.6%となっている。

② 取り残されていると感じる程度

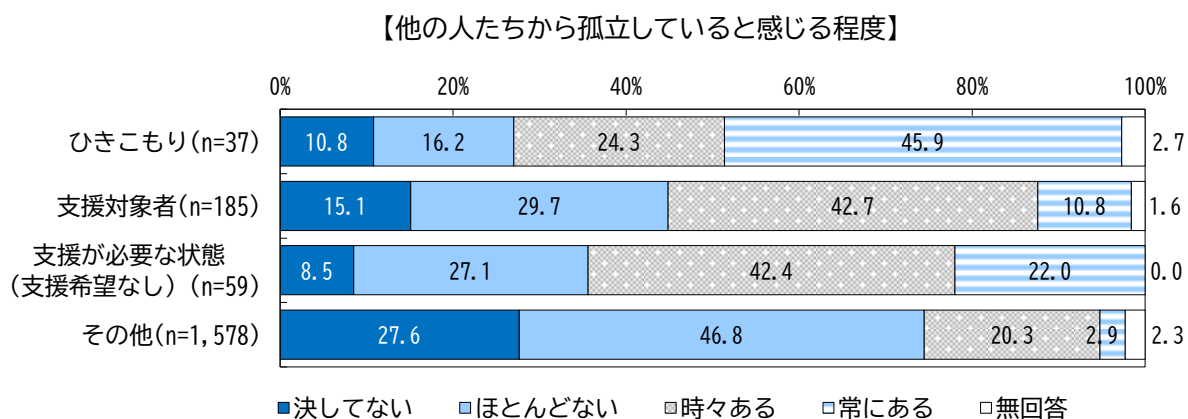
【取り残されていると感じる程度】



取り残されていると感じる程度について、ひきこもりに該当する人では、「常にある」と回答した割合が43.2%、「時々ある」と回答した割合が27.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、「常にある」と回答した割合が11.4%、「時々ある」と回答した割合が44.3%となっている。

③ 他の人たちから孤立していると感じる程度



他の人たちから孤立していると感じる程度について、ひきこもりに該当する人では、「常にある」と回答した割合が45.9%、「時々ある」と回答した割合が24.3%となっている。

支援対象者に該当する人では、「常にある」と回答した割合が10.8%、「時々ある」と回答した割合が42.7%となっている。

本調査では、孤独感について把握するため、「直接質問」、「間接質問」の2種類の質問を行っており、本問は後者の「間接質問」である。

本問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA孤独感尺度」¹の日本語版²の3項目短縮版³に基づくもので、以下の3つの項目への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価する内容となっている⁴。

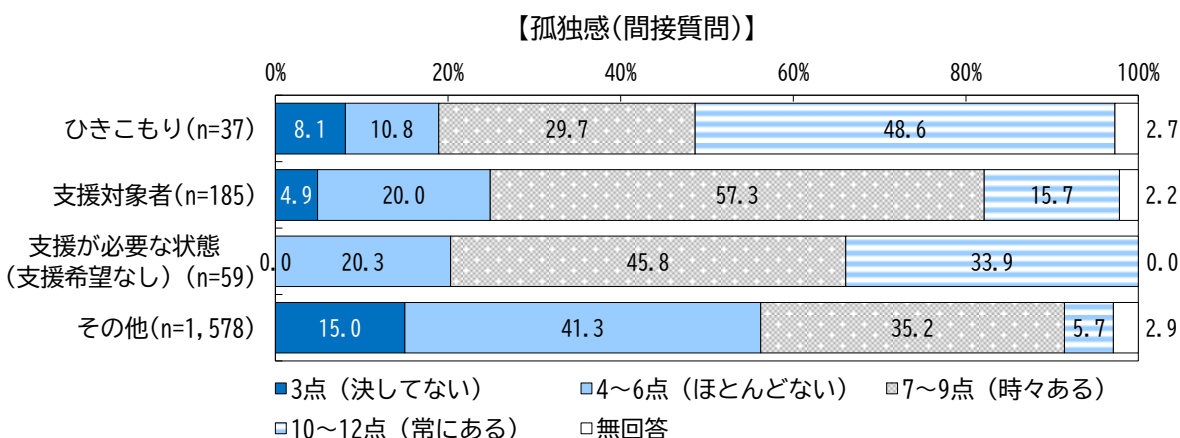
問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

- ・自分には人とのつきあいが無いと感じることがある
- ・自分は取り残されていると感じることがある
- ・自分は他の人たちから孤立していると感じることがある

※これらの選択肢はいずれも、「決してない」、「ほとんどない」、「時々ある」、「常にある」

本報告書では、内閣官房「人々のつながりに関する基礎調査」を参考に、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて便宜的に「3点（決してない）」、「4～6点（ほとんどない）」、「7～9点（時々ある）」、「10～12点（常にある）」の4区分に整理している。



孤独感（間接質問）について、ひきこもりに該当する人では、「3点（決してない）」に該当する割合が8.1%、「4～6点（ほとんどない）」に該当する割合が10.8%、「7～9点（時々ある）」に該当する割合が29.7%、「10～12点（常にある）」に該当する割合が48.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、「3点（決してない）」に該当する割合が4.9%、「4～6点（ほとんどない）」に該当する割合が20.0%、「7～9点（時々ある）」に該当する割合が57.3%、「10～12点（常にある）」に該当する割合が15.7%となっている。

また、「10～12点（常にある）」に該当する割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人が、その他の人より高くなっている。

¹ Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. J Pers Assess. 1996;66(1):20-40.

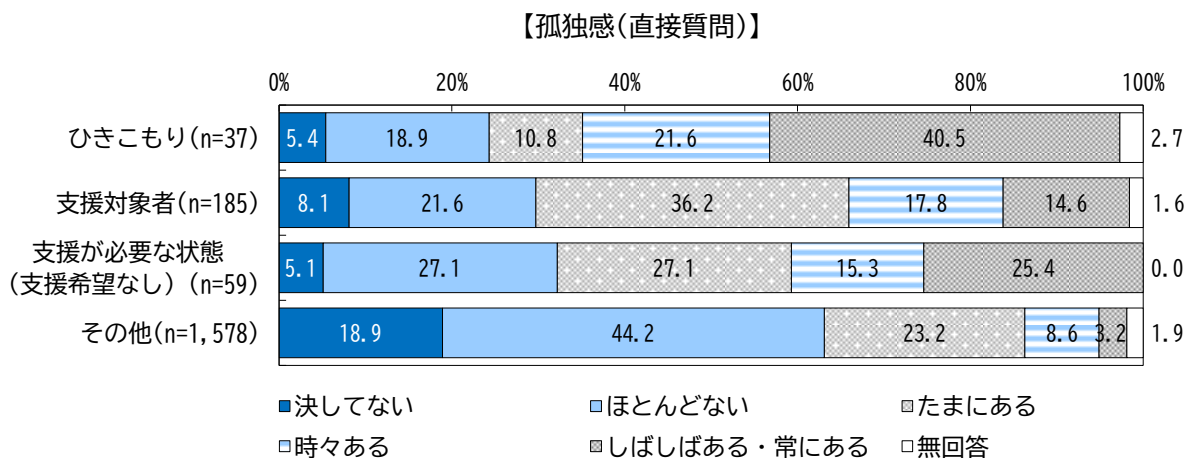
² 舛田ゆづり,田高悦子,他.:高齢者における日本語版UCLA 孤独感尺度（第3版）の開発とその信頼性・妥当性の検討,日本地域看護学会誌.15(1): 25-32,2012.

³ Arimoto A & Tadaka E:Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

⁴ 質問に「孤独」という言葉を使用していないことから「間接質問」と呼称している。

(3) 孤独感(直接質問)

問40 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○はひとつだけ)



孤独感(直接質問)について、ひきこもりに該当する人では、「時々ある」と回答した割合が21.6%、「しばしばある・常にある」と回答した割合が40.5%となっている。

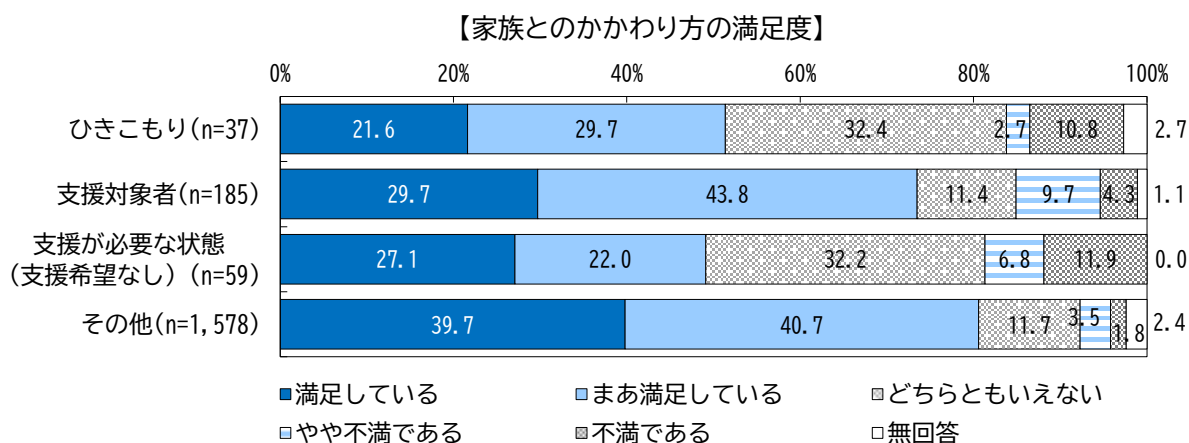
支援対象者に該当する人では、「時々ある」と回答した割合が17.8%、「しばしばある・常にある」と回答した割合が14.6%となっている。

また、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人が、その他の人より高くなっている。

(4) 人や社会とのかかわり方の満足度

問41 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。
【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

① 家族とのかかわり方の満足度

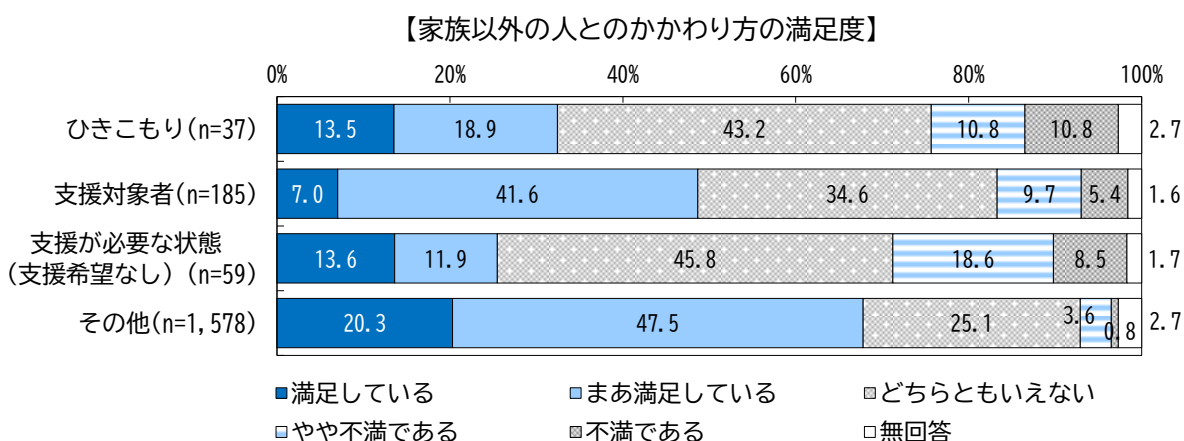


家族とのかかわり方の満足度について、ひきこもりに該当する人では、『満足している』（「満足している」＋「まあ満足している」）と回答した割合が51.3%、『不満である』（「不満である」＋「やや不満である」）と回答した割合が13.5%となっている。

支援対象者に該当する人では、『満足している』と回答した割合が73.5%、『不満である』と回答した割合が14.0%となっている。

また、『満足している』と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人がその他の人より低くなっている。

② 家族以外の人とのかかわり方



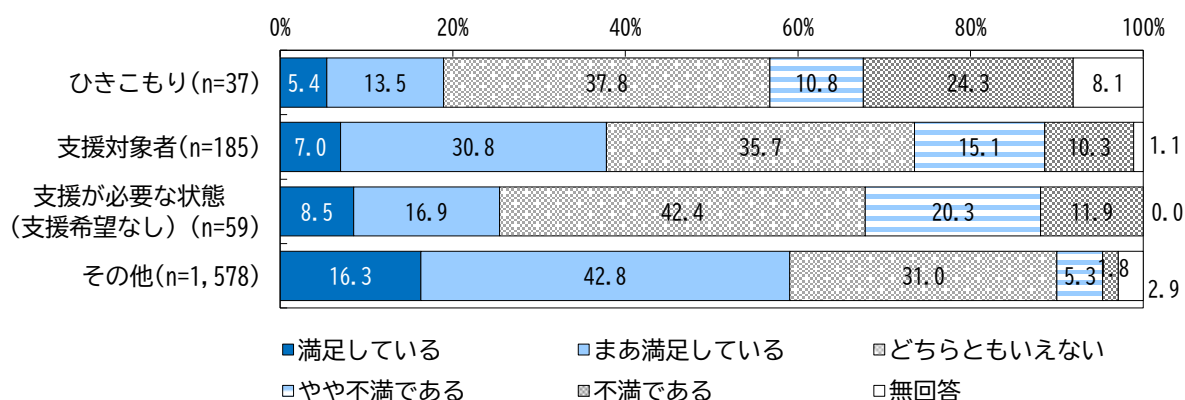
家族以外の人とのかかわり方の満足度について、ひきこもりに該当する人では、『満足している』と回答した割合が32.4%、『不満である』と回答した割合が21.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、『満足している』と回答した割合が48.6%、『不満である』と回答した割合が15.1%となっている。

また、『満足している』と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人がその他の人より低くなっている。

③ 社会とのかかわり方の満足度

【社会とのかかわり方の満足度】



社会とのかかわり方の満足度について、ひきこもりに該当する人では、『満足している』と回答した割合が18.9%、『不満である』と回答した割合が35.1%となっている。

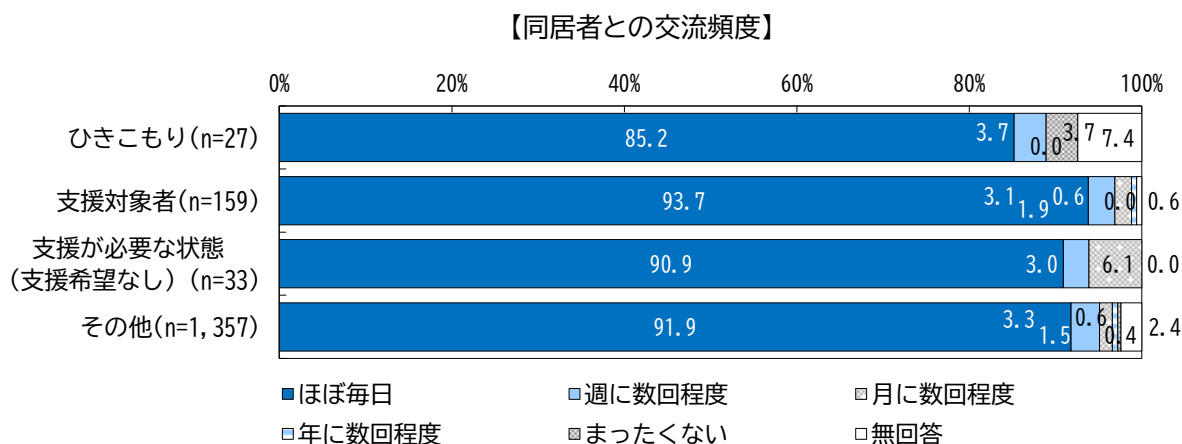
支援対象者に該当する人では、『満足している』と回答した割合が37.8%、『不満である』と回答した割合が25.4%となっている。

また、『満足している』と回答した割合は、ひきこもりに該当する人、支援対象者に該当する人がその他の人より低くなっている。

(5) 同居者との交流頻度

同居者がいる場合のみ回答

問42 同居している人との交流頻度についてお答えください。(〇はひとつだけ)



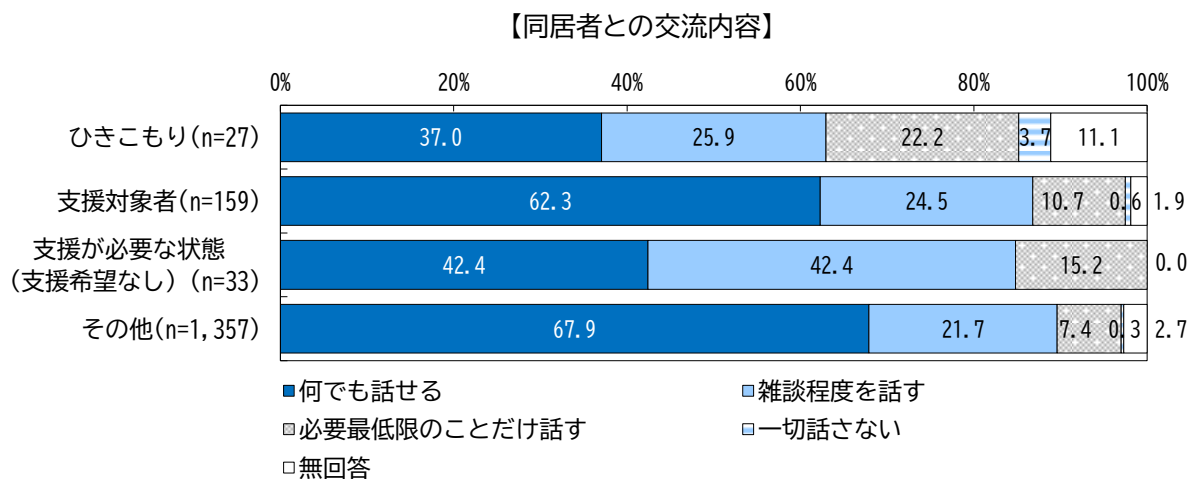
同居者との交流頻度について、ひきこもりに該当する人では、「まったくない」と回答した割合が3.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、「まったくない」と回答した割合が0.0%となっている。

(6) 同居者との交流内容

同居者がいる場合のみ回答

問43 同居している人との交流の内容についてお答えください。(〇はひとつだけ)

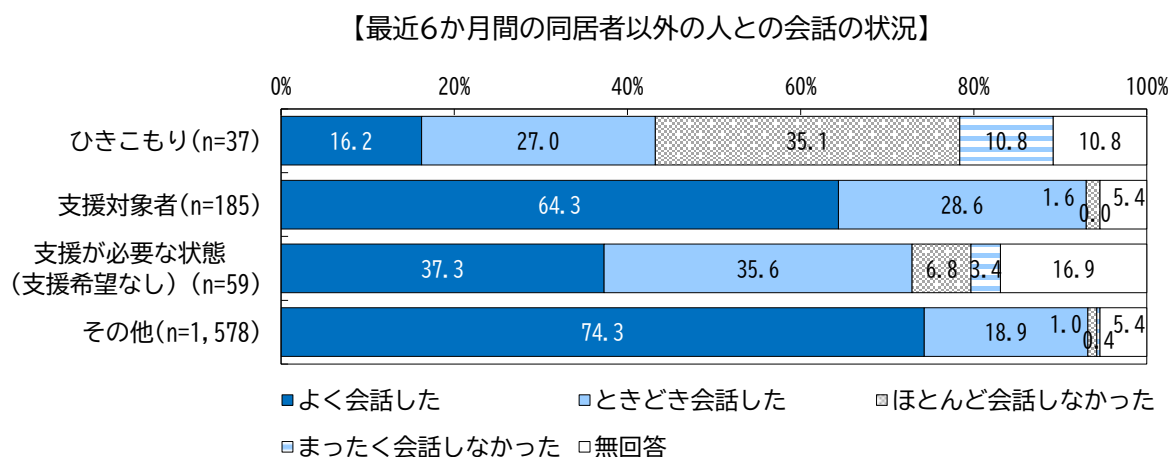


同居者との交流内容について、ひきこもりに該当する人では、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合が22.2%、「一切話さない」と回答した割合が3.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合が10.7%、「一切話さない」と回答した割合が0.6%となっている。

(7) 最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況

問44 最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)



最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況について、ひきこもりに該当する人では、『会話した』（「よく会話した」＋「ときどき会話した」）と回答した割合が43.2%、『会話しなかった』（「まったく会話しなかった」＋「ほとんど会話しなかった」）と回答した割合が45.9%となっている。

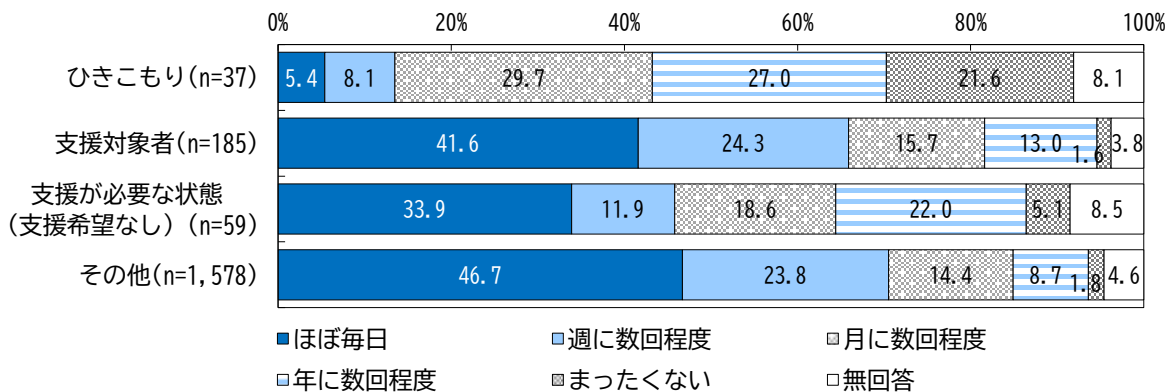
支援対象者に該当する人では、『会話した』と回答した割合が92.9%、『会話しなかった』と回答した割合が1.6%となっている

(8) 同居していない人とのコミュニケーションの頻度

問45 同居していない人とのコミュニケーションについてそれぞれお答えください。
【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

① 同居していない人と直接会って話す頻度

【同居していない人と直接会って話す頻度】

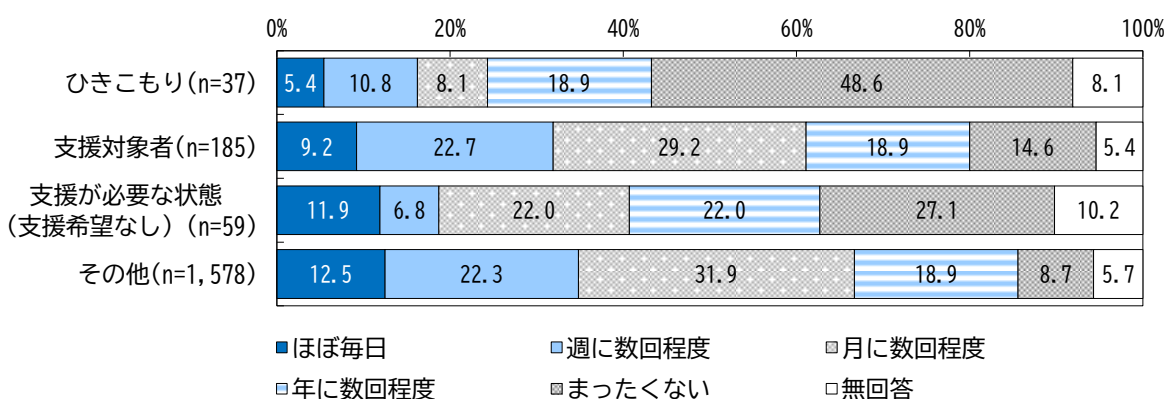


同居していない人と直接会って話す頻度について、ひきこもりに該当する人では、「まったく」と回答した割合が21.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、「まったくない」と回答した割合が1.6%となっている。

② 同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度

【同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度】

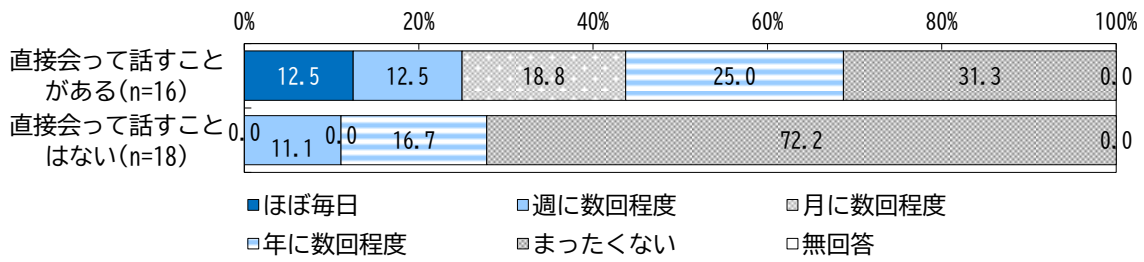


同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度について、ひきこもりに該当する人では、「まったくない」と回答した割合が48.6%となっている。

支援対象者に該当する人では、「まったくない」と回答した割合が14.6%となっている。

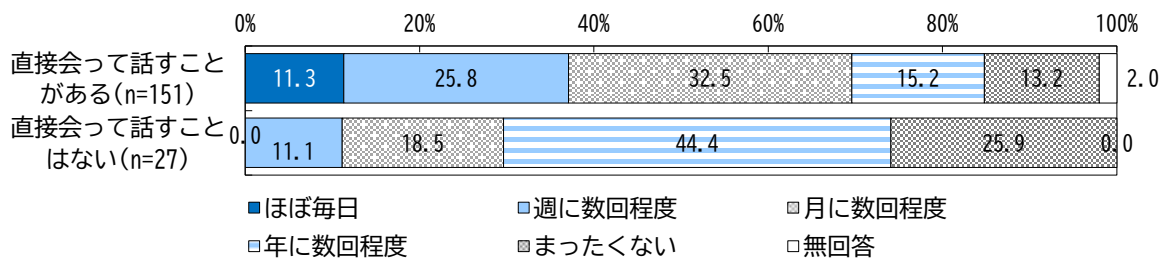
【同居していない人との電話(ビデオ通話含む)の頻度(同居していない人と直接会って話す頻度別)】

(ひきこもり該当者)



同居していない人と直接会って話す頻度別にみると、ひきこもりに該当する人では、直接会って話すことはない層の同居していない人との電話の頻度について、「週に数回程度」と回答した割合が11.1%、「年に数回程度」と回答した割合が16.7%、「まったくくない」と回答した割合が72.2%となっている。

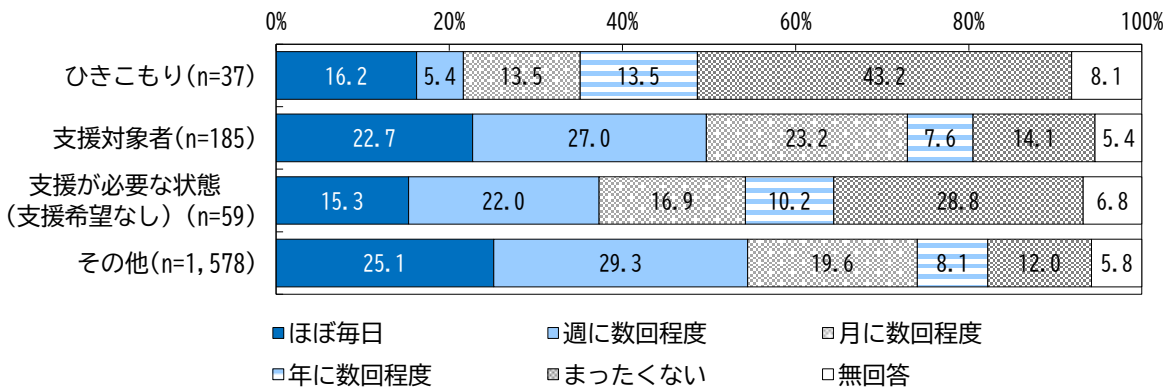
(支援対象者該当者)



支援対象者に該当する人では、直接会って話すことはない層の同居していない人との電話の頻度について、「週に数回程度」と回答した割合が11.1%、「月に数回程度」と回答した割合が18.5%、「まったくくない」と回答した割合が25.9%となっている。

③ 同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度

【同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度】



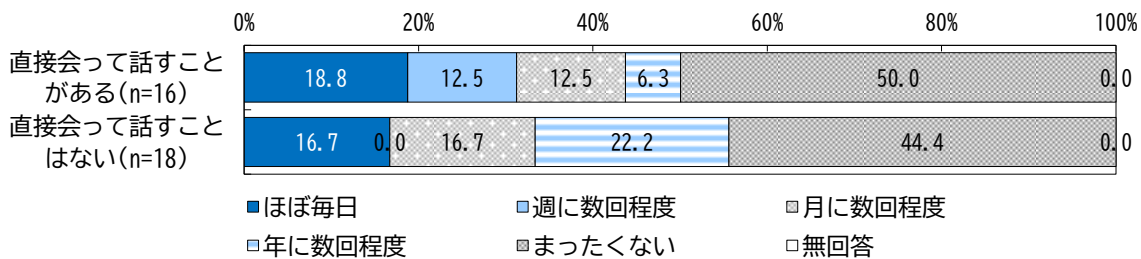
同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度について、ひきこもりに該当する人では、「まったくない」と回答した割合が43.2%となっている。

支援対象者に該当する人では、「まったくない」と回答した割合が14.1%となっている。

【同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度

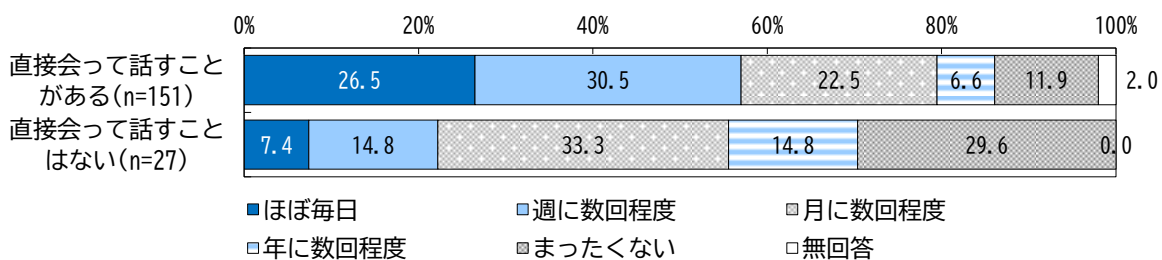
(同居していない人と直接会って話す頻度別)】

(ひきこもり該当者)



同居していない人と直接会って話す頻度別にみると、ひきこもりに該当する人では、直接会って話すことはない層の同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度について、頻度が多い(「ほぼ毎日」+「月に数回程度」)割合が33.4%、「年に数回程度」と回答した割合が22.2%、「まったくない」と回答した割合が44.4%となっている。

(支援対象者該当者)



支援対象者に該当する人では、直接会って話すことはない層の同居していない人とのSNS・電子メール・オンラインゲームをする頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合が7.4%、「週に数回程度」と回答した割合が14.8%、「月に数回程度」と回答した割合が33.3%となっている。

9 必要だと思う市の支援

問46 広島市では、身体の病気以外の理由で普段外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思う順に、枠内に数字を並べ替えてください。

【最も必要だと思う市の支援】

	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	本人への直接的な支援	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人が参加できる居場所等をつくる	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	支援者への研修
ひきこもり	37	29.7%	18.9%	16.2%	13.5%	2.7%	-	-	-
支援対象者	185	33.0%	10.3%	10.8%	9.2%	9.7%	1.1%	4.3%	2.7%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	27.1%	10.2%	13.6%	11.9%	5.1%	3.4%	6.8%	-
その他	1,578	32.9%	11.4%	12.8%	11.0%	7.4%	3.6%	4.9%	1.0%

	回答数	職場体験 (就労体験)が できる仕組みづくり	無回答
ひきこもり	37	-	18.9%
支援対象者	185	0.5%	18.4%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	-	22.0%
その他	1,578	1.5%	13.4%

最も必要だと思う市の支援について、ひきこもりに該当する人では、「相談窓口の周知」と回答した割合が29.7%と最も高く、「相談窓口の充実」(18.9%)、「本人への直接的な支援」(16.2%)、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(13.5%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「相談窓口の周知」と回答した割合が33.0%と最も高く、「本人への直接的な支援」(10.8%)、「相談窓口の充実」(10.3%)が続いている。

【必要だと思う市の支援(上位3位*)】

※上位3位までを複数回答として集計

	回答数	相談窓口 の周知	相談窓口 の充実	こころの 病気に関 する正しい知識の 普及	本人への 直接的な 支援	ひきこも りに関す る正しい 知識の普 及	家族等へ の直接的 な支援	本人が参 加できる 居場所等 をつくる	職場体験 (就労体 験)がで きる仕組 みづくり
ひきこもり	37	48.6%	48.6%	37.8%	35.1%	24.3%	16.2%	10.8%	8.1%
支援対象者	185	47.6%	41.1%	33.5%	34.1%	16.2%	24.3%	27.6%	8.1%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	42.4%	40.7%	37.3%	32.2%	13.6%	15.3%	22.0%	8.5%
その他	1,578	52.7%	45.1%	35.6%	37.4%	19.4%	26.2%	23.3%	8.6%

	回答数	支援者へ の研修	無回答
ひきこもり	37	2.7%	18.9%
支援対象者	185	10.8%	18.4%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	59	8.5%	22.0%
その他	1,578	9.8%	13.4%

必要だと思う市の支援(上位3位)について、ひきこもりに該当する人では、「相談窓口の周知」、「相談窓口の充実」と回答した割合が48.6%と最も高く、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(37.8%)、「本人への直接的な支援」(35.1%)が続いている。

また、「ひきこもりに関する正しい知識の普及」と回答した割合が24.3%となっている。

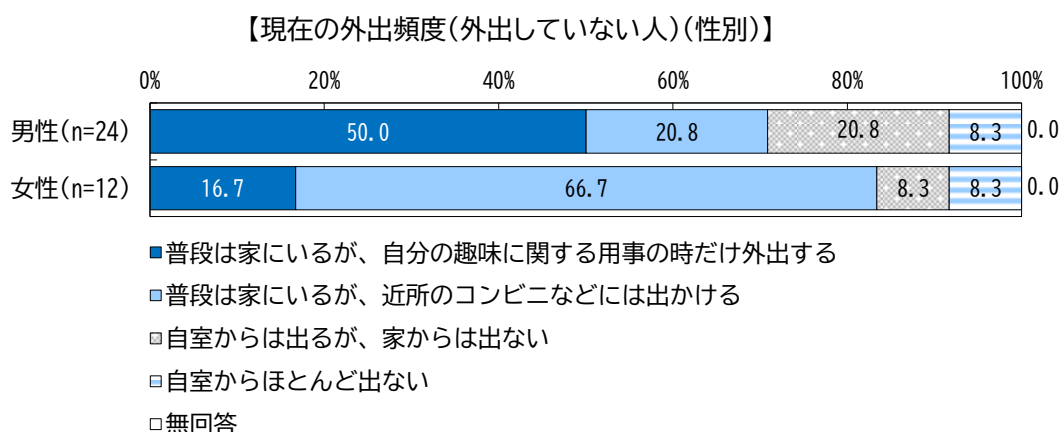
支援対象者に該当する人では、「相談窓口の周知」と回答した割合が47.6%と最も高く、「相談窓口の充実」(41.1%)、「本人への直接的な支援」(34.1%)、「こころの病気に関する正しい知識の普及」(33.5%)が続いている。

第5章 ひきこもり該当者の状況(本人票)

本章は、ひきこもり該当者37件の結果であり、該当する回答数が少ないため、統計的な傾向を示すものではなく参考値として掲載している。

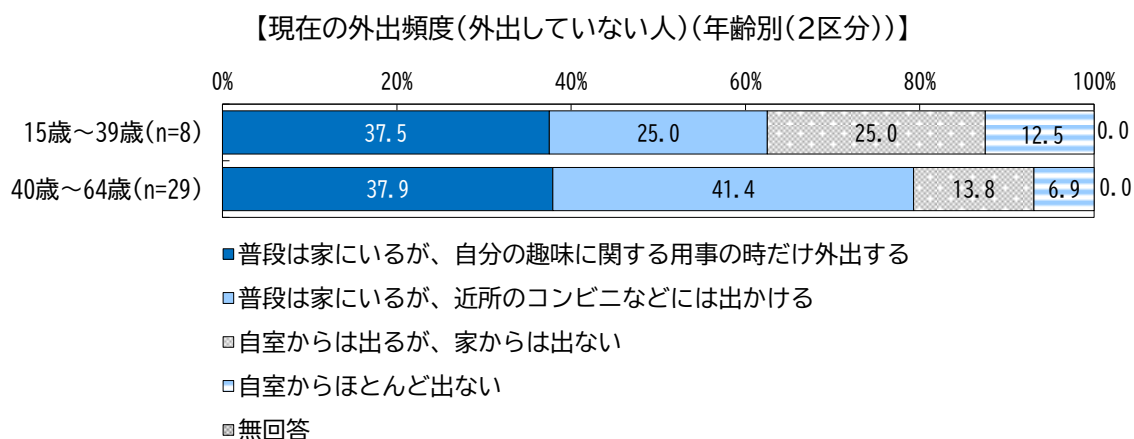
1 生活状況について

(1) 外出の状況



現在の外出頻度について、男性24人のうち50.0%は「普段はいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答しており、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した人の割合は20.8%、「自室からほとんど出ない」と回答した人の割合は8.3%となっている。

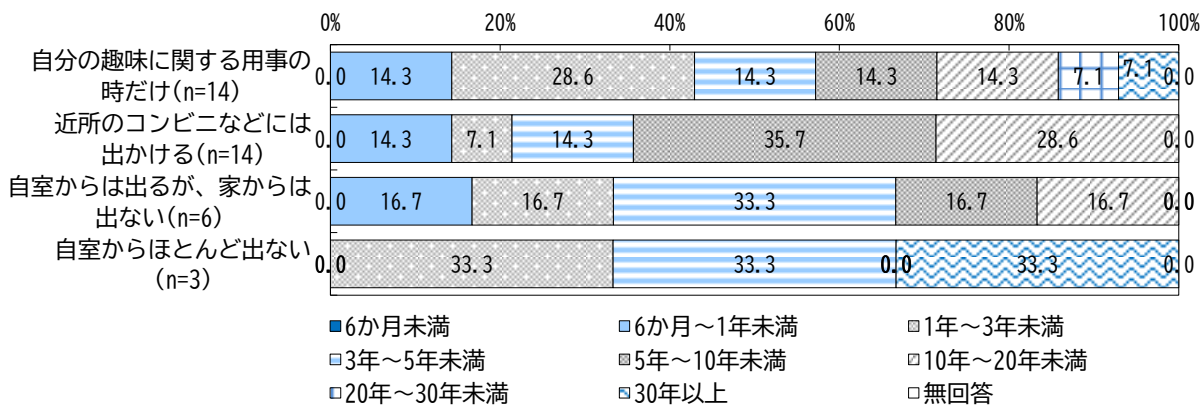
また、女性12人のうち66.7%は「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答しており、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した人の割合は8.3%、「自室からほとんど出ない」と回答した人の割合は8.3%となっている。



現在の外出頻度について、15歳~39歳の8人のうち37.5%は「普段はいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答しており、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した人の割合は25.0%、「自室からほとんど出ない」と回答した人の割合は12.5%となっている。

また、40歳~64歳の29人のうち41.4%は「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答しており、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した人の割合は13.8%、「自室からほとんど出ない」と回答した人の割合は6.9%となっている。

【外出できなくなっからの期間(現在の外出頻度別)】



外出できなくなっからの期間について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、3年未満が33.4%、3年~5年未満が33.3%、5年~10年未満が16.7%、10年~20年未満が16.7%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、3年未満が1人、3年~5年未満が1人、30年以上が1人となっている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(年齢別)】

	回答数	病気	退職したこと	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	学校になじめなかったこと	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	職場になじめなかったこと	中学生時の不登校
15歳~39歳	8	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%
40歳~64歳	29	44.8%	24.1%	17.2%	10.3%	-	-	3.4%	-

	回答数	高校生時の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	小学生時の不登校	その他	特にない
15歳~39歳	8	12.5%	12.5%	-	-	-	-	25.0%	12.5%
40歳~64歳	29	-	-	3.4%	-	-	-	17.2%	3.4%

	回答数	わからない	無回答
15歳~39歳	8	12.5%	-
40歳~64歳	29	10.3%	-

ほとんど家にいる状態になった理由について、15歳~39歳の8人では特に割合の高い項目はなく、「病気」、「退職したこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「学校になじめなかったこと」、「大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校」がそれぞれ25.0%となっている。

また、40歳~64歳の29人のうち、「病気」と回答した人の割合が44.8%、「退職したこと」と回答した人の割合が24.1%となっている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(現在の外出頻度別)】

	回答数	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	退職したこと	病気	学校になじめなかったこと	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	職場になじめなかったこと
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	21.4%	21.4%	35.7%	35.7%	-	-	7.1%	-
近所のコンビニなどには出かける	14	7.1%	-	7.1%	42.9%	7.1%	7.1%	-	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	-	33.3%
自室からほとんど出ない	3	33.3%	-	33.3%	33.3%	-	-	-	-

	回答数	中学生時の不登校	高校生時の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	小学生時の不登校	その他	特にない
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	7.1%	-	-	-	-	-	-	7.1%
近所のコンビニなどには出かける	14	-	-	-	-	-	-	35.7%	7.1%
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	16.7%	16.7%	-	-	-	16.7%	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	-	-	-	33.3%	-

	回答数	わからない	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	7.1%	-
近所のコンビニなどには出かける	14	7.1%	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	16.7%	-
自室からほとんど出ない	3	33.3%	-

ほとんど家にいる状態になった理由について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「病気」と回答した人の割合が50.0%、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「退職したこと」、「職場になじめなかったこと」と回答した人の割合がそれぞれ33.3%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「退職したこと」、「病気」とそれぞれ1人が回答している。

【ほとんど家にいる状態になった理由(外出できなくなつてからの期間別)】

	回答数	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	退職したこと	病気	学校になじめなかつたこと	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	職場になじめなかつたこと
6か月～3年未満	12	33.3%	16.7%	50.0%	25.0%	-	-	8.3%	8.3%
3年～5年未満	7	28.6%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	-	14.3%
5年～10年未満	8	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	-	-
10年以上	10	-	-	10.0%	40.0%	-	-	-	-

	回答数	中学生時の不登校	高校生時の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	小学生時の不登校	その他	特にない
6か月～3年未満	12	-	-	-	-	-	-	8.3%	8.3%
3年～5年未満	7	14.3%	14.3%	14.3%	-	-	-	-	-
5年～10年未満	8	-	-	-	-	-	-	37.5%	-
10年以上	10	-	-	-	-	-	-	30.0%	10.0%

	回答数	わからない	無回答
6か月～3年未満	12	16.7%	-
3年～5年未満	7	-	-
5年～10年未満	8	-	-
10年以上	10	20.0%	-

ほとんど家にいる状態になった理由について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「退職したこと」と回答した人の割合が50.0%、「人間関係がうまくいかなかったこと」と回答した人の割合が33.3%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「病気」と回答した人の割合が40.0%となっている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(現在の外出頻度の満足感別)】

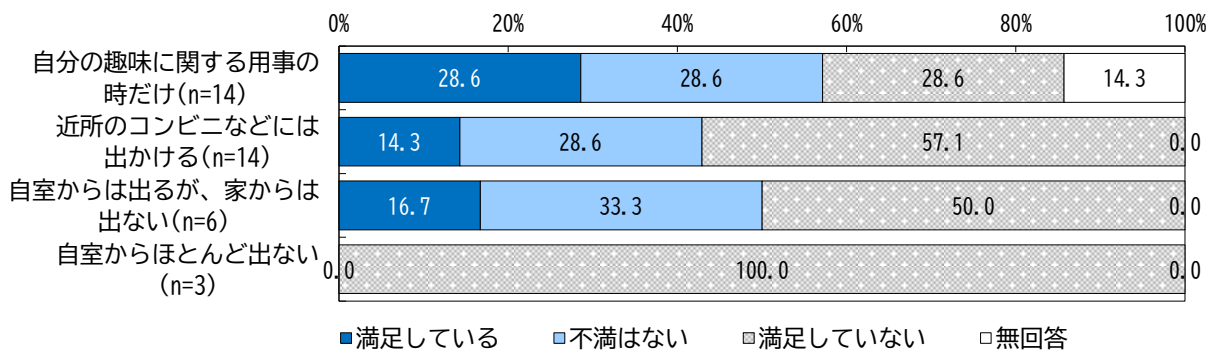
	回答数	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいったこと	退職したこと	病気	学校になじめなかったこと	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	職場になじめなかったこと
満足している・不満はない	17	5.9%	5.9%	23.5%	35.3%	-	-	-	-
満足していない	18	33.3%	16.7%	22.2%	38.9%	11.1%	11.1%	5.6%	11.1%

	回答数	中学生時の不登校	高校生時の不登校	受験に失敗したこと(高校・大学等)	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	小学生時の不登校	その他	特にない
満足している・不満はない	17	5.9%	-	-	-	-	-	11.8%	11.8%
満足していない	18	-	5.6%	5.6%	-	-	-	27.8%	-

	回答数	わからない	無回答
満足している・不満はない	17	11.8%	-
満足していない	18	11.1%	-

ほとんど家にいる状態になった理由について、現在の外出頻度に「満足していない」と回答した18人のうち、「病気」と回答した人の割合が38.9%、「人間関係がうまくいかなかったこと」と回答した人の割合が33.3%となっている。

【現在の外出頻度の満足感(現在の外出頻度別)】



現在の外出頻度の満足感について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「満足していない」と回答した人の割合が50.0%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人すべてが「満足していない」と回答している。

【現在の外出頻度に満足していない理由(現在の外出頻度別)】

	回答数	運動不足 であると 感じる	将来の焦 りを感じる	人づきあ いに疲れ る	多忙で疲 れる	仕事に行 くのが辛 い	職場の人 間関係で 悩んでい る	経済的に 苦しい	その他
自分の趣味に関する 用事の時だけ	4	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-	25.0%
近所のコンビニなど には出かける	8	75.0%	62.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	62.5%	25.0%
自室からは出るが、 家からは出ない	3	100.0%	66.7%	66.7%	-	66.7%	33.3%	33.3%	-
自室からほとんど出 ない	3	-	33.3%	33.3%	-	-	-	66.7%	33.3%

	回答数	答えたく ない	無回答
自分の趣味に関する 用事の時だけ	4	-	-
近所のコンビニなど には出かける	8	-	-
自室からは出るが、 家からは出ない	3	-	-
自室からほとんど出 ない	3	-	-

外出頻度に満足していない理由について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した3人すべてが「運動不足であると感じる」と回答しており、2人が「将来の焦りを感じる」、「人づきあいに疲れる」、「仕事に行くのが辛い」と回答している。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、2人が「経済的に苦しい」と回答している。

(2) 普段自宅にいる時の過ごし方

【普段自宅にいる時の過ごし方(現在の外出頻度別)】

	回答数	インターネットをする	テレビを見る	ゲームをする	新聞を読む	本を読む	家事をする	ラジオを聴く	勉強をする
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	64.3%	42.9%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%
近所のコンビニなどには出かける	14	64.3%	35.7%	7.1%	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	66.7%	33.3%	50.0%	-	33.3%	-	16.7%	16.7%
自室からほとんど出ない	3	33.3%	-	-	-	-	-	-	-

	回答数	仕事をする	育児をする	介護・看護をする	その他	あてはまるものはない	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	7.1%	-	-	7.1%	7.1%	-
近所のコンビニなどには出かける	14	-	14.3%	-	21.4%	7.1%	7.1%
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	-	-	-	16.7%	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	33.3%	-	33.3%

普段自宅にいる時の過ごし方について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「インターネットをする」と回答した人の割合が66.7%、「ゲームをする」と回答した人の割合が50.0%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、1人が「インターネットをする」と回答しているが、他2人は「その他」、無回答となっている。

【普段自宅にいる時の過ごし方(外出できなくなつてからの期間別)】

	回答数	インターネットをする	テレビを見る	ゲームをする	新聞を読む	本を読む	家事をする	ラジオを聴く	勉強をする
6か月～3年未満	12	75.0%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%
3年～5年未満	7	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	28.6%	-	14.3%	14.3%
5年～10年未満	8	75.0%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	-	-
10年以上	10	40.0%	30.0%	30.0%	10.0%	-	10.0%	20.0%	-

	回答数	仕事をする	育児をする	介護・看護をする	その他	あてはまるものはない	無回答
6か月～3年未満	12	8.3%	8.3%	-	8.3%	8.3%	8.3%
3年～5年未満	7	-	-	-	14.3%	-	14.3%
5年～10年未満	8	-	-	-	12.5%	12.5%	-
10年以上	10	-	10.0%	-	20.0%	10.0%	-

普段自宅にいる時の過ごし方について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「インターネットをする」と回答した人の割合が75.0%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「インターネットをする」と回答した人の割合が40.0%となっている。

【楽しいと思う活動(現在の外出頻度別)】

	回答数	料理・飲食店巡り	ゲーム	旅行・外出	楽器、音楽鑑賞	スポーツ観戦	創作活動	読書	アウトドア
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	35.7%	21.4%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	7.1%
自室からは出るが、家からは出ない	6	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	-	-	33.3%	-	-

	回答数	スポーツをする	アロマ、マッサージ	動物等の飼育	植物等を育てる	資格取得	収集(○集め)	競馬、競輪等	その他
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	7.1%	-	-	-	7.1%	-	-	7.1%
近所のコンビニなどには出かける	14	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	-	-	-	28.6%
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	16.7%	-	-	16.7%	16.7%	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	33.3%	-	-	-	-	-	-

	回答数	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	14.3%
自室からは出るが、家からは出ない	6	33.3%
自室からほとんど出ない	3	33.3%

楽しいと思う活動について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「ゲーム」と回答した人の割合が33.3%となっており、無回答の割合も33.3%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、「創作活動」、「アロマ、マッサージ」とそれぞれ1人が回答しており、他1人は無回答となっている。

【楽しいと思う活動(外出できなくなつてからの期間別)】

	回答数	料理・飲食店巡り	ゲーム	旅行・外出	楽器、音楽鑑賞	スポーツ観戦	創作活動	読書	アウトドア
6か月～3年未満	12	16.7%	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%
3年～5年未満	7	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%
5年～10年未満	8	50.0%	12.5%	12.5%	37.5%	-	12.5%	12.5%	12.5%
10年以上	10	10.0%	20.0%	10.0%	-	10.0%	20.0%	10.0%	-

	回答数	スポーツをする	アロマ、マッサージ	動物等の飼育	植物等を育てる	資格取得	収集(○集め)	競馬、競輪等	その他
6か月～3年未満	12	8.3%	-	-	-	8.3%	-	-	8.3%
3年～5年未満	7	-	28.6%	-	-	-	14.3%	-	28.6%
5年～10年未満	8	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	-	-	-
10年以上	10	-	-	-	-	-	-	-	20.0%

	回答数	無回答
6か月～3年未満	12	8.3%
3年～5年未満	7	-
5年～10年未満	8	25.0%
10年以上	10	40.0%

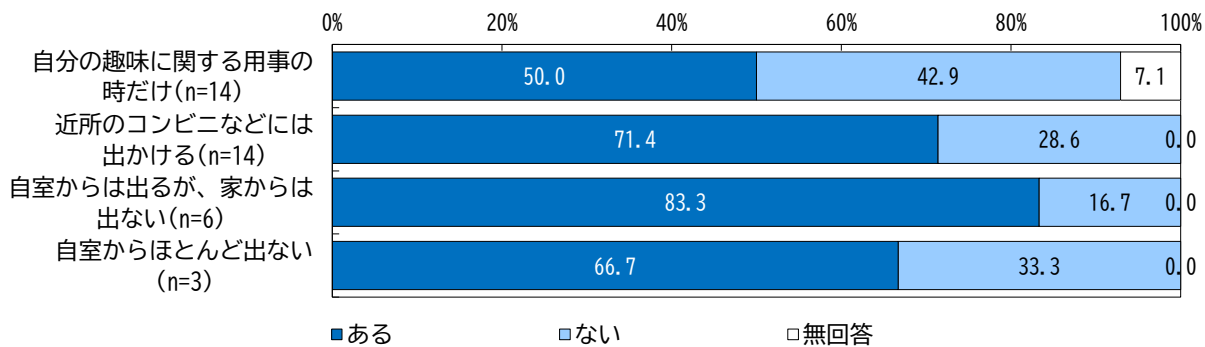
楽しいと思う活動について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「旅行・外出」と回答した人の割合が25.0%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「ゲーム」、「創作活動」と回答した人の割合がともに20.0%となっており、無回答が40.0%となっている。

2 相談について

(1) 困っていることや孤独感

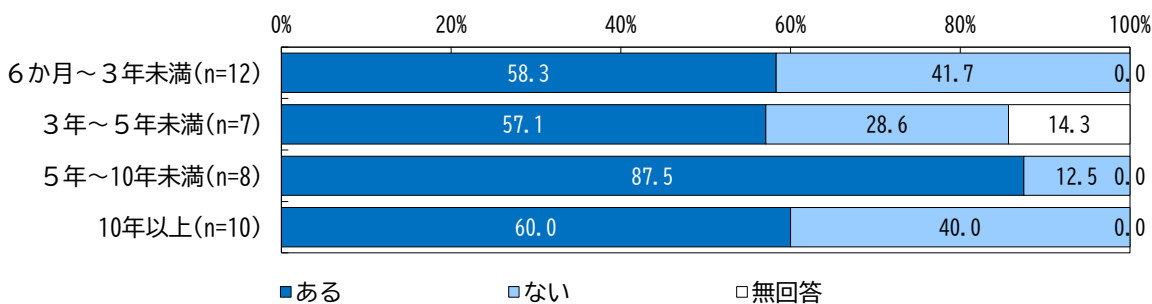
【困りごとの有無(現在の外出頻度別)】



困りごとの有無について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、困りごとが「ある」と回答した人の割合が83.3%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち2人が困りごとが「ある」と回答している。

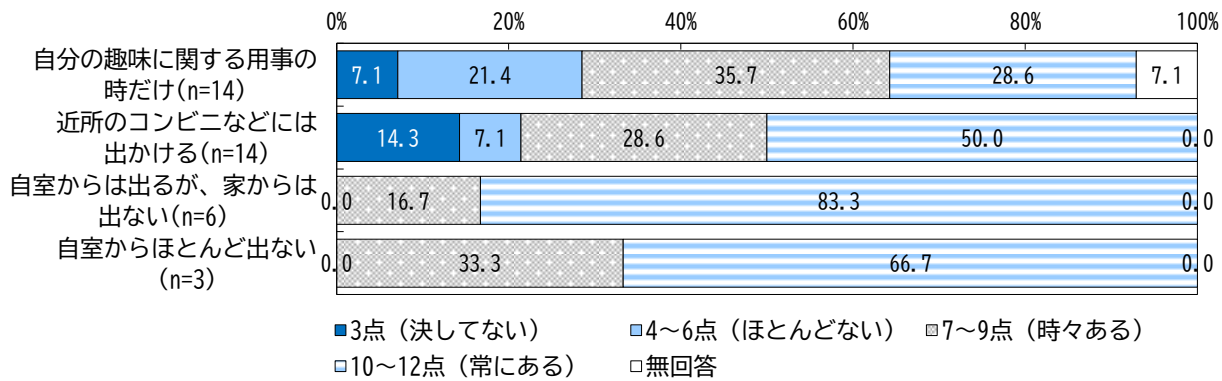
【困りごとの有無(外出できなくなつてからの期間別)】



困りごとの有無について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、困りごとが「ある」と回答した人の割合が58.3%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、困りごとが「ある」と回答した人の割合が60.0%となっている。

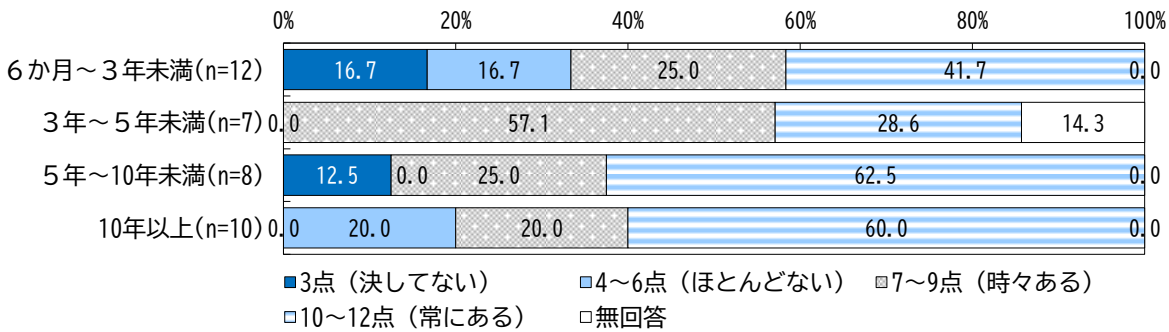
【孤独感(間接質問)(現在の外出頻度別)】



孤独感(間接質問)について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「10~12点(常にある)」に該当する人の割合が83.3%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち2人が「10~12点(常にある)」に該当している。

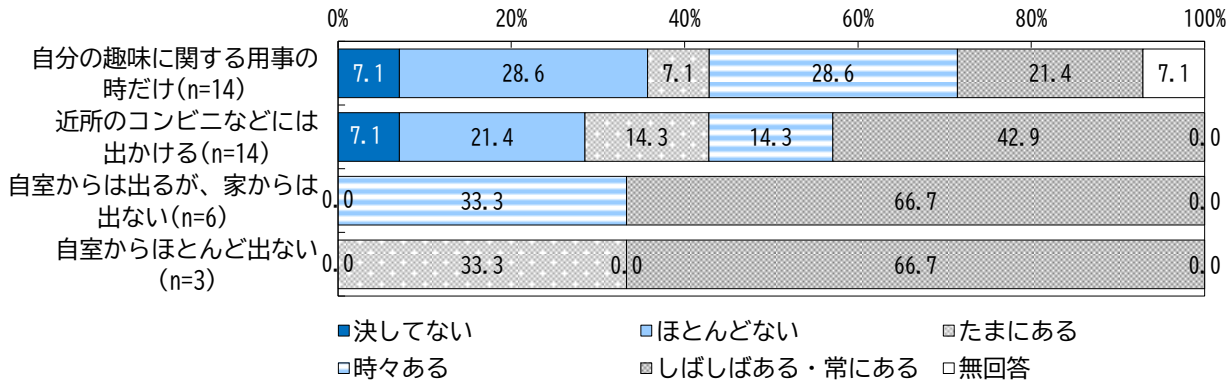
【孤独感(間接質問)(外出できなくなつてからの期間別)】



孤独感(間接質問)について、「6か月~3年未満」と回答した12人のうち、「10~12点(常にある)」に該当する人の割合が41.7%となっている。

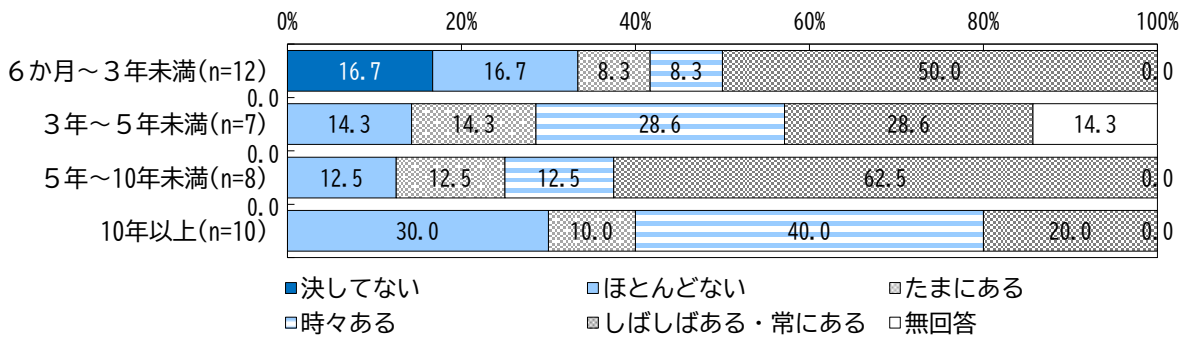
また、「10年以上」と回答した10人のうち、「10~12点(常にある)」に該当する人の割合が60.0%となっている。

【孤独感(直接質問)(現在の外出頻度別)】



孤独感(直接質問)について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合が66.7%となっている。
 また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち、2人が「しばしばある・常にある」と回答している。

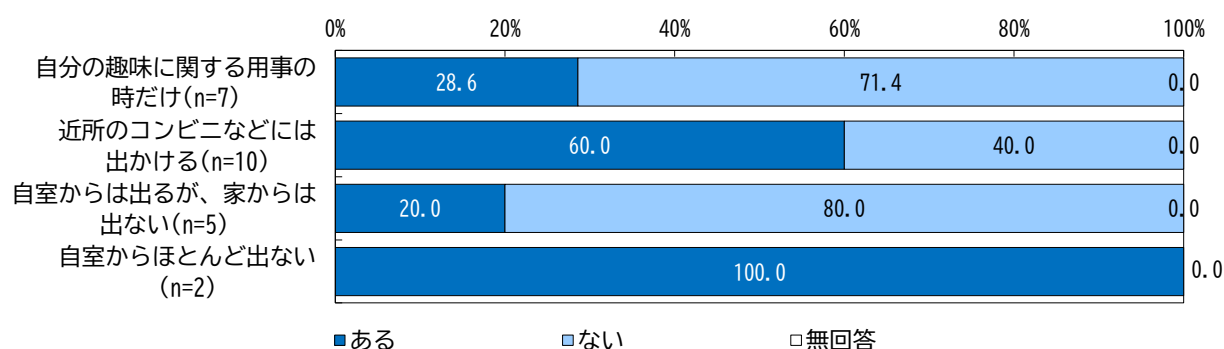
【孤独感(直接質問)(外出できなくなつてからの期間別)】



孤独感(直接質問)について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合が50.0%となっている。
 また、「10年以上」と回答した10人のうち、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合が20.0%となっている。

(2) 相談の状況

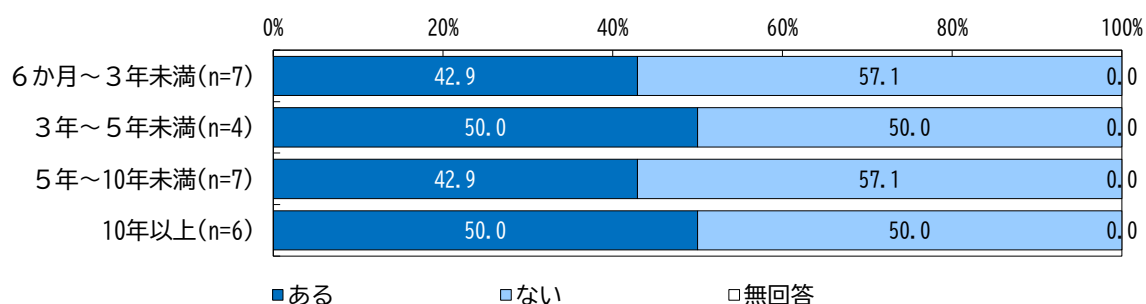
【相談機関に相談した経験(現在の外出頻度別)】



困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した5人のうち1人が相談した経験が「ある」と回答している。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した2人のうち全員が相談した経験が「ある」と回答している。

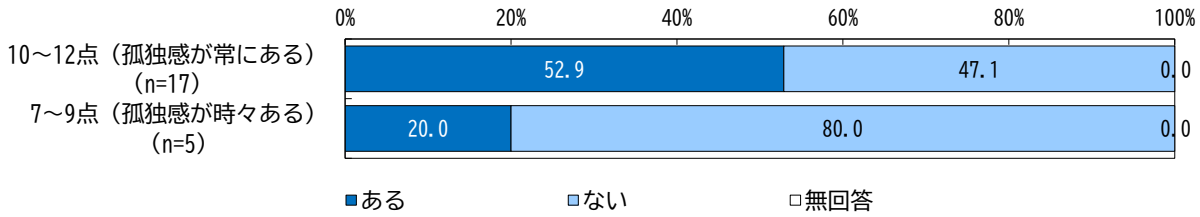
【相談機関に相談した経験(外出できなくなつてからの期間別)】



困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験について、「6か月～3年未満」と回答した7人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が42.9%となっている。

また、「10年以上」と回答した6人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が50.0%となっている。

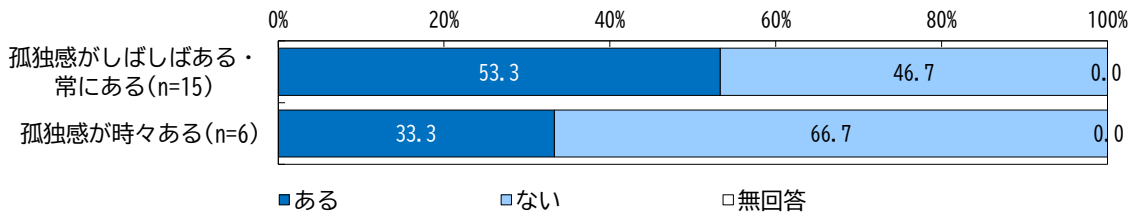
【相談機関に相談した経験(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験について、「10～12点 (孤独感が常にある)」に該当する17人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が52.9%となっている。

また、「7～9点 (孤独感が時々ある)」に該当する5人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が20.0%となっている。

【相談機関に相談した経験(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が53.3%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した6人のうち、相談した経験が「ある」と回答した人の割合が33.3%となっている。

【知っている相談機関(現在の外出頻度別)】

	回答数	区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブ カフェ・地 域若者サ ポートス テーショ ンなどの 就労支援 機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
自分の趣味に関する 用事の時だけ	14	57.1%	35.7%	28.6%	35.7%	35.7%	21.4%	7.1%	7.1%
近所のコンビニなど には出かける	14	57.1%	57.1%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%
自室からは出るが、 家からは出ない	6	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%
自室からほとんど出 ない	3	33.3%	100.0%	33.3%	-	-	-	33.3%	33.3%

	回答数	民生委 員・児童 委員	発達障害 者支援セ ンター	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
自分の趣味に関する 用事の時だけ	14	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	-	-	-
近所のコンビニなど には出かける	14	7.1%	7.1%	-	-	7.1%	7.1%	-	-
自室からは出るが、 家からは出ない	6	16.7%	16.7%	-	16.7%	-	-	-	-
自室からほとんど出 ない	3	-	-	33.3%	-	-	33.3%	-	-

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るものは ない	無回答
自分の趣味に関する 用事の時だけ	14	-	-	21.4%	14.3%
近所のコンビニなど には出かける	14	-	7.1%	14.3%	-
自室からは出るが、 家からは出ない	6	-	-	33.3%	-
自室からほとんど出 ない	3	-	-	-	-

知っている相談機関について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が66.7%、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」と回答した人の割合が50.0%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち全員が「医療機関」と回答している。

【知っている相談機関(外出できなくなってからの期間別)】

	回答数	区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブ カフェ・地 域若者サ ポートス テーショ ンなどの 就労支援 機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
6か月～3年未満	12	66.7%	33.3%	50.0%	25.0%	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%
3年～5年未満	7	42.9%	57.1%	-	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	-
5年～10年未満	8	50.0%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	-
10年以上	10	60.0%	70.0%	30.0%	30.0%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%

	回答数	民生委 員・児童 委員	発達障害 者支援セ ンター	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
6か月～3年未満	12	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	-	8.3%	-	-
3年～5年未満	7	-	14.3%	14.3%	-	14.3%	-	-	-
5年～10年未満	8	-	-	-	-	-	-	-	-
10年以上	10	20.0%	10.0%	10.0%	-	10.0%	10.0%	-	-

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知っている ものは ない	無回答
6か月～3年未満	12	-	8.3%	25.0%	-
3年～5年未満	7	-	-	14.3%	-
5年～10年未満	8	-	-	25.0%	12.5%
10年以上	10	-	-	10.0%	10.0%

知っている相談機関について、「6か月～3年未満」と回答した7人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が66.7%、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」と回答した人の割合が50.0%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が25.0%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「医療機関」と回答した人の割合が70.0%、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が60.0%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が10.0%となっている。

【知っている相談機関(悩み事の相談希望の有無別)】

	回答数	区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワー ク)・ ジョブカ フェ・ 地域若者 サポート ステー ションな どの就労 支援機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
相談したい	9	55.6%	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	-
相談したくない	6	33.3%	33.3%	16.7%	-	-	-	16.7%	16.7%
内容による	20	70.0%	60.0%	45.0%	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	15.0%

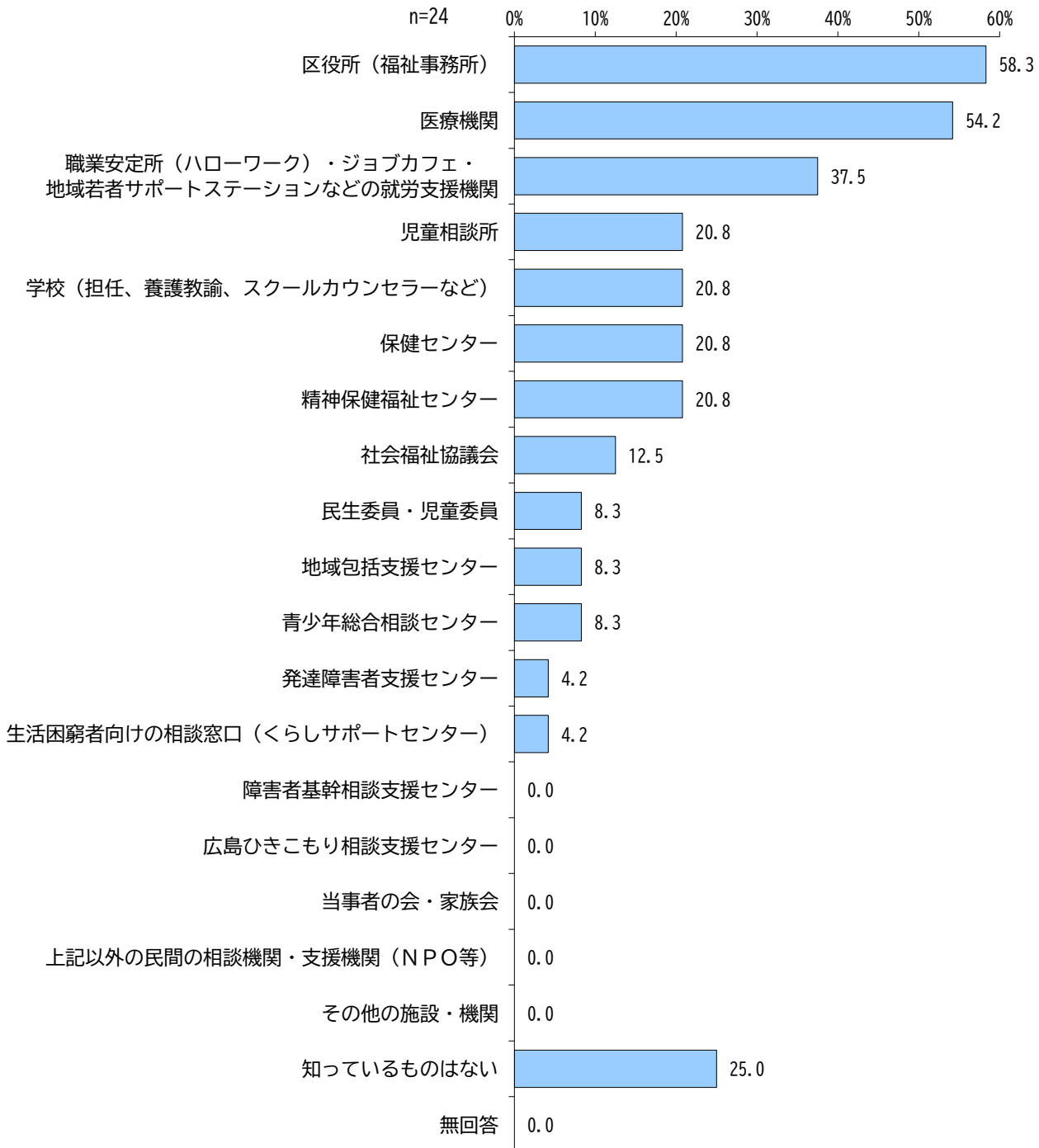
	回答数	民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	発達障害 者支援セ ンター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	障害者基 幹相談支 援セン ター	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
相談したい	9	-	-	11.1%	-	-	-	-	-
相談したくない	6	-	16.7%	-	-	16.7%	-	-	-
内容による	20	20.0%	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%	5.0%	-	-

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るものは ない	無回答
相談したい	9	-	11.1%	11.1%	11.1%
相談したくない	6	-	-	50.0%	-
内容による	20	-	-	15.0%	-

知っている相談機関について、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したい」と回答した9人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が55.6%、「医療機関」と回答した人の割合が44.4%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が11.1%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したくない」と回答した6人のうち、「区役所(福祉事務所)」、「医療機関」と回答した人の割合がともに33.3%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が50.0%となっている。

【知っている相談機関(困りごとがある人)】



知っている相談機関について、困りごとがある24人のうち、「区役所 (福祉事務所)」と回答した人の割合が58.3%、「医療機関」と回答した人の割合が54.2%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が25.0%となっている。

【知っている相談機関(相談機関に相談した経験の有無別)】

		区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブカ フェ・ 地域若者 サポート ステー ションな どの就労 支援機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
相談機関への相談経験あり	11	72.7%	81.8%	45.5%	18.2%	18.2%	27.3%	36.4%	18.2%
相談機関への相談経験なし	13	46.2%	30.8%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%

		民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	発達障害 者支援セ ンター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	障害者基 幹相談支 援セン ター	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
相談機関への相談経験あり	11	9.1%	18.2%	-	-	9.1%	-	-	-
相談機関への相談経験なし	13	7.7%	-	15.4%	7.7%	-	-	-	-

		上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知っている ものは ない	無回答
相談機関への相談経験あり	11	-	-	-	-
相談機関への相談経験なし	13	-	-	46.2%	-

知っている相談機関について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「医療機関」と回答した人の割合が81.8%、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が72.7%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が46.2%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が46.2%となっている。

【知っている相談機関(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】

		区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク) ・ ジョブ カフェ ・ 地域若 者サポ ート ステー ション などの 就労 支援機 関	児童相談 所	学校(担 任、養 護 教諭、 スク ール カウ ンセ ラー など)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
10～12点(孤独感が 常にある)	18	66.7%	61.1%	44.4%	22.2%	22.2%	27.8%	22.2%	16.7%
7～9点(孤独感が 時々ある)	11	36.4%	45.5%	9.1%	18.2%	18.2%	-	9.1%	9.1%

		民生委 員・児童 委員	発達障害 者支援セ ンター	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
10～12点(孤独感が 常にある)	18	11.1%	5.6%	11.1%	11.1%	-	5.6%	-	-
7～9点(孤独感が 時々ある)	11	9.1%	9.1%	9.1%	-	9.1%	9.1%	-	-

		上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知っている ものはない	無回答
10～12点(孤独感が 常にある)	18	-	-	16.7%	-
7～9点(孤独感が 時々ある)	11	-	9.1%	27.3%	9.1%

知っている相談機関について、「10～12点(孤独感が常にある)」に該当する18人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が66.7%、「医療機関」と回答した人の割合が61.1%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が16.7%となっている。

また、「7～9点(孤独感が時々ある)」に該当する11人のうち、「医療機関」と回答した人の割合が45.5%、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が36.4%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が27.3%となっている。

【知っている相談機関(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

		区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク) ・ ジョブ カフェ ・ 地域若 者サポ ートス テーシ ョンな どの就 労支 援機 関	児童相談 所	学校(担 任、養 護 教諭、 ス クール カ ウン セ ラー な ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
孤独感がしばしばあ る・常にある	15	53.3%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	33.3%	20.0%
孤独感が時々ある	8	75.0%	62.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	-	-

		民生委 員・児童 委員	発達障害 者支援セ ンター	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポ ート セン ター)	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
孤独感がしばしばあ る・常にある	15	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	-	6.7%	-	-
孤独感が時々ある	8	-	-	12.5%	12.5%	-	-	-	-

		上記以外 の民間の 相談機 関・支 援機 関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るもの はない	無回答
孤独感がしばしばあ る・常にある	15	-	-	33.3%	-
孤独感が時々ある	8	-	-	12.5%	-

知っている相談機関について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が53.3%、「医療機関」、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」と回答した人の割合がともに40.0%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した8人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が75.0%、「医療機関」と回答した人の割合が62.5%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が12.5%となっている。

【知っている相談機関(精神科への通院等経験の有無別)】

		区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブカ フェ・ 地域若者 サポート ステー ションな どの就労 支援機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
精神的病気で通院等経験あり	19	63.2%	57.9%	42.1%	31.6%	31.6%	31.6%	36.8%	21.1%
精神的病気で通院等経験なし	18	50.0%	38.9%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%	-	-

		民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	発達障害 者支援セ ンター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	障害者基 幹相談支 援セン ター	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
精神的病気で通院等経験あり	19	21.1%	10.5%	5.3%	15.8%	10.5%	10.5%	-	-
精神的病気で通院等経験なし	18	-	5.6%	5.6%	-	-	-	-	-

		上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知っている ものはない	無回答
精神的病気で通院等経験あり	19	-	5.3%	10.5%	-
精神的病気で通院等経験なし	18	-	-	27.8%	11.1%

知っている相談機関について、精神的病気で通院等経験がある19人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が63.2%、「医療機関」と回答した人の割合が57.9%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が10.5%となっている。

また、精神的病気で通院等経験がない18人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が50.0%、「医療機関」と回答した人の割合が38.9%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が27.8%となっている。

【知っている相談機関(医療機関への相談経験の有無別)】

		区役所 (福祉事 務所)	医療機関	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブ カフェ・ 地域若者 サポート ステー ションな どの就労 支援機関	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	保健セン ター	精神保健 福祉セン ター	社会福祉 協議会
医療機関への相談経験あり	10	70.0%	90.0%	40.0%	20.0%	20.0%	30.0%	30.0%	20.0%
医療機関への相談経験なし	27	51.9%	33.3%	25.9%	25.9%	25.9%	18.5%	14.8%	7.4%

		民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	青少年総 合相談セ ンター	発達障害 者支援セ ンター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	障害者基 幹相談支 援セン ター	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	当事者の 会・家族 会
医療機関への相談経験あり	10	10.0%	20.0%	-	-	10.0%	-	-	-
医療機関への相談経験なし	27	11.1%	3.7%	7.4%	11.1%	3.7%	7.4%	-	-

		上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知っている ものは ない	無回答
医療機関への相談経験あり	10	-	-	-	-
医療機関への相談経験なし	27	-	3.7%	25.9%	7.4%

知っている相談機関について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を医療機関に相談した経験が「ある」と回答した10人のうち、「医療機関」と回答した人の割合が90.0%、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が70.0%となっている。

また、現在の状態を医療機関に相談した経験がない27人のうち、「区役所(福祉事務所)」と回答した人の割合が51.9%、「医療機関」と回答した人の割合が33.3%、一方、「知っているものはない」と回答した人の割合が25.9%となっている。

【普段情報を得ている媒体(現在の外出頻度別)】

	回答数	インターネット	テレビ	X (旧Twitter)	YouTube	ニュースアプリ	ラジオ	LINE	Instagram
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	78.6%	78.6%	50.0%	35.7%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	85.7%	57.1%	21.4%	42.9%	35.7%	14.3%	21.4%	21.4%
自室からは出るが、家からは出ない	6	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	-	-
自室からほとんど出ない	3	33.3%	-	-	-	-	-	-	-

	回答数	新聞・雑誌	広報紙(市民と市政など)	TikTok	地域情報誌	回覧板	ポスター、掲示版	区役所等にあるチラシ	電車やバスなどの広告
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	21.4%	-	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	-	-
近所のコンビニなどには出かける	14	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	16.7%	-	-	-	-	-	16.7%
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	-	-	-	-	-

	回答数	Facebook	その他	特に情報を得ていない	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	-	-	-	-
近所のコンビニなどには出かける	14	-	-	-	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	16.7%	16.7%	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	33.3%	33.3%

普段情報を得ている媒体について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が66.7%、「テレビ」、「X (旧Twitter)」と回答した人の割合がともに50.0%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が16.7%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち1人が「インターネット」と回答しており、他の2人は「特に情報を得ていない」、無回答となっている。

【普段情報を得ている媒体(外出できなくなつてからの期間別)】

	回答数	インターネット	テレビ	X (旧Twitter)	YouTube	ニュースアプリ	ラジオ	LINE	Instagram
6か月～3年未満	12	83.3%	50.0%	41.7%	33.3%	41.7%	16.7%	25.0%	8.3%
3年～5年未満	7	71.4%	85.7%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	-	-
5年～10年未満	8	87.5%	62.5%	37.5%	37.5%	37.5%	-	25.0%	25.0%
10年以上	10	60.0%	50.0%	40.0%	40.0%	10.0%	20.0%	-	20.0%

	回答数	新聞・雑誌	広報紙(市民と市政など)	TikTok	地域情報誌	回覧板	ポスター、掲示版	区役所等にあるチラシ	電車やバスなどの広告
6か月～3年未満	12	8.3%	-	8.3%	8.3%	8.3%	-	-	-
3年～5年未満	7	14.3%	14.3%	-	-	-	-	-	14.3%
5年～10年未満	8	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	-	-	-	-
10年以上	10	10.0%	10.0%	-	-	10.0%	20.0%	10.0%	-

	回答数	Facebook	その他	特に情報を得ていない	無回答
6か月～3年未満	12	-	-	8.3%	8.3%
3年～5年未満	7	-	14.3%	-	-
5年～10年未満	8	-	-	-	-
10年以上	10	-	-	10.0%	-

普段情報を得ている媒体について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が83.3%、「テレビ」と回答した人の割合が50.0%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が8.3%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が60.0%、「テレビ」と回答した人の割合が50.0%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が10.0%となっている。

【普段情報を得ている媒体(悩み事の相談希望の有無別)】

	回答数	インターネット	テレビ	X (旧Twitter)	YouTube	ニュースアプリ	ラジオ	LINE	Instagram
相談したい	9	55.6%	77.8%	11.1%	22.2%	11.1%	-	33.3%	11.1%
相談したくない	6	66.7%	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	-	-	-
内容による	20	90.0%	55.0%	55.0%	45.0%	30.0%	25.0%	10.0%	15.0%

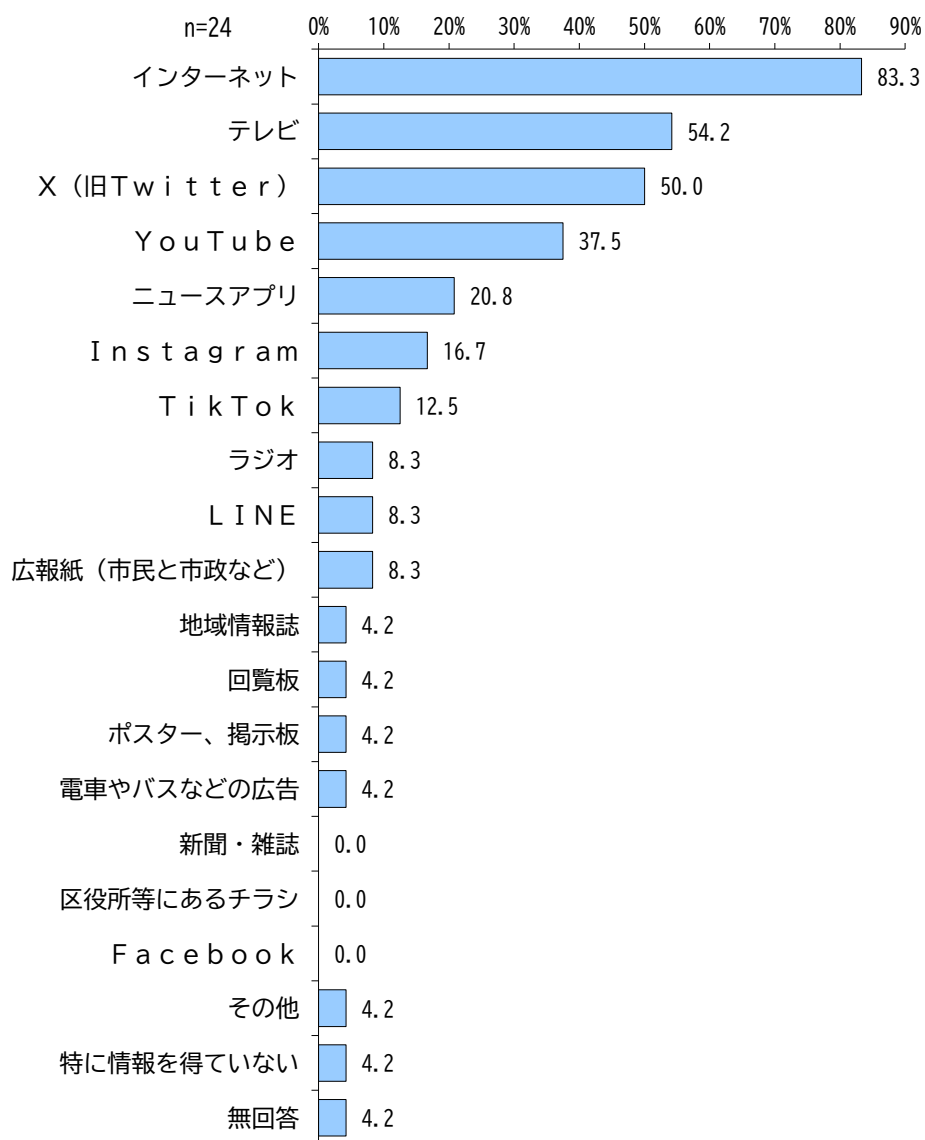
	回答数	新聞・雑誌	広報紙 (市民と市政など)	TikTok	地域情報誌	回覧板	ポスター、掲示 板	区役所等 にあるチラシ	電車やバスなどの 広告
相談したい	9	11.1%	-	11.1%	-	-	22.2%	-	11.1%
相談したくない	6	16.7%	-	16.7%	16.7%	-	-	16.7%	-
内容による	20	5.0%	15.0%	5.0%	5.0%	10.0%	-	-	-

	回答数	Facebook	その他	特に情報 を得て いない	無回答
相談したい	9	-	-	11.1%	-
相談したくない	6	-	16.7%	16.7%	16.7%
内容による	20	-	-	-	-

普段情報を得ている媒体について、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したい」と回答した9人のうち、「テレビ」と回答した人の割合が77.8%、「インターネット」と回答した人の割合が55.6%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が11.1%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したくない」と回答した6人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が66.7%、「ニュースアプリ」と回答した人の割合が50.0%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が16.7%となっている。

【普段情報を得ている媒体(困りごとがある人)】



普段情報を得ている媒体について、困りごとがある24人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が83.3%、「テレビ」と回答した人の割合が54.2%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が4.2%となっている。

【普段情報を得ている媒体(相談機関に相談した経験の有無別)】

	回答数	インターネット	テレビ	X (旧Twitter)	YouTube	ニュースアプリ	ラジオ	LINE	Instagram
相談機関への相談経験あり	11	63.6%	45.5%	36.4%	36.4%	27.3%	36.4%	9.1%	18.2%
相談機関への相談経験なし	13	100.0%	61.5%	61.5%	38.5%	15.4%	-	7.7%	-

	回答数	新聞・雑誌	広報紙(市民と市政など)	TikTok	地域情報誌	回覧板	ポスター、掲示板	区役所等にあるチラシ	電車やバスなどの広告
相談機関への相談経験あり	11	-	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	-	-
相談機関への相談経験なし	13	-	7.7%	7.7%	-	-	-	7.7%	-

	回答数	Facebook	その他	特に情報を得ていない	無回答
相談機関への相談経験あり	11	-	-	9.1%	9.1%
相談機関への相談経験なし	13	-	7.7%	-	-

普段情報を得ている媒体について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が63.6%、「テレビ」と回答した人の割合が45.5%、一方、「特に情報を得ていない」と回答した人の割合が9.1%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「インターネット」と回答した人の割合が100%、「テレビ」、「X (旧Twitter)」と回答した人の割合がともに61.5%となっている。

【悩み事の相談先(現在の外出頻度別)】

	回答数	親	カウンセ ラー・精 神科医	きょうだ い	友人・知 人	配偶者	Chat GPT	ネット上 の知り合 い	祖父母
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	28.6%	7.1%	21.4%	7.1%	7.1%	-	7.1%	-
近所のコンビニなどには出かける	14	50.0%	28.6%	21.4%	28.6%	7.1%	14.3%	-	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	33.3%	16.7%	-	-	16.7%	-	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	33.3%	-	-	-	-	-	-

	回答数	職場の同 僚・上司	相談機関 の職員	その他の 人	誰にも相 談しない	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	-	-	14.3%	28.6%	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	-	-	7.1%	14.3%	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	-	-	50.0%	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	33.3%	33.3%	-

普段悩み事ができた際の相談先について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「親」と回答した人の割合が33.3%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が50.0%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち1人が「カウンセラー・精神科医」と回答しており、他の2人は「その他の人」、「誰にも相談しない」となっている。

【悩み事の相談先(外出できなくなっからの期間別)】

	回答数	親	カウンセ ラー・精 神科医	きょうだ い	友人・知 人	配偶者	Chat GPT	ネット上 の知り合 い	祖父母
6か月～3年未満	12	33.3%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	-
3年～5年未満	7	57.1%	14.3%	14.3%	-	-	-	-	-
5年～10年未満	8	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	-	-
10年以上	10	30.0%	20.0%	30.0%	-	-	-	-	-

	回答数	職場の同 僚・上司	相談機関 の職員	その他の 人	誰にも相 談しない	無回答
6か月～3年未満	12	-	-	-	41.7%	-
3年～5年未満	7	-	-	14.3%	14.3%	14.3%
5年～10年未満	8	-	-	12.5%	25.0%	12.5%
10年以上	10	-	-	20.0%	20.0%	-

普段悩み事ができた際の相談先について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「親」と回答した人の割合が33.3%、「友人・知人」と回答した人の割合が25.0%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が41.7%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「親」、「きょうだい」と回答した人の割合がともに30.0%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が20.0%となっている。

【悩み事の相談先(悩み事の相談希望の有無別)】

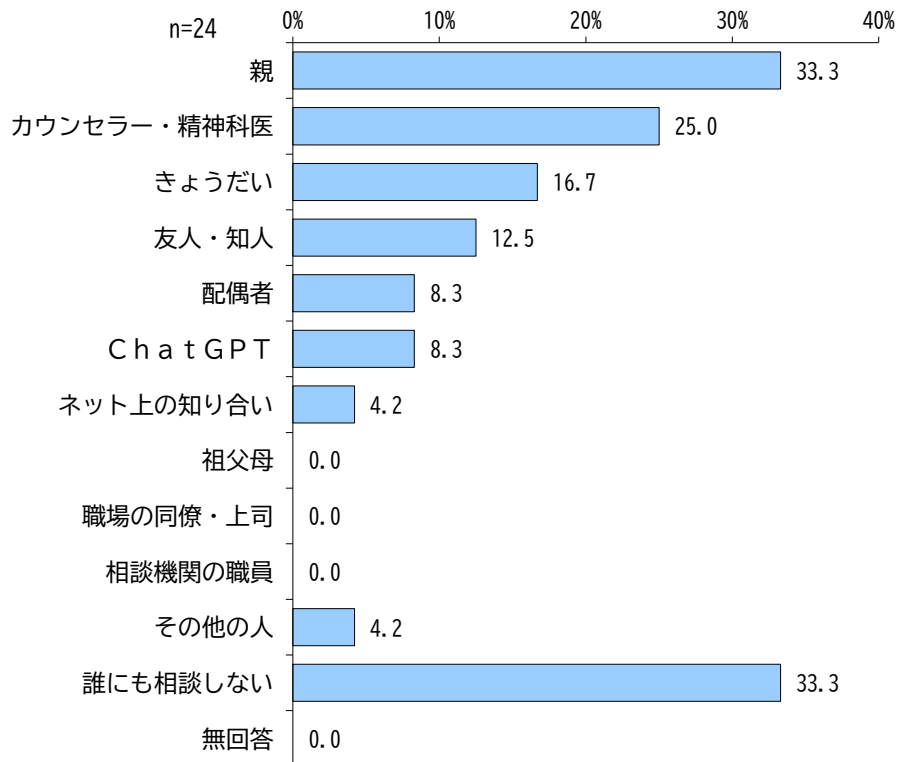
		親	カウンセラー・精神科医	きょうだい	友人・知人	配偶者	Chat GPT	ネット上の知り合い	祖父母
相談したい	9	44.4%	33.3%	44.4%	22.2%	11.1%	-	11.1%	-
相談したくない	6	-	-	-	16.7%	-	-	-	-
内容による	20	45.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	-	-

		職場の同僚・上司	相談機関の職員	その他の人	誰にも相談しない	無回答
相談したい	9	-	-	11.1%	-	-
相談したくない	6	-	-	16.7%	66.7%	-
内容による	20	-	-	10.0%	30.0%	-

普段悩み事ができた際の相談先について、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したい」と回答した9人のうち、「親」、「きょうだい」と回答した人の割合がともに44.4%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したくない」と回答した6人のうち、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が66.7%となっている。

【悩み事の相談先(困りごとがある人)】



普段悩み事ができた際の相談先について、困りごとがある24人のうち、「親」と回答した人の割合が33.3%、「カウンセラー・精神科医」と回答した人の割合が25.0%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

【悩み事の相談先(相談機関に相談した経験の有無別)】

		親	カウンセ ラー・精 神科医	きょうだ い	友人・知 人	配偶者	Chat GPT	ネット上 の知り合 い	祖父母
相談機関への相談経 験あり	11	36.4%	54.5%	9.1%	18.2%	18.2%	18.2%	-	-
相談機関への相談経 験なし	13	30.8%	-	23.1%	7.7%	-	-	7.7%	-

		職場の同 僚・上司	相談機関 の職員	その他の 人	誰にも相 談しない	無回答
相談機関への相談経 験あり	11	-	-	9.1%	9.1%	-
相談機関への相談経 験なし	13	-	-	-	53.8%	-

普段悩み事ができた際の相談先について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「カウンセラー・精神科医」と回答した人の割合が54.5%、「親」と回答した人の割合が36.4%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が9.1%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「親」と回答した人の割合が30.8%、「きょうだい」と回答した人の割合が23.1%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が53.8%となっている。

【悩み事の相談先(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】

		親	カウンセ ラー・精 神科医	きょうだ い	友人・知 人	配偶者	Chat GPT	ネット上 の知り合 い	祖父母
10～12点(孤独感が 常にある)	18	33.3%	27.8%	11.1%	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%	-
7～9点(孤独感が 時々ある)	11	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%	-	-	-	-

		職場の同 僚・上司	相談機関 の職員	その他の 人	誰にも相 談しない	無回答
10～12点(孤独感が 常にある)	18	-	-	5.6%	33.3%	-
7～9点(孤独感が 時々ある)	11	-	-	9.1%	27.3%	9.1%

普段悩み事ができた際の相談先について、「10～12点(孤独感が常にある)」に該当する18人のうち、「親」と回答した人の割合が33.3%、「カウンセラー・精神科医」と回答した人の割合が27.8%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

また、「7～9点(孤独感が時々ある)」に該当する11人のうち、「親」と回答した人の割合が45.5%、「カウンセラー・精神科医」、「きょうだい」と回答した人の割合がともに18.2%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が27.3%となっている。

【悩み事の相談先(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

		親	カウンセ ラー・精 神科医	きょうだ い	友人・知 人	配偶者	Chat GPT	ネット上 の知り合 い	祖父母
孤独感がしばしばあ る・常にある	15	13.3%	33.3%	-	13.3%	13.3%	13.3%	-	-
孤独感が時々ある	8	62.5%	12.5%	25.0%	12.5%	-	-	12.5%	-

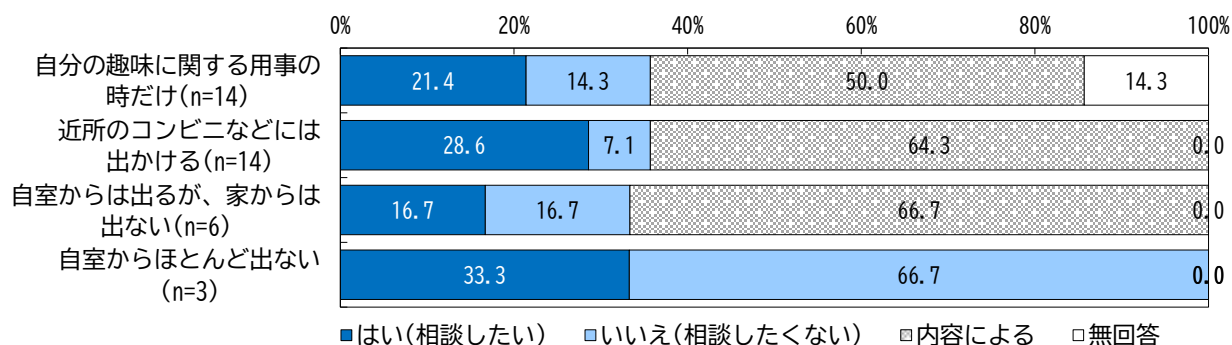
		職場の同 僚・上司	相談機関 の職員	その他の 人	誰にも相 談しない	無回答
孤独感がしばしばあ る・常にある	15	-	-	6.7%	46.7%	-
孤独感が時々ある	8	-	-	12.5%	12.5%	-

普段悩み事ができた際の相談先について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、「カウンセラー・精神科医」と回答した人の割合が33.3%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が46.7%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した8人のうち、「親」と回答した人の割合が62.5%、「きょうだい」と回答した人の割合が25.0%、一方、「誰にも相談しない」と回答した人の割合が12.5%となっている。

(3) 相談についての意向

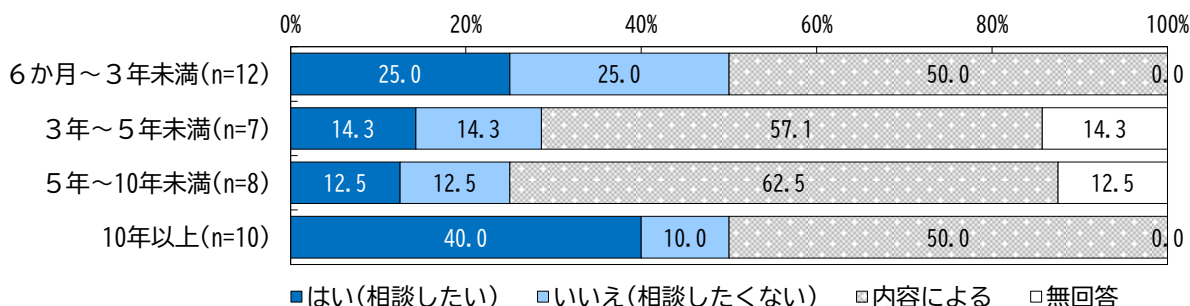
【悩み事の相談意向の有無(現在の外出頻度別)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「はい(相談したい)」、「いいえ(相談したくない)」とそれぞれ1人が回答しており、その他の66.7%は「内容による」と回答している。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち1人が「はい(相談したい)」と回答しており、2人が「いいえ(相談したくない)」と回答している。

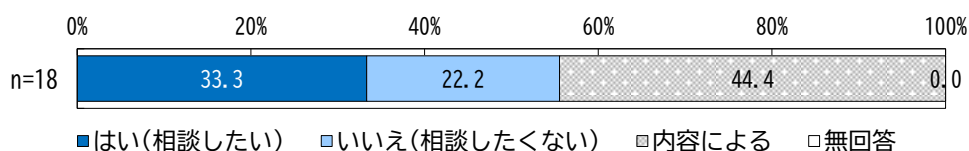
【悩み事の相談意向の有無(外出できなくなってからの期間別)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が25.0%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が25.0%、「内容による」と回答した人の割合が50.0%となっている。

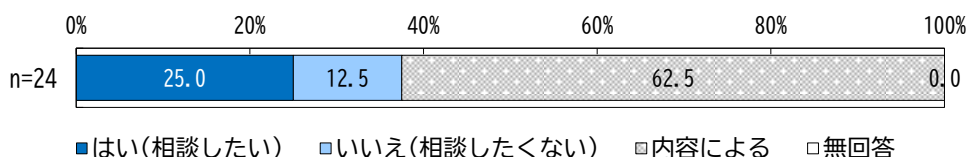
また、「10年以上」と回答した10人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が40.0%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が10.0%、「内容による」と回答した人の割合が50.0%となっている。

【悩み事の相談意向の有無(現在の外出頻度に満足していない人)】



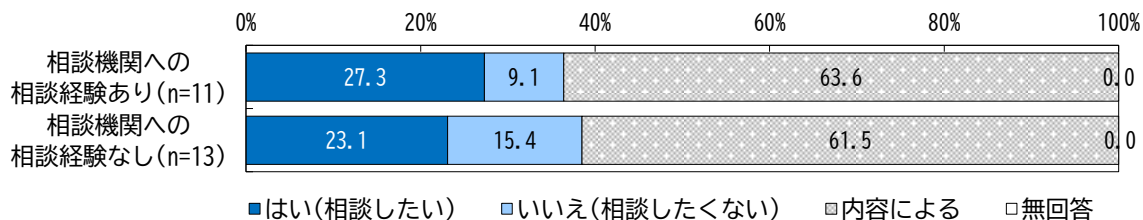
普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、現在の外出頻度に満足していない18人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が33.3%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が22.2%、「内容による」と回答した人の割合が44.4%となっている。

【悩み事の相談意向の有無(困りごとがある人)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、困りごとがある24人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が25.0%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が12.5%、「内容による」と回答した人の割合が62.5%となっている。

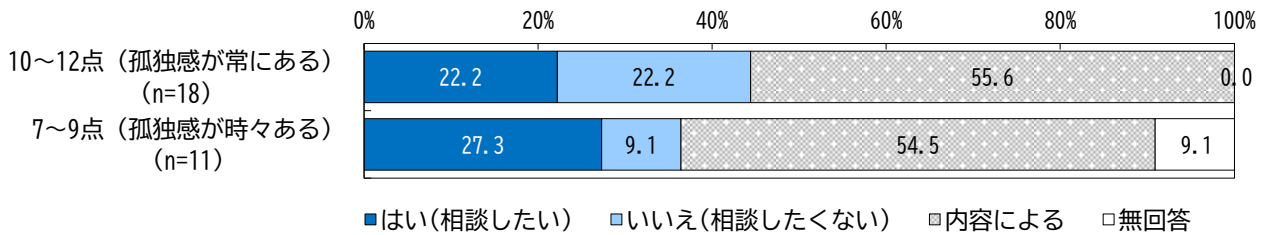
【悩み事の相談意向の有無(相談機関に相談した経験の有無別)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が27.3%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が9.1%、「内容による」と回答した人の割合が63.6%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が23.1%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が15.4%、「内容による」と回答した人の割合が61.5%となっている。

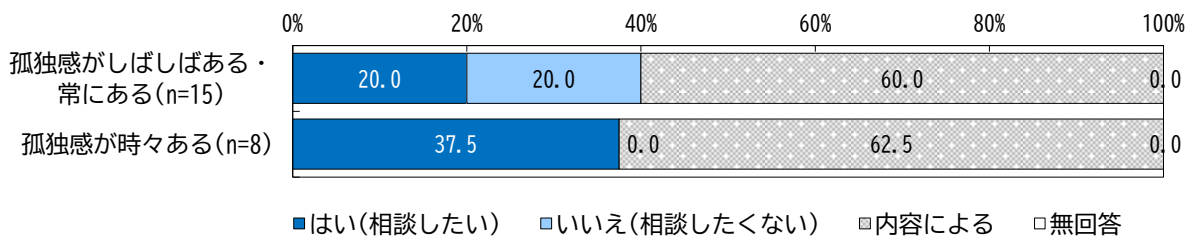
【悩み事の相談希望の有無(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、「10~12点(孤独感が常にある)」に該当する18人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が22.2%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が22.2%、「内容による」と回答した人の割合が55.6%となっている。

また、「7~9点(孤独感が時々ある)」に該当する11人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が27.3%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が9.1%、「内容による」と回答した人の割合が54.5%となっている。

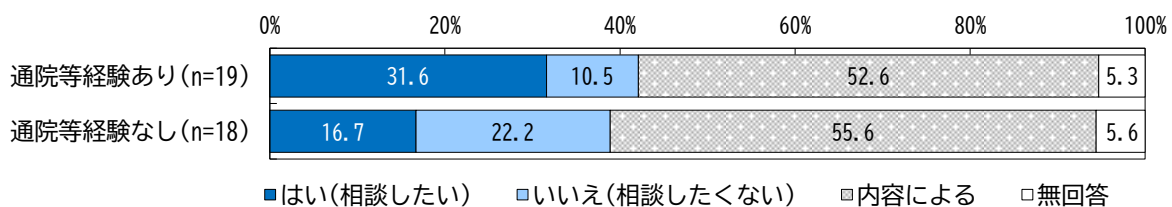
【悩み事の相談希望の有無(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が20.0%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が20.0%、「内容による」と回答した人の割合が60.0%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した8人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が37.5%、「内容による」と回答した人の割合が62.5%となっている。

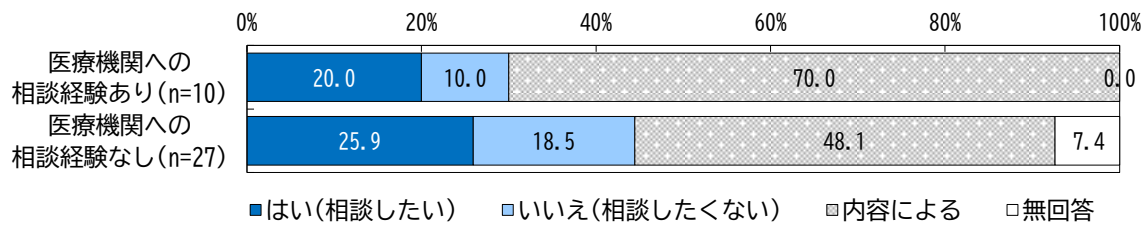
【悩み事の相談希望の有無(精神科への通院等経験の有無別)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、精神的病気で通院等経験がある19人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が31.6%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が10.5%、「内容による」と回答した人の割合が52.6%となっている。

また、精神的病気で通院等経験がない18人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が16.7%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が22.2%、「内容による」と回答した人の割合が55.6%となっている。

【悩み事の相談希望の有無(医療機関への相談経験の有無別)】



普段悩み事ができた時の他の人に相談する意向について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を医療機関に相談した経験が「ある」と回答した10人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が20.0%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が10.0%、「内容による」と回答した人の割合が70.0%となっている。

また、現在の状態を医療機関に相談した経験がない27人のうち、「はい(相談したい)」と回答した人の割合が25.9%、「いいえ(相談したくない)」と回答した人の割合が18.5%、「内容による」と回答した人の割合が48.1%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(現在の外出頻度別)】

	回答数	親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	自宅から近い
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	42.9%	42.9%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%	-	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	71.4%	35.7%	35.7%	21.4%	14.3%	21.4%	21.4%	7.1%
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	-	16.7%	16.7%
自室からほとんど出ない	3	33.3%	-	66.7%	-	-	-	-	-

	回答数	オンライン相談ができる	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	14.3%	-	-	-	-	21.4%	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	7.1%	14.3%	-	-	-	14.3%	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	16.7%	-	-	-	-	50.0%	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	-	-	33.3%	-

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が50.0%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち2人が「精神科医がいる」と回答している。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(外出できなくなつてからの期間別)】

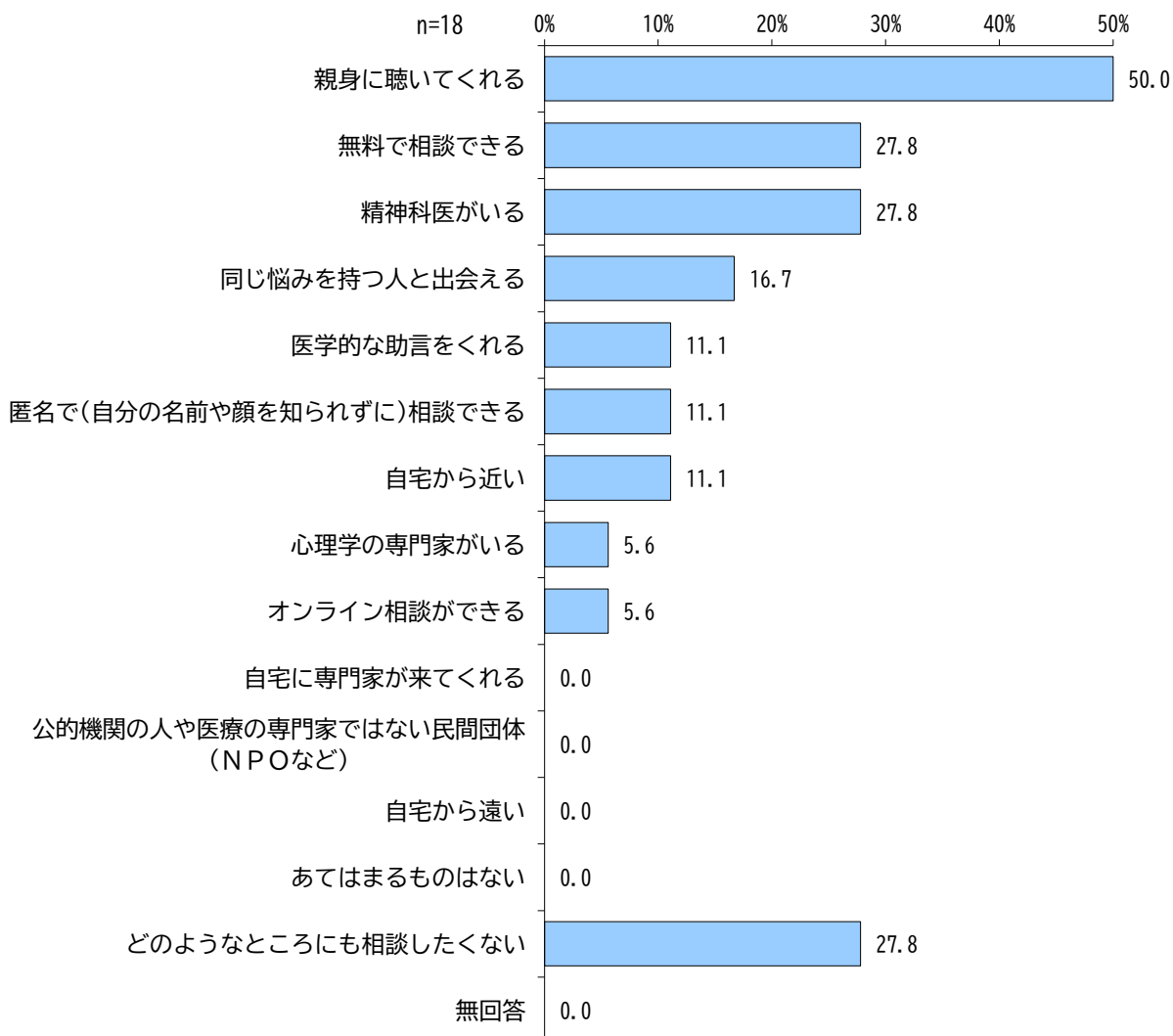
	回答数	親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいます	同じ悩みを持つ人と出会える	自宅から近い
6か月～3年未満	12	41.7%	25.0%	16.7%	-	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%
3年～5年未満	7	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	-	14.3%	28.6%
5年～10年未満	8	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%	25.0%	25.0%	-	-
10年以上	10	70.0%	40.0%	50.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%

	回答数	オンライン相談ができる	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
6か月～3年未満	12	8.3%	8.3%	-	-	-	41.7%	-
3年～5年未満	7	14.3%	14.3%	-	-	-	14.3%	14.3%
5年～10年未満	8	12.5%	-	-	-	-	25.0%	12.5%
10年以上	10	10.0%	-	-	-	-	10.0%	-

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が41.7%、「無料で相談できる」と回答した人の割合が25.0%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が41.7%となっている。

また、「10年以上」と回答した10人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が70.0%、「精神科医がいる」と回答した人の割合が50.0%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が10.0%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(現在の外出頻度に満足していない人)】



困りごとを相談したいと思う場所や機関について、現在の外出頻度に満足していない18人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が50.0%、「無料で相談できる」、「精神科医がいる」と回答した人の割合がともに27.8%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が27.8%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(悩み事の相談希望の有無別)】

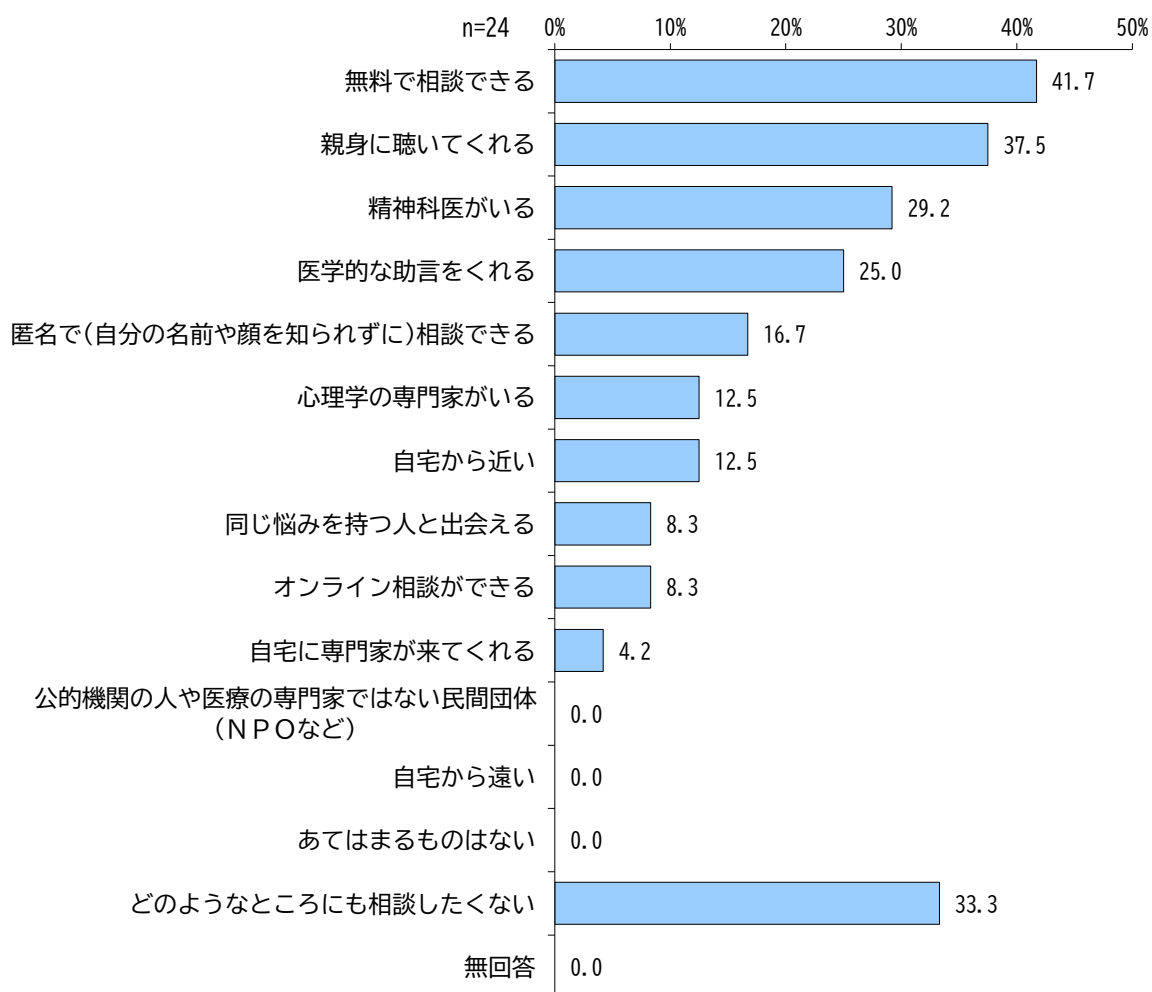
		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいます	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
相談したい	9	77.8%	22.2%	44.4%	11.1%	-	-	22.2%	-
相談したくない	6	33.3%	16.7%	16.7%	-	16.7%	-	-	-
内容による	20	40.0%	45.0%	25.0%	30.0%	30.0%	25.0%	10.0%	20.0%

		自宅から近い	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
相談したい	9	11.1%	11.1%	-	-	-	-	-
相談したくない	6	-	-	-	-	-	50.0%	-
内容による	20	15.0%	5.0%	-	-	-	30.0%	-

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したい」と回答した9人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が77.8%、「精神科医がいる」と回答した人の割合が44.4%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したくない」と回答した6人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が33.3%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が50.0%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(困りごとがある人)】



困りごとを相談したいと思う場所や機関について、困りごとがある24人のうち、「無料で相談できる」と回答した人の割合が41.7%、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が37.5%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(相談機関に相談した経験の有無別)】

		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
相談機関への相談経験あり	11	54.5%	54.5%	63.6%	45.5%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%
相談機関への相談経験なし	13	23.1%	30.8%	-	7.7%	23.1%	-	7.7%	7.7%

		自宅から近い	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
相談機関への相談経験あり	11	18.2%	9.1%	-	-	-	9.1%	-
相談機関への相談経験なし	13	7.7%	-	-	-	-	53.8%	-

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「精神科医がいる」と回答した人の割合が63.6%、「親身に聴いてくれる」、「無料で相談できる」と回答した人の割合がともに54.5%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が9.1%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「無料で相談できる」と回答した人の割合が30.8%、「親身に聴いてくれる」、「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」と回答した人の割合がともに23.1%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が53.8%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】

		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
10～12点(孤独感が常にある)	18	44.4%	38.9%	38.9%	27.8%	5.6%	16.7%	5.6%	5.6%
7～9点(孤独感が時々ある)	11	36.4%	27.3%	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%

		自宅から近い	自宅に専門家に来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
10～12点(孤独感が常にある)	18	16.7%	5.6%	-	-	-	33.3%	-
7～9点(孤独感が時々ある)	11	9.1%	9.1%	-	-	-	9.1%	9.1%

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、「10～12点(孤独感が常にある)」に該当する18人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が44.4%、「無料で相談できる」、「精神科医がいる」と回答した人の割合がともに38.9%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

また、「7～9点(孤独感が時々ある)」に該当する11人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が36.4%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が9.1%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
孤独感がしばしばある・常にある	15	33.3%	26.7%	33.3%	20.0%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%
孤独感が時々ある	8	62.5%	37.5%	25.0%	50.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%

		自宅から近い	自宅に専門家に来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
孤独感がしばしばある・常にある	15	6.7%	-	-	-	-	46.7%	-
孤独感が時々ある	8	25.0%	-	-	-	-	12.5%	-

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、「親身に聴いてくれる」、「精神科医がいる」と回答した人の割合がともに33.3%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が46.7%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した8人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が62.5%、「医学的な助言をくれる」と回答した人の割合が50.0%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が12.5%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(精神科への通院等経験の有無別)】

		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
通院等経験あり	19	57.9%	36.8%	47.4%	31.6%	15.8%	26.3%	15.8%	15.8%
通院等経験なし	18	33.3%	27.8%	5.6%	5.6%	22.2%	-	5.6%	5.6%

		自宅から近い	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
通院等経験あり	19	5.3%	5.3%	-	-	-	15.8%	5.3%
通院等経験なし	18	16.7%	5.6%	-	-	-	33.3%	5.6%

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、精神的病気で通院等経験がある19人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が57.9%、「精神科医がいる」と回答した人の割合が47.4%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が15.8%となっている。

また、精神的病気で通院等経験がない18人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が33.3%、「無料で相談できる」と回答した人の割合が27.8%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が33.3%となっている。

【困りごとを相談したいと思う場所や機関(医療機関への相談経験の有無別)】

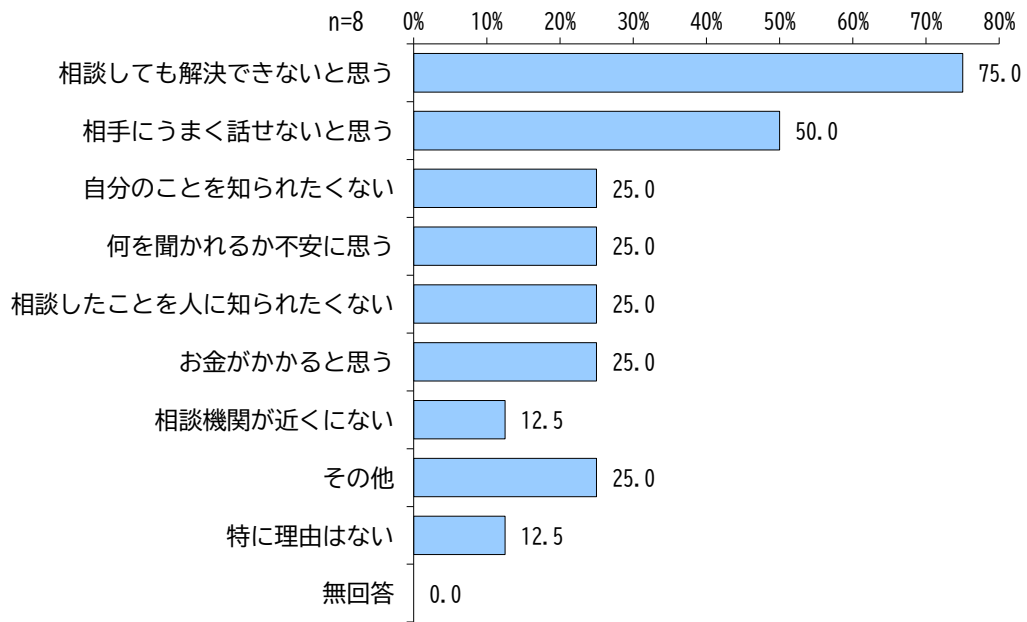
		親身に聴いてくれる	無料で相談できる	精神科医がいる	医学的な助言をくれる	匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	オンライン相談ができる
医療機関への相談経験あり	10	60.0%	60.0%	60.0%	50.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%
医療機関への相談経験なし	27	40.7%	22.2%	14.8%	7.4%	22.2%	7.4%	11.1%	11.1%

		自宅から近い	自宅に専門家が来てくれる	公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)	自宅から遠い	あてはまるものはない	どのようなところにも相談したくない	無回答
医療機関への相談経験あり	10	20.0%	10.0%	-	-	-	10.0%	-
医療機関への相談経験なし	27	7.4%	3.7%	-	-	-	29.6%	7.4%

困りごとを相談したいと思う場所や機関について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を医療機関に相談した経験が「ある」と回答した10人のうち、「親身に聴いてくれる」、「無料で相談できる」、「精神科医がいる」と回答した人の割合がいずれも60.0%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が10.0%となっている。

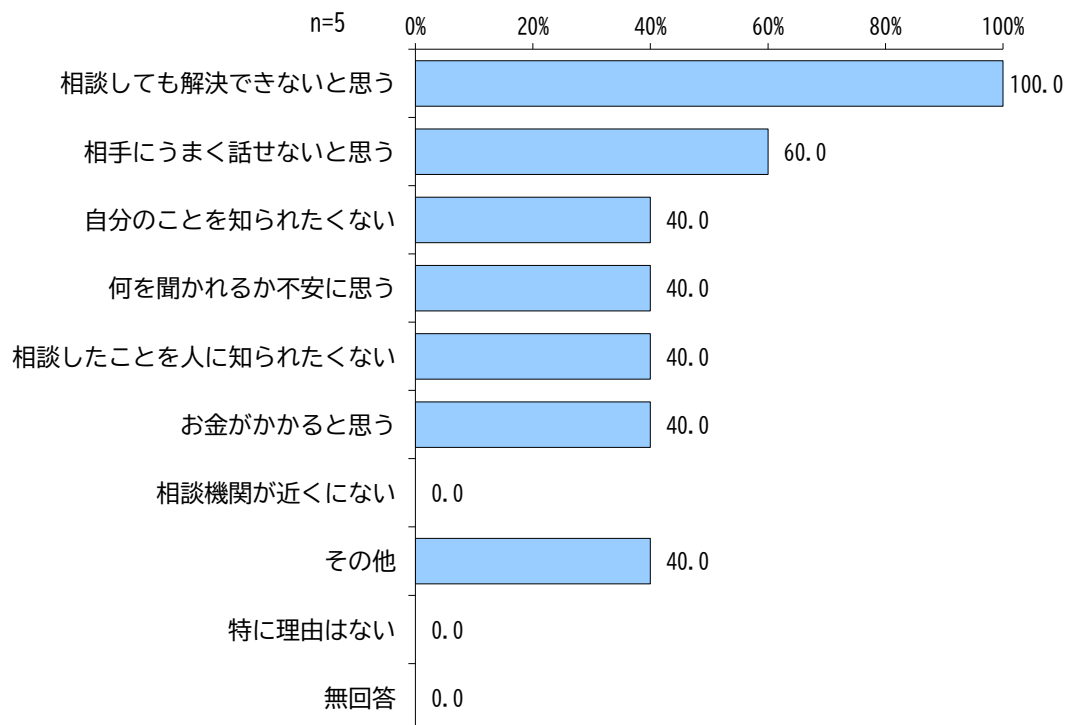
また、現在の状態を医療機関に相談した経験がない27人のうち、「親身に聴いてくれる」と回答した人の割合が40.7%、「無料で相談できる」、「匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる」と回答した人の割合がともに22.2%、一方、「どのようなところにも相談したくない」と回答した人の割合が29.6%となっている。

【困りごとを相談したくない理由(困りごとがある人)】



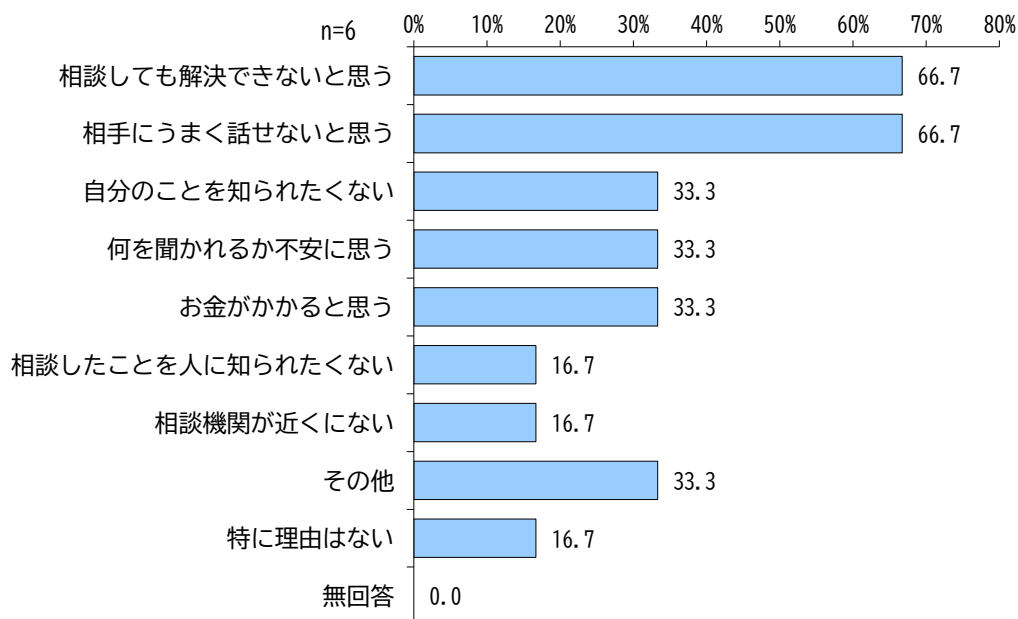
困りごとをどのようなところにも相談したくないと回答した理由について、困りごとがある8人のうち、「相談しても解決できないと思う」と回答した人の割合が75.0%となっている。

【困りごとを相談したくない理由(現在の外出頻度に満足していない人)】



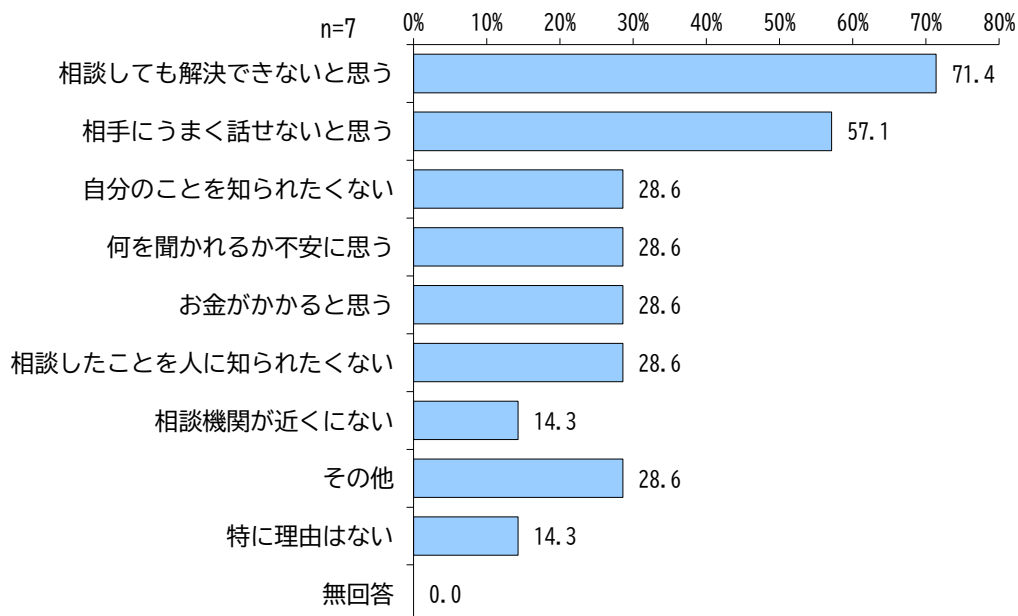
困りごとをどのようなところにも相談したくないと回答した理由について、現在の外出頻度に満足していない5人のうち、全員が「相談しても解決できないと思う」と回答している。

【困りごとを相談したくない理由(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】



困りごとをどのようなところにも相談したくないと回答した理由について、「10～12点(孤独感が常にある)」に該当する6人のうち、「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」と回答した人の割合がともに66.7%となっている。

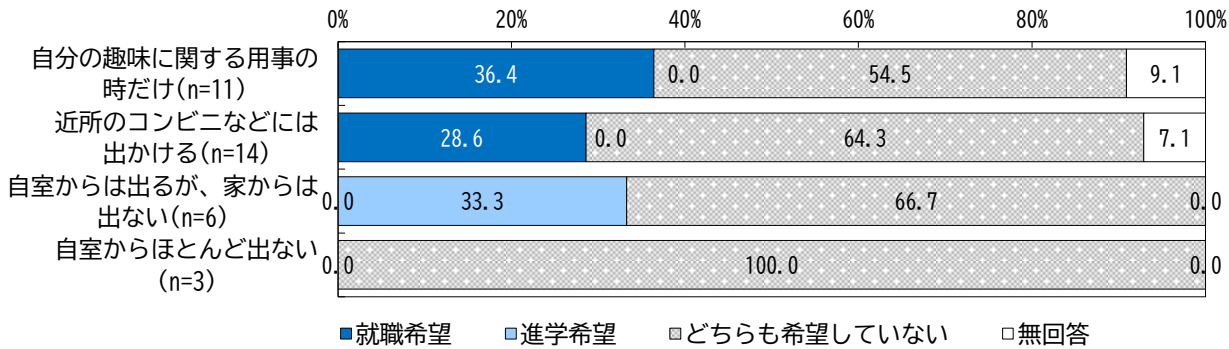
【困りごとを相談したくない理由(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】



困りごとをどのようなところにも相談したくないと回答した理由について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した7人のうち、「相談しても解決できないと思う」と回答した人の割合が71.4%、「相手にうまく話せないと思う」と回答した人の割合が57.1%となっている。

3 就労・就学について

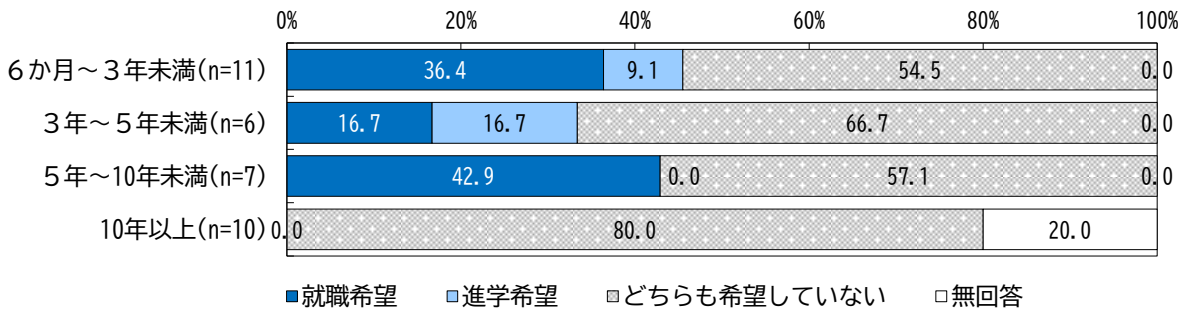
【就職・進学希望の有無(現在の外出頻度別)】



就職希望がある人は、「自分の趣味に関する用事の時だけ」外出すると回答した11人のうち36.4%、「近所のコンビニなどには出かける」と回答した14人のうち28.6%となっており、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した人の9人では0%となっている。

進学希望がある人は、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち33.3%となっている。

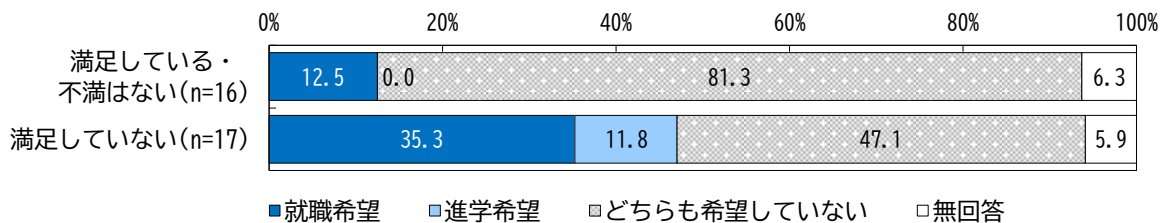
【就職・進学希望の有無(外出できなくなっからの期間別)】



就職希望がある人は、「6か月～3年未満」と回答した11人のうち36.4%、「3年～5年未満」と回答した6人のうち16.7%、「5年～10年未満」と回答した7人のうち42.9%となっている。

進学希望がある人は、「6か月～3年未満」と回答した11人のうち1人、「3年～5年未満」と回答した6人のうち1人となっている。

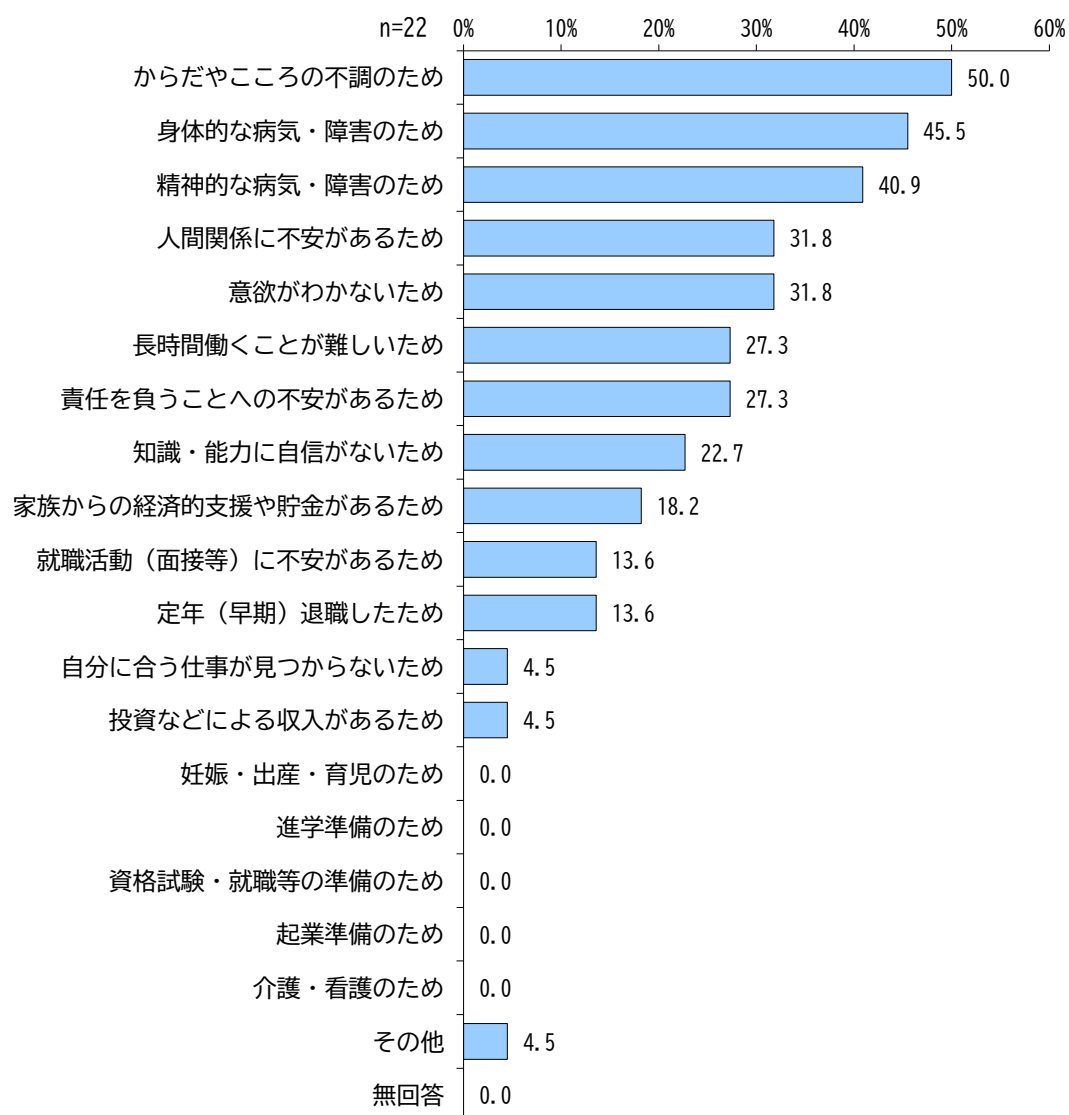
【就職・進学希望の有無(現在の外出頻度の満足感別)】



就職希望がある人は、「満足していない」と回答した17人のうち35.3%となっている。

進学希望がある人は、「満足していない」と回答した17人のうち11.8%となっている。

【就職・進学を希望していない理由(就職・進学希望がない人)】



就職・進学を希望していない理由について、就職・進学希望がない22人のうち、「からだやこころの不調のため」と回答した人の割合が50.0%、「身体的な病気・障害のため」と回答した人の割合が45.5%、「精神的な病気・障害のため」と回答した人の割合が40.9%となっている。

【就職・進学を希望していない理由(現在の外出頻度別)】

	回答数	からだや こころの 不調のため	精神的な 病気・障 害のため	人間関係 に不安が あるため	長時間働 くことが 難しいた め	身体的な 病気・障 害のため	意欲がわ かないた め	知識・能 力に自信 がないた め	責任を負 うことへ の不安が あるため
自分の趣味に関する用事の時だけ	11	36.4%	18.2%	27.3%	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%
近所のコンビニなどには出かける	13	46.2%	23.1%	30.8%	38.5%	53.8%	23.1%	30.8%	15.4%
自室からは出るが、家からは出ない	6	66.7%	66.7%	66.7%	50.0%	16.7%	66.7%	33.3%	66.7%
自室からほとんど出ない	3	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	-	33.3%	33.3%

	回答数	自分に合 う仕事 が見つ からない ため	就職活動 (面接 等)に不 安がある ため	定年(早 期)退職 したため	家族から の経済的 支援や貯 金がある ため	投資など による収 入がある ため	妊娠・出 産・育児 のため	進学準備 のため	資格試 験・就職 等の準備 のため
自分の趣味に関する用事の時だけ	11	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	-	-	-
近所のコンビニなどには出かける	13	23.1%	23.1%	15.4%	15.4%	-	7.7%	-	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	16.7%	33.3%	-	16.7%	-	-	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	-	-	-	-	-	-

	回答数	起業準備 のため	介護・看 護のため	その他	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	11	-	-	9.1%	-
近所のコンビニなどには出かける	13	-	-	-	-
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	-	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	-	33.3%	-

就職・進学を希望していない理由について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「からだやこころの不調のため」、「精神的な病気・障害のため」、「人間関係に不安があるため」、「意欲がわかないため」、「責任を負うことへの不安があるため」と回答した人の割合がいずれも66.7%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち全員が「精神的な病気・障害のため」と回答している。

【就職・進学を希望していない理由(外出できなくなっからの期間別)】

	回答数	からだや こころの 不調のため	精神的な 病気・障 害のため	人間関係 に不安が あるため	長時間働 くことが 難しいた め	身体的な 病気・障 害のため	意欲がわ かないた め	知識・能 力に自信 がないた め	責任を負 うことへ の不安が あるため
6か月～3年未満	11	27.3%	27.3%	45.5%	18.2%	18.2%	36.4%	36.4%	18.2%
3年～5年未満	6	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	66.7%	-	16.7%	16.7%
5年～10年未満	7	71.4%	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	57.1%	28.6%	42.9%
10年以上	9	77.8%	44.4%	33.3%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%

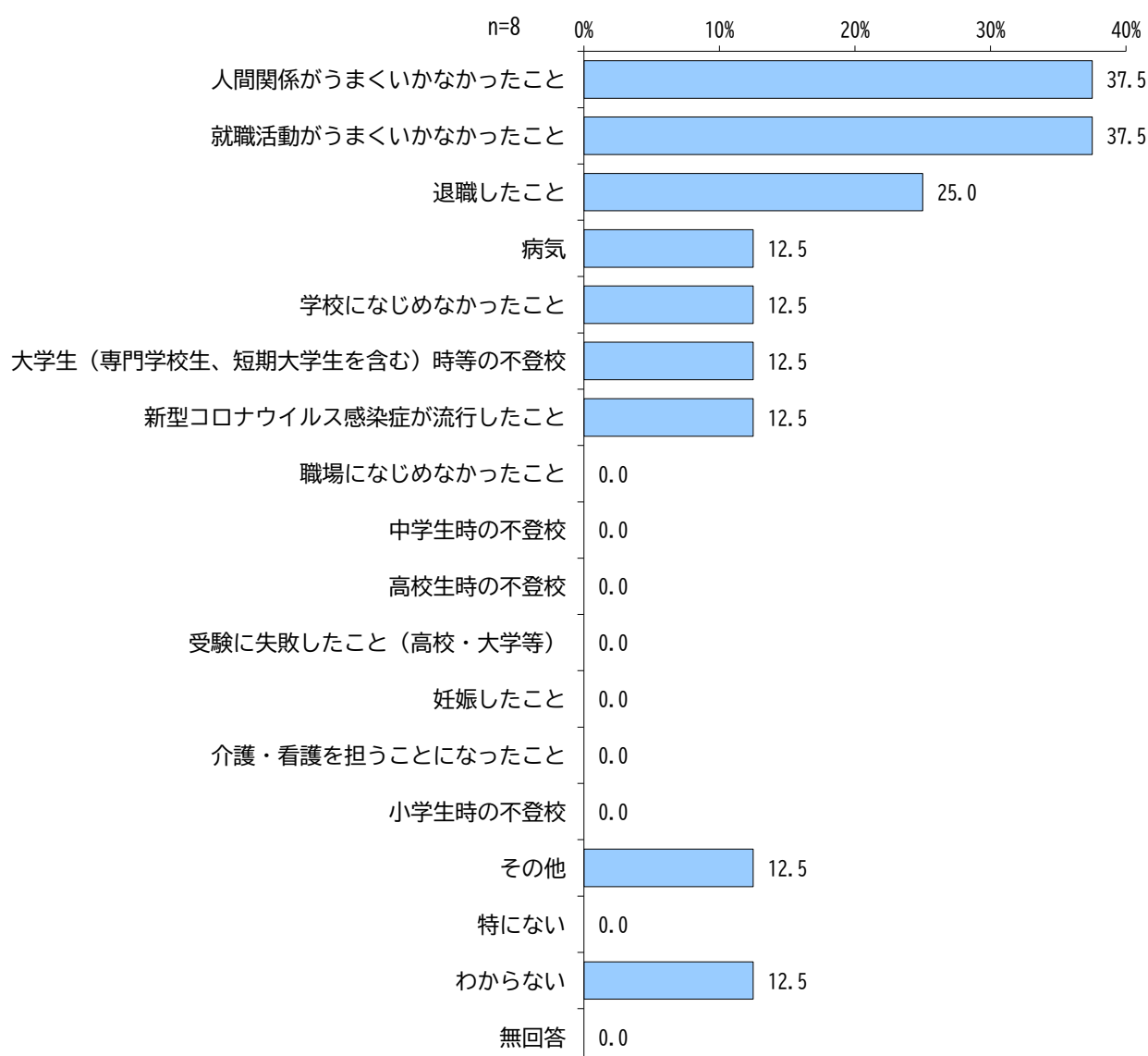
	回答数	自分に合 う仕事 が見つ からない ため	就職活動 (面接 等)に不 安があ るため	定年(早 期)退職 したた め	家族から の経済的 支援や貯 金があ るため	投資など による収 入があ るため	妊娠・出 産・育児 のため	進学準備 のため	資格試 験・就職 等の準備 のため
6か月～3年未満	11	36.4%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	-	-
3年～5年未満	6	-	16.7%	-	-	-	-	-	-
5年～10年未満	7	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	-	-	-	-
10年以上	9	11.1%	11.1%	-	11.1%	-	-	-	-

	回答数	起業準備 のため	介護・看 護のため	その他	無回答
6か月～3年未満	11	-	-	9.1%	-
3年～5年未満	6	-	-	-	-
5年～10年未満	7	-	-	14.3%	-
10年以上	9	-	-	-	-

就職・進学を希望していない理由について、「6か月～3年未満」と回答した11人のうち、「人間関係に不安があるため」と回答した人の割合が45.5%となっている。

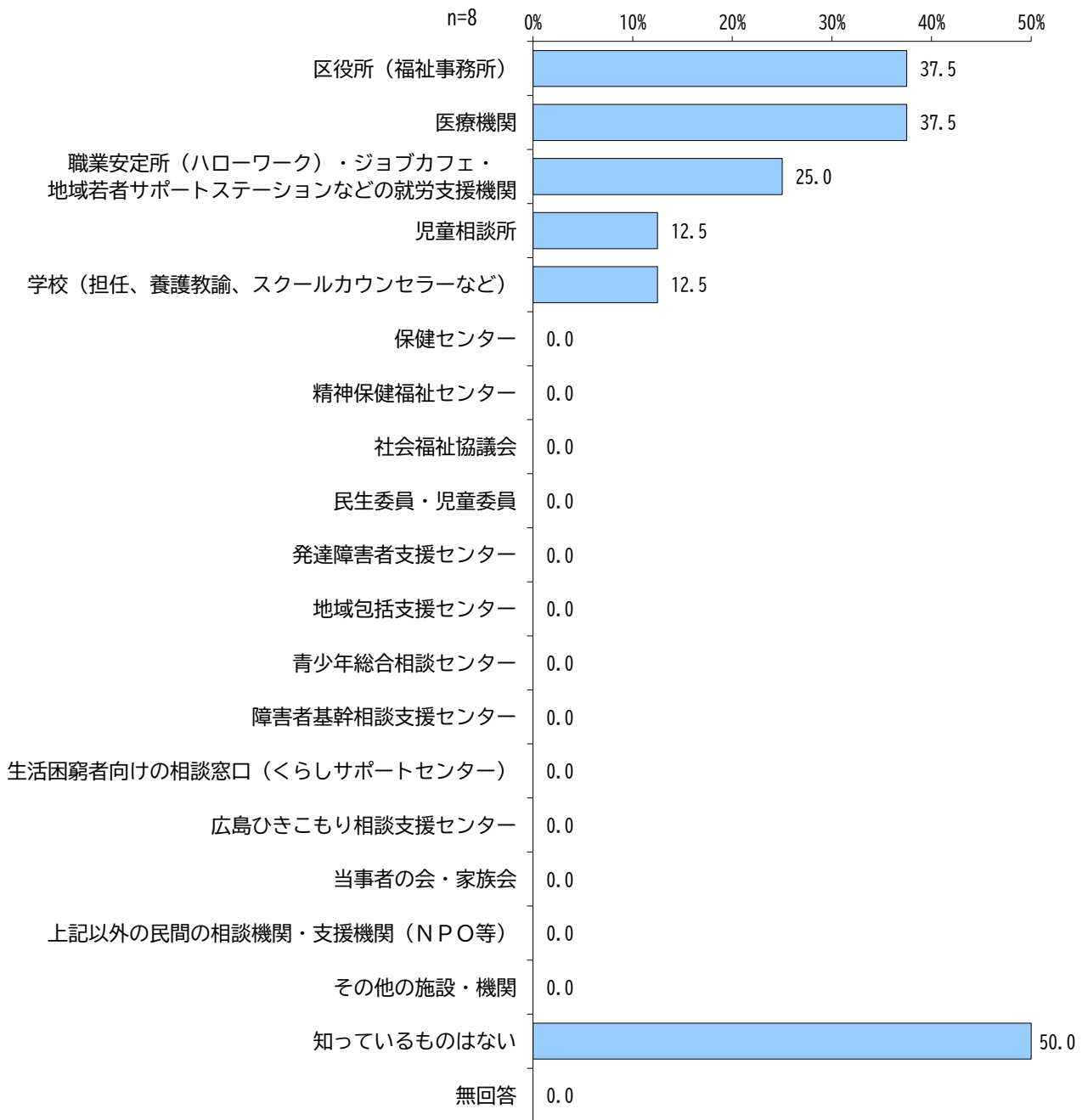
また、「10年以上」と回答した9人のうち、「からだやこころの不調のため」と回答した人の割合が77.8%となっている。

【ほとんど家にいる状態になった理由(就職希望の人)】



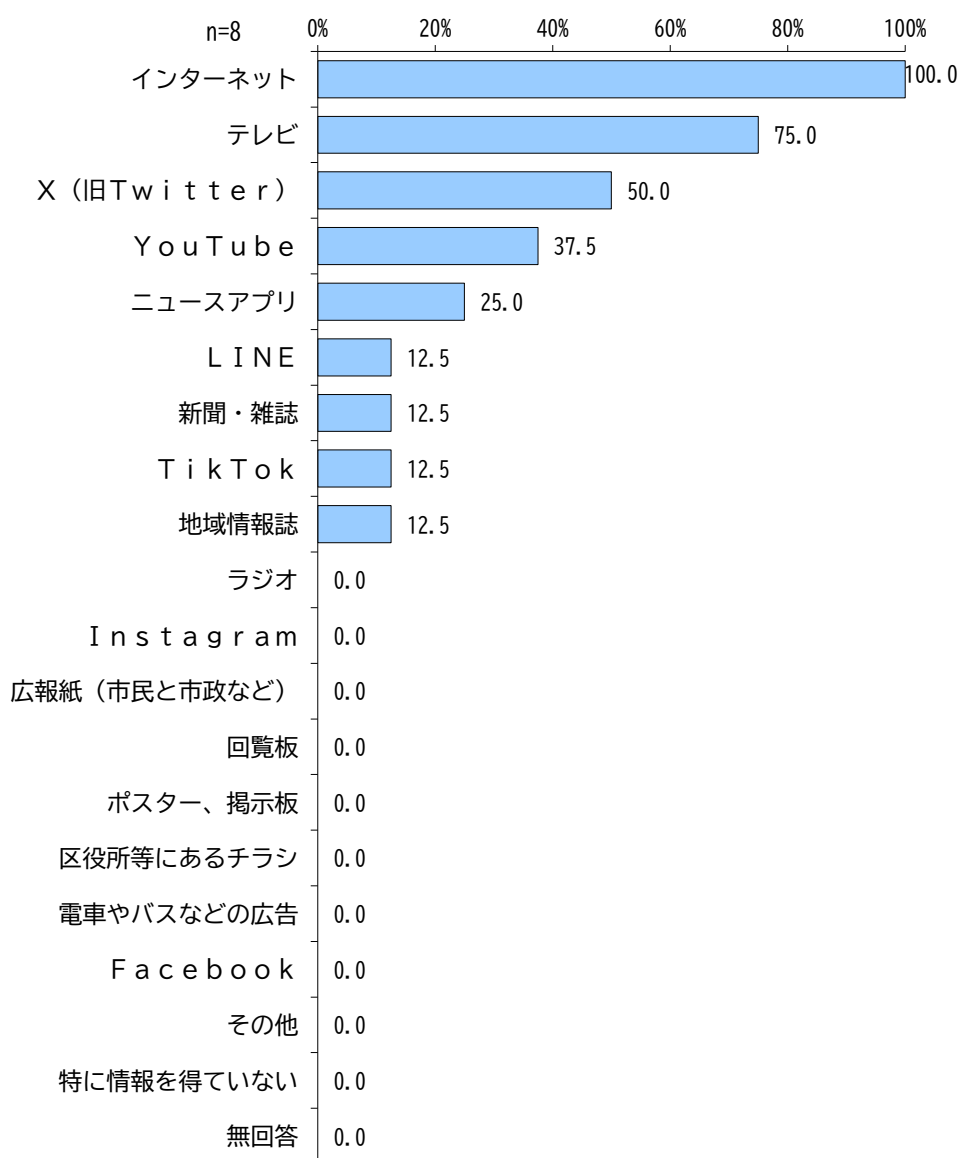
ほとんど家にいる状態になった理由として、就職希望がある8人のうち、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「就職活動がうまくいかなかったこと」と回答した人の割合がともに37.5%となっている。

【知っている相談機関(就職希望の人)】



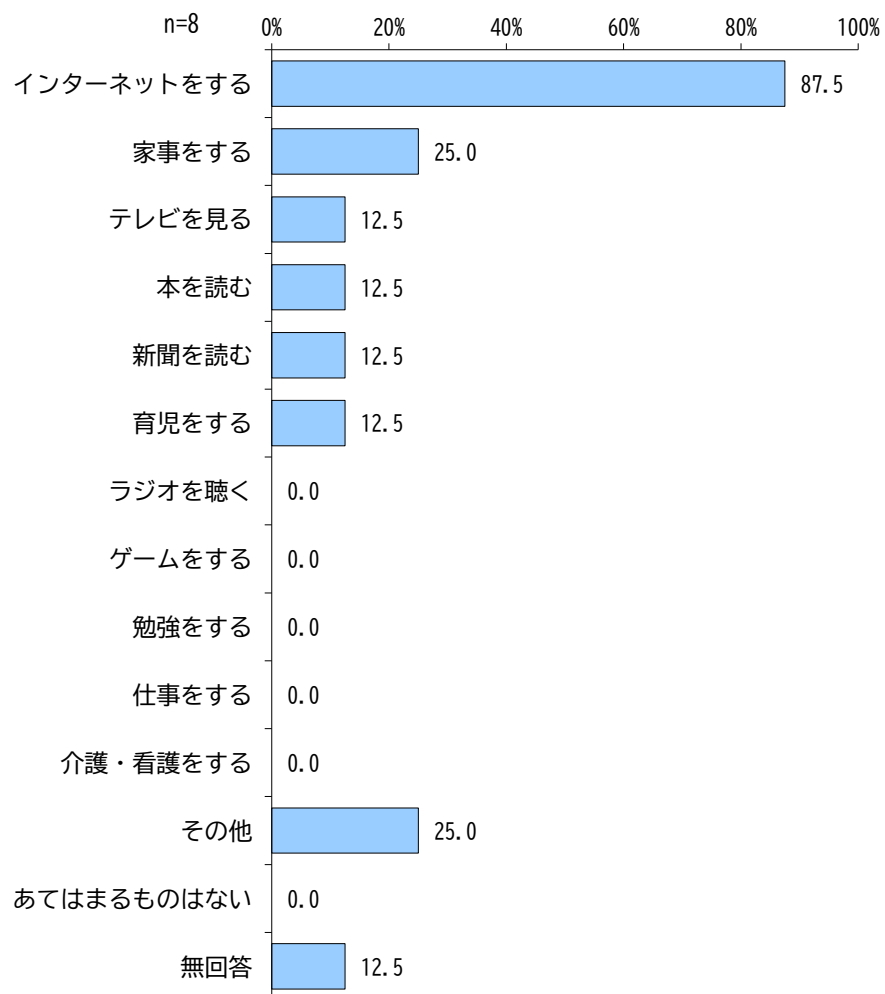
知っている相談機関として、就職希望がある8人のうち、「職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」と回答した人の割合は25.0%となっている。

【普段情報を得ている媒体(就職希望の人)】



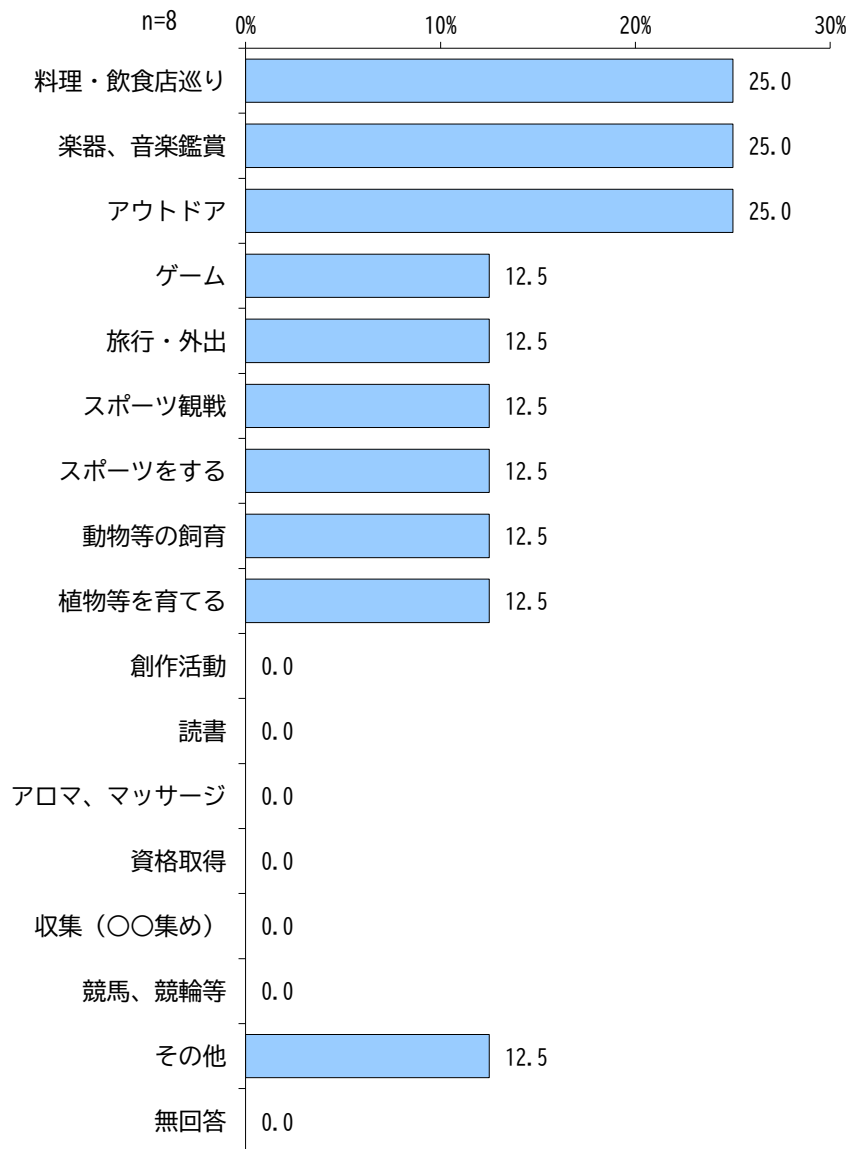
普段情報を得ている媒体として、就職希望がある8人のうち全員が「インターネット」と回答している。

【普段自宅にいる時の過ごし方(就職希望の人)】



普段自宅にいる時の過ごし方として、就職希望がある8人のうち、「インターネットをする」と回答した人の割合が87.5%となっている。

【楽しいと思う活動(就職希望の人)】



楽しいと思う活動として、就職希望がある8人のうち、「料理・飲食店巡り」、「楽器、音楽鑑賞」、「アウトドア」と回答した人の割合がいずれも25.0%となっている。

4 必要だと思う市の支援

【必要だと思う市の支援(上位3位※)(現在の外出頻度別)】

※上位3位までを複数回答として集計

	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	57.1%	57.1%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%
近所のコンビニなどには出かける	14	50.0%	42.9%	35.7%	42.9%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%
自室からは出るが、家からは出ない	6	50.0%	50.0%	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	-

	回答数	支援者への研修	無回答
自分の趣味に関する用事の時だけ	14	7.1%	28.6%
近所のコンビニなどには出かける	14	-	21.4%
自室からは出るが、家からは出ない	6	-	-
自室からほとんど出ない	3	-	-

必要だと思う市の支援について、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した6人のうち、「こころの病気に関する正しい知識の普及」と回答した人の割合が66.7%、「相談窓口の周知」、「相談窓口の充実」、「ひきこもりに関する正しい知識の普及」と回答した人の割合がいずれも50.0%となっている。

また、「自室からほとんど出ない」と回答した3人のうち2人が「こころの病気に関する正しい知識の普及」、「本人への直接的な支援」、「ひきこもりに関する正しい知識の普及」と回答している。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(外出できなくなつてからの期間別)】

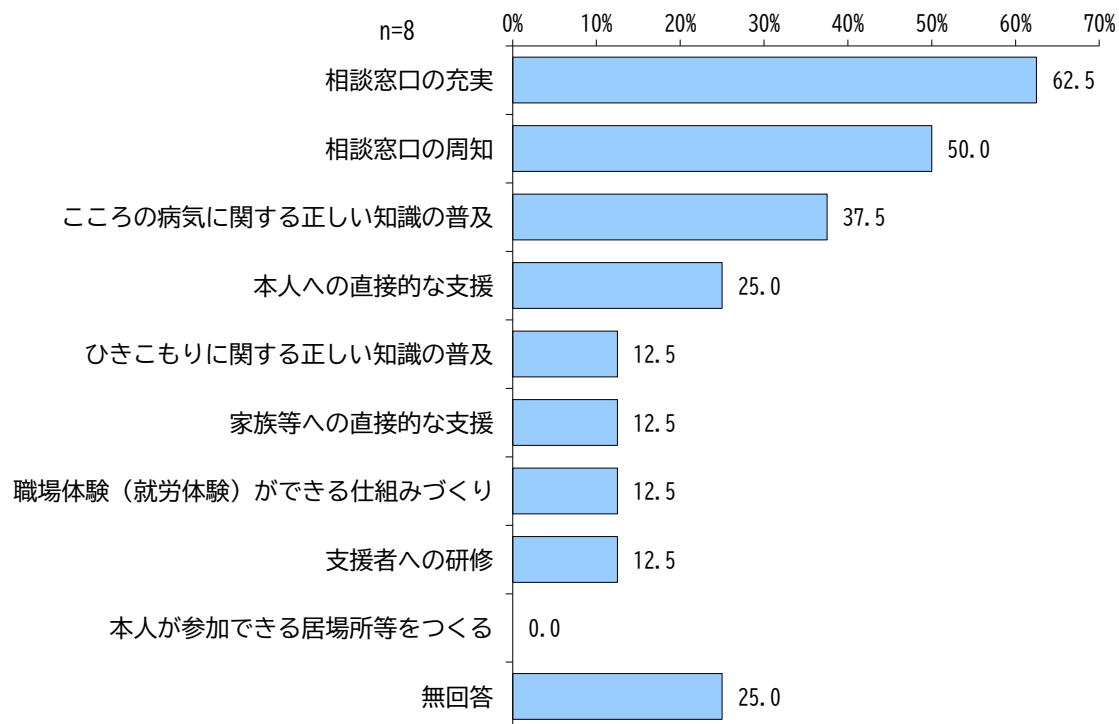
	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
6か月～3年未満	12	41.7%	58.3%	25.0%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%
3年～5年未満	7	42.9%	57.1%	42.9%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	-
5年～10年未満	8	75.0%	62.5%	75.0%	12.5%	25.0%	12.5%	-	-
10年以上	10	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%

	回答数	支援者への研修	無回答
6か月～3年未満	12	8.3%	16.7%
3年～5年未満	7	-	-
5年～10年未満	8	-	12.5%
10年以上	10	-	40.0%

必要だと思う市の支援について、「6か月～3年未満」と回答した12人のうち、「相談窓口の充実」と回答した人の割合が58.3%、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が41.7%となっている。

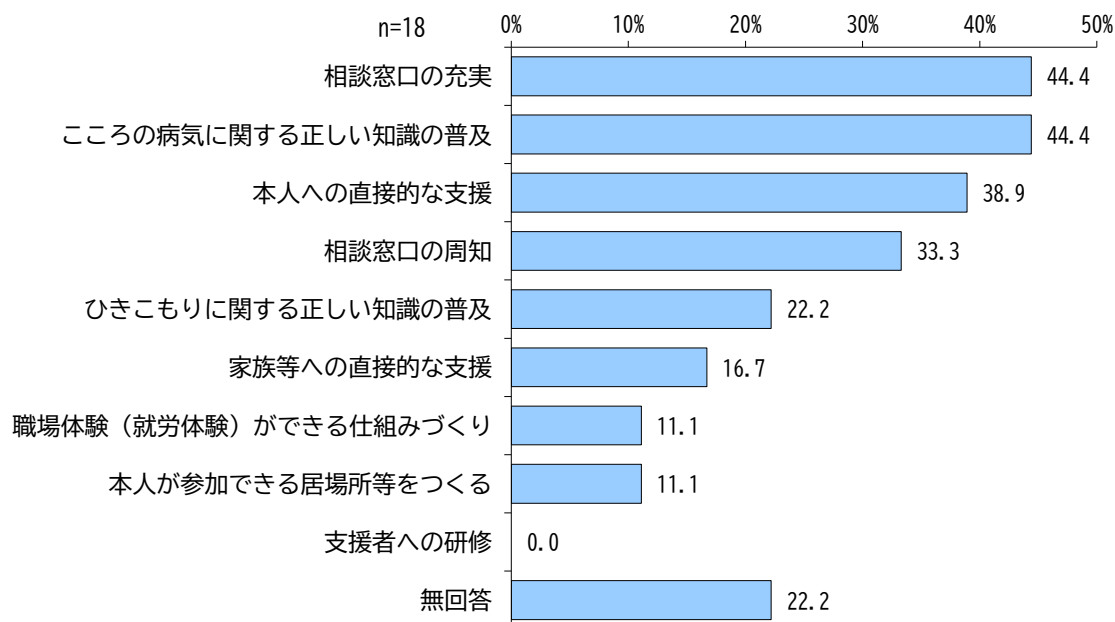
また、「10年以上」と回答した10人のうち、「相談窓口の周知」、「本人への直接的な支援」と回答した人の割合がともに40.0%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(就職希望の人)】



必要だと思う市の支援について、就職希望がある8人のうち、「相談窓口の充実」と回答した人の割合が62.5%、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が50.0%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(現在の外出頻度に満足していない人)】



必要だと思う市の支援について、現在の外出頻度に満足していない18人のうち、「相談窓口の充実」、「こころの病気に関する正しい知識の普及」と回答した人の割合がともに44.4%、「本人への直接的な支援」と回答した人の割合が38.9%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(悩み事の相談希望の有無別)】

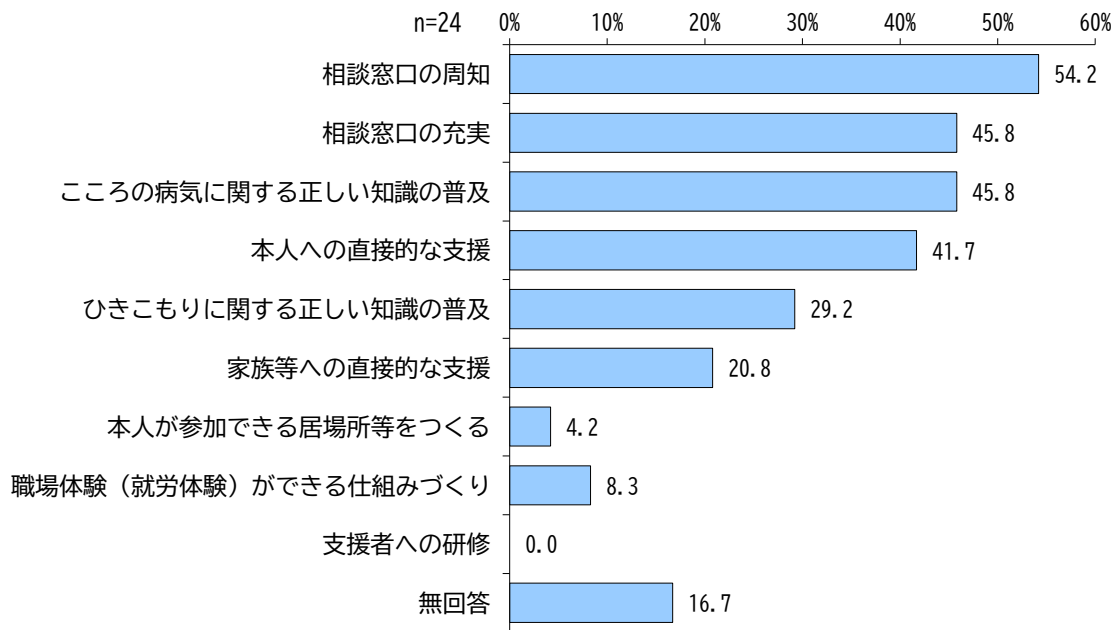
	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験（就労体験）ができる仕組みづくり
相談したい	9	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	-	11.1%
相談したくない	6	33.3%	33.3%	50.0%	50.0%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%
内容による	20	60.0%	55.0%	35.0%	30.0%	25.0%	15.0%	5.0%	5.0%

	回答数	支援者への研修	無回答
相談したい	9	-	33.3%
相談したくない	6	16.7%	-
内容による	20	-	20.0%

必要だと思う市の支援について、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したい」と回答した9人のうち、「相談窓口の周知」、「相談窓口の充実」、「こころの病気に関する正しい知識の普及」、「本人への直接的な支援」と回答した人の割合がいずれも33.3%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に「相談したくない」と回答した6人のうち、「こころの病気に関する正しい知識の普及」、「本人への直接的な支援」、「ひきこもりに関する正しい知識の普及」と回答した人の割合がいずれも50.0%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(困りごとがある人)】



必要だと思う市の支援について、困りごとがある24人のうち、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が54.2%、「相談窓口の充実」、「こころの病気に関する正しい知識の普及」と回答した人の割合がともに45.8%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(相談機関に相談した経験の有無別)】

	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
相談機関への相談経験あり	11	36.4%	36.4%	45.5%	63.6%	27.3%	45.5%	9.1%	9.1%
相談機関への相談経験なし	13	69.2%	53.8%	46.2%	23.1%	30.8%	-	-	7.7%

	回答数	支援者への研修	無回答
相談機関への相談経験あり	11	-	9.1%
相談機関への相談経験なし	13	-	23.1%

必要だと思う市の支援について、困りごとがあると回答した人で現在の状態を相談機関に相談した経験が「ある」と回答した11人のうち、「本人への直接的な支援」と回答した人の割合が63.6%、「こころの病気に関する正しい知識の普及」、「家族等への直接的な支援」と回答した人の割合がともに45.5%となっている。

また、普段悩み事ができた際に他の人に相談した経験が「ない」と回答した13人のうち、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が69.2%、「相談窓口の充実」と回答した人の割合が53.8%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(孤独の状況(間接質問)で7点以上の人)】

	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
10～12点(孤独感が常にある)	18	55.6%	38.9%	50.0%	50.0%	33.3%	33.3%	11.1%	11.1%
7～9点(孤独感が時々ある)	11	45.5%	63.6%	45.5%	18.2%	18.2%	-	-	9.1%

	回答数	支援者への研修	無回答
10～12点(孤独感が常にある)	18	-	5.6%
7～9点(孤独感が時々ある)	11	9.1%	18.2%

必要だと思う市の支援について、「10～12点(孤独感が常にある)」に該当する18人のうち、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が55.6%、「こころの病気に関する正しい知識の普及」、「本人への直接的な支援」と回答した人の割合がともに50.0%となっている。

また、「7～9点(孤独感が時々ある)」に該当する11人のうち、「相談窓口の充実」と回答した人の割合が63.6%、「相談窓口の周知」、「こころの病気に関する正しい知識の普及」と回答した人の割合がともに45.5%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位)(孤独の状況(直接質問)で孤独感がしばしば・常に・時々ある人)】

	回答数	相談窓口の周知	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	本人への直接的な支援	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり
孤独感がしばしばある・常にある	15	46.7%	53.3%	60.0%	40.0%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%
孤独感が時々ある	8	62.5%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	25.0%	-	12.5%

	回答数	支援者への研修	無回答
孤独感がしばしばある・常にある	15	-	13.3%
孤独感が時々ある	8	-	12.5%

必要だと思う市の支援について、「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した15人のうち、「こころの病気に関する正しい知識の普及」と回答した人の割合が60.0%、「相談窓口の充実」と回答した人の割合が53.3%となっている。

また、「孤独感が時々ある」と回答した8人のうち、「相談窓口の周知」と回答した人の割合が62.5%となっている。

第6章 ひきこもり・支援対象者の定義(同居者票)

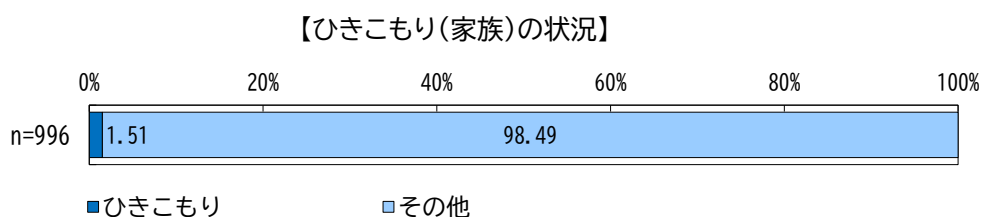
1 ひきこもり(家族)

<定義>

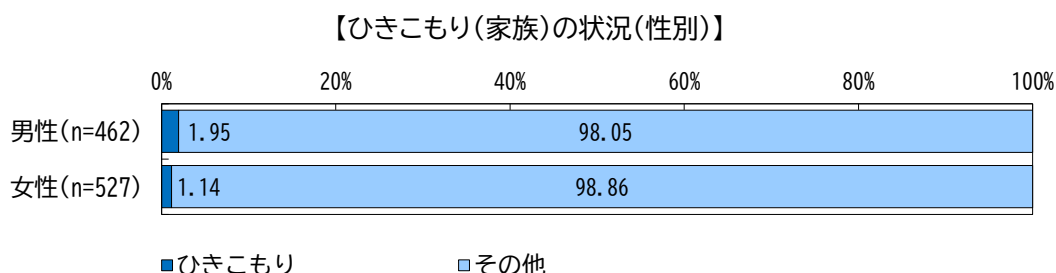
様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学，非常勤職を含む就労，家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）

※ 本報告書でいうひきこもりとは、広義のひきこもりを示している

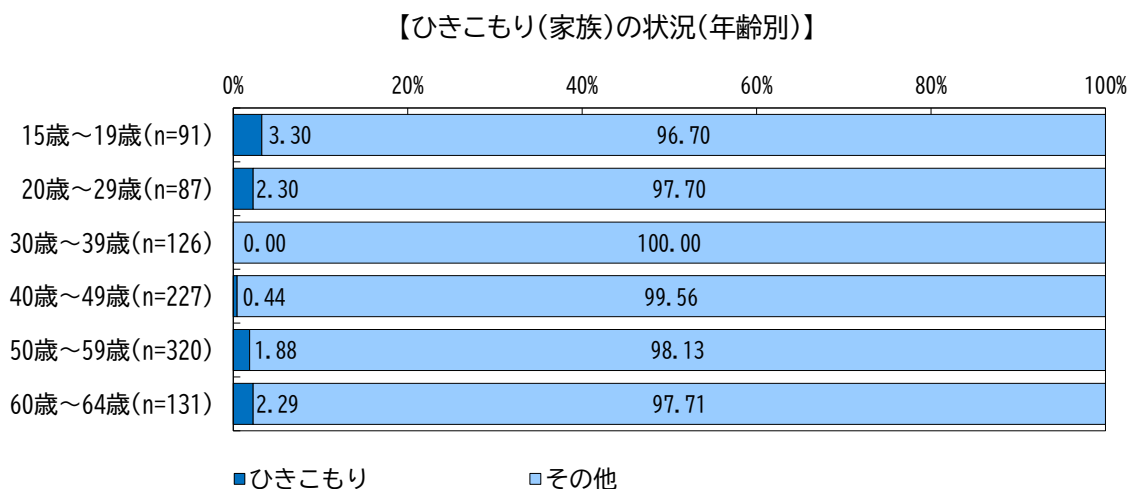
※ 選定手順は261頁「参考 ひきこもり・支援対象者の選定手順」を参照



ひきこもりの状況について、「ひきこもり」に該当する割合が1.51%となっている。



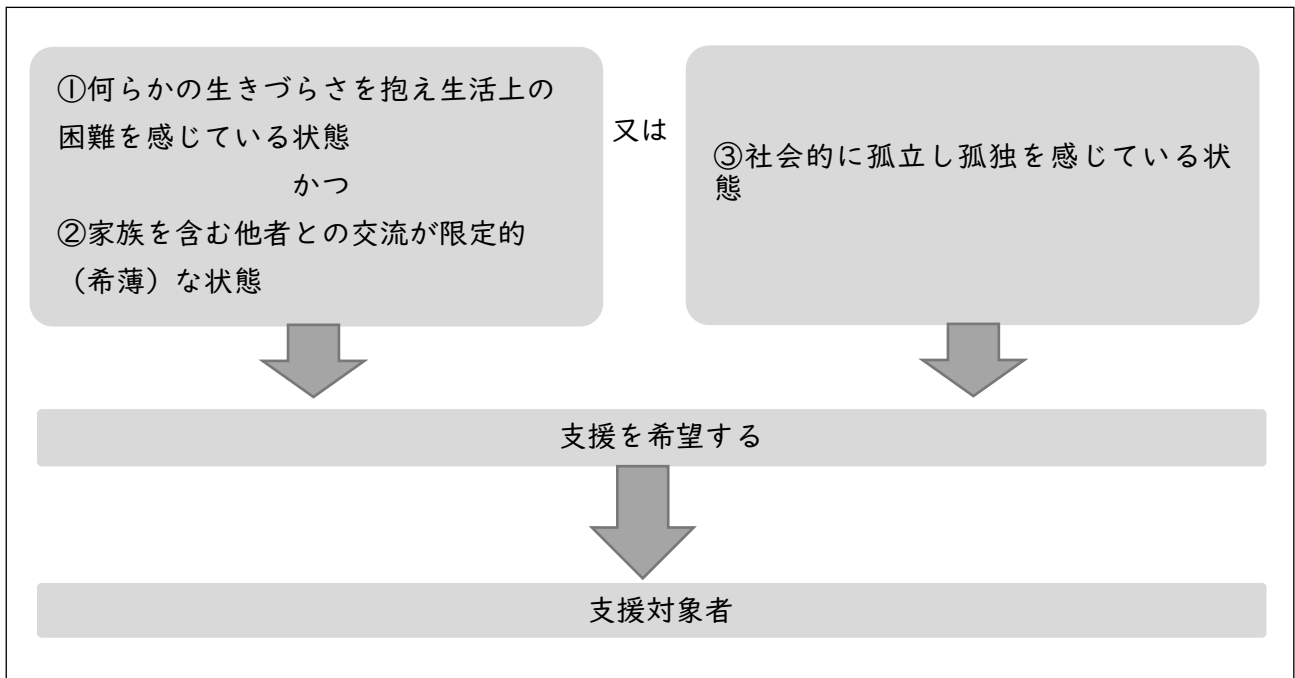
性別にみると、「ひきこもり」に該当する割合は、男性で1.95%、女性で1.14%となっている。



年齢別にみると、「ひきこもり」に該当する割合は、いずれの年齢層も0~3%程度となっている。

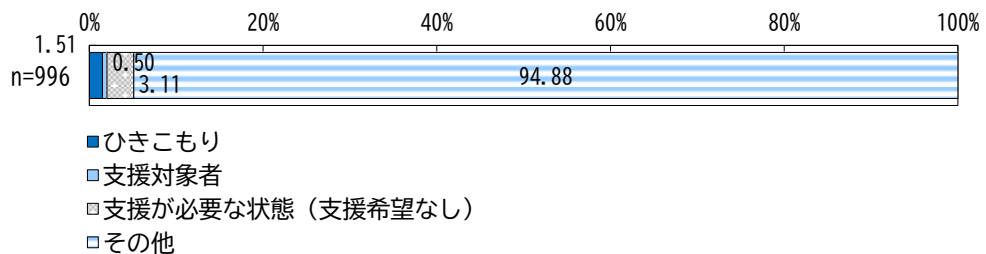
2 支援対象者(家族)

<定義>



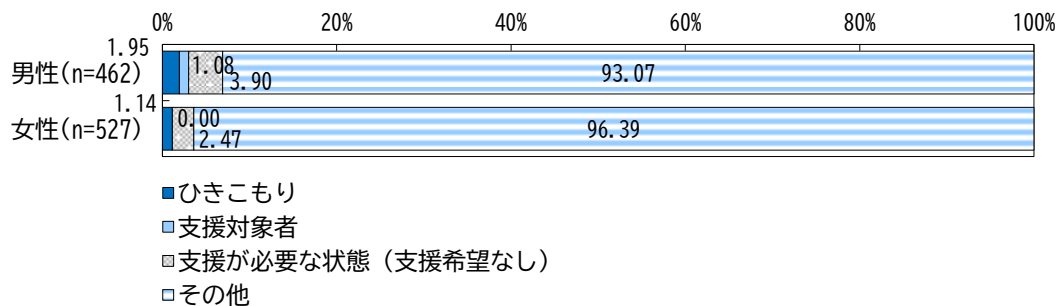
※ 選定手順は 261 頁「参考 ひきこもり・支援対象者の選定手順」を参照

【支援対象者(家族)の該当状況】



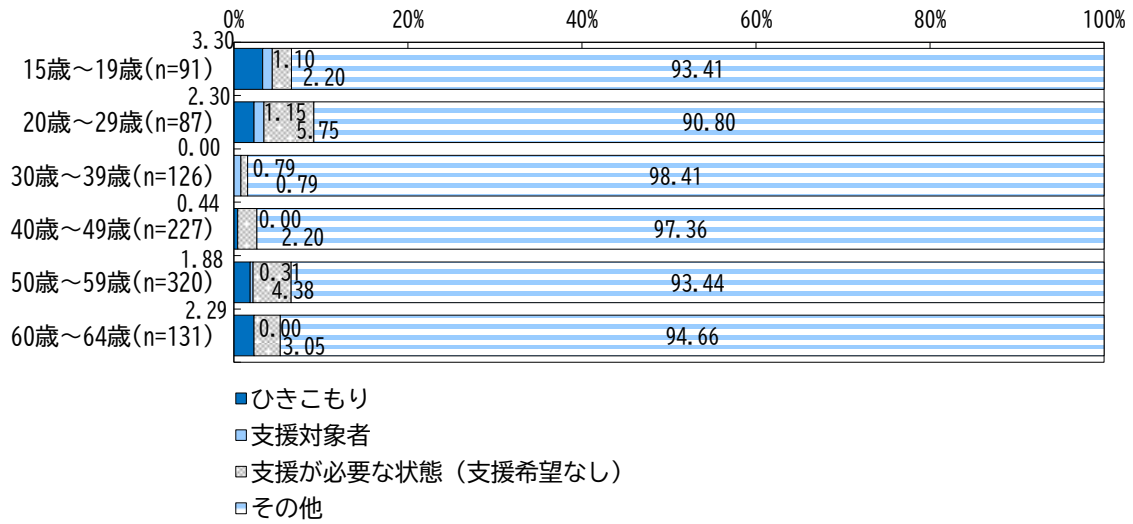
支援対象者(家族)の該当状況について、「支援対象者」に該当する割合が0.50%となっている。

【支援対象者(家族)の該当状況(性別)】



性別にみると、「支援対象者」に該当する割合は、男性で1.08%、女性で0.00%となっている。

【支援対象者(家族)の該当状況(年齢別)】

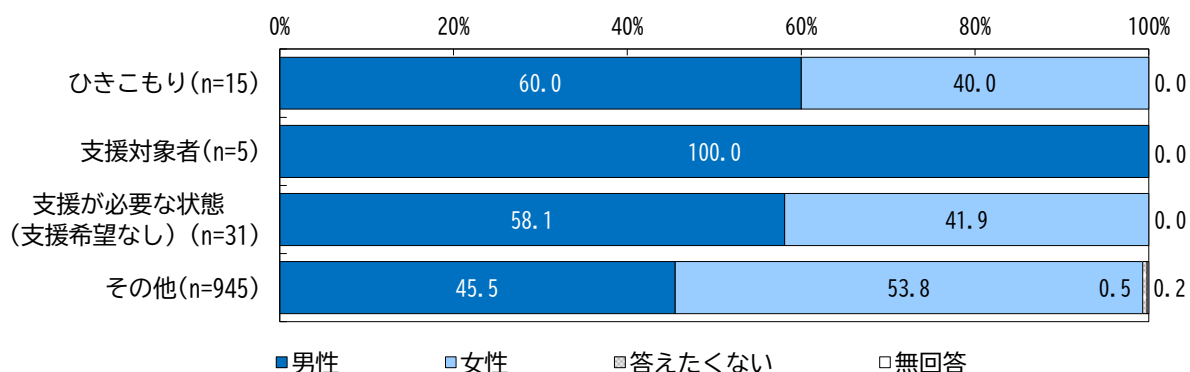


年齢別にみると、「支援対象者」に該当する割合は、いずれの年齢層も0～1%程度となっている。

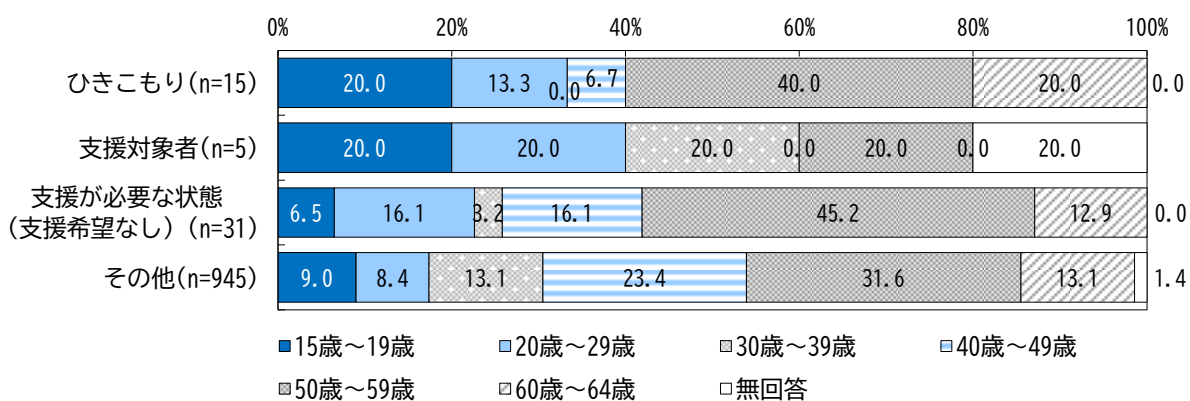
第7章 ひきこもり・支援対象者の調査結果(同居者票)

1 属性

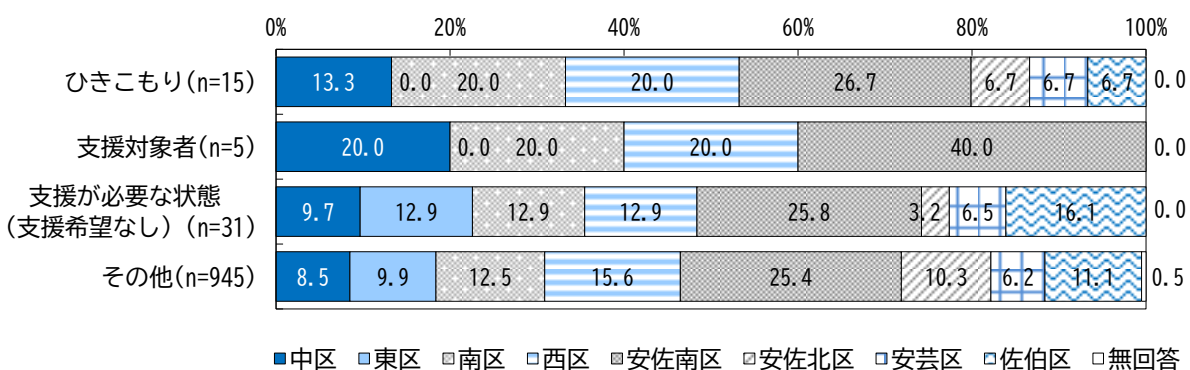
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住区



(4) 同居している人

	回答数	父	母	きょうだい	祖父母	あて名の 方の配偶 者	あて名の 方の子	その他親 族	その他 (ホーム ステイを している 人など)	無回答
ひきこもり	15	26.7%	53.3%	26.7%	20.0%	26.7%	-	-	-	-
支援対象者	5	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	20.0%	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	19.4%	25.8%	12.9%	9.7%	61.3%	41.9%	-	3.2%	3.2%
その他	945	20.5%	27.0%	12.4%	1.2%	69.1%	40.0%	1.1%	0.8%	0.4%

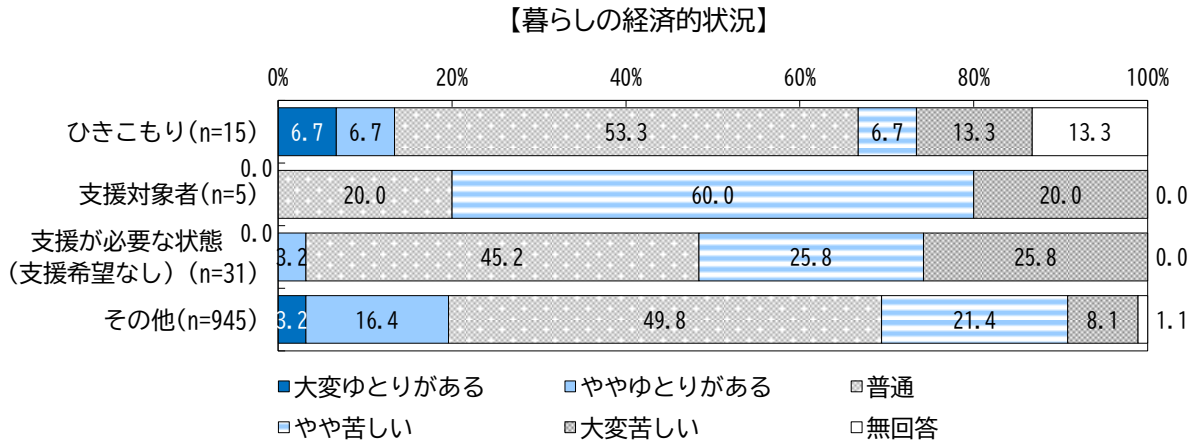
(5) 生計を支えている家族

	回答数	あて名の 方自身	父	母	あて名の 方の配偶 者	きょうだい	あて名の 方の子	その他	わからない、答え られない	無回答
ひきこもり	15	13.3%	33.3%	26.7%	20.0%	-	-	20.0%	-	-
支援対象者	5	20.0%	80.0%	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	51.6%	19.4%	12.9%	41.9%	-	-	-	-	-
その他	945	49.2%	20.6%	10.6%	44.9%	0.8%	1.4%	0.7%	0.8%	0.8%

2 あて名の方やご家族のことについて

(1) 暮らしの経済的状況

問6 あて名の方の現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、どのように思いますか。(〇はひとつだけ)



暮らしの経済的状況について、ひきこもりに該当する人では、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）と回答した割合が13.4%、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）と回答した割合が20.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、『ゆとりがある』と回答した割合が0.0%、『苦しい』と回答した割合が80.0%となっている。

(2) 通院・入院をした経験のある病気やけが

問7 あて名の方がこれまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことがある場合は、あてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

【通院・入院をした経験のある病気やけが】

	回答数	精神的な 病気	心臓や血 管の病気	目や耳の 病気	骨折・大 ケガ	呼吸器・ 肺の病気	胃や腸の 病気	皮膚の病 気	悪性新生 物(がん)
ひきこもり	15	26.7%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	-	-
支援対象者	5	40.0%	20.0%	-	20.0%	60.0%	-	20.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	22.6%	12.9%	6.5%	25.8%	6.5%	9.7%	12.9%	6.5%
その他	945	8.4%	5.4%	14.2%	13.3%	6.7%	9.7%	12.2%	5.4%

	回答数	その他の 病気	わからな い	通院や入 院をした ことはな い	無回答
ひきこもり	15	46.7%	-	20.0%	-
支援対象者	5	20.0%	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	25.8%	3.2%	6.5%	3.2%
その他	945	19.3%	4.9%	30.2%	5.8%

通院・入院をした経験のある病気やけがについて、ひきこもりに該当する人では、「その他の病気」を除くと、「精神的な病気」と回答した割合が26.7%と最も高く、「心臓や血管の病気」、「目や耳の病気」、「骨折・大ケガ」(13.3%)が続いている。

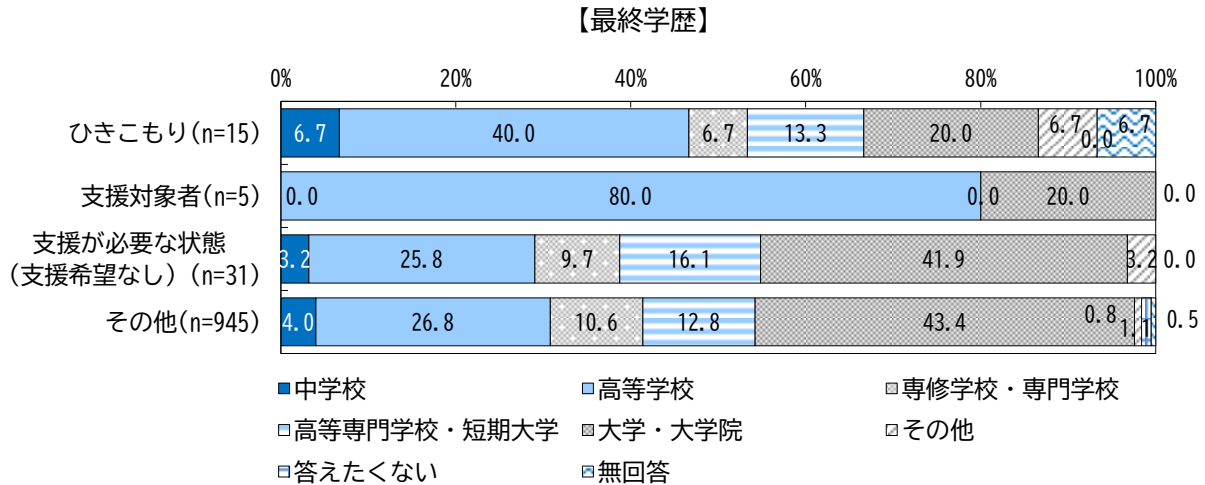
支援対象者に該当する人では、「呼吸器・肺の病気」と回答した割合が60.0%と最も高く、「精神的な病気」(40.0%)、「心臓や血管の病気」、「骨折・大ケガ」、「皮膚の病気」(20.0%)が続いている。

何らかの病気やけがを回答した割合は、ひきこもりに該当する人で80.0%、支援対象者に該当する人で100%となっている。

3 就労・就学等の状況について

(1) 最終学歴

問8 あて名の方が最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（○はひとつだけ）



最終学歴について、ひきこもりに該当する人では、「大学・大学院」と回答した割合が20.0%にとどまり、「中学校」と回答した割合が6.7%、「高等学校」と回答した割合が40.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、「大学・大学院」と回答した割合が20.0%にとどまり、「高等学校」と回答した割合が80.0%となっている。

(2) 就労・就学等の状況

問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。(○はひとつだけ)

【就労・就学等の状況】

	回答数	学生・生徒（予備校生などを含む）	正社員	契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）	会社などの役員	自営業・自由業（経営者）	家業に従事（従業員）・内職	1～6に当てはまらない就労	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
ひきこもり	15	13.3%	-	-	-	-	-	13.3%	-
支援対象者	5	20.0%	-	20.0%	20.0%	-	-	-	-
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	19.4%	41.9%	22.6%	-	-	-	-	-
その他	945	13.8%	42.1%	20.6%	3.0%	5.4%	1.3%	2.6%	-

	回答数	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職	無回答
ひきこもり	15	6.7%	-	66.7%	-
支援対象者	5	-	-	20.0%	20.0%
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	6.5%	-	9.7%	-
その他	945	7.4%	0.3%	2.9%	0.6%

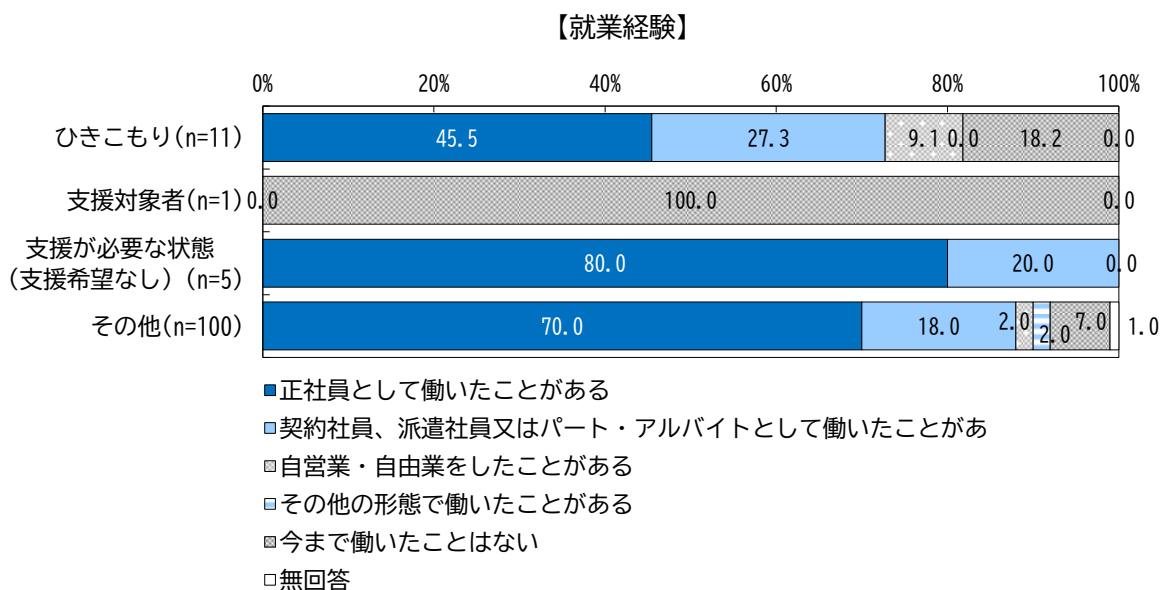
就労・就学等の状況について、ひきこもりに該当する人では、「無職」と回答した割合が66.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、「無職」と回答した割合が20.0%となっている。

(3) 就業経験

問9で「8」～「11」と回答した人のみ回答

問10 あて名の方の就業経験についてお答えください。(○はひとつだけ)



就労していない人の就業経験について、ひきこもりに該当する人では、「正社員として働いたことがある」と回答した割合が45.5%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」と回答した割合が27.3%、「今まで働いたことはない」と回答した割合が18.2%となっている。

支援対象者に該当する人では、「今まで働いたことはない」と回答した人が1人となっている。

4 活動状況について

(1) 普段自宅にいる時の過ごし方

問11 あて名の方は普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【普段自宅にいる時の過ごし方】

	回答数	テレビを見る	インターネットをする	ゲームをする	本を読む	新聞を読む	家事をする	ラジオを聴く	勉強をする
ひきこもり	15	60.0%	46.7%	40.0%	26.7%	20.0%	20.0%	6.7%	6.7%
支援対象者	5	40.0%	20.0%	80.0%	40.0%	-	40.0%	-	20.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	48.4%	48.4%	22.6%	12.9%	3.2%	25.8%	3.2%	3.2%
その他	945	62.3%	56.2%	28.0%	18.8%	11.2%	48.3%	5.7%	14.3%

	回答数	仕事をする	育児をする	介護・看護をする	その他	あてはまるものはない	わからない	無回答
ひきこもり	15	-	-	-	33.3%	-	-	6.7%
支援対象者	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	-	-	20.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	16.1%	9.7%	6.5%	9.7%	3.2%	-	-
その他	945	15.3%	17.4%	3.0%	7.0%	0.3%	1.0%	1.9%

普段自宅にいる時の過ごし方について、ひきこもりに該当する人では、「テレビを見る」と回答した割合が60.0%と最も高く、「インターネットをする」(46.7%)、「ゲームをする」(40.0%)が続いている。

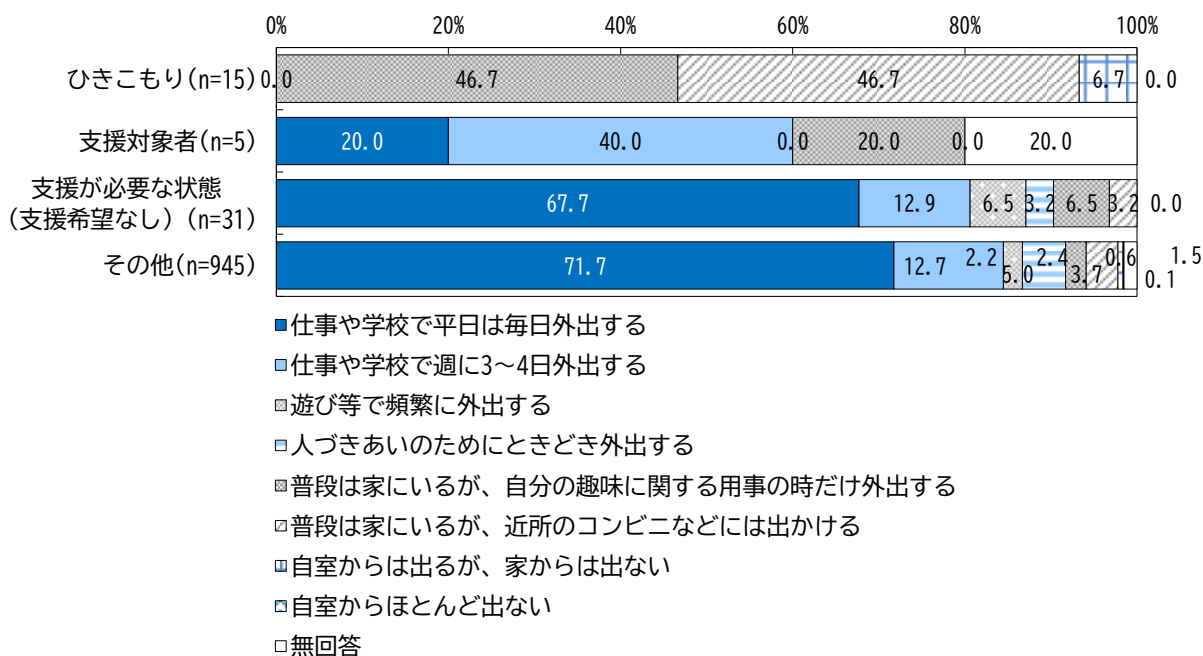
支援対象者に該当する人では、「ゲームをする」と回答した割合が80.0%と最も高く、「テレビを見る」(40.0%)、「本を読む」(40.0%)、「家事をする」(40.0%)が続いている。

(2) 現在の外出頻度

問12 あて名の方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○はひとつだけ)

【現在の外出頻度】



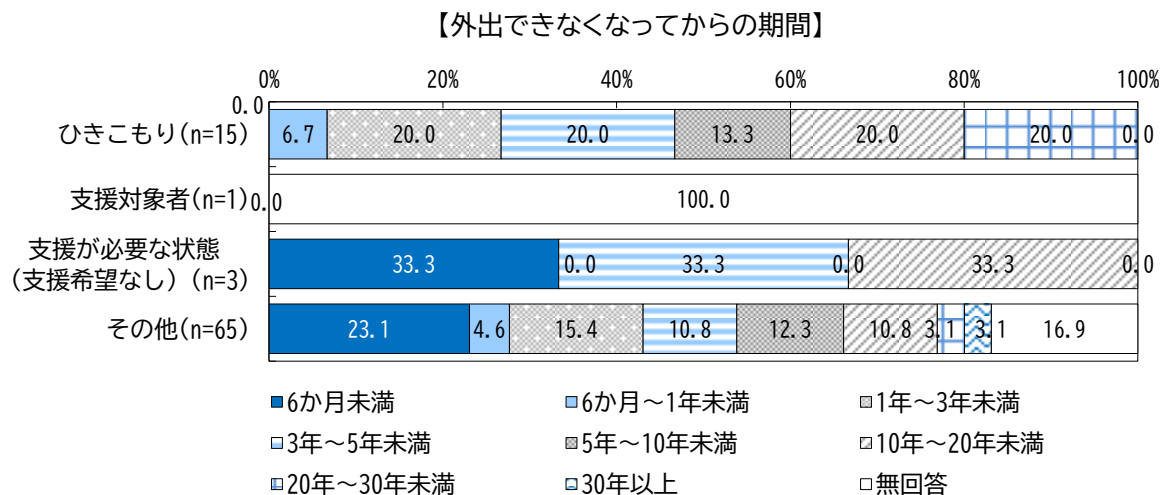
現在の外出頻度について、ひきこもりに該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答した割合がいずれも46.7%、「自室からは出るが、家からは出ない」と回答した割合が6.7%、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が0.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、「仕事や学校で週に3~4日外出する」と回答した割合が40.0%、「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と回答した割合が20.0%、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した割合が0.0%となっている。

(3) 外出できなくなってからの期間

問12で「5」～「8」と回答した人のみ回答

問13 あて名の方が、以前に比べて外出できなくなってからこれまでの期間はどのくらいですか。(〇はひとつだけ)

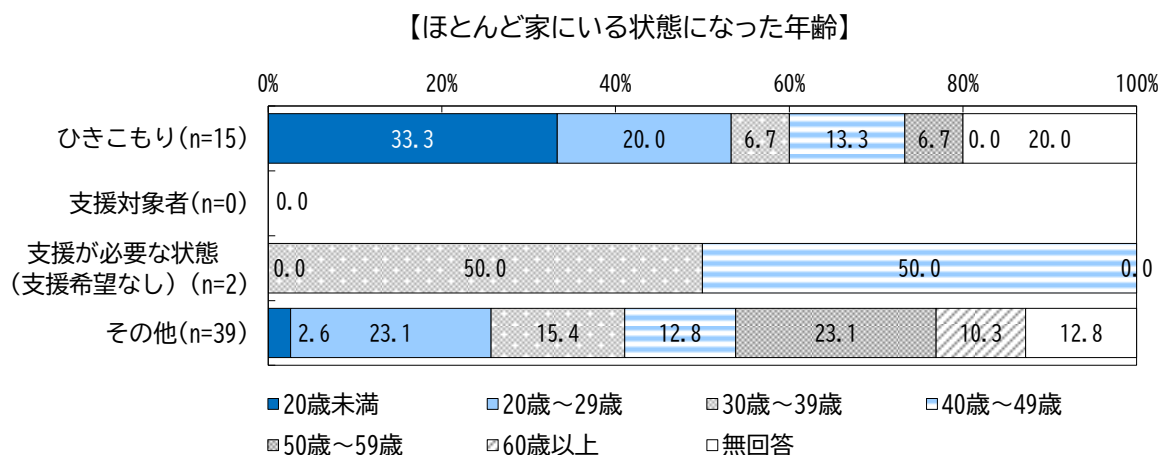


外出できなくなってからの期間について、ひきこもりに該当する人では、5年以上の割合が53.3%となっている。

(4) ほとんど家にいる状態になった年齢

問13で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問14 あて名の方の外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

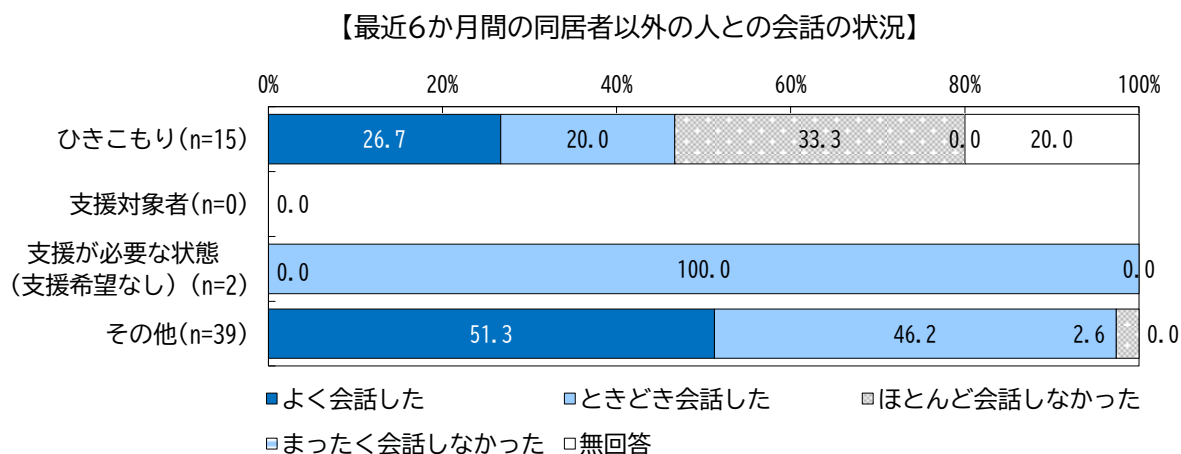


ほとんど家にいる状態になった年齢について、ひきこもりに該当する人では、「20歳未満」と回答した割合が33.3%と最も高くなっている。

(5) 最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況

問13で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問15 あて名の方は、最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)



最近6か月間の同居者以外の人との会話の状況について、ひきこもりに該当する人では、『会話した』(「よく会話した」+「ときどき会話した」)と回答した割合が46.7%、「ほとんど会話しなかった」と回答した割合が33.3%となっている。

(6) 同居していない人との交流方法

問13で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問16 どのような方法で交流することが多かったと思いますか。(〇はいくつでも)

【同居していない人との交流方法】

	回答数	直接会って話す	電話（ビデオ通話含む）	SNS・電子メール・オンラインゲーム	無回答
ひきこもり	15	53.3%	26.7%	26.7%	20.0%
支援対象者	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	2	100.0%	-	-	-
その他	39	74.4%	41.0%	35.9%	-

同居していない人との交流方法について、ひきこもりに該当する人では、「直接会って話す」と回答した割合が53.3%、「電話（ビデオ通話含む）」と「SNS・電子メール・オンラインゲーム」と回答した割合がいずれも26.7%となっている。

(7) ほとんど家にいる状態になった理由

問13で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問17 あて名の方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態になった理由】

	回答数	病気	高校生時の不登校	人間関係がうまくいかなかったこと	学校になじめなかったこと	中学生時の不登校	大学生(専門学生、短期大学生を含む)時等の不登校	職場になじめなかったこと	小学生時の不登校
ひきこもり	15	46.7%	26.7%	26.7%	20.0%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%
支援対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態(支援希望なし)	2	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	39	25.6%	2.6%	7.7%	-	7.7%	2.6%	5.1%	-

	回答数	就職活動がうまくいかなかったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	受験に失敗したこと(高校・大学等)	その他	特になし
ひきこもり	15	6.7%	6.7%	-	-	-	-	6.7%	-
支援対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態(支援希望なし)	2	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%
その他	39	-	5.1%	15.4%	28.2%	23.1%	-	10.3%	7.7%

	回答数	わからない	無回答
ひきこもり	15	-	-
支援対象者	-	-	-
支援が必要な状態(支援希望なし)	2	-	-
その他	39	10.3%	-

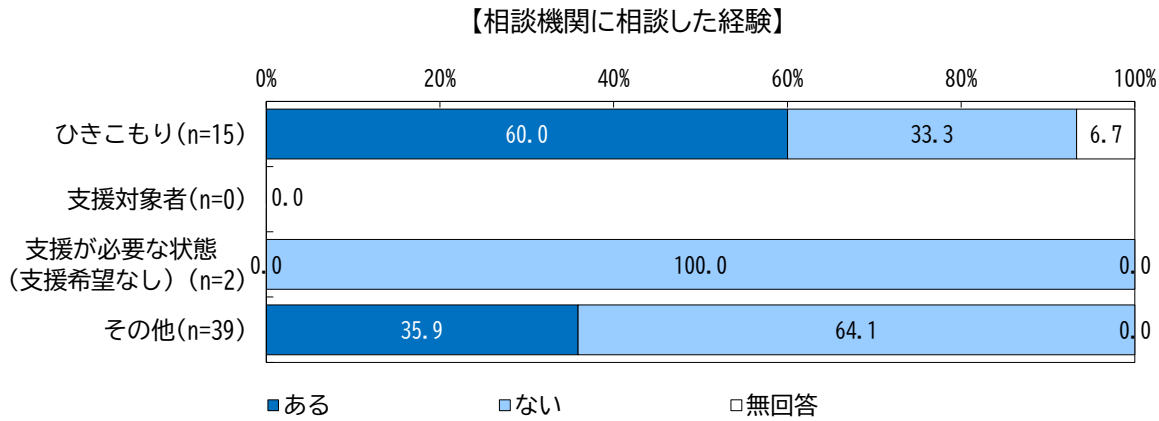
ほとんど家にいる状態になった理由について、ひきこもりに該当する人では、「病気」と回答した割合が46.7%と最も高く、「高校生時の不登校」、「人間関係がうまくいかなかったこと」(26.7%)、「学校になじめなかったこと」(20.0%)が続いている。

5 相談した経験について

(1) 相談機関に相談した経験

問13で「2」～「8」(6か月以上)と回答した人のみ回答

問18 あて名の方は、現在の状態から起こる不安や心配なことについて、相談機関に相談したことがありますか。(○はひとつだけ)



相談機関に相談した経験について、ひきこもりに該当する人では、「ある」と回答した割合が60.0%、「ない」と回答した割合が33.3%となっている。

(2) 相談したことのある相談機関

問13で「2」～「8」(6か月以上)、かつ問18で「1 (相談したことがある)」と回答した人のみ回答

問19 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【相談したことのある相談機関】

	回答数	医療機関	区役所 (福祉事務所)	児童相談 所	広島ひき こもり相 談支援セ ンター	発達障害 者支援セ ンター	地域包括 支援セン ター	職業安定 所(ハ ローワー ク)・ ジョブカ フェ・地 域若者サ ポートス テーショ ンなどの 就労支援 機関	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)
ひきこもり	9	77.8%	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%
支援対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	14	50.0%	28.6%	7.1%	-	7.1%	7.1%	-	14.3%

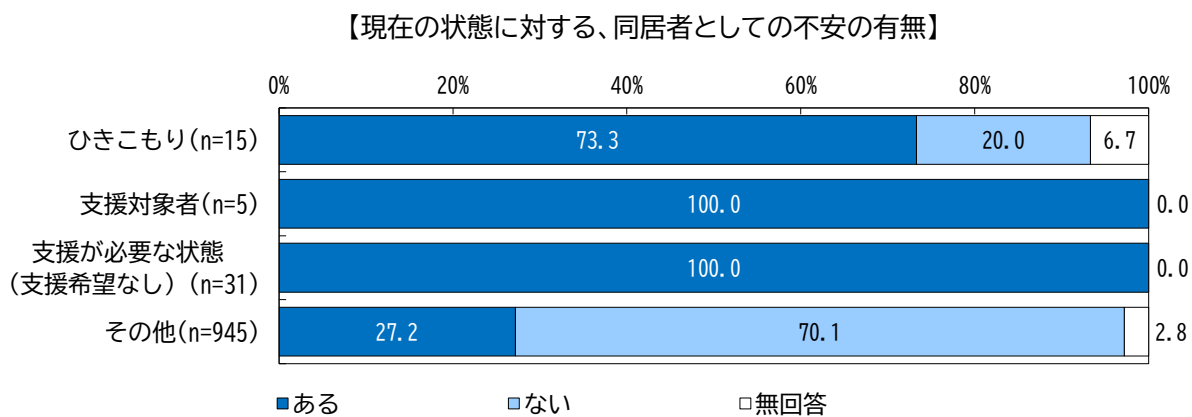
	回答数	精神保健 福祉セン ター	障害者基 幹相談支 援セン ター	民生委 員・児童 委員	保健セン ター	青少年総 合相談セ ンター	社会福祉 協議会	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)	当事者の 会・家族 会
ひきこもり	9	11.1%	11.1%	11.1%	-	-	-	-	-
支援対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	14	28.6%	-	-	-	-	7.1%	-	-

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	わから ない	無回答
ひきこもり	9	11.1%	11.1%	-	-
支援対象者	-	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-	-
その他	14	-	7.1%	-	7.1%

相談したことのある相談機関について、ひきこもりに該当する人では、「医療機関」と回答した割合が77.8%と最も高く、次いで「区役所(福祉事務所)」(33.3%)となっている。

(3) 現在の状態に対する、同居者としての不安の有無

問20 あなたは、あて名の方の現在の状態について、不安や心配なことがありますか。
 (○はひとつだけ)



現在の状態に対する、同居者としての不安の有無について、ひきこもりに該当する人では、「ある」と回答した割合が73.3%となっている。

支援対象者に該当する人では、「ある」と回答した割合が100%となっている。

(4) 現在の状態に対する、同居者としての不安の内容

問20で「1（不安がある）」と回答した人のみ回答

問21 それは、どのような不安や心配ですか。（○はいくつでも）

【現在の状態に対する、同居者としての不安の内容】

	回答数	親亡き後、どう暮らしていくのか不安	運動をしないため健康状態が心配	外出を嫌がるようになった	働くなど社会参加する意欲が見えない	生活リズムが乱れた	無気力・無関心になった	交流する人が減ってきている	働かないといけないという焦りがある
ひきこもり	11	81.8%	54.5%	45.5%	45.5%	36.4%	36.4%	27.3%	27.3%
支援対象者	5	40.0%	80.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	80.0%	40.0%
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	9.7%	38.7%	3.2%	6.5%	16.1%	9.7%	19.4%	12.9%
その他	257	11.7%	38.1%	3.9%	4.7%	10.9%	6.6%	17.1%	16.7%

	回答数	自分に自信がないような悲観的な発言が増えた	以前よりも家族内での会話が減った	履歴書の職歴に空白が出る	内科等を受診してほしい	自分の容姿に気を遣わなくなった	仕事が短期間しか続かない	家族に対する暴言、暴力がある	貯金が減っている
ひきこもり	11	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%
支援対象者	5	40.0%	40.0%	20.0%	-	40.0%	-	20.0%	40.0%
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	16.1%	29.0%	-	6.5%	9.7%	6.5%	9.7%	29.0%
その他	257	7.0%	5.4%	1.2%	3.9%	6.2%	3.9%	4.3%	26.5%

	回答数	精神科を受診してほしい	その他	無回答
ひきこもり	11	9.1%	18.2%	-
支援対象者	5	-	-	-
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	6.5%	16.1%	-
その他	257	3.1%	22.6%	2.7%

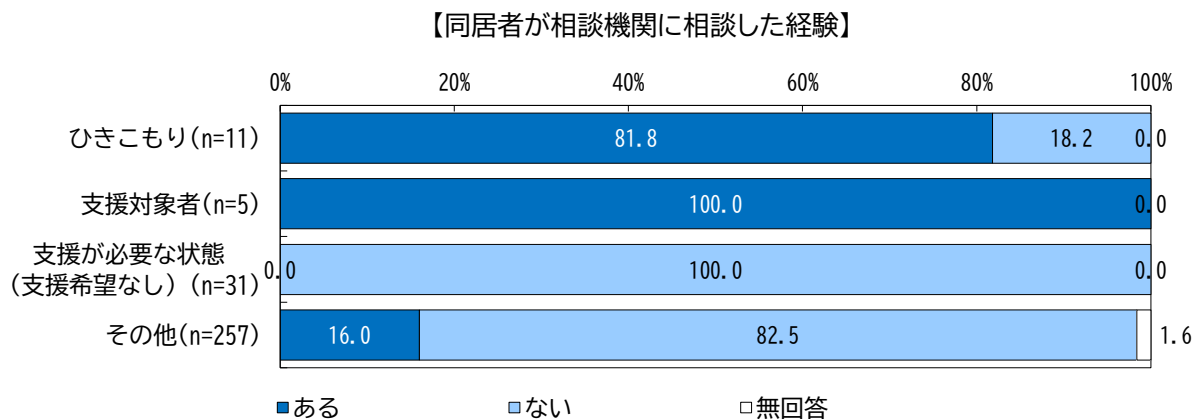
現在の状態に対する、同居者としての不安の内容について、ひきこもりに該当する人では、「親亡き後、どう暮らしていくのか不安」と回答した割合が81.8%と最も高く、「運動をしないため健康状態が心配」（54.5%）、「外出を嫌がるようになった」（45.5%）、「働くなど社会参加する意欲が見えない」（45.5%）が続いている。

支援対象者に該当する人では、「運動をしないため健康状態が心配」、「交流する人が減ってきている」と回答した割合がともに80.0%と最も高く、次いで「無気力・無関心になった」（60.0%）となっている。

(5) 同居者が相談機関に相談した経験

問20で「1（不安がある）」と回答した人のみ回答

問22 あて名の方の現在の状態について、同居されている方が相談機関に相談したことはありますか。（○はひとつだけ）



同居者が相談機関に相談した経験について、ひきこもりに該当する人では、「ある」と回答した割合が81.8%、「ない」と回答した割合が18.2%となっている。

支援対象者に該当する人では、「ある」と回答した割合が100%となっている。

(6) 同居者が相談したことのある相談機関

問20で「1（不安がある）」、かつ問22で「1（相談したことがある）」と回答した人のみ回答

問23 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある相談機関等をすべて選んでください。（○はいくつでも）

【同居者が相談したことのある相談機関】

	回答数	医療機関	区役所 (福祉事務所)	学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	広島ひきこもり相談支援センター	発達障害者支援センター	児童相談所	保健センター	精神保健福祉センター
ひきこもり	9	88.9%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%
支援対象者	5	60.0%	-	40.0%	-	-	20.0%	-	40.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	41	53.7%	29.3%	19.5%	2.4%	7.3%	17.1%	17.1%	14.6%

	回答数	障害者基幹相談支援センター	地域包括支援センター	職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関	青少年総合相談センター	社会福祉協議会	生活困窮者向けの相談窓口(くらしサポートセンター)	民生委員・児童委員	当事者の会・家族会
ひきこもり	9	11.1%	11.1%	11.1%	-	-	-	-	-
支援対象者	5	-	-	20.0%	20.0%	-	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	41	7.3%	4.9%	7.3%	7.3%	2.4%	4.9%	-	2.4%

	回答数	上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	その他の施設・機関	無回答
ひきこもり	9	22.2%	-	-
支援対象者	5	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	-	-	-	-
その他	41	4.9%	12.2%	-

同居者が相談したことのある相談機関について、ひきこもりに該当する人では、「医療機関」と回答した割合が88.9%と最も高く、「区役所（福祉事務所）」（33.3%）、「学校（担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど）」（33.3%）、「広島ひきこもり相談支援センター」（33.3%）、「発達障害者支援センター」（33.3%）が続いている。

支援対象者に該当する人では、「医療機関」と回答した割合が60.0%と最も高く、「学校（担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど）」（40.0%）、「精神保健センター」（40.0%）が続いている。

(7) 同居者が相談しなかった理由

問20で「1（不安がある）」、かつ問22で「2（相談したことは）ない」と回答した人のみ回答

問25 相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

【同居者が相談しなかった理由】

	回答数	あて名の方のことも他人に知られたくなかった	相談しても解決できないと思った	何を聞かれないか不安に思った	相手にうまく話せないと思った	相談したことをあて名の方に知られたくなかった	相談したことを他の家族に知られたくなかった	家族内で相談することに関する意見が分かれた	お金がかかると思った
ひきこもり	2	-	-	-	-	-	-	-	-
支援対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	3.2%	25.8%	3.2%	3.2%	6.5%	-	3.2%	-
その他	212	2.8%	25.0%	3.3%	3.8%	2.4%	1.9%	1.9%	5.2%

	回答数	相談機関が近くにない	その他	特に理由はなかった	無回答
ひきこもり	2	-	-	50.0%	50.0%
支援対象者	-	-	-	-	-
支援が必要な状態（支援希望なし）	31	3.2%	19.4%	45.2%	3.2%
その他	212	2.4%	13.7%	54.2%	3.3%

(8) 同居者が知っている相談機関

問26 あなたの知っている本市の相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

※あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。

【同居者が知っている相談機関】

	回答数	区役所 (福祉事 務所)	医療機関	地域包括 支援セン ター	民生委 員・児童 委員	児童相談 所	学校(担 任、養護 教諭、ス クールカ ウンセ ラーな ど)	職業安定 所(ハ ローワ ーク)・ ジョブカ フェ・地 域若者サ ポートス テーショ ンなどの 就労支援 機関	社会福祉 協議会
ひきこもり	15	66.7%	53.3%	40.0%	40.0%	33.3%	26.7%	26.7%	20.0%
支援対象者	5	60.0%	60.0%	60.0%	20.0%	80.0%	80.0%	40.0%	20.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	83.9%	38.7%	25.8%	29.0%	38.7%	45.2%	48.4%	29.0%
その他	945	81.0%	50.2%	39.3%	33.4%	45.6%	48.8%	51.5%	28.1%

	回答数	精神保健 福祉セン ター	広島ひき こもり相 談支援セン ター	発達障害 者支援セン ター	保健セン ター	青少年総 合相談セン ター	当事者の 会・家族 会	障害者基 幹相談支 援セン ター	生活困窮 者向けの 相談窓口 (くらし サポート セン ター)
ひきこもり	15	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	-
支援対象者	5	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	16.1%	12.9%	19.4%	48.4%	19.4%	6.5%	3.2%	3.2%
その他	945	11.9%	6.2%	16.1%	49.2%	16.9%	5.2%	6.2%	8.6%

	回答数	上記以外 の民間の 相談機 関・支援 機関(N PO等)	その他の 施設・機 関	知ってい るものは ない	無回答
ひきこもり	15	13.3%	-	-	-
支援対象者	5	20.0%	-	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	6.5%	-	-	3.2%
その他	945	3.9%	1.4%	5.0%	2.3%

同居者が知っている相談機関について、ひきこもりに該当する人では、「区役所(福祉事務所)」と回答した割合が66.7%と最も高く、「医療機関」(53.3%)、「地域包括支援センター」(40.0%)、「民生委員・児童委員」(40.0%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「児童相談所」、「学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)」と回答した割合がともに80.0%と最も高く、「区役所(福祉事務所)」(60.0%)、「医療機関」(60.0%)、「地域包括支援センター」(60.0%)、「精神保健福祉センター」(60.0%)、「青少年総合相談センター」(60.0%)が続いている。

6 これまでの経験について

(1) これまでの困難な経験の有無

問27 あて名の方は、これまでに次のような経験をしたことがありますか。(○はいくつでも)

【これまでの困難な経験の有無】

	回答数	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	学校になじめなかったこと	高校生時の不登校	小学生時の不登校	中学生時の不登校	職場になじめなかったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと
ひきこもり	15	40.0%	40.0%	26.7%	26.7%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
支援対象者	5	40.0%	40.0%	80.0%	20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	22.6%	16.1%	6.5%	3.2%	-	6.5%	-	16.1%
その他	945	13.8%	13.7%	4.0%	1.8%	1.4%	2.5%	6.5%	27.4%

	回答数	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	就職活動がうまくいかなかったこと	退職したこと	受験に失敗したこと(高校・大学等)	妊娠したこと	介護・看護を担うことになったこと	その他	わからない
ひきこもり	15	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	-	-	-	-
支援対象者	5	-	40.0%	-	-	-	20.0%	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	6.5%	6.5%	12.9%	6.5%	6.5%	12.9%	-	9.7%
その他	945	1.2%	4.7%	19.0%	6.3%	17.6%	4.9%	1.1%	8.5%

	回答数	ない	無回答
ひきこもり	15	-	13.3%
支援対象者	5	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	25.8%	6.5%
その他	945	28.8%	6.8%

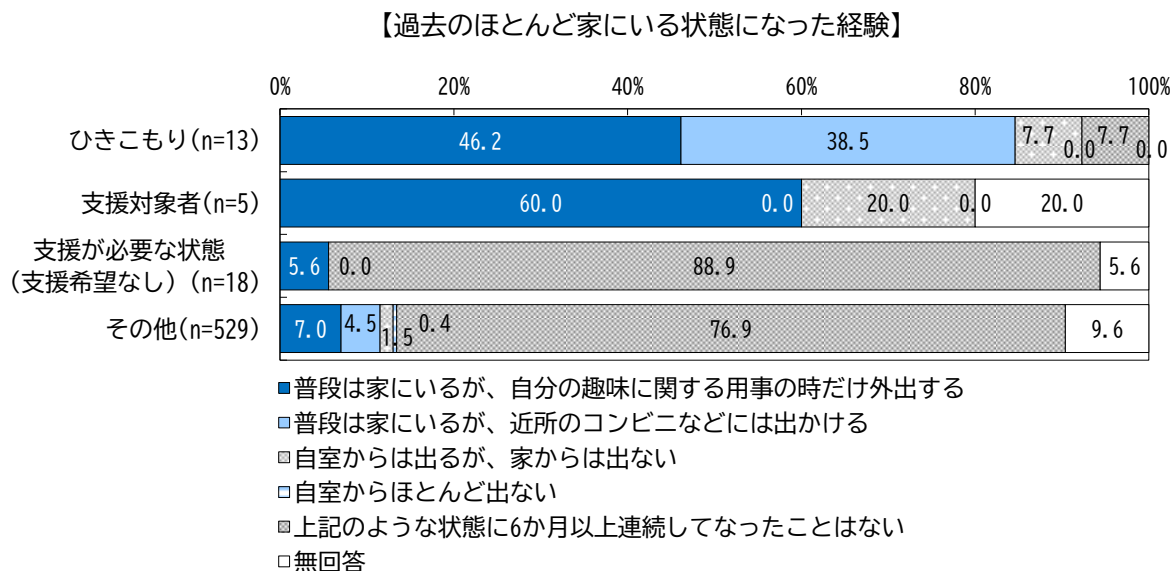
これまでの困難な経験の有無について、ひきこもりに該当する人では、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」と回答した割合がともに40.0%と最も高く、「学校になじめなかったこと」(26.7%)、「高校生時の不登校」(26.7%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「学校になじめなかったこと」と回答した割合が80.0%と最も高く、次いで「中学生時の不登校」(60.0%)となっている。

(2) 過去のほとんど家にいる状態になった経験

問27で「1」～「15」と回答した人のみ回答

問28 あて名の方は、過去に6か月以上連続して、次のような状態になったことはありますか。
(○はひとつだけ)



過去6か月以上連続してほとんど家にいる状態になった経験について、ひきこもりに該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(46.2%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(38.5%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(7.7%)をすべてを合わせると、92.4%となっている。

支援対象者に該当する人では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(60.0%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(20.0%)をすべてを合わせると、80.0%となっている。

(3) ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ

問27で「1」～「15」、かつ問28で「1」～「4」と回答した人のみ回答

問29 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。
(○はいくつでも)

【ほとんど家にいる状態が改善したきっかけ】

	回答数	家族や親戚の助け	病院に行き行って相談したこと	時間がたって状況が変化したこと	相談できる場所に行き行って相談したこと	就職・転職したこと	自分の努力で乗りこえたこと	友人の助け	学校の先生に相談したこと
ひきこもり	12	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	-	-
支援対象者	4	50.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	25.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	71	47.9%	25.4%	14.1%	8.5%	11.3%	23.9%	16.9%	8.5%

	回答数	スクールカウンセラーや養護教諭などに相談したこと	地域の人の助け	電話相談を利用したこと	SNSやメール相談などを利用したこと	同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	趣味の活動に参加したこと	その他	わからない、答えられない
ひきこもり	12	-	-	-	-	-	-	8.3%	8.3%
支援対象者	4	-	-	-	-	-	25.0%	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	71	1.4%	2.8%	1.4%	-	-	7.0%	2.8%	7.0%

	回答数	改善していない	無回答
ひきこもり	12	33.3%	-
支援対象者	4	50.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	1	100.0%	-
その他	71	7.0%	9.9%

ほとんど家にいる状態が改善したきっかけについて、ひきこもりに該当する人では、「家族や親戚の助け」と回答した割合が25.0%と最も高く、「病院に行き行って相談したこと」(16.7%)、「時間がたって状況が変化したこと」(16.7%)が続いている。

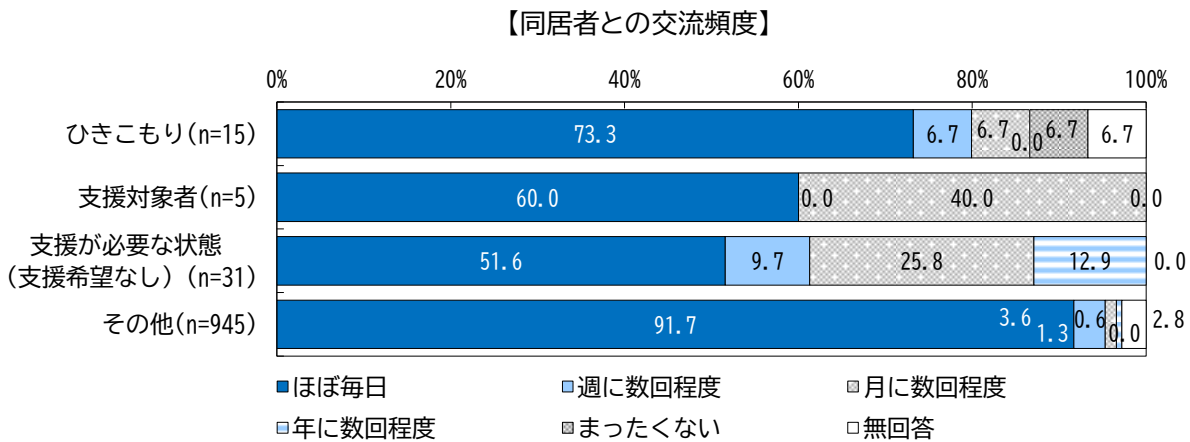
支援対象者に該当する人では、「家族や親戚の助け」と回答した割合が50.0%と最も高くなっている。

また、「改善していない」と回答した割合が、ひきこもりに該当する人で33.3%、支援対象者に該当する人で50.0%となっている。

7 あて名の方の周囲とのかかわり方について

(1) 同居者との交流頻度

問30 あて名の方と同居家族の交流頻度についてお答えください。(○はひとつだけ)

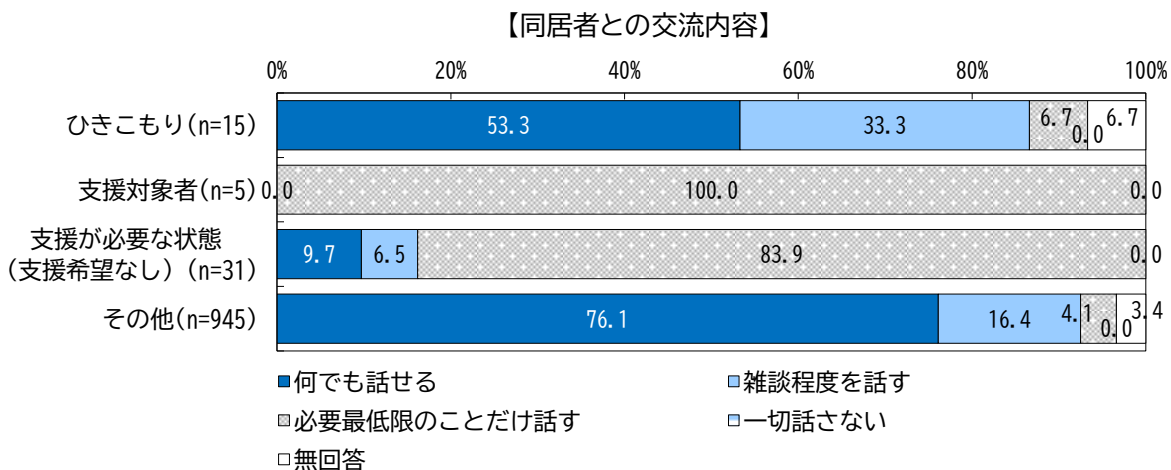


同居者との交流頻度について、ひきこもりに該当する人では、「月に数回程度」と回答した割合が6.7%、「まったくない」と回答した割合が6.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、「月に数回程度」と回答した割合が40.0%となっている。

(2) 同居者との交流内容

問31 あて名の方と同居家族の交流の内容についてお答えください。(○はひとつだけ)



同居者との交流内容について、ひきこもりに該当する人では、「雑談程度を話す」と回答した割合が33.3%、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合が6.7%となっている。

支援対象者に該当する人では、「必要最低限のことだけ話す」と回答した割合が100%となっている。

(3) 家族団らんのイメージ・理想

問32 あなたの家族団らんのイメージもしくは理想は何ですか。(〇はいくつでも)

【家族団らんのイメージ・理想】

	回答数	毎日、他愛のない会話をする	家族で食卓を囲む	毎日笑う時間がある	自宅でゆったり過ごす	一緒にテレビを見る	一緒に外食をする	家族の相談を真摯に聞く	一緒に趣味を楽しむ
ひきこもり	15	86.7%	73.3%	53.3%	46.7%	40.0%	40.0%	26.7%	20.0%
支援対象者	5	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	-	-	20.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	83.9%	41.9%	45.2%	38.7%	25.8%	38.7%	32.3%	19.4%
その他	945	84.0%	68.7%	66.3%	66.6%	46.0%	48.6%	43.9%	29.4%

	回答数	その他	無回答
ひきこもり	15	6.7%	6.7%
支援対象者	5	-	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	-	-
その他	945	1.5%	3.2%

家族団らんのイメージ・理想について、ひきこもりに該当する人では、「毎日、他愛のない会話をする」と回答した割合が86.7%と最も高く、「家族で食卓を囲む」(73.3%)、「毎日笑う時間がある」(53.3%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「毎日、他愛のない会話をする」と回答した割合が60.0%と最も高く、「毎日笑う時間がある」(40.0%)、「自宅でゆったり過ごす」(40.0%)が続いている。

8 必要だと思う市の支援

問34 広島市では、身体の病気以外の理由で普段外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思う順に、枠内に数字を並べ替えてください。※あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。

【最も必要だと思う市の支援】

	回答数	相談窓口の周知	本人への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	相談窓口の充実	こころの病気に関する正しい知識の普及	ひきこもりに関する正しい知識の普及	家族等への直接的な支援	支援者への研修
ひきこもり	15	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	13.3%	6.7%	-	-
支援対象者	5	-	-	20.0%	-	-	20.0%	20.0%	-
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	32.3%	19.4%	3.2%	12.9%	9.7%	-	3.2%	3.2%
その他	945	32.6%	11.0%	7.8%	8.8%	12.0%	3.4%	5.9%	1.3%

	回答数	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり	無回答
ひきこもり	15	-	6.7%
支援対象者	5	-	40.0%
支援が必要な状態 (支援希望なし)	31	3.2%	12.9%
その他	945	2.1%	15.1%

最も必要だと思う市の支援について、ひきこもりに該当する人では、「相談窓口の周知」、「本人への直接的な支援」、「本人が参加できる居場所等をつくる」と回答した割合がいずれも20.0%となっている。

支援対象者に該当する人では、「本人が参加できる居場所等をつくる」、「ひきこもりに関する正しい知識の普及」、「家族等への直接的な支援」と回答した割合がいずれも20.0%となっている。

【必要だと思う市の支援(上位3位*)】

※上位3位までを複数回答として集計

	回答数	本人への直接的な支援	本人が参加できる居場所等をつくる	相談窓口の充実	相談窓口の周知	こころの病気に関する正しい知識の普及	ひきこもりに関する正しい知識の普及	職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり	家族等への直接的な支援
ひきこもり	15	53.3%	53.3%	46.7%	40.0%	33.3%	26.7%	20.0%	6.7%
支援対象者	5	-	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
支援が必要な状態(支援希望なし)	31	32.3%	22.6%	48.4%	61.3%	32.3%	16.1%	9.7%	32.3%
その他	945	35.4%	24.1%	41.0%	51.1%	38.4%	19.9%	8.5%	26.2%

	回答数	支援者への研修	無回答
ひきこもり	15	-	6.7%
支援対象者	5	-	40.0%
支援が必要な状態(支援希望なし)	31	6.5%	12.9%
その他	945	6.8%	15.1%

必要だと思う市の支援(上位3位)について、ひきこもりに該当する人では、「本人への直接的な支援」、「本人が参加できる居場所等をつくる」と回答した割合がともに53.3%と最も高く、「相談窓口の充実」(46.7%)、「相談窓口の周知」(40.0%)が続いている。

支援対象者に該当する人では、「相談窓口の周知」、「職場体験(就労体験)ができる仕組みづくり」と回答した割合がともに40.0%と最も高くなっている。

参考 ひきこもり・支援対象者の選定手順

1 ひきこもり

《本人票》

今回の調査では、社会的自立に至っているかどうかに着目して、以下のように定義する。

「問16 あなたは現在、どのくらい外出しますか。」で、下記の5～8を選択した者

- 5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

で、かつ

「問17 あなたが、以前に比べて外出できなくなってからこれまでの期間はどのくらいですか。」で、6か月以上と回答した者

であって、次の3類型（①～③）のいずれにも該当しない者

① 「問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、「病気（病名： ）」を選択し、統合失調症又は身体的病気の病名を記入した者

② ① 「問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、
・「妊娠したこと」を選択した者
・「介護・看護を担うことになったこと」を選択した者
・「その他（ ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した者
又は
② 「問11 あなたの現在の仕事をお答えください。」で、「専業主婦・主夫」又は「家事手伝い」を選択した者
又は
③ 「問33 普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。」で、「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」を選択した者

のいずれかで、かつ

「問44 最近6か月間に、同居者以外の人と会話をしましたか。」で、「よく会話をした」又は「ときどき会話をした」を選択した者

③ 「問11 あなたの現在の仕事をお答えください。」で、「会社などの役員」、「自営業・自由業（経営者）」又は「家業に従事（従業員）・内職」を選択した者

又は

① 「問11 あなたの現在の仕事をお答えください。」で、「正社員」又は「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」を選択した者

又は

② 「問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した者

又は

③ 「問33 普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。」で、「仕事をする」を選択した者

のいずれかで、かつ

「問11 あなたの現在の仕事をお答えください。」で、「正社員」、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」、「会社などの役員」、「自営業・自由業（経営者）」、「家業に従事（従業員）・内職」、「上記に当てはまらない就労」を選択した者※

※令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」（内閣府）では、

「あなたの就業経験についてお答えください。」で、「現在、就業している」を選択した者と示しているが、本調査では上記の問とする。

《同居者票》

今回の調査では、社会的自立に至っているかどうかに着目して、以下のように定義する。

「問12 あて名の方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。」で、下記の5～8を選択した者

- 5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

で、かつ

「問13 あて名の方が、以前に比べて外出できなくなってからこれまでの期間はどのくらいですか。」で、6か月以上と回答した者

であって、次の3類型（①～③）のいずれにも該当しない者

① 「問17 あて名の方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、「病気（病名： ）」を選択し、統合失調症又は身体的病気の病名を記入した者

② ① 「問17 あて名の方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、
・「妊娠したこと」を選択した者
・「介護・看護を担うことになったこと」を選択した者
・「その他（ ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した者

又は

② 「問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。」で、「専業主婦・主夫」又は「家事手伝い」を選択した者

又は

③ 「問11 あて名の方は普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。」で、「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」を選択した者

のいずれかで、かつ

「問15 あて名の方は、最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。」で、「よく会話した」又は「ときどき会話した」を選択した者

③ 「問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。」で、「会社などの役員」、「自営業・自由業（経営者）」又は「家業に従事（従業員）・内職」を選択した者

又は

① 「問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。」で、「正社員」又は「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」を選択した者

又は

② 「問17 あて名の方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。」で、「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した者

又は

③ 「問11 あて名の方は普段ご自宅（暮らしている場所）にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。」で、「仕事をする」を選択した者

のいずれかで、かつ

「問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。」で、「正社員」、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）」、「会社などの役員」、「自営業・自由業（経営者）」、「家業に従事（従業員）・内職」、「上記に当てはまらない就労」を選択した者※

※令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」（内閣府）では、

「あなたの就業経験についてお答えください。」で、「現在、就業している」を選択した者と示しているが、本調査では上記の問とする。

2 支援対象者

《本人票》

【手順1】支援対象者候補を選定する

(1) ①かつ②の該当者を「支援対象者候補」とする

①「問7 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、いかがですか。あなたの実感でお答えください。」で、「大変苦しい」、「やや苦しい」を選択した者

又は、

「問8 これまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。」で、通院や入院をしたことがある病気やけがを選択した者

又は、

「問9 次の中で、あなたのこころの状態にあてはまるものはありますか。」で、下記のいずれかを選択した者

「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」
「人に会うのが怖いと感じる」
「知り合いに会うことを考えると不安になる」
「集団の中に溶け込めない」
「繰り返し確認しないと落ち着かない」
「自分に厳しい」
「家族に申しわけないと思うことが多い」
「絶望的な気分になることがよくある」
「生きるのが苦しいと感じることがある」
「食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない」
「自分の身体が清潔かどうか常に気になる」
「家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある」
「壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある」
「大声を上げて怒鳴り散らすことがある」
「自分を傷つけてしまうことがある」
「アルコールを飲まずにはいられないことがある」
「何らかの薬を飲まずにはいられないことがある」
「パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない」
「ギャンブルをやめたいのにやめられない」

又は、

「問15 あなたが就職・進学を希望していない、または就職活動をしていない理由についてお答えください。」で、下記のいずれかを選択した者

「からだやこころの不調のため」
「身体的な病気・障害のため」
「精神的な病気・障害のため」
「自分に合う仕事が見つからないため」
「知識・能力に自信がないため」
「就職活動（面接等）に不安があるため」
「人間関係に不安があるため」
「責任を負うことへの不安があるため」
「長時間働くことが難しいため」
「意欲がわかないため」
「妊娠・出産・育児のため」
「介護・看護のため」
「定年（早期）退職したため」

又は、

「問20 あなたは現在の外出頻度に満足していますか。」で、「満足していない」を選択した者

で、かつ

「問21 満足していない理由は何ですか。」で、下記のいずれかを選択した者

「多忙で疲れる」 「仕事に行くのが辛い」
「職場の人間関係で悩んでいる」 「人づきあいに疲れる」
「経済的に苦しい」 「将来の焦りを感じる」

又は、

「問35 これまでに、次のような経験をしたことがありますか。」で、下記のいずれかを選択した者

「小学生時の不登校」 「中学生時の不登校」 「高校生時の不登校」
「大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校」
「ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態）」
「初めての就職から1年以内に離職・転職した」
「35歳以上での無職」

で、かつ

② 「問42 同居している人との交流頻度についてお答えください。」で、「月に数回程度」、「年に数回程度」、「まったくない」を選択した者

又は、

「問43 同居している人との交流の内容についてお答えください。」で、「必要最低限のことだけ話す」、「一切話さない」を選択した者

又は、

「問45 同居していない人とのコミュニケーションについてそれぞれお答えください。」で、「直接会って話す」、「電話（ビデオ通話含む）」、「SNS・電子メール・オンラインゲーム」のいずれかで、「まったくない」を選択した者

(2) ③の該当者を「支援対象者候補」とする

③ 「問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。」で、
・「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」で、「常にある」、「時々ある」を選択した者

又は、

・「自分は取り残されていると感じることがある」で、「常にある」、「時々ある」を選択した者

又は、

・「自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」で、「常にある」、「時々ある」を選択した者

又は、

「問40 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。」で、「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」を選択した者

又は、

「問41 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。」で、

・「家族とのかかわり方」で、「不満である」、「やや不満である」を選択した者

又は、

・「家族以外の人とのかかわり方」で、「不満である」、「やや不満である」を選択した者

又は、

・「社会とのかかわり方」で、「不満である」、「やや不満である」を選択した者

【手順2】支援対象者を選定する

支援が必要な状態にある者のうち、④「支援を希望する」者を「支援対象者」とする

④「問23 あなたは普段悩み事ができた時に、他の人に相談をしたいと思いますか。」で、「はい」を選択した者で、

かつ、

「問27 あなたには現在、困りごとがありますか。」で、「ある」を選択した者

※ひきこもり判定と支援対象者判定が重複する者は、ひきこもり判定を優先する。

《同居者票》

【手順1】支援対象者候補を選定する

①かつ②の該当者を「支援対象者候補」とする

① 「問6 あて名の方の現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、どのよう
に思いますか。あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。」で、「大変苦
しい」、「やや苦しい」を選択した者

又は、

「問7 あて名の方がこれまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありませ
るか。」で、通院や入院をしたことがある病気やけがを選択した者

又は、

「問15 あて名の方は、最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。」で、「ま
ったく会話しなかった」、「ほとんど会話しなかった」を選択した者

又は、

「問27 あて名の方は、これまでに次のような経験をしたことがありますか。」で、下記
のいずれかを選択した者

「学校になじめなかったこと」

「小学生時の不登校」 「中学生時の不登校」 「高校生時の不登校」

「大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校」

「受験に失敗したこと（高校・大学等）」

「就職活動がうまくいかなかったこと」

「職場になじめなかったこと」

「人間関係がうまくいかなかったこと」

「病気」

「妊娠したこと」

「退職したこと」

「介護・看護を担うことになったこと」

「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」

「その他」

で、かつ

②「問30 あて名の方と同居家族の交流頻度についてお答えください。」で、「月に数回程度」、「年に数回程度」、「まったくない」を選択した者

又は、

「問31 あて名の方と同居家族の交流の内容についてお答えください。」で、「必要最低限のことだけ話す」、「一切話さない」を選択した者

【手順2】支援対象者(家族)を選定する

支援対象者候補のうち、③の該当者を「支援対象者(家族)」とする

③「問20 あなたは、あて名の方の現在の状態について、不安や心配なことがありますか。」で、「ある」を選択した者

かつ、

「問22 あて名の方の現在の状態について、同居されている方が相談機関に相談したことはありますか。」で、「ある」を選択した者

※ひきこもり判定と支援対象者判定が重複する者は、ひきこもり判定を優先する。

付属資料

1 本人調査票

所要時間
10分～15分

広島市 生活状況に関する調査

この調査は、広島市民の皆様の生活状況についてお伺いするもので、調査結果は広島市の今後の施策運営などの基礎資料とさせていただきます。

個人情報をお伺いする質問はありません。また、回答内容が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

なお、この調査は、広島市にお住まいの15歳から64歳までの方や、その同居者の方を無作為抽出し、合計10,000人に対してご協力をお願いしています。

【ご記入にあたってのお願い】

- ・調査票には、あて名のご本人様がお答えください。
- ・答えたくない質問にはご回答は不要です。
- ・ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、

8月31日（日）までに投函してください。

※インターネットでご回答いただくこともできます。質問内容は同じですので、郵便かインターネットのどちらかで、上記の期日までにご回答ください。

インターネットでの回答は、下記の指定ページまたはQRコードからお答えください。

【インターネット回答用の指定ページ】

広島市ホームページ→「情報をさがす」→ページ番号からさがすに「1042018」と入力し検索。

【QRコード】



点字版、音声変換用テキストファイル、ルビ振り版をご希望の場合は、下記の間合せ先へご連絡ください。

間合せ先：広島市役所健康福祉局

所在地：広島市中区国泰寺町1-6-34

電話番号：082-504-2956（平日 午前9時～午後4時30分）

ご自身やご家族のことについて

【全員にお聞きします。】

問1 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつだけ)

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

問2 あなたの年齢をお答えください。(〇はひとつだけ)

1 15歳～19歳	2 20歳～24歳	3 25歳～29歳
4 30歳～34歳	5 35歳～39歳	6 40歳～44歳
7 45歳～49歳	8 50歳～54歳	9 55歳～59歳
10 60歳～64歳		

問3 あなたがお住いの区はどちらですか。(〇はひとつだけ)

1 中区	2 東区	3 南区	4 西区	5 安佐南区
6 安佐北区	7 安芸区	8 佐伯区		

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇はいくつでも)
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「8 その他」をお選びください。

1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母
5 配偶者	6 子	7 その他親族	
8 その他(ホームステイをしている人など)(具体的に:)			
9 同居している人はいない			

問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇はいくつでも)

1 あなた自身	2 父	3 母	4 配偶者
5 きょうだい	6 あなたの子	7 その他(具体的に:)	
8 わからない、答えられない			

問6 主に生計を支えている方の収入源を1つお答えください。(〇はひとつだけ)

1 就労、事業による収入(農業収入を含む)			
2 預金やその利息、財産からの収入(株配当や不動産賃料など)			
3 年金	4 生活保護	5 その他(具体的に:)	
6 不明、答えられない			

問7 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、世間一般と比べてみて、いかがですか。
あなたの実感でお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|------------|------|
| 1 大変ゆとりがある | 2 ややゆとりがある | 3 普通 |
| 4 やや苦しい | 5 大変苦しい | |

問8 これまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|------------------|----------|
| 1 心臓や血管の病気 | 2 呼吸器・肺の病気 | 3 胃や腸の病気 |
| 4 精神的な病気 | 5 目や耳の病気 | 6 皮膚の病気 |
| 7 骨折・大ケガ | 8 悪性新生物(がん) | |
| 9 その他の病気() | 10 通院や入院をしたことはない | |

問9 次の中で、あなたのこころの状態にあてはまるものはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1 楽観的だ | 2 困ったことが起きても動じない |
| 3 相手の気持ちを考えながら行動する | 4 他の人から認められたい |
| 5 相手の話を聴くことが好き | 6 自分の話をすることが好き |
| 7 自分の考えを的確に相手に伝えることは得意 | 8 相手を笑わせることが好き |
| 9 他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる | |
| 10 人に会うのが怖いと感じる | 11 知り合いに会うことを考えると不安になる |
| 12 集団の中に溶け込めない | 13 繰り返し確認しないと落ち着かない |
| 14 自分に厳しい | 15 家族に申しわけないと思うことが多い |
| 16 絶望的な気分になることがよくある | 17 生きるのが苦しいと感じることがある |
| 18 食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない | |
| 19 自分の身体が清潔かどうか常に気になる | |
| 20 家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある | |
| 21 壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある | |
| 22 大声を上げて怒鳴り散らすことがある | 23 自分を傷つけてしまうことがある |
| 24 アルコールを飲まずにはいられないことがある | |
| 25 何らかの薬を飲まずにはいられないことがある | |
| 26 パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない | |
| 27 ギャンブルをやめたいのにやめられない | |
| 28 特にない | |

あなたの就労・就学等の状況について

【全員にお聞きします。】

問10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。

在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（○はひとつだけ）

1 中学校	2 高等学校	3 専修学校・専門学校
4 高等専門学校・短期大学	5 大学・大学院	
6 その他（具体的に： _____）		
7 答えたくない		

問11 あなたの現在の仕事をお答えください。（○はひとつだけ）

1 学生・生徒（予備校生などを含む）	2 正社員	
3 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生は除く）		
4 会社などの役員	5 自営業・自由業（経営者）	6 家業に従事（従業員）・内職
7 1～6に当てはまらない就労（具体的に： _____）		
8 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない		
9 専業主婦・主夫	10 家事手伝い	11 無職

→ 問16へ

【問12～15は、問11で「8」～「11」を選んだ方のみ、お答えください。】

問12 あなたの就業経験についてお答えください。（○はひとつだけ）

1 正社員として働いたことがある
2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある （学生時代の経験は含みません）
3 自営業・自由業をしたことがある
4 その他の形態で働いたことがある（具体的に： _____）
5 今まで働いたことはない

問13 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)

1 就職希望	2 進学希望	3 どちらも希望していない
--------	--------	---------------

問14 現在、就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)

1 している	→ 問16へ
2 していない	

↓

【問15は、問14で「2 していない」を選んだ方のみお答えください。】

問15 あなたが就職・進学を希望していない、または就職活動をしていない理由についてお答えください。(○はいくつでも)

1 進学準備のため	2 資格試験・就職等の準備のため
3 起業準備のため	4 からだやこころの不調のため
5 身体的な病気・障害のため	6 精神的な病気・障害のため
7 自分に合う仕事が見つからないため	8 知識・能力に自信がないため
9 就職活動(面接等)に不安があるため	10 人間関係に不安があるため
11 責任を負うことへの不安があるため	12 長時間働くことが難しいため
13 家族からの経済的支援や貯金があるため	14 投資などによる収入があるため
15 意欲がわからないため	16 妊娠・出産・育児のため
17 介護・看護のため	18 定年(早期)退職したため
19 その他(理由: _____))

あなたの活動状況について

【全員にお聞きします。】

問16 あなたは現在、どのくらい外出しますか。（〇はひとつだけ）

1 仕事や学校で平日は毎日外出する	2 仕事や学校で週に3~4日外出する	→ 問20へ
3 遊び等で頻繁に外出する	4 人づきあいのためにときどき外出する	
5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する		
6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける		
7 自室からは出るが、家からは出ない		
8 自室からほとんど出ない		

【問17は、問16で「5」~「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問17 あなたが、以前に比べて外出できなくなってからこれまでの期間はどのくらいですか。

（〇はひとつだけ）

1 6か月未満	→ 問20へ	
2 6か月~1年未満	3 1年~3年未満	
4 3年~5年未満	5 5年~10年未満	6 10年~20年未満
7 20年~30年未満	8 30年以上	

【問18~19は、問17で「2」~「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問18 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

		歳
--	--	---

問19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1 妊娠したこと	2 退職したこと	3 介護・看護を担うことになったこと
4 病気（病名： ）	5 学校になじめなかったこと	
6 小学生時の不登校	7 中学生時の不登校	
8 高校生時の不登校	9 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校	
10 受験に失敗したこと（高校・大学等）	11 就職活動がうまくいかなかったこと	
12 職場になじめなかったこと	13 人間関係がうまくいかなかったこと	
14 新型コロナウイルス感染症が流行したこと		
15 その他（具体的に： ）		
16 特にない	17 わからない	

【全員にお聞きします。】

問20 あなたは現在の外出頻度に満足していますか。(〇はひとつだけ)

1 満足している	2 不満はない	→ 問22へ
3 満足していない		

↓

【問21は、問20で「3 満足していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問21 満足していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 多忙で疲れる	2 仕事に行くのが辛い	3 職場の人間関係で悩んでいる
4 人づきあいに疲れる	5 運動不足であると感じる	6 経済的に苦しい
7 将来の焦りを感じる	8 その他(具体的に: _____)	
9 答えたくない		

あなたが困った時にする行動について

【全員にお聞きします。】

問22 あなたが知っている広島市の相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1 区役所(福祉事務所)	2 保健センター
3 青少年総合相談センター	4 児童相談所
5 学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	
6 社会福祉協議会	7 医療機関
8 精神保健福祉センター	9 広島ひきこもり相談支援センター
10 発達障害者支援センター	11 障害者基幹相談支援センター
12 地域包括支援センター	
13 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーション などの就労支援機関	
14 生活困窮者向けの相談窓口(くらしサポートセンター)	
15 民生委員・児童委員	16 当事者の会・家族会
17 上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	
18 その他の施設・機関(具体的に: _____)	
19 知っているものはない	

問23 あなたは普段悩み事ができた時に、他の人に相談をしたいと思いますか。

(○はひとつだけ)

1 はい	2 いいえ	3 内容による
------	-------	---------

問24 あなたは普段悩み事ができた時に、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

1 親	2 きょうだい	3 友人・知人	4 配偶者
5 祖父母	6 職場の同僚・上司	7 カウンセラー・精神科医	
8 相談機関の職員	9 ネット上の知り合い	10 ChatGPT	
11 その他の人(具体的に：)			
12 誰にも相談しない			

問25 あなたが困りごとを相談するとすれば、どのようなところに相談したいと思いますか。

(○はいくつでも)

1 親身に聴いてくれる	2 同じ悩みを持つ人と出会える	→ 問27へ	
3 医学的な助言をくれる	4 精神科医がいる		
5 心理学の専門家がいる	6 匿名で(自分の名前や顔を知られずに)相談できる		
7 無料で相談できる	8 オンライン相談ができる		
9 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)			
10 自宅に専門家が来てくれる	11 自宅から近い		12 自宅から遠い
13 あてはまるものはない			
14 どのようなところにも相談したくない			

【問26は、問25で「14 どのようなところにも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 自分のことを知られたくない	2 相談しても解決できないと思う
3 何を聞かれるか不安に思う	4 相手にうまく話せないと思う
5 相談したことを人に知られたくない	6 お金がかかると思う
7 相談機関が近くにない	8 その他(具体的に：)
9 特に理由はない	

【全員にお聞きします。】

問27 あなたには現在、困りごとがありますか。(〇はひとつだけ)

1 ある	2 ない	→ 問31へ
------	------	--------

【問28は、問27で「1 ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問28 現在の状態について、相談機関に相談したことはありますか。(〇はひとつだけ)

1 ある	2 ない	→ 問31へ
------	------	--------

【問29～30は、問28で「1 ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問29 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1 区役所(福祉事務所)	2 保健センター
3 青少年総合相談センター	4 児童相談所
5 学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	
6 社会福祉協議会	7 医療機関
8 精神保健福祉センター	9 広島ひきこもり相談支援センター
10 発達障害者支援センター	11 障害者基幹相談支援センター
12 地域包括支援センター	
13 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関	
14 生活困窮者向けの相談窓口(くらしサポートセンター)	
15 民生委員・児童委員	16 当事者の会・家族会
17 上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	
18 その他の施設・機関(具体的に: _____)	

問30 相談機関に相談した結果について、どのようにお感じになりましたか。

.....
.....
.....
.....
.....

あなたの余暇活動について

【全員にお聞きします。】

問31 普段、何から情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

1 テレビ	2 ラジオ	3 インターネット	4 新聞・雑誌
5 広報紙(市民と市政など)	6 区役所等にあるチラシ	7 地域情報誌	
8 電車やバスなどの広告	9 回覧板	10 ポスター、掲示板	
11 ニュースアプリ	12 LINE	13 X(旧Twitter)	
14 Instagram	15 YouTube	16 Facebook	
17 TikTok	18 その他(具体的に:)	
19 特に情報を得ていない			

問32 最も多く情報を得ている媒体に〇をつけてください。(〇はひとつだけ)

1 テレビ	2 ラジオ	3 インターネット	4 新聞・雑誌
5 広報紙(市民と市政など)	6 区役所等にあるチラシ	7 地域情報誌	
8 電車やバスなどの広告	9 回覧板	10 ポスター、掲示板	
11 ニュースアプリ	12 LINE	13 X(旧Twitter)	
14 Instagram	15 YouTube	16 Facebook	
17 TikTok	18 その他(具体的に:)	
19 特に情報を得ていない			

問33 普段ご自宅(暮らしている場所)にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1 テレビを見る	2 ラジオを聴く	3 本を読む	4 新聞を読む
5 ゲームをする	6 勉強をする	7 仕事をする	8 家事をする
9 育児をする	10 介護・看護をする	11 インターネットをする	
12 その他(具体的に:)		
13 あてはまるものはない			

問34 あなたが楽しいと思う活動を教えてください。(〇はいくつでも)

1 スポーツをする	2 スポーツ観戦	3 アウトドア
4 動物等の飼育	5 植物等を育てる	6 楽器、音楽鑑賞
7 収集(〇〇集め)	8 創作活動	9 アロマ、マッサージ
10 旅行・外出	11 料理・飲食店巡り	12 ゲーム
13 競馬、競輪等	14 読書	15 資格取得
16 その他(具体的に:)	

あなたのこれまでの経験について

【全員にお聞きします。】

問35 これまでに、次のような経験をしたことがありますか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|---|-------------|------------|
| 1 小学生時の不登校 | 2 中学生時の不登校 | 3 高校生時の不登校 |
| 4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校 | | |
| 5 ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態） | | |
| 6 初めての就職から1年以内に離職・転職した | 7 35歳以上での無職 | |
| 8 あてはまるものはない | | |

問36 あなたは過去に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。（〇はひとつだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する |
| 2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 3 自室からは出るが、家からは出ない |
| 4 自室からほとんど出ない |
| 5 上記のような状態に6か月以上連続してなったことはない |

問39へ

【問37～38は、問36で「1」～「4」を選んだ方のみ、お答えください。】

問37 その状態になったきっかけは何でしたか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|---------------------|
| 1 学校になじめなかったこと | 2 小学生時の不登校 | |
| 3 中学生時の不登校 | 4 高校生時の不登校 | |
| 5 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校 | | |
| 6 受験に失敗したこと（高校・大学等） | 7 就職活動がうまくいかなかったこと | |
| 8 職場になじめなかったこと | 9 人間関係がうまくいかなかったこと | |
| 10 病気（病名： _____） | | |
| 11 妊娠したこと | 12 退職したこと | 13 介護・看護を担うことになったこと |
| 14 新型コロナウイルス感染症が流行したこと | | |
| 15 その他（具体的に _____） | | |

問38 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1 家族や親戚の助け	2 友人の助け	3 学校の先生に相談したこと
4 スクールカウンセラーや養護教諭などに相談したこと		
5 地域の方の助け	6 病院に行って相談したこと	
7 相談できる場所に行って相談したこと	8 電話相談を利用したこと	
9 SNSやメール相談などを利用したこと		
10 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと		
11 就職・転職したこと	12 趣味の活動に参加したこと	
13 時間がたって状況が変化したこと	14 自分の努力で乗り越えたこと	
15 その他（具体的に： _____)		
16 わからない、答えられない		
17 改善していない		

あなたの周囲とのかかわり方について

【全員にお聞きします。】

問39 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
自分は他の人たちとよく交流し結びつきが強いと思う	1	2	3	4
自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	1	2	3	4
自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4

問40 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇はひとつだけ)

1 決してない	2 ほとんどない	3 たまにある
4 時々ある	5 しばしばある・常にある	

問41 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
家族とのかかわり方	1	2	3	4	5
家族以外の人とのかかわり方	1	2	3	4	5
社会とのかかわり方	1	2	3	4	5

問42 同居している人との交流頻度についてお答えください。（〇はひとつだけ）

【同居している人がいる場合にお答えください。】

1 ほぼ毎日	2 週に数回程度	3 月に数回程度
4 年に数回程度	5 まったくない	

問43 同居している人との交流の内容についてお答えください。（〇はひとつだけ）

【同居している人がいる場合にお答えください。】

1 何でも話せる	2 雑談程度を話す
3 必要最低限のことだけ話す	4 一切話さない

問44 最近6か月間に、同居者以外の人と会話をしましたか。（〇はひとつだけ）

1 よく会話をした	2 ときどき会話をした
3 ほとんど会話をしなかった	4 まったく会話をしなかった

問45 同居していない人とのコミュニケーションについてそれぞれお答えください。

【次の項目について、あてはまる番号をひとつずつお答えください。】

	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	まったくない
直接会って話す	1	2	3	4	5
電話（ビデオ通話含む）	1	2	3	4	5
SNS・電子メール・オンラインゲーム	1	2	3	4	5

その他

【全員にお聞きします。】

問46 広島市では、身体の病気以外の理由で普段外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思う順に、枠内に数字を並べ替えてください。

1 相談窓口の周知	2 相談窓口の充実
3 こころの病気に関する正しい知識の普及	4 ひきこもりに関する正しい知識の普及
5 本人への直接的な支援	6 家族等への直接的な支援
7 支援者への研修	8 本人が参加できる居場所等をつくる
9 職場体験（就労体験）ができる仕組みづくり	

優先順位 高 ←————→ 低

回答欄									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問47 具体的な支援の内容やその他必要な支援等について、ご意見があればご自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

お知らせ

広島市では、様々な相談ができる窓口等を設けています。

ご相談等を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただくか、広島市ホームページの、

- ・「相談の手引」（ページ番号：1039776）
- ・「ひろしまcocoサーチ～ひろしま地域社会資源検索サイト～」
（ページ番号：1037050）でご検索ください。



質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

2 同居者調査票

所要時間
10分～15分

同居者様用

広島市 生活状況に関する調査

この調査は、あて名の方の生活状況についてお伺いするもので、調査結果は広島市の今後の施策運営などの基礎資料とさせていただきます。

個人情報をお伺いする質問はありません。また、回答内容が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

なお、この調査は、広島市にお住まいの方のうち、15歳から64歳までの方や、その同居者の方を無作為抽出し、合計10,000人に対してご協力をお願いしています。

【ご記入にあたってのお願い】

- ・調査票には、あて名の同居者の方がお答えください。
- ・答えたくない質問にはご回答は不要です。
- ・ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、

8月31日（日）までに投函してください。

※インターネットでご回答いただくこともできます。質問内容は同じですので、郵便かインターネットのどちらかで、上記の期日までにご回答ください。

インターネットでの回答は、下記の指定ページまたはQRコードからお答えください。

【インターネット回答用の指定ページ】

広島市ホームページ→「情報をさがす」→ページ番号からさがすに「1042020」と入力し検索。

【QRコード】



点字版、音声変換用テキストファイル、ルビ振り版をご希望の場合は、下記の間合せ先へご連絡ください。

間合せ先：広島市役所健康福祉局

所在地：広島市中区国泰寺町1-6-34

電話番号：082-504-2956（平日 午前9時～午後4時30分）

あて名の方やご家族のことについて

【全員にお聞きします。】

問1 あて名の方の性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

問2 あて名の方の年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 15歳～19歳 | 2 20歳～24歳 | 3 25歳～29歳 |
| 4 30歳～34歳 | 5 35歳～39歳 | 6 40歳～44歳 |
| 7 45歳～49歳 | 8 50歳～54歳 | 9 55歳～59歳 |
| 10 60歳～64歳 | | |

問3 あて名の方がお住いの区はどちらですか。(○はひとつだけ)

- | | | | | | |
|-------|-------|------|------|--------|--------|
| 1 中区 | 2 東区 | 3 南区 | 4 西区 | 5 安佐南区 | 6 安佐北区 |
| 7 安芸区 | 8 佐伯区 | | | | |

問4 現在、あて名の方と同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(○はいくつでも)
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「8 その他」をお選びください。

- | | | | |
|-----------------------|-----------|---------|-------|
| 1 父 | 2 母 | 3 きょうだい | 4 祖父母 |
| 5 あて名の方の配偶者 | 6 あて名の方の子 | 7 その他親族 | |
| 8 その他(ホームステイをしている人など) | (具体的に: |) | |

問9 あて名の方の現在の仕事をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-------------------------------|----------------|-----------------|
| 1 学生・生徒(予備校生などを含む) | 2 正社員 | |
| 3 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生は除く) | | |
| 4 会社などの役員 | 5 自営業・自由業(経営者) | 6 家業に従事(従業員)・内職 |
| 7 1~6に当てはまらない就労(具体的に:) | | |
| 8 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない | | |
| 9 専業主婦・主夫 | 10 家事手伝い | 11 無職 |

【問10は、問9で「8」~「11」を選んだ方のみ、お答えください。】

問10 あて名の方の就業経験についてお答えください。(○はひとつだけ)

- | |
|--|
| 1 正社員として働いたことがある |
| 2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある
(学生時代の経験は含みません) |
| 3 自営業・自由業をしたことがある |
| 4 その他の形態で働いたことがある(具体的に:) |
| 5 今まで働いたことはない |

【全員にお聞きします。】

問11 あて名の方は普段ご自宅(暮らしている場所)にいる時は、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|-------------|---------------|---------|
| 1 テレビを見る | 2 ラジオを聴く | 3 本を読む | 4 新聞を読む |
| 5 ゲームをする | 6 勉強をする | 7 仕事をする | 8 家事をする |
| 9 育児をする | 10 介護・看護をする | 11 インターネットをする | |
| 12 その他(具体的に:) | | | |
| 13 あてはまるものはない | 14 わからない | | |

問12 あて名の方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○はひとつだけ)

1 仕事や学校で平日は毎日外出する	2 仕事や学校で週に3~4日外出する
3 遊び等で頻繁に外出する	4 人づきあいのためにときどき外出する
5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	
6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	
7 自室からは出るが、家からは出ない	
8 自室からほとんど出ない	

→ 問20へ

【問13は、問12で「5」~「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問13 あて名の方が、以前に比べて外出できなくなってからこれまでの期間はどのくらいですか。(○はひとつだけ)

1 6か月未満	→ 問20へ		
2 6か月~1年未満	3 1年~3年未満	4 3年~5年未満	
5 5年~10年未満	6 10年~20年未満	7 20年~30年未満	
8 30年以上			

【問14~19は、問13で「2」~「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問14 あて名の方の外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳
----------------------	----------------------	---

問15 あて名の方は、最近6か月間に、同居者以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)

1 よく会話した	2 ときどき会話した
3 ほとんど会話しなかった	4 まったく会話しなかった

問16 どのような方法で交流することが多かったと思いますか。(○はいくつでも)

1 直接会って話す	2 電話(ビデオ通話含む)
3 SNS・電子メール・オンラインゲーム	

問17 あて名の方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 妊娠したこと	2 退職したこと	3 介護・看護を担うことになったこと
4 病気(病名:)		5 学校になじめなかったこと
6 小学生時の不登校		7 中学生時の不登校
8 高校生時の不登校	9 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	
10 受験に失敗したこと(高校・大学等)	11 就職活動がうまくいかなかったこと	
12 職場になじめなかったこと	13 人間関係がうまくいかなかったこと	
14 新型コロナウイルス感染症が流行したこと		
15 その他(具体的に:)		
16 特にない	17 わからない	

問18 あて名の方は、現在の状態から起こる不安や心配なことについて、相談機関に相談したことがありますか。(〇はひとつだけ)

1 ある	2 ない	→ 問20へ
------	------	--------

【問19は、問18で「1 ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問19 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある相談機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1 区役所(福祉事務所)	2 保健センター	
3 青少年総合相談センター	4 児童相談所	
5 学校(担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど)		
6 社会福祉協議会	7 医療機関	8 精神保健福祉センター
9 広島ひきこもり相談支援センター	10 発達障害者支援センター	
11 障害者基幹相談支援センター	12 地域包括支援センター	
13 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関		
14 生活困窮者向けの相談窓口(くらしサポートセンター)		
15 民生委員・児童委員	16 当事者の会・家族会	
17 上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)		
18 その他の施設・機関(具体的に:)		
19 わからない		

【全員にお聞きします。】

問20 あなたは、あて名の方の現在の状態について、不安や心配なことがありますか。

(○はひとつだけ)

1 ある	2 ない	→ 問26へ
------	------	--------

【問21～22は、問20で「1 ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問21 それは、どのような不安や心配ですか。(○はいくつでも)

1 運動をしないため健康状態が心配	2 生活リズムが乱れた
3 外出を嫌がるようになった	4 自分の容姿に気を遣わなくなった
5 無気力・無関心になった	6 自分に自信がないような悲観的な発言が増えた
7 以前よりも家族内での会話が減った	8 交流する人が減ってきている
9 働かないといけないという焦りがある	10 働くなど社会参加する意欲が見えない
11 仕事が短期間しか続かない	12 履歴書の職歴に空白が出る
13 家族に対する暴言、暴力がある	14 貯金が減ってきている
15 親亡き後、どう暮らしていくのか不安	
16 内科等を受診してほしい	17 精神科を受診してほしい
18 その他(具体的に：)	

問22 あて名の方の現在の状態について、同居されている方が相談機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

1 ある	2 ない	→ 問25へ
------	------	--------

↓
問23へ

【問23～24は、問22で「1 ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問23 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある相談機関等をすべて選んでください。（〇はいくつでも）

1 区役所（福祉事務所）	2 保健センター	
3 青少年総合相談センター	4 児童相談所	
5 学校（担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど）		
6 社会福祉協議会	7 医療機関	8 精神保健福祉センター
9 広島ひきこもり相談支援センター	10 発達障害者支援センター	
11 障害者基幹相談支援センター	12 地域包括支援センター	
13 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関		
14 生活困窮者向けの相談窓口（くらしサポートセンター）		
15 民生委員・児童委員	16 当事者の会・家族会	
17 上記以外の民間の相談機関・支援機関（NPO等）		
18 その他の施設・機関（具体的に： _____)		

問24 相談機関に相談した結果について、どのようにお感じになりましたか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

→ 問26へ

【問25は、問22で「2 ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問25 相談しなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 あて名の方のことを他人に知られたくなかった | 2 相談しても解決できないと思った |
| 3 何を聞かれるか不安に思った | 4 相手にうまく話せないと思った |
| 5 相談したことをあて名の方に知られたくなかった | |
| 6 相談したことを他の家族に知られたくなかった | |
| 7 家族内で相談することに関する意見が分かれた | |
| 8 お金がかかると思った | 9 相談機関が近くにない |
| 10 その他（具体的に： _____） | |
| 11 特に理由はなかった | |

【全員にお聞きします。】

問26 あなたの知っている本市の相談機関等をすべて選んでください。（〇はいくつでも）

※あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 区役所（福祉事務所） | 2 保健センター |
| 3 青少年総合相談センター | 4 児童相談所 |
| 5 学校（担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど） | |
| 6 社会福祉協議会 | 7 医療機関 |
| 8 精神保健福祉センター | 9 広島ひきこもり相談支援センター |
| 10 発達障害者支援センター | 11 障害者基幹相談支援センター |
| 12 地域包括支援センター | |
| 13 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 | |
| 14 生活困窮者向けの相談窓口（くらしサポートセンター） | |
| 15 民生委員・児童委員 | 16 当事者の会・家族会 |
| 17 上記以外の民間の相談機関・支援機関（NPO等） | |
| 18 その他の施設・機関（具体的に： _____） | |
| 19 知っているものはない | |

問27 あて名の方は、これまでに次のような経験をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------------------|-----------------------------|------------|
| 1 学校になじめなかったこと | 2 小学生時の不登校 | 3 中学生時の不登校 |
| 4 高校生時の不登校 | 5 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 | |
| 6 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 7 就職活動がうまくいかなかったこと | |
| 8 職場になじめなかったこと | 9 人間関係がうまくいかなかったこと | |
| 10 病気(病名:) | 11 妊娠したこと | |
| 12 退職したこと | 13 介護・看護を担うことになったこと | |
| 14 新型コロナウイルス感染症が流行したこと | | |
| 15 その他(具体的に:) | | |
| 16 わからない | 17 ない | |

問30へ

【問28は、問27で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】

問28 あて名の方は、過去に6か月以上連続して、次のような状態になったことはありますか。

(〇はひとつだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する |
| 2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 3 自室からは出るが、家からは出ない |
| 4 自室からほとんど出ない |
| 5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない |

問30へ

【問29は、問28で「1」～「4」を選んだ方のみ、お答えください。】

問29 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 家族や親戚の助け | 2 友人の助け |
| 3 学校の先生に相談したこと | |
| 4 スクールカウンセラーや養護教諭などに相談したこと | |
| 5 地域の方の助け | 6 病院に行って相談したこと |
| 7 相談できる場所に行って相談したこと | |
| 8 電話相談を利用したこと | 9 SNSやメール相談などを利用したこと |
| 10 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと | |
| 11 就職・転職したこと | 12 趣味の活動に参加したこと |
| 13 時間がたって状況が変化したこと | 14 自分の努力で乗り越えたこと |
| 15 その他(具体的に:) | |
| 16 わからない、答えられない | |
| 17 改善していない | |

あて名の方の周囲とのかかわり方について

【全員にお聞きします。】

問30 あて名の方と同居家族の交流頻度についてお答えください。（○はひとつだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に数回程度 | 3 月に数回程度 |
| 4 年に数回程度 | 5 まったくない | |

問31 あて名の方と同居家族の交流の内容についてお答えください。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 何でも話せる | 2 雑談程度を話す |
| 3 必要最低限のことだけ話す | 4 一切話さない |

問32 あなたの家族団らんのイメージもしくは理想は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 毎日、他愛のない会話をする | 2 毎日笑う時間がある |
| 3 家族で食卓を囲む | 4 一緒にテレビを見る |
| 5 一緒に外食をする | 6 一緒に趣味を楽しむ |
| 7 家族の相談を真摯に聞く | 8 自宅でゆったり過ごす |
| 9 その他（具体的に： | ） |

問33 あなたの家庭の雰囲気は今以上に心地よくなるためには、何をどうすればいいと思いますか。ご自由にお書きください。

→ 問34へ

その他

【全員にお聞きします。】

問34 広島市では、身体の病気以外の理由で普段外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思う順に、枠内に数字を並べ替えてください。

※あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。

1 相談窓口の周知	2 相談窓口の充実
3 こころの病気に関する正しい知識の普及	4 ひきこもりに関する正しい知識の普及
5 本人への直接的な支援	6 家族等への直接的な支援
7 支援者への研修	8 本人が参加できる居場所等をつくる
9 職場体験（就労体験）ができる仕組みづくり	

優先順位 高



低

回答欄									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問35 具体的な支援の内容やその他必要な支援等について、ご意見があればご自由にお書きください。

※あて名の方ではなく、同居者様の立場でお答えください。

.....

.....

.....

お知らせ

広島市では、様々な相談ができる窓口等を設けています。

ご相談等を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただくか、広島市ホームページの、

- ・「相談の手引」（ページ番号：1039776）
- ・「ひろしまcocoサーチ～ひろしま地域社会資源検索サイト～」
（ページ番号：1037050）でご検索ください。

相談の手引



ひろしまcocoサーチ



質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

登録番号	広H6-2025-755
名称	令和7年度広島市生活状況に関する調査報告書
編集・発行者	健康福祉局障害福祉部精神保健福祉課 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 (〒730-8586) TEL 082-504-2228
発行年月	(元号) 令和8年3月

